

独立行政法人 国際協力機構（JICA）  
モンゴル日本人材開発センター（MOJC）

モンゴル国  
日本人材開発センター  
ビジネス人材育成・交流拠点機能強化  
プロジェクト

プロジェクト業務完了報告書

2020年5月

独立行政法人 国際協力機構（JICA）

リロ・パナソニック エクセルインターナショナル株式会社

経開
JR
20-030



## 目 次

第1章 業務の概要	1
1.1 業務の背景	1
1.2 業務の目的	2
1.2.1 目標	2
1.2.2 期待される成果	3
1.2.3 本契約業務で求められる各成果の概要	3
1.3 業務フローチャート	4
第2章 活動内容	6
2.1 ビジネスコース	6
2.1.1 ビジネスコース実施枠組み	6
2.1.2 本邦研修	7
2.2 インパクト調査の実施	7
第3章 活動成果	9
3.1 ビジネスコースの成果	9
3.1.1 通常コース（経営者クラス・管理職クラス）受講者分析	11
3.1.2 専門コース講義実績	16
3.1.3 モデル企業課題解決プログラム／企業内研修の実施実績	16
3.1.4 現地講師・コンサルタント育成コースの実績	18
3.1.5 本邦研修受け入れ実績	19
3.2 インパクト調査の実施実績	24
3.3 事例集作成実績	25
3.4 本プロジェクトにおける活動成果	26
3.4.1 ビジネスコース運営管理に関する技術移転	26
3.4.2 JICA 及びプロジェクト関係者への定期報告	26
第4章 プロジェクトの今後の課題と提言	27
4.1 ビジネスコースの運営体制	27
4.1.1 講義の実施体制	27
4.1.2 業務管理	27
4.1.3 新規講座の提案	28
4.1.4 日本人講師による講義の進め方	29
4.1.5 C/P への技術移転	29

4.1.6	修了生へのフォローアップ.....	30
4.1.7	外部機関との連携.....	31
4.1.8	その他.....	31
4.2	PDMに従ったコンサルタントの活動の成果及び達成状況.....	31
第5章	派遣・投入実績.....	37
第6章	添付資料.....	41

## 図表リスト

図 1	業務実施のフローチャート	5
表 1	ビジネスコースの概要と内容	6
図 2	受講者数推移	9
図 3	ビジネスコース満足度推移	10
図 4	受講者年代別推移（経営者クラス）	11
図 5	受講者年代別推移（管理職クラス）	12
図 6	受講者数役職別推移（経営者クラス）	13
図 7	受講者数役職別推移（管理職クラス）	13
図 8	受講者企業規模構成比推移（経営者クラス）	14
図 9	受講者企業規模構成比推移（管理職クラス）	14
図 10	通常コース受講者企業業種分析	15
表 2	モデル企業課題解決プログラム一覧	17
表 3	企業内研修実績（2017 年度）	18
表 4	企業内研修実績（2018 年度）	18
表 5	企業内研修実績（2019 年度）	18
図 11	現地講師・コンサルタント育成コースの指導の流れ	19
図 12	本邦研修全体概念図	20
表 6	モンゴルビジネスセミナー&企業交流会（2018 年）	21
表 7	モンゴルビジネスセミナー&企業マッチング（2018 年）	22
表 8	モンゴルビジネスセミナー&企業交流会（2019 年）	22
表 9	事例集作成企業リスト	25
表 10	報告書及び報告内容の実績	26
表 11	次期ビジネスコース構成提案	28
表 12	期待される成果に向けての活動と実績	31
表 13	成果の達成状況	33
表 14	プロジェクト目標達成状況	35
表 15	プロジェクト上位目標達成状況	35
表 16	専門家・講師の現地投入実績	37



主要略語表一覧

C/P	Counterpart	カウンターパート
EPA	Economic Partnership Agreement	経済連携協定
GDP	Gross Domestic Product	国内総生産
IMF	International Monetary Fund	国際通貨基金
JETRO	The Japan External Trade Organization	日本貿易振興機構
JICA	Japan International Cooperation Agency	独立行政法人国際協力機構
KPI	Key Performance Indicator	重要業績/評価指標
MBA	Master of Business Administration	経営学修士
MNCCI	Mongolian National Chamber of Commerce and Industry	モンゴル商工会議所
MOJC	Mongolia-Japan Center for Human Resources Development	モンゴル日本人材開発センター
NUM	National University of Mongolia	モンゴル国立大学
ODA	Official Development Assistance	政府開発援助
OJT	On-the-Job Training	オン・ザ・ジョブ・トレーニング
PDCA	Plan-Do-Check-Action	計画-実行-評価-改善
PREX	Pacific Resource Exchange Center	公益財団法人太平洋人材交流センター
QCD	Quality-Cost-Delivery/Time	品質-価格-納期
RPE	Relo Panasonic Excel International Co., Ltd.	リロ・パナソニック エクセルインター ナショナル株式会社
TPS	TOYOTA Production System	トヨタ生産方式
5S	Seiri, Seiton, Seisou, Seiketsu, Shitsuke	整理、整頓、清掃、清潔、躰



## 第1章 業務の概要

### 1.1 業務の背景

モンゴルの経済は、石炭や銅等の鉱物資源開発を梃に急速に成長してきており、2013年にはGDP成長率11.6%（出典：『JETRO モンゴル経済概況』2020年3月）、一人当たり名目GDP 4,294ドル（出典：IMF World Economic Outlook October 2019）という高い値を示した。しかし近年は鉱物資源の価格低下に伴い、GDP成長率が2014年7.9%、2015年2.4%、2016年1.2%と、経済環境が悪化している。また急速な成長の恩恵が貧困層に十分に及んでいないことから、貧困率（1日当たり約2ドル以下）は横ばいしないし悪化傾向にある。また鉱業分野以外の外国投資割合は拡大しておらず、鉱業以外の産業発展が進んでいない。GDPの約2割、輸出の約8割を占める鉱業も雇用創出力は小さく、若年層を中心とした失業問題の深刻化が懸念されている。こうした中、産業の多角化及び雇用創出の観点から、中小企業の育成・強化がモンゴルの重要な課題となっている。

日本政府は、モンゴルの市場経済への移行支援を目的として、2002年1月より技術協力プロジェクト「モンゴル日本人材開発センター（Mongolia-Japan Center for Human Resources Development: MOJC）プロジェクト（フェーズ1）を開始。無償資金協力「日本・モンゴル人材協力センター設立計画（2000）（無償）」による拠点施設の整備が終了し、2002年6月にMOJCが開所してから活動が本格化した。それ以降、「モンゴル日本人材開発センタープロジェクト」（フェーズ2）及び「モンゴル日本人材開発センタービジネス人材育成プロジェクト」（ポストフェーズ2）を通じて、モンゴルのビジネス人材育成及び日モ関係強化を支援してきた。

長年に亘る協力の結果、2002年のMOJC開設以来、2015年のポストフェーズ2プロジェクトが終了するまでに約12,000名のビジネスコース参加者を数え、当初の市場経済への移行支援というMOJCの役割は達成させられたと考えられる。一方、モンゴルが急激な経済成長を遂げるなか、企業が事業を拡大するための経営知識・ノウハウはますます高度化・複雑化しており、現在のMOJCではこれらを身に付けられる高度なビジネス研修や現場指導、コンサルテーションの提供等が求められている。また、これまでは中小企業経営者等を主な支援対象としていたが、モンゴル中小企業庁（2008年設立）からMOJCに対して、職員等の育成において連携の要請がある等、中小企業振興を促進する行政官の育成という新たなニーズが生まれている。さらに2016年6月の日モ経済連携協定（Economic Partnership Agreement: EPA）発効を背景に、日モ両国の経済関係の更なる強化が見込まれており、本邦企業並びにモンゴル企業において両国間のビジネス人材交流にかかるニーズが増大している。

かかる状況の変化を踏まえ、MOJCは、これまでの協力で培ってきた現地の中核的経営人材・企業のネットワークや情報を「資産」として活用・発展させ、モンゴルの持続的な産業開発と日モの経済関係強化に貢献するための、ビジネス人材の育成と交流の拠点としての新たな役割を担っていくことが必要となっている。

2015年4月より5年間の協力期間で実施中の「モンゴル・日本人材開発センタービジネス人材育成・交流拠点機能強化プロジェクト」（以下、「本事業」）は、これまでの協力において柱としてきた、1) 経営人材育成事業の実施・改善にかかる仕組みの確立、2) MOJC の運営にかかる組織体制の強化、に加えて、新たに、3) 日本とモンゴルのビジネス人材交流促進のための体制整備、を行うことにより、MOJC が日本とモンゴルのビジネス人材の育成と交流の拠点となることを図り、もってMOJC がモンゴルの産業多角化と日本・モンゴル間の経済関係の強化に寄与することを目指すものである。

### 1.2 業務の目的

#### 1.2.1 目標

##### 1) プロジェクト名

モンゴル日本人材開発センタービジネス人材育成・交流拠点機能強化プロジェクト

##### 2) 上位目標

ビジネス人材の育成と交流を通じて、モンゴルの産業多角化と日本・モンゴル間の経済関係の強化に貢献する。

##### 3) プロジェクト目標

MOJC がビジネス人材の育成と交流の拠点となる。

##### 4) 関係省庁：教育・文化・科学・スポーツ省（関係省庁との調整、MOJC を含むモンゴル国立大学の監督・支援）、モンゴル国立大学（MOJC の監督・支援）、食糧・農牧業・軽工業省、大蔵省等。

##### 5) プロジェクト実施体制：プロジェクトは、現地所長体制の下、日本人専門家であるチーフアドバイザーが運営を補佐する体制を敷いている。日本側からはチーフアドバイザー1名、業務調整/産学連携1名が現地に派遣されており、2017年10月からはビジネス交流支援分野1名（以上の3名の日本人専門家をまとめて、以下、「直営専門家」という）が現地に派遣されている。

モンゴル側からは、現地所長含む25名程度のスタッフを配置している。

##### 6) プロジェクト期間：2015年4月から2020年4月まで5年間

## 1.2.2 期待される成果

成果1：モンゴルの中小企業をはじめとした民間セクターの経営改善に資する、実践的かつニーズに対応したビジネス人材育成事業が実施・改善される仕組みが確立する。

- 1-1 成長が期待される業種に係る産業動向調査及びモンゴルにおけるビジネス人材育成に係るニーズ調査を実施・分析する。
- 1-2 MOJC で実施するビジネス人材育成事業にかかる中期戦略（営業戦略、広報戦略、現地講師育成・活用戦略含む）を策定する。
- 1-3 ビジネス人材育成事業全体の年間実施計画を策定し、事業を実施する。
- 1-4 ビジネス人材育成事業の評価・モニタリングシステムを確立・改善する。
- 1-5 評価・モニタリングの結果を踏まえ、ビジネス人材育成事業の内容を改善する。
- 1-6 中小企業振興に携わる公務員の能力強化のための研修・助言を行う。
- 1-7 産学連携等に関する情報提供・セミナーの開催を行う。

成果2：ビジネス分野を主として日本とモンゴルの人材の交流を促進するための体制が整備される。

- 2-1 ビジネス人材育成事業の受益者情報活用しやすいように、これまで蓄積されてきたデータを整理する。
- 2-2 交流会の実施や情報提供・発信を通じて、ビジネス分野を中心とする人材の交流・連携を支援する。
- 2-3 ビジネス人材育成事業の成功事例を取りまとめ、対外発信を行う。

成果3：センターの運営にかかる組織体制が強化される。

- 3-1 MOJC 全体としての中期戦略を策定し、実行・更新する。
- 3-2 MOJC 全体としての年間活動計画を策定し、実行する。
- 3-3 MOJC 全体としての中期財務計画を策定し、実行する。
- 3-4 MOJC の認知度向上のために、日本・モンゴル双方において、活動・成果を戦略的かつ効果的に発信する。

## 1.2.3 本契約業務で求められる各成果の概要

本契約業務が達成すべき成果は以下の通りとする。

- 1) ビジネスコースが実施され、受講者が企業経営についての実践的ノウハウ・知識を習得する。
- 2) ビジネスコース部門の運営体制が強化され、MOJC が主体的にビジネスコースを企画・運営できるようになる。
- 3) 現地講師の確保及び育成が行われ、現地講師の講義実施率が増加する。

### 1.3 業務フローチャート

図 1 に業務実施のフローチャートを示す（次頁）。

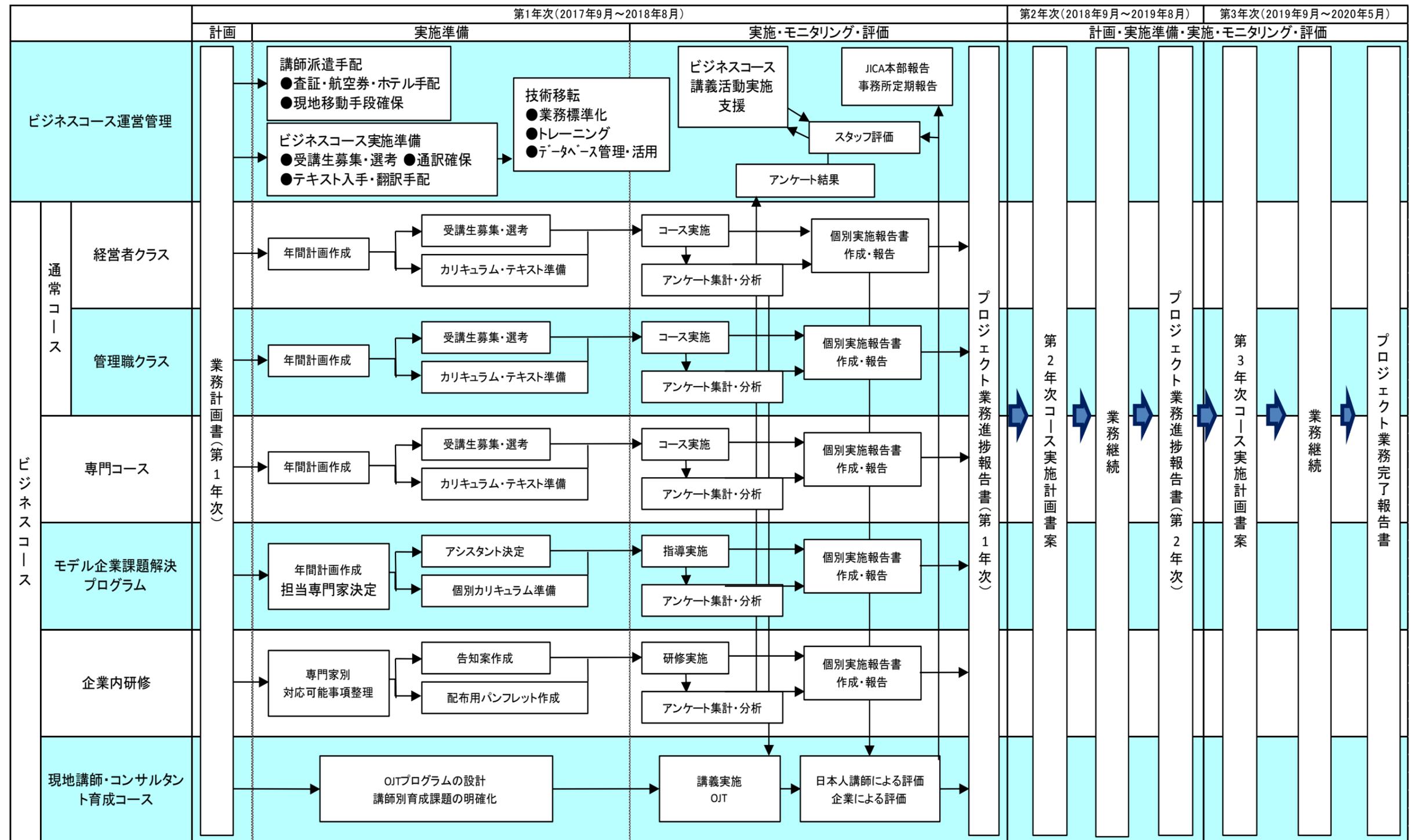


図1 業務実施のフローチャート

## 第2章 活動内容

### 2.1 ビジネスコース

MOJC のビジネスコースは主に MOJC 内で実施される「通常コース」「専門コース」と、企業に出向いて実施する「企業内研修」「モデル企業課題解決プログラム」及び2年間のOJTと1年間の現場実習から構成される「現地講師・コンサルタント育成コース」で組み立てられている。

コンサルタントはこれらの活動に関して、MOJC ビジネスコーススタッフのOJTとして、コース設計の考え方や、企業内研修のテーマ設定方法、モデル企業候補の選考のポイント等を指導している。

#### 2.1.1 ビジネスコース実施枠組み

ビジネスコースの活動として、MOJC 内での講義である「通常コース（経営者クラス・管理職クラス）」、「専門コース」の2コースと、MOJC 外での活動である「モデル企業・課題解決プログラム」、「企業内研修」を実施した。また、新たな試みとして「現地講師・コンサルタント育成コース」を開発し、MOJC に裨益する現地講師の育成を3年かけて推進した。「通常コース」及び「専門コース」の実績及び詳細は添付資料1を参照。

本プロジェクトにおけるビジネスコースの概要と内容は以下の通り。第3年次はプロジェクト最終年度にあたり、実施期間も10か月から7か月へと従来よりも3か月短い期間での実施となった。最終年度は次期フェーズへの試行期間と位置付ける意味合いから「通常コース」の実施数を1回から2回へ増加し受講希望者全員の受講を可能にした。またそれに従い「専門コース」の科目数は日程上の制約から前年度14科目から4科目に絞り込んだ。新型コロナウイルス拡散防止措置の影響により、結果的に2020年2月以降の講座は実施されず、次期フェーズへの持ち越しとなった。

表1 ビジネスコースの概要と内容

種類	概要	内容
1)-1 通常コース (経営者クラス)	対象：大企業・中小企業経営者 定員：1クラス原則40名まで 期間：3ヶ月程度、6日×4科目受講	経営者の経営課題解決能力の強化を目的とする。 ①経営戦略 ②マーケティング ③人的資源管理 ④財務管理
1)-2 通常コース (管理職クラス)	対象：大企業・中小企業の管理職 定員：1クラス原則40名まで 期間：3ヶ月程度、5日×4科目受講	管理職としての実務知識の習得と実践力の向上を目的とする。 ①経営戦略 ②マーケティング ③人的資源管理 ④財務管理（現地講師）

種類	概要	内容
2) 専門コース	対象：専門的業務に従事する、もしくは専門知識を必要とするビジネス人材 定員：1クラス 25～30名 期間：各科目 5日程度	専門分野の知識をより深め実践力を高める。 ①マーケティング上級（E-Commerce） ②店舗管理 ③経営シミュレーション ④品質・生産管理 ⑤品質・生産管理上級（TPS） ⑥財務管理上級 ⑦人的資源管理上級 ⑧EPA-ビジネス活用の視点と実務 ⑨エクセルを使ったビジネス分析 ⑩KPI ⑪展示会出展実務 ⑫資金調達とビジネスプラン ⑬文化と経営（ビジネスマッチングから事業創造へ） ⑭貿易戦略
3) モデル企業課題解決プログラム	対象：通常コース修了生の企業 定員：年間3社～4社 期間：7ヶ月間（平均6回指導）	企業が直面する経営課題を分析し、課題を絞り込み、解決に向けて指導を行う。カイゼンプロセスが他企業のモデルとなるように企業育成を行う。
4) 企業内研修	対象：企業全般	企業からの要請を受けて、研修科目をカスタマイズし、企業に出向いて研修を実施する。
5) 現地講師・コンサルタント育成コース	対象：ビジネス経験者で将来MOJCの講師として従事できる人材を育成する。 定員：若干名 期間：2年（3年目以降実習）	「品質・生産管理」及び「マーケティング」分野に関する座学と企業訪問、モデル企業指導のOJTを日本人講師から受け、知見を広げる。育成期間を終え、3年目から業務開始している。
6) ビジネス公開セミナー	対象：一般	主に専門コースの紹介を目的に、科目の概要やトピックを1.5時間程度で講義する。

### 2.1.2 本邦研修

本プロジェクト期間中に主に通常コースの修了生を対象とした本邦研修を2回行った。詳細は第3章にて記載する。

### 2.2 インパクト調査の実施

インパクト調査に関しては、MOJCのコース受講企業と非受講企業の実績を比較することでビジネスコースのインパクトを確認し、今後のコース設計に活かすという目的があった

が、非受講企業へのインタビュー調査のデータ収集の難易度とその有効性を考慮した結果、MOJCの通常コース修了企業50社に絞った成果確認調査へと変更になった。

調査は2019年度に実施され、対象企業のコース受講後の売上高推移、利益率推移、従業員数推移、離職率推移等を調査し、報告書としてまとめた（添付資料「インパクト調査報告書」を参照）。

今後のビジネスコース受講者への副教材として活用することを目的に、インパクト調査対象の50社より売上高増、不良品削減、人事管理体制刷新、従業員満足度の変化等において特徴のある11社を選び、事例集を作成する予定であったが、新型コロナウイルス拡散防止措置の影響により、事例集の完成は次期フェーズに持ち越された。

## 第3章 活動成果

### 3.1 ビジネスコースの成果

#### 1) 受講者推移

本事業 5 年間の通常コース及び専門コースの受講者推移を以下に示す。集計はすべて MOJC におけるアカデミックイヤーベース（9 月開講～翌 6 月閉講）である。最終年度（第 3 年次）においては通常コースの実施を年 1 回から 2 回（秋期/冬期）に変更し、全ての受講希望者が受講できることを目指し、代わりに専門コースの実施講座数の絞り込みを行った。最終年は、新型コロナウイルス拡散防止措置により、MOJC 事業が 2020 年 1 月下旬から停止されていることから、2019 年 9 月から 2020 年 1 月までの実績である。

受講者数推移を下記図 2 に示す。

なお、図 2 では新型コロナウイルス拡散防止措置の影響により未実施となった、第 3 年次における通常コース「人的資源管理」「マーケティング」の 2 回目と、専門コース「店舗管理」「経営シミュレーション」の計 4 講座の受講者数は含まれていない。また、2015 年の通常コースには「生産管理」「店舗管理」の 2 講座が含まれているが、比較の整合性を確保するために同 2 講座は専門コースとしてカウントした。

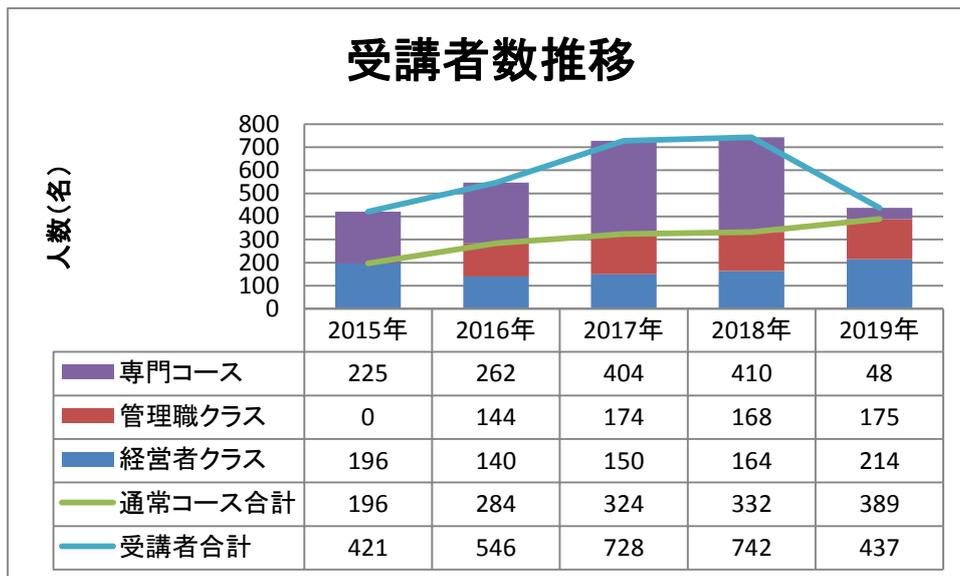


図 2 受講者数推移

受講者数は 2016 年、2017 年と年率 30% の伸張を示し、2018 年度にピークに達した。

通常コースは 2015 年に実施したニーズ調査結果を踏まえ、2016 年以降「経営者クラス」「管理職クラス」の 2 クラスに分割したことで、より受講者ニーズに合わせた設計となり、受講者が 45% 増加した。これによって、当初 1 クラス 30 名を上限として募集したコースであるものの、通常コースでは 2017 年、2018 年と 1 クラス平均 41 名で構成され、他方専門コースにおいても当初想定 of 25 名～30 名規模を上回る、平均 34 名が受講した。最終年度

に当たる2019年度は実質6ヶ月間の実施期間であったが、その間に通常コースが秋期と冬期の2回開講となったことで受講者が分散し、1クラス33名となった。

受講者数の伸びは専門コースにおいても確認された。この要因として、「経営シミュレーション」や「エクセルを使ったビジネス分析」「EPA-ビジネス活用の視点と実務」等の時代や企業ニーズに沿った新たな講座が受け入れられたものと考えられる。またそれと同時に、海外進出を目指す企業を対象とした「文化と経営」「貿易戦略」等、話題性のある講座も提供できたことが、MOJC ビジネスコースの先進性の訴求に資することになったものと思われる。

## 2) 満足度推移

本プロジェクト期間中の受講者満足度（「非常に満足」及び「満足」）の推移を下記図3に示す。

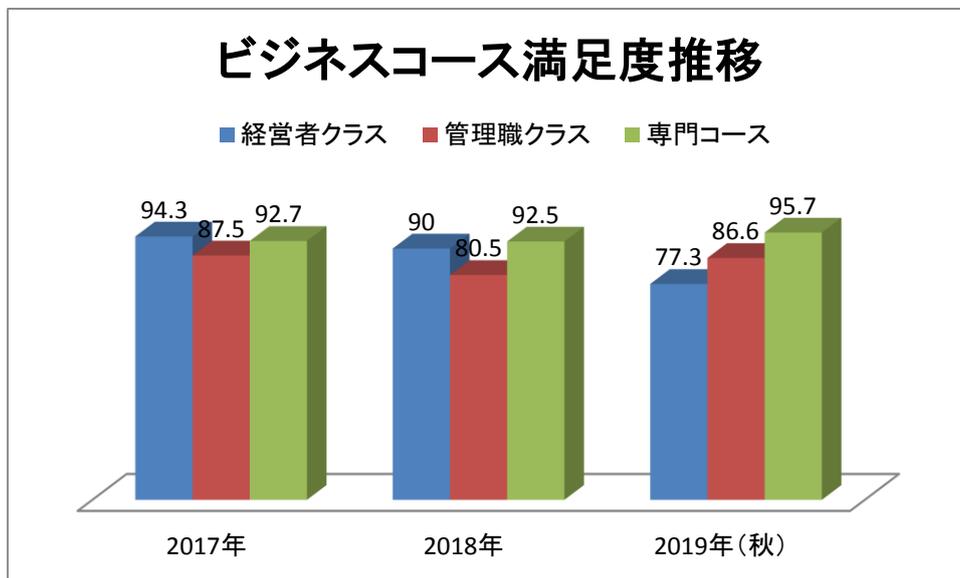


図3 ビジネスコース満足度推移

受講者の満足度に関しては、講座ごとに受講者アンケートにて確認を行っている。2017年度からの推移では、専門コースでは常時92%以上の満足度が確保できた。高い満足度を得た理由としては、専門コースについては、グループワーク、ゲーム、プレゼンテーション等の参加型の講義が多く、受講者の参加意欲を常に高める工夫がされていたことが挙げられる。通常コースについては、モンゴル国及び他国の事例紹介が多くあることや、応用可能な管理手法等、実践面での有効性が評価されている。他方、上記図3で示すように2018年度、2019年度（秋期）での通常コースの満足度が下がっている背景は、「マーケティング」講座の評価が影響し、過去の実績を大幅に下回った結果である。講師の講義準備不足から教材の未消化部分が多く発生したことや、アクティブラーニング要素の少ない一方的な講義形態であったこと、さらに紹介した事例のコンセプトを伝えきれなかったことがそ

の要因であると考えられる。2019年度（秋期）の受講者に対しては、その挽回策として希望者を募り、モンゴルにおける実績のある講師による「マーケティング補講」を行い、フォローアップを実施した。

### 3.1.1 通常コース（経営者クラス・管理職クラス）受講者分析

#### 1) 通常コースクラス別受講者年代構成推移

市場経済下において競争に打ち勝つためには、組織として力を発揮することが重要であり、企業内でそれぞれの役割に応じた職責を果たすことが、組織の活性化を促す面で欠かせない。本事業の2年目（2016年）より通常コースは職責に応じた能力を強化すべく、「経営者クラス」「管理職クラス」を提案し、推進してきた。それぞれのクラスの受講者の年代別推移を分析することで、経営者の若返りの傾向を確認する。

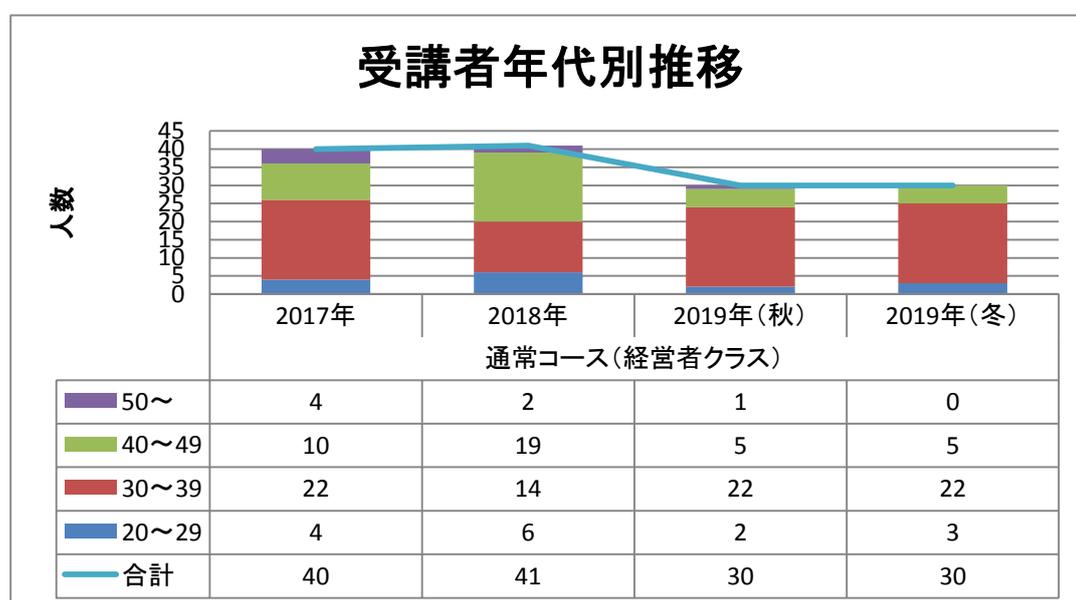


図4 受講者年代別推移（経営者クラス）

図4の通り、経営者クラスでは2017年時点で50代の参加者が4名いたが、2019年時点で1名と減少しており、29歳以下の若年参加者数には大きな変化は見られない。核となる30代から40代の層では、30代の層の構成比に大きく増加傾向が見られ、経営者としてこれから経験を積む世代が受講者の中心となってきていることがわかる。2019年に40代の比率が減少した背景には、従来年1回の実施であった通常コースに落選していた30代の経営者による若い企業が、年2回開催になったことで受講が可能となったため、相対的に比率が下がったものと考えられる。

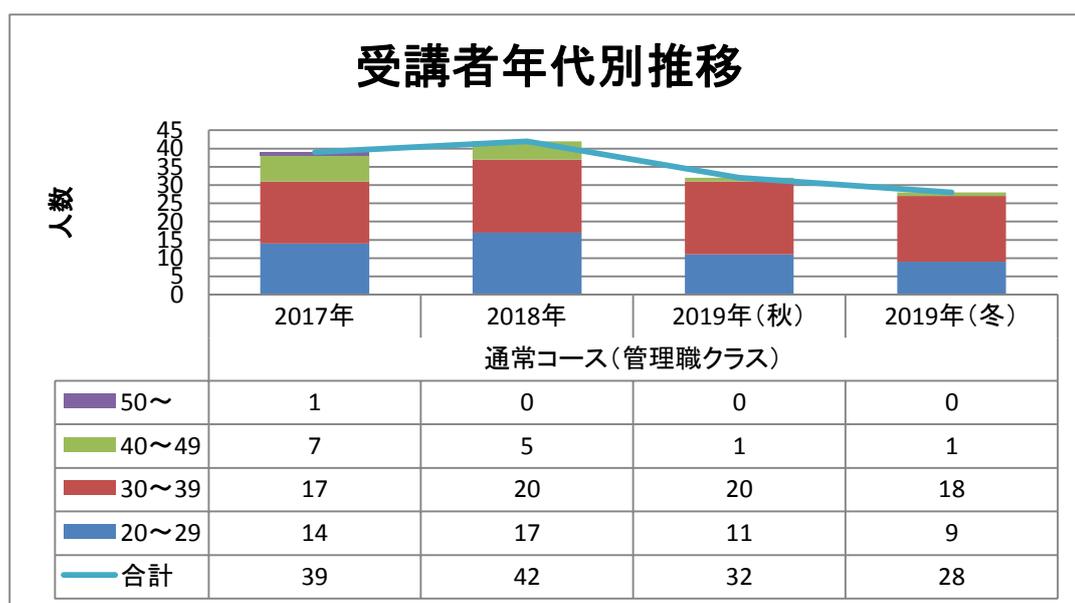


図5 受講者年代別推移（管理職クラス）

図5の通り、管理職クラスにおいては、中堅であるといえる30代の受講者がクラスの中核を占めており、更に若手となる20代の参加者と合わせると、90%以上を占める。経営者クラスでは30代、40代で受講者の90%を占めており、今後のビジネスの中核を担う年代がMOJCのコースを受講していると言える。

## 2) 通常コースクラス別受講者役職構成推移

経営者及び管理職のクラス別コースを推進する以前は、役職混合で通常コースを実施していた。本事業1年目に実施したニーズ調査において、役割の違いから階層別としたコース展開が望ましいとの意見を受け、現在の2クラスでの推進体制が構築された。

コースの狙いと受講者の階層の整合性を確認するために、それぞれのクラスにおける受講者の階層別構成比を分析する。

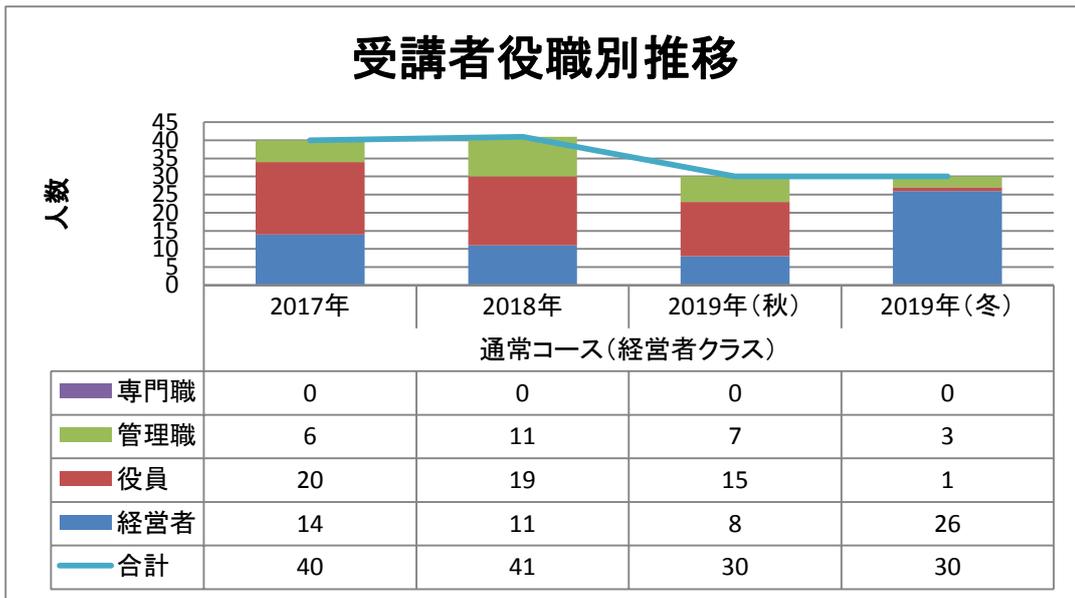


図 6 受講者数役職別推移 (経営者クラス)

図 6 の通り、経営者クラスでは想定通り役員・経営者レベルの参加者が 73%~85%を占めており、コース設計の意図通りとなった。

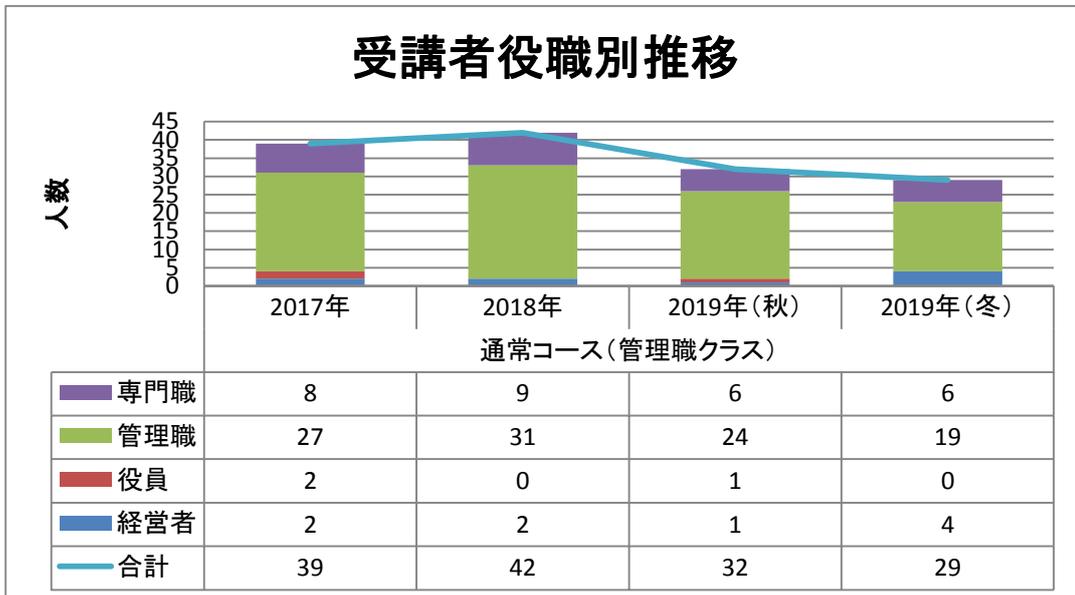


図 7 受講者数役職別推移 (管理職クラス)

図 7 の通り、管理職クラスにおいても、該当期間における構成比は 86%~95%と高い値を示し、当初の設計の意図が浸透していると思われる。

### 3) 通常コースクラス別受講者企業規模推移

受講者の企業規模を分析することは、モンゴルの中小企業への貢献という視点から重要である。

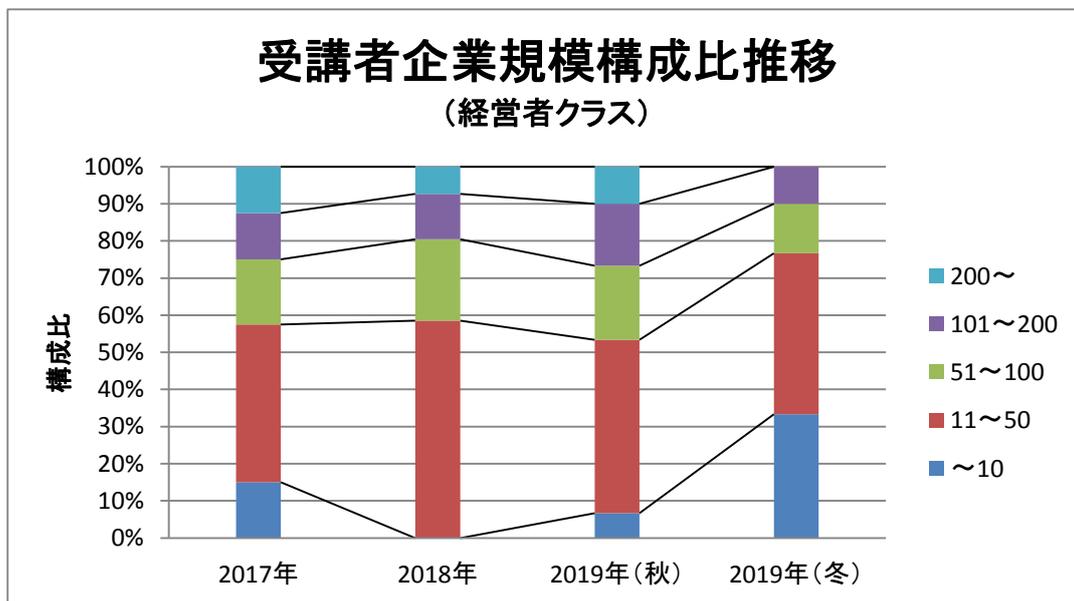


図 8 受講者企業規模構成比推移 (経営者クラス)

図8の通り、直近の3年間での実績は50名から100名規模の企業が中核となっているが、最終年度においては従業員10名以下の企業の比率が急伸している。背景には年間2回の通常コースの実施によって、受け入れ企業数が増加したことにより、受講企業の多様化が進んだことが考えられる。

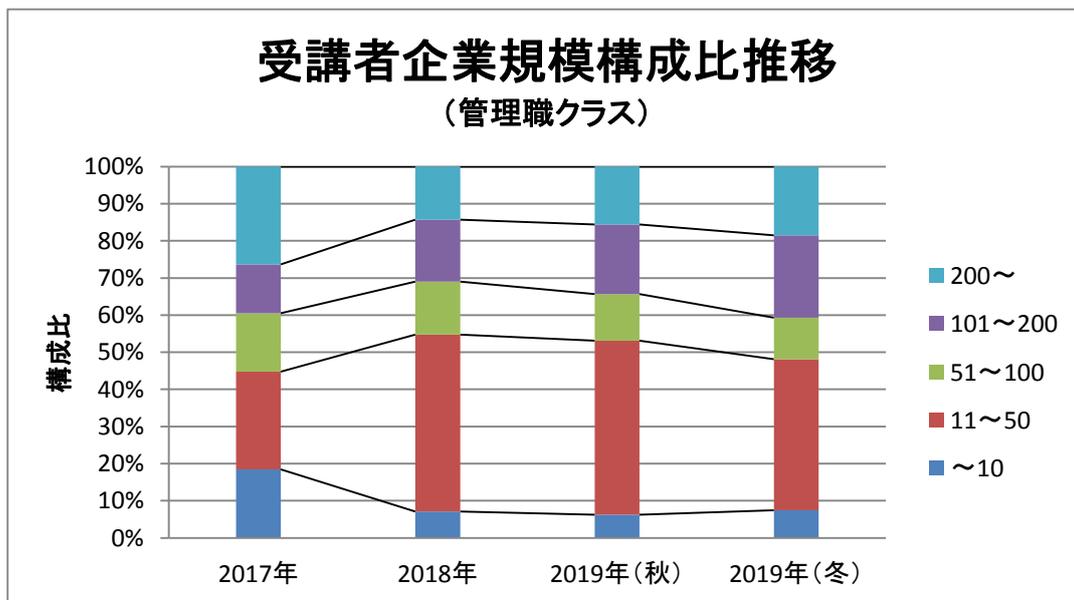


図 9 受講者企業規模構成比推移 (管理職クラス)

図9の通り、管理職クラスの受講者企業規模においては、構成比に大きな変化は見られず、従業員100名以下の企業が受講者の約半数を占める状況である。

#### 4) 通常コース業種別受講者構成比推移

本プロジェクトにおいては産業の多角化に裨益する活動が求められており、MOJCのビジネスコース実施においても、鉱業以外の業種の成長に資する活動が重要なポイントとなっている。当該年度における受講者企業の業種の推移を分析することで、今後の成長分野を意識し、将来日本企業とのビジネスマッチング等を意識した際のコース設計やビジネス交流イベントに活かすことができる。

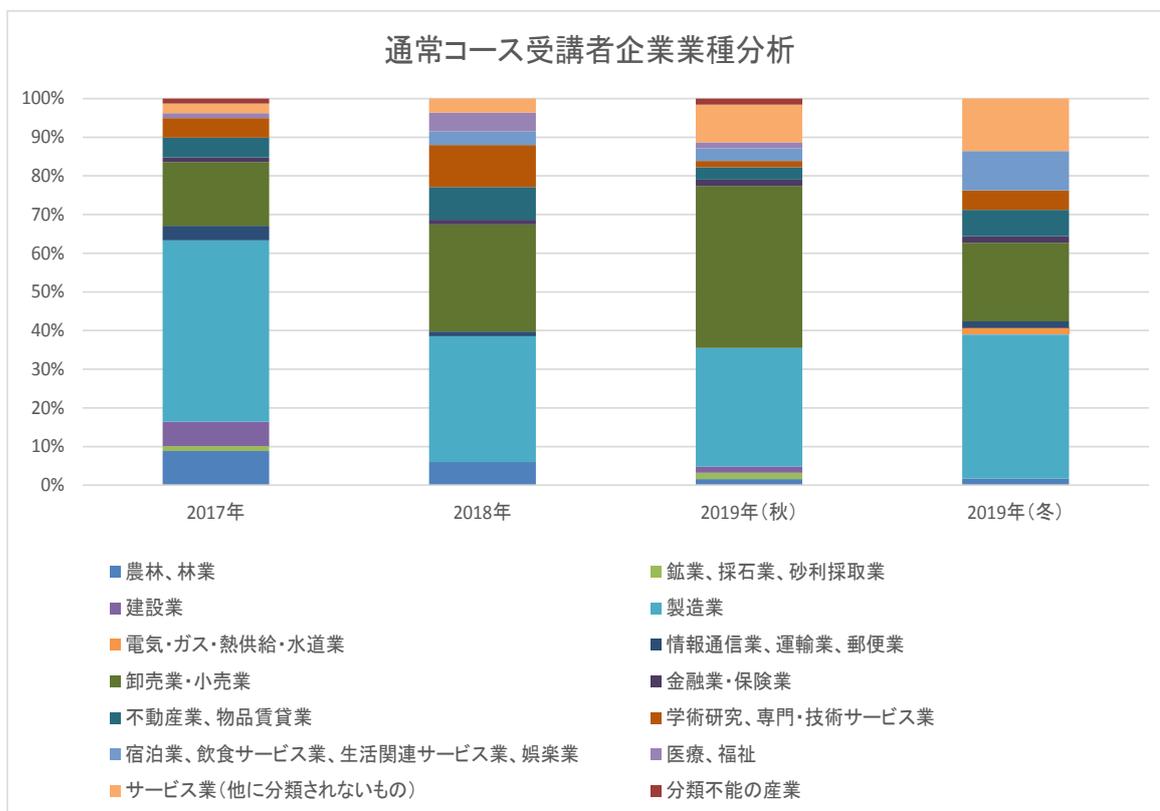


図10 通常コース受講者企業業種分析

図10の通り、年度毎にバラつきはあるが、卸売業・小売業の構成比がやや縮小傾向にあり、他方、製造業の構成比が拡大傾向にある。特に、2019年(秋期)コースでの受講者企業においては製造業の増加が顕著であり、家具製造販売、カシミア製品の製造販売、ドライフルーツ・健康食品等の分野での増加が顕著である。構成比として多くを占める卸売業では、海外取引等の輸入品卸分野が多い。これらの成長分野を意識することで、今後のコース設計や日本企業とのビジネスマッチングに活かすことができる。コース設計においてはこれらが成長分野であることを踏まえ、従来のプロダクトアウトからマーケットインへの発想の転換を促すべく、市場規模の分析、消費者ニーズの変化、商品企画への反映、ものづくり品質の維持向上、それらを支える資源としての人材育成、将来図を示す経営戦略、

さらに経営者哲学の確立という流れを作り出すことが、市場での競争力強化に貢献するものと思われる。日本企業とのビジネス交流を目指す企業に対しては、本プロジェクト第2年次に実施したシリーズ3講座（「文化と経営」「展示会出展実務」「貿易戦略」）のような、海外企業とのビジネスマッチングを目指した講義をブラッシュアップして再度実施することも要検討である。ビジネスマッチングを成功させるには、本邦での展示会出展を意識した研修プログラムが重要ではないかと考える。

なお、業種の分類は総務省告示による「日本標準産業分類」に従った（添付資料2参照）。

### 3.1.2 専門コース講義実績

本プロジェクトにおいて、専門コースは累計29講座が実施され、862名が受講した。第3年次は通常コースを2回実施したことで、専門コースの実施回数が削減となった。また、既に記載した通り、第3年次の「店舗管理」「経営シミュレーション」は未実施となった。

受講者の満足度は92%~95%のレベルで推移した。これは受講者ニーズに沿った講座が実現でき、モンゴル企業に受け入れられた結果であると考えられる。他方、海外進出を目指す企業向けに開発した3講座「展示会出展実務」「文化と経営」「貿易戦略」は受講者が13名~16名に留まり、海外進出に関心を持つ潜在需要の掘り起こしが今後の課題である（添付資料1参照）。併せて、FOODEXや日本企業とのビジネス交流会を通じたビジネスの成功事例の紹介等も、需要の掘り起こしに貢献するものと思われる。

### 3.1.3 モデル企業課題解決プログラム／企業内研修の実績

#### 1) モデル企業課題解決プログラム

プロジェクト期間中、指導を行ったモデル企業は13社に及ぶ。そのうち2社は、講師の日程上の問題、課題と指導内容の齟齬から中止となり、実際に課題解決に向けての指導を実施したのは11社となった。

選考にあたっては、企業からの要望書の提出を受けて企業リストを作成し、プロジェクト総括が面談・現場確認と書類審査によって候補を絞り込んだ後、関係者間での協議を踏まえてモデル企業を決定した。その後、課題の再確認を行ったうえで企業からの合意を取得して指導（現場指導及びグループ指導）を開始し、実施後に評価及び今後の課題を確認するという流れを構築した。実施の際は、複数の日本人講師と現地講師がチームを組み、モデル企業の抱える課題を解決するという手法を取った。

13社の業種、課題、成果の一覧を下記表2に示す。対象13社中、中止の2社を除いた全社で成果が発現している。成果は行動変容にも表れており、「以前は従業員のミスを叱っていたが、それを当事者だけの問題とするのではなく、ミスを撲滅するため皆で知恵を合わせることを学んだ」「5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）の定着にむけて経営者がリーダーシップをとることの重要性を理解した」等のコメントが経営者より寄せられた。今後の課題は各社共通して自律的な維持管理の仕組みを構築することである。

表2 モデル企業課題解決プログラム一覧

年度	企業名	業種	テーマ	担当講師	成果と課題
2017年9月～2018年6月	Asterrisk Technology 社	ビジネスソフト設計と販売	アフターサービス体制の構築	上東講師 平川講師	中止
	Autosos 社	交通事故保険処理代行	人材育成プログラムの構築	山崎講師 平林講師 現地講師	評価制度が確立し運用している
	Dolonboldog 社	台所家具製造・販売	生産管理・不良品削減	増田講師 現地講師	人為的ミスによる不良発生率が42%から20%に減少した
	Tsoba 社	住宅用土地開発	経営戦略	河口講師 千種講師	経営戦略が確立した
2018年9月～2019年6月	Monbakery 社	パン・菓子製造・販売	事業戦略構築	河口講師	事業戦略を共有した
	Summit Computer 社	PC関連商品輸入・販売	KPIと評価	河口講師 上東講師	中止
	Monfood 社	グラノラ食品製造・販売	人事管理手法	山崎講師 現地講師	離職率が改善した(離職社員6名が復職した)
	Asylmura 社	カザフスタン民族刺繍製品製造・販売	生産管理・工程の見える化	増田講師 現地講師	品質不良が削減した
	Snowfields 社	カシミヤ製品製造・販売	店舗管理・接客向上	上東講師	接客マナーが向上した
2019年9月～2020年3月	AutoHub 社	車両修理メンテナンス	作業工程改善	増田講師 現地講師	生産性が向上した
	Khaan Jimis 社	果実食品加工	製造工程での5S、改善	増田講師 現地講師	5Sの維持が可能となった
	Monhourus 社	電気設備設置、管理	経営戦略再構築	河口講師	経営戦略を共有できた
	Monos Food 社	食品加工・販売	人事管理とリーダーシップ醸成	山崎講師 現地講師	進行中

2) 企業内研修

企業内研修は、延べ29社に対し50回実施した。

下記に実績を示す。受講企業の評価アンケートは31回実施しており、その満足度（「非常に満足」及び「満足」）は各年度93%～96%を示している。

企業内研修は講師の派遣期間に合わせた形で、その専門性に従って募集がかけられる。対象企業はビジネスコース修了企業とし、日本人講師が対応可能な内容であるかどうかの判断やスケジュール作成等、一連のプロセスはすべてMOJCスタッフ主導で行われている。日本人講師はMOJC側が設定した事前打ち合わせ時に直接企業と面談を実施し、テーマの確認を行ってから研修に当たっている。企業内研修はオーダーメイド講義のため、企業側

のニーズに沿った講義形式（グループワーク、ゲームによる学習等）を取り、柔軟に対応している。

表3 企業内研修実績（2017年度）

【企業内研修】実績(2017年9月～2018年6月)と受講者評価											
企業名	業種	指導分野	講師名	実施日	回答者数	非常に満足	満足	普通	やや不満	不満	その他
モンゴル国立大学	高等教育	経営戦略	河口	9月22日	15	5	10	0	0	0	0
		HRM教授法	山崎/平林	10月24日	13	8	5	0	0	0	0
		マーケティング教授法	上東	11月23日	8	4	4	0	0	0	0
		財務管理	千種	3月5日	13	0	9	4	0	0	0
		経営シミュレーション	上東	4月9日	11	8	3	0	0	0	0
Kitchen All社	キッチン家具製造販売	店舗管理	上東	11月30日/2月1日							
		財務管理	千種	3月9日	8	1	7	0	0	0	0
		KPI	河口	3月22日							
シレンヒーツ社	パネル製造販売	店舗管理	上東	11月27日/28日							
		コンピテンシーと評価	平林	2月8日	10	3	7	0	0	0	0
Vitafit社	飲料製造	経営戦略	河口	9月25日							
Autosos社	保険サービス	オフィスの5S	増田	12月15日	18	8	10	0	0	0	0
MCPT社	コークス	ビジネス連携(スカイプ)	平川	1月12日	2	0	2	0	0	0	0
新モンゴル高専	教育	コンピテンシーと評価	平林	2月7日	31	6	21	3	1	0	0
Tsoba社	土地開発	財務管理	千種	3月5日/6日	4	0	3	1	0	0	0
Batbaigal社	パン製造販売	財務管理	千種	3月6日/8日							
JurU社	パン製造販売	店舗管理	上東	4月5日	14	6	7	1	0	0	0
Angel Baby社	衣料品	店舗管理	上東	4月11日	12	3	8	1	0	0	0
Erdenebulgan社	不動産業	資金調達	阿出川	5月25日							
Joy Token社	IT関連	E-Commerce	佐野	6月22日							
合計					159	52	96	10	1	0	0
満足度(平均)						32.7%	60.4%	6.3%	0.6%	0.0%	0.0%

表4 企業内研修実績（2018年度）

【企業内研修】実績(2018年9月～2019年6月)と受講者評価											
企業名	業種	指導分野	講師名	実施日	回答者数	非常に満足	満足	普通	やや不満	不満	その他
Erdenebulgan	不動産業	KPI	河口	10月1日	8	5	3	0	0	0	0
		マーケティング	玉田	11月19日	11	1	9	1	0	0	0
			玉田	11月22日							
		経営戦略	河口	5月7日/9日/10日	8	5	3	0	0	0	0
Doloon Boldog社	家具製造	採用	平林	1月17日	17	3	13	1	0	0	0
		人材育成	山崎	2月20日							
Monfoodland	食品製造	マーケティング	玉田	11月20日	14	9	5	0	0	0	0
		店舗管理	上東	3月24日	8	2	6	0	0	0	0
International病院	医療	経営戦略	河口	10月4日							
Nomin Construction	建設業	マーケティング	玉田	11月21日	13	7	6	0	0	0	0
DBM Leasing社	リース業	財務管理	千種	12月11日	12	10	2	0	0	0	0
Snowfield社	カンミヤ製品製造	評価制度	平林	1月18日/22日	10	5	5	0	0	0	0
Asylmura社	刺繍製品製造	リーダーシップ	山崎	2月15日	28	23	5	0	0	0	0
モンゴル国立大学	教育	人材育成ワークショップ	山崎	2月19日	18	7	11	0	0	0	0
Summit社	小売	店舗管理	上東	3月19日/20日	5	2	2	1			
ハーン銀行	金融	店舗管理	上東	3月23日	43	10	28	2	2	1	0
Vitafit	飲料製造	生産管理	増田	4月1日/2日	24	9	15	0	1	0	0
省庁向け研修	省庁	貿易戦略	藤原	4月9日/10日	16	3	12	1	0	0	0
合計					235	101	125	6	3	1	0
満足度(平均)						43.0%	53.2%	2.6%	1.3%	0.4%	0.0%

表5 企業内研修実績（2019年度）

【企業内研修】実績(2019年9月～2020年1月)と受講者評価											
企業名	業種	指導分野	講師名	実施日	回答者数	非常に満足	満足	普通	やや不満	不満	その他
モンゴル国立大学	教育	Web-マーケティング	青海	11月4日	8	2	5	1	0	0	0
Teso	サービス	生産管理・自動化	増田	11月13日	12	1	10	1	0	0	0
Batbaigal社	パン製造販売	TPS(JIT)	増田	11月15日	18	3	15	0	0	0	0
合計					38	6	30	2	0	0	0
満足度(平均)						15.8%	78.9%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%

### 3.1.4 現地講師・コンサルタント育成コースの実績

MOJCの自立的な発展のための人材確保に向けて、本事業の第2年次より「現地講師・コンサルタント育成コース」をスタートした。育成期間は2年間の理論と実践、オフサイト研修と、3年目の実習から構成された。

コースは有料であり、公募ベースで行われ、一般の候補者7名から2名が選考された。選考においては専門性、コミュニケーション力、経験等が考慮され、MOJC スタッフ及びプロジェクト総括が同席のもと面接を行い、MOJC 側が決定した。

指導にあたる日本人講師のビジネスコース講義での派遣期間を利用した活動が主となるため、本格的なコンサルタント育成プログラムとは異なり、短期的かつ視覚的に現場での成果が出し易い、「5S」を中心とした品質・生産性分野、「店舗管理・顧客管理」を中心としたマーケティング分野に絞った。これにより、現場の事例に詳しい「5S」と「店舗管理・顧客管理」を指導できる現地講師2名が育成され、2019年及び2020年にMOJC からの修了証が授与された。

現在、2名の現地講師は、それぞれMOJC の基礎コースでの講師やモデル企業課題解決プログラムのフォローアップ業務等をMOJC から依頼されて実施している。このように現地講師はコース修了後の活動の場をMOJC から提供され、MOJC 側も現地講師ネットワークとして活用することができており、現地講師とMOJC の良好な関係が確保されている。

指導の流れを下記の図11に示す。

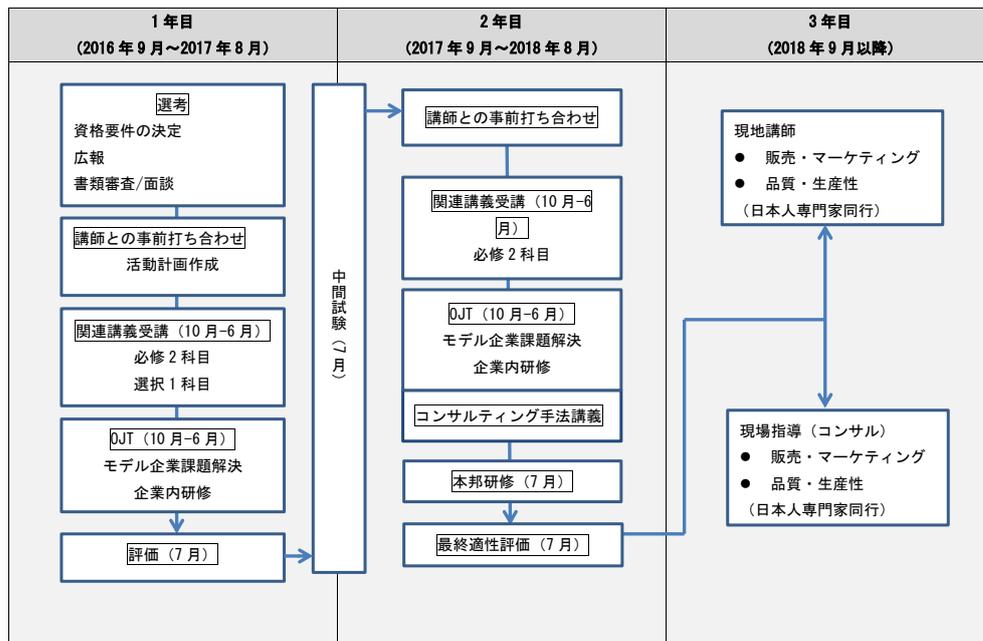


図11 現地講師・コンサルタント育成コースの指導の流れ

### 3.1.5 本邦研修受け入れ実績

本プロジェクト期間において、通常コースの優秀者及びモデル企業課題解決プログラム受講企業従業員、MOJC 職員、C/P 機関関係者等をMOJC 主導で選抜し、二度の本邦研修受け入れを実施した。すなわち、

- ①2018年9月3日開講～9月14日閉講「ビジネス人材育成研修」(研修員18名)
- ②2019年9月2日開講～9月13日閉講「モンゴル日本人材開発センター(MOJC)ビジネス人材育成研修」(研修員25名)

である。

上記の研修では、通常コース等の講義や討議及び「モデル企業課題解決プログラム」を通して学習した項目を日本の現場で確認し、日本企業の経営者がどのような経営戦略のもとビジネス活動を進めているかを学び取ること等により、MOJCでの講義と討議を補完し、理解を深めて自社の経営改善に役立てることを目的とした。また、将来的に日本企業と業務提携したり、取引を行ったりするために必要なステップとして、モンゴル国に関心を持つ日本企業とのビジネス人材交流を促進する場としても期待され、モンゴル常駐の直営専門家（ビジネス交流分野）である中村功専門家が一部行程に同行し、ビジネスセミナーを実施した。

研修全体概念図は以下の通り。

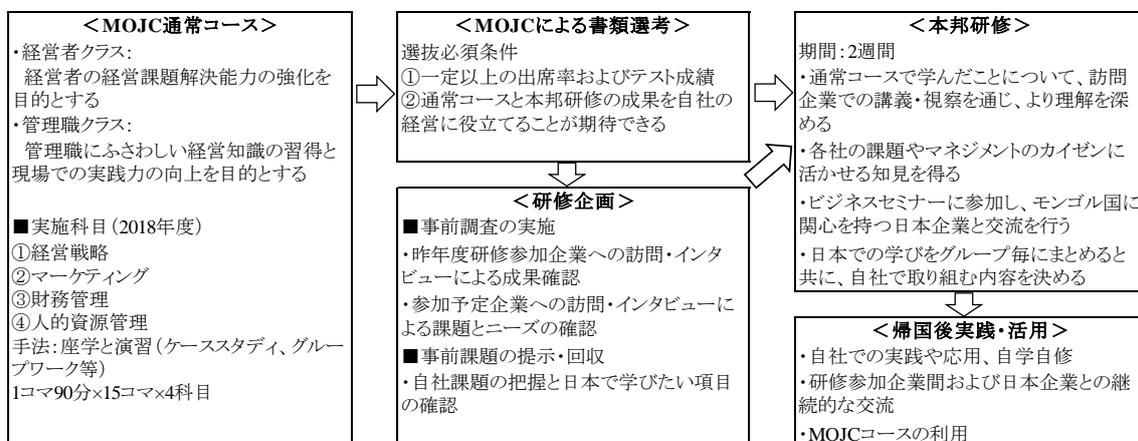


図 12 本邦研修全体概念図

各研修のプログラム、研修員リスト及び成果発表概要は添付資料3「本邦研修受け入れ実績」を参照。

#### 1) 研修テーマの設定・企画方法

研修プログラムの企画にあたっては、MOJCと連携を取り、コースリーダーである総括及び本邦研修運営管理担当が研修参加予定企業を訪問し、課題や研修へのニーズの確認を行った。また昨年度の研修参加企業への訪問やインタビューも実施し、本邦研修の成果を確認するとともに、効果的な研修内容についての聞き取りを行った。その結果、「ビジネス人材研修」（2018年）では、①ワークショップ形式の5S・カイゼン講義、②人材重視企業への訪問の2点を、「MOJCビジネス人材育成研修」（2019年）では、①企業代表者による経営理念や企業文化についての講義、②人材重視企業への訪問、③ワークショップ形式の5S・カイゼン講義、の3点を必須とし、現地コースで指導に当たった講師陣の意見も取り入れたうえで、C/Pスタッフ及びMOJC常駐の直営専門家への確認を踏まえてプログラムを決定した。

事前課題から成果発表資料までを兼ねたフォーマットをあらかじめ用意して研修員に提示し、各自の課題と日本で学びたいことを来日前に、実際に学んだこととアクションプランを来日後に記載させ、見える化することで、各社の課題とアクションプランに齟齬が生じないように考慮した。

他プロジェクトの本邦研修で満足度の高かった行程を踏襲し、初日に各自の課題を確認した後、導入講義⇒前半プログラム実施⇒コースリーダーのファシリテーションによる振り返り・後半への意識付け⇒後半研修プログラム実施⇒研修のまとめとしての成果発表、という流れを取った。

「ビジネス人材研修」（2018年）では、MOJCからの要望により、多岐にわたる業種・職種の研修員のニーズに応えるため、ものづくり系とサービス系の2グループに分かれての研修期間を2日間設けた。他方、「MOJC ビジネス人材育成研修」（2019年）は25名という大人数であったが、昨年度生じた訪問先を違えることによる不満を避けるため、全員が同じ企業を訪問した。各自の課題や業種を考慮してMOJCが4グループに分け、ディスカッションや成果発表をこのグループ毎に実施することで、訪問先の業種に関係なく、全グループが何らかの学びを得ることを目指した。

いずれの研修においても研修企画（訪問先選定・調整）再委託先として、豊富な研修経験と関西における幅広いネットワークを持つ公益財団法人太平洋人材交流センター（PREX）を選定した。

## 2) ビジネス交流イベント

「ビジネス人材研修」（2018年）では、ビジネス交流イベントは東京と大阪で2回実施した。より多く集客が見込める東京では全研修員の参加を必須とし、JICA ビジネス交流支援専門家の中村氏やモンゴル商工会議所シニアボランティアの増田氏の支援の元、各自が自社紹介のポスターとプレゼンテーション資料を作成し、発表練習を行う等、来日前に周到に準備を行った。大阪のイベントには日本とのビジネスに関心が高い企業の研修員のみが参加し、日本企業と個別の面談を実施した。

「MOJC ビジネス人材育成研修」（2019年）においては、全体の人数に比例して役員クラス以外の研修員が多くなったため、ビジネス交流イベントは東京でのみ、全員参加でポスターセッションを実施した。業種ごとにばらつきはあったものの、ポスターセッションは盛況で、どの研修員も複数の日本企業と交流ができていた。

各イベントの概要は下記表6の通り。

表6 モンゴルビジネスセミナー&企業交流会（2018年）

開催日時	2018年9月5日（水） 13:00~17:00
開催場所	TKP市ヶ谷カンファレンスセンター（東京）

プログラム	(第一部) ・モンゴルビジネスセミナー ・モンゴル進出企業のための法律講座 (第二部) ・モンゴル企業各社プレゼンテーション ・交流会 (モンゴル企業ポスターセッション)
日本側参加人数	66名 (47企業・団体等)
リンケージ形成状況	【実施後研修員への聞き取り結果】 ①2社がウランバートル出店予定店舗への自社製品納品を前提に商談 ②1社がウランバートル出店予定ホテルチェーンへの自社製品納品を前提に商談 ③1社が今後のコンタクトを前提にコンタクト実施 【翌年度フォローアップ調査結果】 ①②については品質が合わずに納品は見送られていた。また、③についても、担当者の異動によりコンタクトが中断された。

表7 モンゴルビジネスセミナー&企業マッチング (2018年)

開催日時	2018年9月10日(月) 13:30~17:00
開催場所	グランフロント大阪北館タワーC (大阪)
プログラム	(第一部) ・モンゴルビジネスセミナー ・モンゴル進出企業のための法律講座 (第二部) ・企業プレゼンテーション及び個別面談、名刺交換、交流
日本側参加人数	28名 (25企業・団体等)
リンケージ形成状況	【実施後研修員への聞き取り結果】 ①1社が複数企業と名刺交換しコンタクトを実施した ②1社が業務提携に向けた協議を行った 【翌年度フォローアップ調査結果】 翌年実施した調査の結果、②については業務提携が実現していた。

表8 モンゴルビジネスセミナー&企業交流会 (2019年)

開催日時	2019年9月4日(水) 14:00~17:00
開催場所	TKP市ヶ谷カンファレンスセンター (東京)
プログラム	(第一部) ・モンゴル国概況紹介 ・モンゴルビジネスセミナー (第二部) ・交流会 (モンゴル企業ポスターセッション)
日本側参加人数	69名 (56企業・団体等)
リンケージ形成状況	【実施後研修員への聞き取り結果】 4社が今後のビジネス提携の可能性について話すことができたと回答した。

3) 研修成果

「ビジネス人材研修」（2018年）において、成果発表では、各自が抱えていた問題を解決するため、日本で何を見て何を学んだのか、帰国後にどのように活かして何を行うかが明確に示されていた。研修員からは「人を大切にする」「従業員を尊重する」「満足度を高める」という文言が頻繁に発せられ、その顔つきや行動からも、人材や顧客に対する考え方、企業の存在理由についての捉え方が研修の前後で大きく変わったことがはっきりと感じられた。帰国後の現地発表会に出席したチーフアドバイザーからも、研修員の満足度が総じて高く、過去のどの発表会よりも内容的に優れていて、時間も守られていたとの報告を受けた。

翌年に実施したフォローアップ訪問では、業種を問わず複数の企業において、モンゴル企業の課題である人材についての意識改革が行われていることが確認できた。例えば、保険サービス企業では帰国後に人事部門に専門家を配置し、採用時に能力だけではなく企業理念に合う価値観をもっているか確認するようになり、またパネル製造企業では、権限分与し、管理職者を増やすことで、企業の意思決定により多くの職員が関わるようになり、離職率が半分に減ったとの報告を受けた。

「MOJC ビジネス人材育成研修」（2019年）に関しては、研修員の人数が多く、業種・役職も多岐にわたっていたが、「従業員満足が顧客満足につながる」「無駄を削減する」「現場よりも経営の質を向上させること」「目標を見直すこと」「自社、協力者、顧客それぞれが幸せになる All Win を目指すこと」「朝礼を取り入れること」等、共通のキーワードが多く出たことから、経営者らしい観点で、全員が同じ方向を向いて研修に取り組んでいたことがわかった。

本邦研修参加企業に対するフォローアップ訪問は、研修成果の確認や、プログラムの改善案の検討、ビジネス交流イベント後のリネージュ形成状況を把握するために重要であり、次期フェーズでも継続した実施が求められる。

#### 4) 類似の本邦研修を企画する場合の教訓・留意事項

研修アンケートの結果、研修終了時の研修満足度はいずれも5点満点中の4点台後半と、非常に高い満足度を得た。その背景には、MOJC との連携の下、①昨年度参加研修員企業訪問・インタビュー/今年度参加予定者企業訪問・インタビュー、②事前課題～成果発表資料のフォーマット化、の2点を実施したことが考えられる。特に、大半の研修員の企業に赴き、インタビューとともに現場の様子を調査したことで、業種がバラバラな中においても共通する課題を抽出することができ、カリキュラムの策定に大いに役立った。以降も、コンサルタントが担当する本邦研修においてこの方法を実施していくと共に、MOJC が必要な情報を自律的に収集することができるようになるよう、現地化の方法を検討して推進したい。

2回の研修において、特に高評価だった企業には共通して「人を大切にしている」「理論ではなく実践が学べる」という特徴がみられた。満足度の高い研修を行うためにはまず現

地調査を基本とし、それにこれらのポイントを加えて訪問先を検討していく企画プロセスが今後も必要であろう。

研修実施に当たっては、研修監理員を介してしかコミュニケーションの取れない（英語を話すことのできない）研修員も多い中、文化や習慣の違いにより苦慮することがあった。研修監理員にすべてを任せるのではなく、コミュニケーション可能な研修員を早い段階から見つけて話し、モンゴル人同士で注意を促す環境を作ることで、日本的な集団行動を身をもって体験させ、意識改革につなげることが重要である。

### 3.2 インパクト調査の実施実績

2002年6月に開講したMOJCのビジネスコースは本調査開始時において17年目を迎えた。ビジネスコース受講によるモンゴル企業へのインパクトを計測・分析する観点から、コース修了生のその後をフォローアップ調査した。

モンゴル企業へのインパクトは、妥当性、持続性、有効性、効率性の4つの評価基準から確認した。妥当性においては、MOJCビジネスコースのカリキュラム内容と、講座受講後の企業における売上や顧客数の増加、赤字事業の減少等の経営改善との関連性からその効果を測った。有効性においては、受講企業や社会に対する貢献度（雇用増が達成されたか等）、効率性においては「通常コース」での「経営者クラス」「管理職クラス」において適正な対象者が参加しているか、該当する役職者の参加比率を評価基準とし、持続性においては、ビジネスコースに継続的に受講者を送る企業数を判断基準とした。対象50社の主な調査項目に対する変化は以下の通りであった。

**売上高**：2014年度比で平均130%（2.3倍）を示した。

**利益率**：主要産業である中国向け鉱物資源の下落を受けた経済の低成長下で、多くの企業が利益率を落とす傾向が見られた。50社中34社が利益率20%以下を示した。

**従業員数**：2014年度の合計約2,000名に対し、2018年度は約2,700名に達した。

**離職率**：採用人数に対する離職率は2014年度比で57%から68%と悪化した。この背景には低成長下における外国への出稼ぎの影響があるものと思われる。

**平均勤続年数**：退職者の平均勤続期間は2014年度比で0.8ヶ月から18ヶ月となり、在職期間は長期化の傾向にある。

**顧客数**：2.5倍に増加している。

**クレーム数**：増加傾向を示した。

**品質不良率の改善**：回答12社中、7社で改善が見られた。

調査から得られたデータ分析から、講義を通して得られた様々な知見を企業で応用していることがわかった。「経営戦略」では事業が計画的に行われるようになった、売上が上昇したと評価する企業が50社中35社、「マーケティング」においては顧客数が増加したと評価する企業が50社中36社、「財務管理」においては赤字事業がなくなった・減ったと評価

する企業が50社中24社、「人的資源管理」においては従業員間のコミュニケーションが改善したと評価する企業が50社中34社に上り、講座の妥当性が確認できた。有効性においては、対象50社における雇用増が2014年度の2,000名に対し、2018年度は2,700名となり、修了企業の社会に対する雇用増面での貢献度が認められる。持続性においては、「通常コース」に2名以上の受講者を送る企業が調査機関の5年間で30社認められ、さらに10%の企業では10名以上の社員が受講者となっていたことから、モンゴル企業における人材育成機関としてのMOJCビジネスコースの定着が伺え、持続性の高いコース運営ができていていると言える。効率性の視点では、「経営者クラス」における経営者の参加率が84%、「管理職クラス」における管理職の参加率が72%という結果を示し、コースの内容と対象者が一致していると評価できる。

更に、コース運営はコンサルタント、MOJCスタッフ、長期専門家との意見交換を踏まえて実施されており、講義後の意見交換会等に至る一連の活動はスタッフのOJTとなり、組織の持続性の確保に向けた準備が進められている。本インパクト調査においてもMOJCスタッフは現地再委託先コンサルタント企業と協働してインタビューに当たっており、自主的にビジネスコースの成果確認を進めた。ビジネスコースの自律運営に向けたコースの効果確認を行う体制の構築が今後の課題だと思われる。

今後のビジネスコースのあり方として、現地スタッフと受講者企業、モンゴル国立大学関連機関等のネットワークを強化することで、更なる現地化の推進を可能とし、現地の課題解決に資するコース設計を自ら行えるようにすることと料する。

インパクト調査の詳細は添付資料「インパクト調査報告書」を参照（和文のみ）。

### 3.3 事例集作成実績

事例集作成においては、インパクト調査対象の50社から、販売増、クレーム数変化、不良率変化、従業員定着率変化等が優れていた下記11社を選考した。

表9 事例集作成企業リスト

企業名	業種	選考の視点（受講時起点）
Asylmura 社	カザフスタン民族刺繍製作・販売	販売増 125%
Dolonboldog 社	キッチン家具製造・販売	不良率削減△20%
General Etalon 社	建材製造（コンクリートブロック）	利益率増加+5%
Gobi Khangai Mebel 社	家具製造・販売	クレーム数減△44%
Ikh Erin Holding 社	自動車修理メンテナンス	販売増 200%
Khan Jimis 社	健康食品製造・販売	販売増 460%
Monfood Land 社	グラノラ食品製造・販売	従業員定着率
Monmaslo 社	輸入食品販売、小麦製品製造・販売	販売増 267%
Monos Food 社	健康食品製造・販売	クレーム数減△23%
Monshibasaki 社	自動車部品委託製造	日本企業の生産委託
Shilen Khiits 社	ガラス窓枠、建材製造販売	販売増 260%

事例集作成の主な目的は、講義において事例紹介することや、それによって受講者のモチベーションを向上させることであり、ビジネスコースの受講前後での各種経営数値の比較や、変化のきっかけとなったターニングポイント、定着に向けた努力、今後の課題といった内容で構成される予定である。MOJCの広報ツールとしての活用も検討するが、MOJCの一時閉鎖の影響により、完成は一時延期となっている。

### 3.4 本プロジェクトにおける活動成果

#### 3.4.1 ビジネスコース運営管理に関する技術移転

MOJCでは毎週月曜日にMOJC全体での会議、また、火曜日にビジネス課としての課内会議が開催されており、MOJCの課題、ビジネス課としての課題や情報を共有する仕組みが確立している。コンサルタントは滞在時にビジネス課の課内会議に出席し、情報を共有するとともに、MOJCの要請に応えるための打ち合わせや、提案や課題の共有を行った。また、講義の質の確保とカイゼン、受講者の満足度を確保するための意見交換会へも参加し、配置された日本人講師の課題や教授法の見直し等、コンサルタント側の課題も確認したうえでカイゼンに向けたフィードバックを講師に行い、次回以降のカイゼンに繋げるフォローアップ活動も同時に行った。

#### 3.4.2 JICA及びプロジェクト関係者への定期報告

プロジェクト期間中におけるJICAに提出した報告書の実績と、主な報告内容を示す。

表 10 報告書及び報告内容の実績

年次	報告日付	主な報告内容
第1年次	2017年9月	「業務計画書」提出
	2017年11月	「現地業務報告」2017年9月～2017年11月活動実績報告 「Business Development Course」コンセプト説明
	2018年3月	「現地業務報告」2017年12月～2018年2月活動実績報告 インパクト調査事前打ち合わせ
	2018年5月	「現地業務報告」2018年2月～2018年5月活動実績報告 本邦研修事前意見交換
	2018年7月	「プロジェクト業務進捗報告書（第1年次）」
第2年次	2018年7月	「第2年次コース実施計画書案」
	2018年11月	「現地業務報告」2018年9月～2018年10月活動実績報告 本邦研修フォローアップ
	2019年3月	「現地業務報告」2018年9月～2019年3月活動実績報告 インパクト調査推進での意見交換
	2019年6月	「現地業務報告」2018年9月～2019年6月活動総括 次年度ビジネスコース設計説明
	2019年7月	「プロジェクト業務進捗報告書（第2年次）」
第3年次	2019年7月	「第3年次コース実施計画書」
	2019年11月	「現地業務報告」2019年9月～2019年11月活動実績報告 インパクト調査進捗報告
	2020年5月	「プロジェクト業務完了報告書」

## 第4章 プロジェクトの今後の課題と提言

### 4.1 ビジネスコースの運営体制

講座運営に関しては、本事業の第2年次より「通常コース」の二分化、「専門コース」での科目増、更に現地講師による「基礎コース」が定着している。受講者ニーズに合わせたコースの多様化により、受講者数は「通常コース」においては2015年度の196名から2018年度には332名にまで増加した。更に「専門コース」では2015年度130名から2018年度308名にまで増加し、MOJCの収益向上に貢献した。また本プロジェクトの第3年次より、「通常コース」でのフォローアップセミナー等、コースでの学習成果の定着を目指す新たな試みを実施している。本プロジェクト第3年次においては、「通常コース」実施回数を1回から2回に増やし、受講希望者が全員受講できる体制を構築した。

その一方で、本プロジェクトでは日本人講師の講座実施に関し、配置日数による制限から、2019年度秋期クラスにおいて1日で2回の講座（午前中「経営者クラス」、午後「管理職クラス」）を実施せざるを得ない状況が発生した。1日7時間超の講座は講師への負担が大きく、質の低下を招く要因となるため、「経営者クラス」と「管理職クラス」は2週間に分けて指導する、現地講師との共同講義体制を敷き、身体的な負担を軽減する等の改善が今後の課題であると思われる。

他方、講師の現地化も今後の課題であり、次期フェーズにおいては現地講師育成に重点を置き、日本人講師との講座の協働を計画的に進める必要がある。

#### 4.1.1 講義の実施体制

翻訳・通訳においては、MOJCが翻訳者と通訳者を配置している。MOJCでは翻訳者が通訳者として講座に参加する仕組みができており、日本人講師との事前打ち合わせ等を行うための日程調整等は、MOJCスタッフのルーティン業務として定着している。このことが日本人講師と通訳者、受講者と日本人講師間のコミュニケーション良化に大きな役割を果たしている。

課題としては、通訳者の事情によって講義途中で通訳者が交代する事態があったことから、より多くの優秀な通訳者の確保がバックアップ体制強化として重要かと思われる。また、講義終了後の意見交換会においても、通訳者の参加を要請し、通訳者自身のコメントも発表できる機会を設けることを提案する。

#### 4.1.2 業務管理

全体の業務管理においては、チーフアドバイザー、MOJCビジネス課スタッフ等の定期会議において進捗が管理される仕組みが構築されており、業務面におけるPDCAが常に回っている状態である。コンサルタントはチェックに基づいた改善事項を講師と共有し、次回の講義に活かすように動く。また、「モデル企業課題解決プログラム」においては、企業

の最終選考に至るまでのプロセスを、プロジェクト総括がビジネス課スタッフとともに行動し、OJT として指導している。

#### 4.1.3 新規講座の提案

現在、「通常コース」は「経営戦略」「マーケティング」「人的資源管理」「財務管理」の4科目で構成されている。これらの講座はそれぞれに理論と実践事例を紹介しているが、共通軸で結びつける講座がなく、受講者、特に経営者にとっての哲学やマインドセットに影響を与えるに至っていない。日本センターの特徴である「日本的経営」をまず学習し、そのうえで経営者として企業の社会的使命を順守するべく「コンプライアンスとコーポレートガバナンス」を学ぶ新たなコースを提案する。これにより、日本企業とのビジネス連携において、より信頼のおける企業として評価される可能性を拓けることができる。

表 11 次期ビジネスコース構成提案

種類	概要	内容
1)-1 通常コース (経営者クラス)	対象：大企業・中小企業経営者 定員：1クラス原則30名まで 期間：4ヶ月程度、6日×6科目受講 回数：年2回 1回目：9月～12月 2回目：1月～4月	経営者の経営課題解決能力の強化を目的とする。 ①日本的経営 ②経営戦略 ③マーケティング ④財務管理 ⑤人的資源管理 ⑥コンプライアンスとコーポレートガバナンス
1)-2 通常コース (管理職クラス)	対象：大企業・中小企業の管理職 定員：1クラス原則30名まで 期間：4ヶ月程度、5日×5科目受講 回数：年2回 1回目：9月～12月 2回目：1月～4月	管理職としての実務知識の習得と実践力の向上を目的とする。 ①日本的経営 ②経営戦略 ③マーケティング ④財務管理 ⑤人的資源管理
2)専門コース	対象：専門的業務に従事する、もしくは専門知識を必要とするビジネス人材 定員：1クラス25～30名 期間：5日/1科目	専門分野の知識をより深め実践力を高める。 ①店舗管理 ②品質・生産管理 ③品質・生産管理上級（TPS） ④財務管理上級 ⑤人的資源管理上級 ⑥資金調達とビジネスプラン ⑦KPI 等

種類	概要	内容
3)モデル企業課題 解決プログラム	対象：通常コース修了生の企業 定員：年間3社～4社 期間：10ヶ月間（平均6回指導）	企業が直面する経営課題を分析し、課題を絞り込み、解決に向けて指導を行う。カイゼンプロセスが他企業のモデルとなるように企業育成を行う。
4)企業内研修	対象：企業全般	企業からの要請を受けて、研修科目をカスタマイズし、企業に出向いて研修を実施する。
5)現地講師・コンサルタント育成 コース	対象：ビジネス経験者で将来 MOJC の講師として従 事できる人材 定員：若干名 期間：3年	「品質・生産管理」及び「マーケティング」分野に関する座学と企業訪問、モデル企業指導のOJTを日本人講師から受け、知見を広げる。3年目からの業務開始を目標とする。
6)ビジネス公開セミナー	対象：一般	主に専門コースの紹介を目的に、科目の概要やトピックを1.5時間程度で講義する。

#### 4.1.4 日本人講師による講義の進め方

MOJCのビジネスコースの受講対象者はビジネスパーソンである。そのため他国の日本センター同様に、常にビジネスの視点から実践的であることを心がけている。講義の手法はグループワーク、グループでのプレゼンテーション、講師との双方向でのコミュニケーションを通じた理解の促進を基本としている。また、「生産管理」においては、講義の中に現場見学を組み込み、講義中に学習したことを中心に、企業訪問でのチェックポイントを事前に伝え、企業見学後に受講者自身が発見した課題や解決策をグループ討議でまとめるといった、受講者自身の気づきを促す講義を実施している。

本プロジェクトでは、「通常コース」のマーケティング講座において新任の講師2名が高い評価を受けることができなかった。原因は教材のボリュームや教授法に起因するが、今後、教材に関しては、MOJCスタッフからの事前コメントを受けて改善する機会を作る。さらに、モンゴルで初めて講義する講師に関しては、プロジェクト総括が責任をもって、模擬講座の実施等を通して事前の準備を行う仕組みを作る。

#### 4.1.5 C/P への技術移転

C/Pへの技術移転に関しては、MOJCスタッフにおいては自律的な仕事の進め方が定着しており、現状の業務を行ううえでは何ら問題はないものと思われる。また、毎日の朝礼を通じた情報の共有、毎週の家内会議の開催、課長を中心とした指示命令システムの徹底がなされている。課内で受講者募集に全員の知恵を集める等、現時点では相当程度に組織強化はできている。

今後の課題の一つとして、自律的なコース設計や提案ができるようになることが挙げられる。そのためにはコース運営活動を通して得られるデータの分析、市場ニーズの確認を通して新規講座の提案力の強化等を進めることが重要である。

また、本プロジェクト期間においては、2名のMOJCビジネスコーススタッフが日本の大学院への公費留学を経て帰国している。現地講師化が急がれる中、例えば専門コースの「経営シミュレーション」等のファシリテーターとして活動できるような、今後の育成計画が必要である。

現地講師化に関しては、プロジェクト期間中に「現地講師・コンサルタント育成コース」において「マーケティング」と「生産管理」の各分野で1名ずつ、合計2名の講師を新たに育成した。現在、それぞれが「モデル企業課題解決プログラム」において日本人講師の協力のもと企業での指導を分担し、また、MOJCビジネスコースの「基礎コース」における講師としての活動を行っている。

現地講師化における課題は、新たに講師を育成する場合において、育成後の活動の場を提供することであり、MOJCとの連携をいかに維持するかである。それらが講師候補のモチベーションの向上につながるものと思われる。MOJCにおいては「基礎コース」での講師、「モデル企業課題解決プログラム」受講企業への指導過程でのフォローアップ活動、ビジネスコース修了企業への現場指導と幅広い活動機会を提供できることが、現地講師の確保につながっている。

今後の講師の現地化について、続くフェーズでは、「専門コース」における「経営シミュレーション」、「通常コース」の「マーケティング」や「人的資源管理」等において、日本人講師と現地講師との共同講義を通じた技術移転が求められる。さらにC/P機関であるモンゴル国立大学講師との連携による講義の分担や、上述した日本の大学でMBAを取得したMOJCスタッフの講義ファシリテーターとしての配置等のための育成計画が必要である。

### 4.1.6 修了生へのフォローアップ

「通常コース」4講座の包括受講により、修了生同士が同期会を結成してコース修了後も課題を共有し、相互に経営改善に向けた情報交換を行う環境が生まれている。各講座20時間という短さであるため、学習したことを実務に応用し、成果を出現させることは、日々の活動に埋没する中で容易ではない。MOJCはビジネスコース修了企業に対しては「専門コース」における公開講座の案内や、「企業内研修」「モデル企業課題解決プログラム」等を提供し、課題を抱える各企業に対して日本人講師・現地人講師による指導を行っている。

さらに、上述のプログラム以外にも、プロジェクトの第3年次からは、アドバイスを必要としている「通常コース」修了生に対するフォローアップセミナーを開設し、疑問点の解消と改善に向けた提言を行っている。これらのフォローアップセミナーは、受講者が学習した内容を実践に移した後に発生した疑問に答えるための有効な手段である。次期フェーズにおいても、各講師の渡航時期に合わせたフォローアップセミナーをルーティンで行う計画を立てることが求められる。

#### 4.1.7 外部機関との連携

外部機関との連携については、2018年及び2019年の3月にモンゴル商工会議所が主催となって実施した「FOODEX」参加ツアーにおいて、「専門コース」の「展示会出展実務」講師が一部ツアー同行及び講義の実施、参加企業への指導を行った。

今後もモンゴル商工会議所に協力する形で、「FOODEX」出展企業に対して日本企業への理解促進や自己啓発を促す「日本的経営」の公開セミナーを実施するとともに、同様の講座をモンゴル青年会議所及びモンゴル日本商工会との公開セミナーとして共催実施する等の連携が考えられる。

#### 4.1.8 その他

「通常コース」は、MOJCの基幹コースとして定着している。受講希望者は常に定員の2倍近くに上っており、MOJCのビジネス課により受講者の選考が行われてきた。

本プロジェクト第3年次より、試験的に年2回の実施として、受講希望者全員の受講を可能にした。担当した日本人講師の評価では、過去の受講者と比較して実務経験や受講姿勢にばらつきが多く、グループ討議もまとまりが取れていないケースも見られたとのコメントもあった。

「通常コース」を2回実施する際にも、やはり面談や書類選考を通してある程度のフィルタリングを行うことが重要かと思われる。

### 4.2 PDMに従ったコンサルタントの活動の成果及び達成状況

本プロジェクト期間中のコンサルタント活動の実績を次頁の表に示す。

表 12 期待される成果に向けての活動と実績

活動	実績
成果1：モンゴルの中小企業をはじめとした民間セクターの経営改善に資する、実践的かつニーズに対応したビジネス人材育成事業が実施・改善される仕組みが確立する。	
1-1 成長が期待される業種に係る産業動向調査及びモンゴルにおけるビジネス人材育成に係るニーズ調査を実施・分析する。	コンサルタントとしてのニーズ調査は前プロジェクト第1年次の2015年11月～2016年5月の期間で実施された。その結果は前プロジェクト第2年次以降のコース設計に活用されている。 「ニーズ調査報告書」は2016年6月にJICA本部に提出された。 2019年2月～12月の期間でビジネスコース修了生企業50社を対象にコース参加前後でのインパクト調査を実施した。
1-2 MOJCで実施するビジネス人材育成事業にかかる中期戦略(営業戦略、広報戦略、現地講師育成・活用戦略を含む)を策定する。	MOJCの中期戦略はMOJCによって作成され、毎年見直しが継続的に実施されている。

#### 第4章 プロジェクトの今後の課題と提言

活動	実績
1-3 ビジネス人材育成事業全体の年間計画を策定し、事業を実施する。	コンサルタントは「ニーズ調査」に基づくコース設計を行い、MOJC のニーズに合わせた講座開発を提案し、年間計画を遂行している。
1-4 ビジネス人材育成事業の評価・モニタリングシステムを確立・改善する。	受講者による講座の評価プロセスは既にMOJC で確立している。コンサルタントは評価を各講師と共有するとともに、新たなニーズを模索するためのアンケート項目の修正等を提案し、MOJC で実施されている。更に各講師からの個別実施報告書の提出により課題の共有と次回の改善に向けた体制を構築している。
1-5 評価・モニタリングの結果をふまえ、ビジネス人材育成事業の内容を改善する。	各講座終了日に、関係者による意見交換会がMOJC の主導で実施されている。その中で、講師の意見・評価等を確認し次回の改善に活かす仕組みが構築されている。
1-6 中小企業振興に携わる公務員の能力強化のための研修・助言を行う。	公共性の高い「EPA-ビジネス活用の視点と実務」講座では公務員向けの講義を別途行った。2018 年度には「貿易戦略」研修を省庁向けに実施した。
1-7 産学連携等に関する情報提供・セミナーの開催を行う。	ビジネス交流支援専門家を中心としてウランバートル商工会議所、日本留学生協会等との連携により「展示会出展実務」講座を実施し、日本進出を目指す企業の支援を行う等、ビジネスマッチングを軸とした講座、セミナーの提供が実施された。
<b>成果2：【主に直営専門家を中心に対応】</b> ビジネス分野を主として日本とモンゴルの人材交流を促進するための体制が整備される。	
2-1 ビジネス人材育成事業の受益者情報を活用しやすいように、これまで蓄積されてきたデータを整理する。	受講者データはMOJC が集約しており、コンサルタントはそのデータを本邦研修等の訪問先選定の参考情報及びビジネス交流の際の情報として活用している。
2-2 交流会の実施や情報提供・発信を通じて、ビジネス分野を中心とする人材の交流・連携を支援する。	コンサルタントとして本邦研修の機会を利用して東京・大阪でビジネス交流会を企画し、企業間交流の支援を実施した。また、「展示会出展実務」講師が現地からのニーズに従って来日企業への講義を実施した。
2-3 ビジネス人材育成事業の成功事例を取り纏め、対外発信を行う。	MOJC が「モデル企業診断指導プログラム」（現「モデル企業課題解決プログラム」）を冊子にまとめており、配布している。またコンサルタントは2019 年度においてもインパクト調査の一環として11 社の成功事例を「事例集」として取り纏めている。

第4章 プロジェクトの今後の課題と提言

活動	実績
成果3：【主に直営専門家を中心に対応】 センターの運営にかかる組織体制が強化される。	
3-1 MOJC全体としての中期戦略計画を策定し、実行・更新する。	MOJCが適宜見直しを実施している。
3-2 MOJC全体としての年間活動計画を策定し、実行する。	コンサルタントはビジネスコースにおける活動計画をMOJCと共有して、推進している。
3-3 MOJC全体としての中期財務計画を策定し実行する。	MOJCが策定・実行している。
3-4 MOJCの認知度向上のために、日本・モンゴル双方において、活動・成果を戦略的かつ効果的に発信する。	コンサルとして本邦研修においてビジネス交流時にセミナーを実施し、認知度向上につき支援している。また、MOJCのマーケティングチームはSNSを利用した認知度向上努力を継続的に実施している。

表 13 成果の達成状況

指標	達成状況
成果1：モンゴルの中小企業をはじめとした民間セクターの経営改善に資する、実践的かつニーズに対応したビジネス人材育成事業が実施・改善される仕組みが確立する。	
1-1 受講者のアンケートにおいて、企業向け研修及び公務員向け研修にかかる平均満足度（「満足」以上の回答）が85%以上となる。	<p>【2017年度における満足度】</p> <p>通常コース 90.2%</p> <p>専門コース 94.7%</p> <p>【2018年度における満足度】</p> <p>通常コース 84.9%</p> <p>専門コース 92.5%</p> <p>2020年1月時点（第3年次）で14講座が終了した。満足度は以下の通りであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「通常コース」</li> <li>経営者クラス（秋4講座）平均：77.3%</li> <li>管理職クラス（秋4講座）平均：86.6%</li> <li>経営者クラス（冬3講座）平均：96.0%</li> <li>管理職クラス（冬1講座）平均：100.0%</li> <li>・「専門コース」</li> <li>2講座平均：95.7%</li> </ul> <p>※詳細は添付を参照</p>
1-2 モデル企業の業績向上が、プロジェクト期間中に4社以上で確認される（業績確認は次の項目の何れかが確認できること：売上、生産性、品質向上、離職率等。加えて、対象企業の特徴に合わせて、適切な項目を付加する）。	2017年度～2019年度（3年間）で13社をモデル企業として指導を実施している。定量的業績向上に関しては添付資料「インパクト調査報告書」参照。

#### 第4章 プロジェクトの今後の課題と提言

指標	達成状況
1-3 MOJCにおけるビジネス人材育成事業において、現地講師が担当する時間数の割合が20%になる。	2019年度における現地講師担当の基礎講座数は8講座あり、日本人講師の講座数を含めたビジネスコース全23講座(通常コース13、専門コース2、基礎講座8)中、現地講師担当は以下の9講座、全体の39%となった。 ① 日本的経営 ② プロジェクトマネジメント ③ 経営戦略 ④ 財務管理(通常コース、管理職クラス) ⑤ マーケティング ⑥ 人事管理 ⑦ 生産管理 ⑧ 生産管理(5S、カイゼン) ⑨ 接客サービス
1-4 産学連携に関するセミナーが12件以上開催される。	産学連携セミナーは、企業内研修の形でモンゴル国立大学の社会人向けMBAコースの教員向けにToTとして2回実施された。 ・2018年度「人材育成 ワークショップ」 ・2019年度「インターネットマーケティング」
<b>成果2：【主に直営専門家を中心に対応】</b> ビジネス分野を主として日本とモンゴルの人材交流を促進するための体制が整備される。	
2-1 ネットワーキング活動の満足度平均が90%以上である。	本邦研修で実施したビジネス交流イベントに関する研修員アンケートの満足度(「とても満足」及び「満足」)は下記の通り70%となった。 ・2018年度東京：47%(8/17名が満足以上) ・2018年度大阪：100%(8/8名が満足以上) ・2019年度東京：76%(19/25名が満足以上)
2-2 ビジネス人材育成事業にかかる成果事例をまとめたレポートが毎年発行される。	MOJCの年報及び事例集が毎年発行されている。
2-3 MOJCに対して、日本・モンゴルの個人、企業、公共団体等の組織から両国事情や企業情報に関する照会への対応件数が300件以上になる。	MOJCに配置されたビジネス交流担当専門家が対応している。
<b>成果3：【主に直営専門家を中心に対応】</b> センターの運営にかかる組織体制が強化される。	
3-1 中期戦略と年間活動計画が策定され、計画に基づいたセンター運営が為されている。	JCCにおいて都度進捗が確認されている。
3-2 財務的持続性を踏まえた中期財務計画が策定され、同計画に基づいたセンター運営が為されている。	JCCにおいて都度進捗が確認されている。

表 14 プロジェクト目標達成状況

指標	実績
プロジェクト目標：MOJC がビジネス人材の育成と交流の拠点となる。	
PP1:モンゴルにおける主たる企業団体（モンゴル商工会議所や経営者協会等）において MOJC がビジネス人材の育成と交流に貢献していることを認知している割合が日系企業と合わせて平均 500 名／年間以上となる。	企業や団体に所属するビジネスコース受講者が MOJC の活動を理解していると想定した場合、年間延べ 600 名に及ぶ。
PP2:MOJC のビジネス人材育成事業を受ける人材が 8,000 名以上となる。	講座受講者数は以下の通り。 2015 年度：421 名 2016 年度：546 名 2017 年度：748 名 2018 年度：640 名 2019 年度：437 名                      合計：2,792 名
PP3:内外の組織・機関（省庁、政府組織、経済団体、大学等）とのネットワーク活動が 30 件以上になる。	本プロジェクトとしては、省庁公務員向け講座を 1 回、大学教員向け講座を 2 回実施した。

表 15 プロジェクト上位目標達成状況

指標	実績
プロジェクト目標：ビジネス人材の育成と交流を通じて、モンゴルの産業多角化と日本・モンゴル間の経済関係の強化に貢献する。	
OG1: 鉱業セクター以外の企業の 10,000 名以上が MOJC のビジネス人材育成事業により裨益する。	インパクト調査対象企業 50 社の合計従業員数から、少なくとも 2,800 名に裨益したと言える。
OG2: 鉱業セクター以外の企業の事業展開・拡大に MOJC が貢献した事例が年間 30 件以上になる。	インパクト調査対象企業 50 社の売上高が 2014 年度比で平均 230%増加した。

#### 第4章 プロジェクトの今後の課題と提言

指標	実績
<p>OG3: 日本・モンゴル間でのビジネスの展開や拡大にMOJCが貢献した事例が年間平均5件以上になる。</p>	<p>本邦研修におけるビジネス交流について、下記に示す。</p> <p>2016 年度：大阪府の製造企業支援機関ものづくりビジネスセンター大阪（通称 MOBIO）の協力で Mobio-Café を開催し、日本企業 5 社の参加があった。</p> <p>2017 年度：在大阪モンゴル国総領事館との共催でビジネスセミナーを開催し、日本企業からは 26 名の参加があったが、深い交流には至らなかった。</p> <p>2018 年度：東京及び大阪でビジネスセミナー&amp;交流会を開催し、日本企業との連携の可能性が下記 5 業種の研修員企業で表れた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・厨房機製造（進出日本企業への製品納入）</li> <li>・家具製造（進出日本企業への家具納入）</li> <li>・カシミア製品製造（日本企業への輸出）</li> <li>・薬品製造販売（日本企業への輸出）</li> <li>・自動車部品輸入販売（部品輸入）</li> </ul> <p>2019 年度：東京でビジネスセミナー&amp;交流会を実施し、日本企業との連携の可能性が下記 4 業種の研修員企業で表れた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品事業（日本への輸出検討）</li> <li>・電線設備（日本からの輸入検討）</li> <li>・カーペット製造（日本への輸出検討）</li> <li>・製菓業（技術交換検討）</li> </ul>

## 第5章 派遣・投入実績

以下に、本プロジェクト期間（2017年9月～2020年6月）における専門家の現地への派遣・投入実績を示す。

表 16 専門家・講師の現地投入実績

氏名	担当	派遣期間	合計 (MM)
	業務内容		
1. 中嶋 修	総括/ビジネスコース計画・運営管理	2017/09/10-09/23	6.90
	1) 総括/ビジネスコース計画・運営管理	10/12-10/21	
	2) 全体スケジュールの調整	2018/01/28-02/24	
	3) プロジェクト予算管理	05/06-05/26	
	4) プロジェクト・モニタリングへの協力	09/16-10/13	
	5) 現地スタッフ OJT 指導	11/18-12/08	
	6) 現地講師育成	2019/02/21-03/06	
	7) テキスト原稿の最終チェック	05/12-06/01	
	8) 個別実施報告書のチェック	09/15-09/25	
	9) 成果品・各種報告書の作成/説明	10/13-11/08	
	10) 関係機関との協議/調整	2020/01/21-02/01	
	11) JICA への報告・提言		
12) C/P 等の本邦研修受け入れ支援			
2. 河口 真一郎	ビジネスコース講師(1)	2017/09/17-09/30	2.50
	1) 通常コース講師「経営戦略」	2018/03/15-03/24	
	2) 専門コース講師「KPI」	09/30-10/13	
	3) モデル企業課題解決プログラム及び企業内研修の実施	2019/05/02-05/11	
	4) 現地講師への技術移転	09/15-09/26	
	5) 報告書の作成	11/30-12/14	
3. 増田 一己	ビジネスコース講師(2)	2017/12/07-12/16	1.67
	1) 専門コース講師「品質・生産管理」、 「品質・生産管理上級 (TPS)」	2018/05/31-06/09	
	2) モデル企業課題解決プログラム及び企業内研修の実施	2019/03/28-04/06	
	3) 現地講師への技術移転	05/30-06/08	
	4) 報告書の作成	11/07-11/16	
4. 上東 幸次	ビジネスコース講師(3)	2017/11/19-12/02	1.83
	1) 通常コース講師「マーケティング」	2018/03/29-04/12	
	2) 専門コース講師「店舗管理」、「経営シミュレーション」	2019/03/14-03/28	
	3) モデル企業課題解決プログラム及び企業内研修の実施	2020/01/19-01/29	
	4) 現地講師への技術移転		
	5) 報告書の作成		
6) 他機関への協力			

氏名	担当	派遣期間	合計 (MM)
	業務内容		
5. 千種 一信	ビジネスコース講師(4)	2018/02/25-03/11 12/02-12/15 2019/05/30-06/08 09/29-10/06 2020/01/09-01/19	1.93
	1) 通常コース講師「財務管理」(経営者クラスのみ)		
	2) 専門コース講師「財務管理上級」、「エクセルを使ったビジネス分析」		
	3) モデル企業課題解決プログラム及び企業内研修の実施		
	4) 現地講師への技術移転		
	5) 報告書の作成		
6) 他機関への協力			
6. 平林 正樹	ビジネスコース講師(5)	2017/10/12-10/21 2018/01/28-02/10 2019/01/13-01/26	1.27
	1) 通常コース講師「人的資源管理」		
	2) 専門コース講師「人的資源管理上級」		
	3) モデル企業課題解決プログラム及び企業内研修の実施		
	4) 現地講師への技術移転		
	5) 報告書の作成		
6) 他機関への協力			
7. 佐野 和彦	ビジネスコース講師(6)	2018/06/14-06/23 2019/06/13-06/22	0.67
	1) 専門コース講師「マーケティング上級(E-Commerce)」		
	2) モデル企業課題解決プログラム及び企業内研修の実施		
	3) 現地講師への技術移転		
	4) 報告書の作成		
	5) 他機関への協力		
8. 玉田 光夫	ビジネスコース講師(7)	2018/11/11-11/24	0.47
	1) 通常コース講師「マーケティング」		
	2) 企業内研修の実施		
	3) 現地講師への技術移転		
	4) 報告書の作成		
	5) 他機関への協力		
9. 山崎 京子	ビジネスコース講師(8)	2017/10/12-10/21 2019/02/13-02/23 2019/10/13-10/23	1.07
	1) 通常コース講師「人的資源管理」		
	2) 専門コース講師「人的資源管理上級」		
	3) モデル企業課題解決プログラム及び企業内研修の実施		
	4) 現地講師への技術移転		
	5) 報告書の作成		
6) 他機関への協力			

氏名	担当	派遣期間	合計 (MM)
	業務内容		
10. 富田 香二	ビジネスコース講師(9) 1) 門コース講師「EPA-ビジネス活用の視点と実務」 2) 企業内研修の実施 3) 現地講師への技術移転 4) 報告書の作成 5) 他機関への協力	2018/01/11-01/20	0.33
11. 保坂 勉	ビジネスコース講師(10) 1) 専門コース講師「エクセルを使ったビジネス分析」 2) 企業内研修の実施 3) 現地講師への技術移転 4) 報告書の作成 5) 他機関への協力	2018/04/19-04/28	0.33
12. 平川 雅一	ビジネスコース講師(11) 1) 専門コース講師「展示会出展実務」 2) モデル企業課題解決プログラム及び企業内研修の実施 3) 現地講師への技術移転 4) 報告書の作成 5) 他機関への協力	2017/11/02-11/11 2018/10/25-11/03	0.67
13. 阿出川 廣信	ビジネスコース講師(12) 1) 専門コース講師「資金調達とビジネスプラン」 2) 企業内研修の実施 3) 現地講師への技術移転 4) 報告書の作成 5) 他機関への協力	2018/05/17-05/26 2019/05/16-05/25	0.67
14. 水野 茂	ビジネスコース講師(13) 1) 専門コース講師「文化と経営（ビジネスマッチングから事業創造へ）」 2) 企業内研修の実施 3) 現地講師への技術移転 4) 報告書の作成 5) 他機関への協力	2018/10/11-10/20	0.33
15. 藤原 弘人	ビジネスコース講師(14) 1) 専門コース講師「貿易実務」 2) 企業内研修の実施 3) 現地講師への技術移転 4) 報告書の作成 5) 他機関への協力	2019/04/04-04/13	0.33

氏名	担当	派遣期間	合計 (MM)
	業務内容		
16. 青海 義弘	ビジネスコース講師(15)	2019/10/24-11/06	0.47
	1) 通常コース講師「マーケティング」 2) 企業内研修の実施 3) 現地講師への技術移転 4) 報告書の作成 5) 他機関への協力		
17. 辰巳 晴香	本邦研修運営管理(1)	2018/05/21-05/26	0.57
	1) 本邦研修企画・実施 2) 報告書の作成	2019/05/15-05/25	

## 第6章 添付資料

- 1) 講座受講者アンケート実績及び受講者データ（アンケート回答ベース）
- 2) 通常コース受講者分類（日本標準産業分類）
- 3) 本邦研修受け入れ実績
- 4) インパクト調査報告書（和文版のみ）
- 5) 「通常コース」アンケート結果（和文版のみ）
- 6) 「専門コース」アンケート結果（和文版のみ）

2017年度講座受講者アンケート実績及び受講者データ(アンケート回答者数ベース)

2017年9月～2018年6月講座評価		回答者数/受講生数	講座満足度				年齢(人数)				性別(人数)		社員数(人数)					職位(人数)				部署(人数)						
			非常に満足	満足	普通	その他	～25	26～39	40～59	60～	男性	女性	～19	20～49	50～99	100～199	200～	企業幹部	部・課長	専門職	その他/未回答	人事・研修	総務	財務	技術	生産	その他/未回答	
通常	経営者クラス	経営戦略	37/39	19	18	0	0	2	23	12	0	18	19	13	8	5	6	5	31	6	0	0						
		マーケティング	34/38	11	19	3	1	1	21	13	0	15	18	14	6	4	5	5	29	5	0	0						
		人的資源管理	33/37	14	18	1	0	0	20	12	0	14	19	11	8	6	4	4	28	5	0	0						
		財務管理	36/36	10	23	2	1	0	22	14	0	16	20	12	8	5	6	5	29	6	0	1						
		合計	140/150	54	78	6	2	3	86	51	0	63	76	50	30	20	21	19	117	22	0	1						
	平均(%)		38.8%	55.7%	4.3%	1.4%	2.1%	61.4%	36.4%	0.0%	45.3%	54.7%	35.7%	21.4%	14.3%	15.0%	13.6%	83.6%	15.7%	0.0%	0.7%							
	管理職クラス	経営戦略	40/40	20	18	2	0	3	29	8	0	15	25	8	6	7	8	11	6	19	10	5						
		マーケティング	43/48	10	25	8	0	7	28	8	0	15	28	8	10	8	5	12	12	9	20	2						
		人的資源管理	38/44	18	17	3	0	4	26	8	0	12	26	9	5	7	7	10	8	5	24	1						
		財務管理	32/42	10	16	6	0	2	24	6	0	7	24	5	3	9	5	10	7	7	18	0						
		合計	153/174	58	76	19	0	16	107	30	0	49	103	30	24	31	25	43	33	40	72	8						
	平均(%)		37.9%	49.7%	12.4%	0.0%	10.5%	69.9%	19.6%	0.0%	32.2%	67.8%	19.6%	15.7%	20.3%	16.3%	28.1%	21.6%	26.1%	47.1%	5.2%							
	全クラス	合計	293/324	112	154	25	2	19	193	81	0	112	179	80	54	51	46	62	150	62	72	9						
平均(%)		38.2%	52.6%	8.5%	0.7%	6.5%	65.9%	27.6%	0.0%	38.5%	61.5%	27.3%	18.4%	17.4%	15.7%	21.2%	51.2%	21.2%	24.6%	3.1%								
2017年9月～2018年6月講座評価		回答者/受講生	講座満足度				年齢(人数)				性別(人数)		社員数(人数)					職位				部署(人数)						
			非常に満足	満足	普通	その他	～25	26～39	40～59	60～	男性	女性	～19	20～49	50～99	100～199	200～	企業幹部	部・課長	専門職	その他/未回答	人事・研修	総務	財務	技術	生産	その他/未回答	
専門	人的資源管理上級	35/35	19	13	3	0	2	25	8	0	9	25	11	10	2	2	10	8	14	7	7	16	11	0	2	3	2	
	展示会出展実務	20/29	8	11	0	1	0	13	6	1	11	9	12	3	1	1	2	15	1	4	4	3	12	1	1	1	1	
	品質・生産管理	35/42	22	13	0	0	3	20	12	0	14	19	5	7	9	3	11	11	7	14	14	3	10	2	5	12	3	
	EPA-ビジネス活用の視点と実務	28/31	5	22	1	0	2	17	9	0	11	17	22	3	0	0	3	19	6	3	3	2	16	4	1	5	0	
	財務管理上級	28/35	5	22	1	0	2	16	9	0	8	20	7	9	5	1	6	15	6	3	3	0	16	10	0	0	2	
	KPI	37/42	14	20	3	0	2	28	7	0	11	26	7	3	6	11	10	11	9	17	17	15	15	3	0	2	2	
	店舗管理	41/46	14	24	3	0	2	28	11	0	11	30	16	5	6	3	11	11	7	18	18	2	19	2	0	1	17	
	経営シミュレーション	15/20	11	4	0	0	0	11	4	0	6	9	5	2	2	0	6	7	0	6	6	0	9	3	1	0	2	
	エクセルを使ったビジネス分析(午前)	17/20	7	8	1	1	0	13	4	0	4	13	8	0	4	3	2	6	2	5	5	0	7	8	0	0	2	
	エクセルを使ったビジネス分析(午後)	16/20	2	11	3	0	2	10	4	0	5	11	3	2	3	2	6	1	3	8	8	0	4	11	0	0	1	
	資金調達とビジネスプラン	25/43	3	20	2	0	2	10	13	0	6	19	11	2	0	0	10	9	4	11	11	0	8	8	0	1	8	
	品質・生産管理上級(TPS)	23/28	10	11	2	0	3	14	6	0	12	10	2	7	3	3	8	9	5	5	5	1	9	0	0	9	4	
	マーケティング上級(E-Commerce)	25/33	5	16	4	0	2	11	12	0	11	14	14	1	1	1	7	12	4	8	1	0	15	0	4	0	6	
合計	345/424	125	195	23	2	22	216	105	1	119	222	123	54	42	30	92	134	68	109	102	42	151	52	14	34	50		
平均(%)		36.2%	56.5%	6.7%	0.6%	6.4%	62.8%	30.5%	0.3%	34.9%	65.1%	36.1%	15.8%	12.3%	8.8%	27.0%	32.4%	16.5%	26.4%	24.7%	12.2%	44.0%	15.2%	4.1%	9.9%	14.6%		

2018年度講座受講者アンケート実績及び受講者データ(アンケート回答者数ベース)

2018年9月～2019年6月講座評価		回答者数/受講生数	講座満足度				年齢(人数)				性別(人数)		社員数(人数)					職位(人数)				部署(人数)										
			非常に満足	満足	普通	その他	～25	26～39	40～59	60～	男性	女性	～19	20～49	50～99	100～199	200～	企業幹部	部・課長	専門職	その他/未回答	人事・研修	総務	財務	技術	生産	その他/未回答					
通常	経営者クラス	経営戦略	40/41	22	18	0	0	0	19	21	0	18	21	11	14	5	7	3	33	5	1	1										
		マーケティング	36/41	6	25	3	2	0	16	20	0	15	19	8	11	4	9	4	32	3	1	0										
		人的資源管理	37/41	7	22	6	2	0	17	20	0	7	18	7	11	6	8	5	30	4	1	0										
		財務管理	36/41	11	23	2	0	0	18	18	0	17	18	6	13	6	7	4	30	5	1	0										
		合計	149/164	46	88	11	4	0	70	79	0	57	76	32	49	21	31	16	125	17	4	1										
	平均(%)		30.9%	59.1%	7.4%	2.7%	0.0%	47.0%	53.0%	0.0%	42.9%	57.1%	21.5%	32.9%	14.1%	20.8%	10.7%	85.0%	11.6%	2.7%	0.7%											
	管理職クラス	経営戦略	42/42	16	25	0	1	6	31	5	0	17	25	13	9	6	6	8	6	12	19	5										
		マーケティング	41/42	4	15	14	8	5	33	3	0	17	23	10	12	8	6	5	9	10	19	3										
		人的資源管理	41/42	10	28	3	0	5	30	6	0	15	23	11	8	9	6	7	6	11	22	2										
		財務管理	40/42	13	21	6	0	6	29	5	0	16	24	9	9	7	8	7	6	8	22	4										
		合計	164/168	43	89	23	9	22	123	19	0	65	95	43	38	30	26	27	27	41	82	14										
	平均(%)		26.2%	54.3%	14.0%	5.5%	13.4%	75.0%	11.6%	0.0%	40.6%	59.4%	26.2%	23.2%	18.3%	15.9%	16.5%	16.5%	25.0%	50.0%	8.5%											
	全クラス	合計	313/324	89	177	34	13	22	193	98	0	122	171	75	87	51	57	43	152	58	86	15										
	平均(%)		28.4%	56.5%	10.9%	4.2%	7.0%	61.7%	31.3%	0.0%	41.6%	58.4%	24.0%	27.8%	16.3%	18.2%	13.7%	48.9%	18.6%	27.7%	4.8%											
2018年9月～2019年6月講座評価		回答者/受講生	講座満足度				年齢(人数)				性別(人数)		社員数(人数)					職位				部署(人数)										
			非常に満足	満足	普通	その他	～25	26～39	40～59	60～	男性	女性	～19	20～49	50～99	100～199	200～	企業幹部	部・課長	専門職	その他/未回答	人事・研修	総務	財務	技術	生産	その他/未回答					
	文化と経営	10/13	8	2	0	0	0	6	4	0	6	4	5	3	0	0	1	9	0	0	1	0	9	0	0	0	0	1				
	展示会出展実務	12/13	11	1	0	0	0	7	5	0	3	8	6	1	2	1	2	6	3	2	1	0	8	0	0	1	3					
	財務管理上級	30/35	16	13	1	0	3	16	11	0	9	21	8	8	5	2	7	12	2	13	3	0	13	9	1	2	5					
	人的資源管理上級	39/43	23	14	2	0	5	18	16	0	4	34	6	5	3	6	18	7	9	17	6	22	12	2	2	1	0					
	店舗管理	45/48	7	31	5	0	8	29	8	0	8	34	13	14	9	3	6	9	7	21	8	6	22	3	2	0	12					
	経営シミュレーション(午前)	16/20	7	8	1	0	1	8	7	0	5	9	5	6	3	0	2	8	3	5	0	0	11	5	0	0	0					
	経営シミュレーション(午後)	17/19	5	10	2	0	1	6	10	0	8	9	9	3	2	1	2	13	0	3	1	0	13	2	1	1	0					
	品質・生産管理	33/44	11	21	0	0	1	21	11	0	12	21	5	8	1	7	12	10	11	9	3	0	9	3	1	19	0					
	貿易戦略	13/16	5	5	2	1	2	10	1	0	5	8	4	3	3	1	2	3	3	7	0	0	8	1	0	1	3					
	KPI	40/44	20	17	1	2	2	22	16	0	8	29	9	6	4	9	11	16	6	18	0	10	17	2	2	5	4					
	資金調達とビジネスプラン	26/35	10	16	0	0	1	14	11	0	13	12	13	3	3	4	3	16	4	6	0	1	10	7	1	4	3					
	品質・生産管理上級(TPS)	26/30	21	5	0	0	0	13	13	0	14	12	6	5	5	5	5	11	5	7	3	0	11	0	1	12	2					
	エクセルを使ったビジネス分析(午前)	18/20	5	10	3	0	0	15	3	0	3	15	8	1	3	5	1	6	3	9	0	0	7	8	0	0	1					
	エクセルを使ったビジネス分析(午後)	16/20	4	11	1	0	2	12	2	0	9	7	2	3	0	2	9	2	2	12	0	1	4	6	2	0	3					
	マーケティング上級(E-Commerce)	8/10	0	4	2	1	1	5	2	0	2	6	5	3	0	0	0	2	0	6	0	0	5	2	0	0	1					
	合計	349/410	153	168	20	4	27	202	120	0	109	229	104	72	43	46	81	130	58	135	26	40	159	50	13	46	38					
	平均(%)		44.3%	48.7%	5.8%	1.2%	7.7%	57.9%	34.4%	0.0%	32.2%	67.8%	30.1%	20.8%	12.4%	13.3%	23.4%	37.2%	16.6%	38.7%	7.4%	11.6%	46.0%	14.5%	3.8%	13.3%	11.0%					

2019年度講座受講者アンケート実績及び受講者データ(アンケート回答者数ベース)

2019年9月～2020年1月講座評価		回答者数/受講生数	講座満足度				年齢(人数)				性別(人数)		社員数(人数)					職位(人数)				部署(人数)										
			非常に満足	満足	普通	その他	～25	25～39	40～59	60～	男性	女性	～19	20～49	50～99	100～199	200～	企業幹部	部・課長	専門職	その他/未回答	人事・研修	総務	財務	技術	生産	その他/未回答					
通常 (秋期)	経営者クラス	経営戦略	28/30	10	15	3	0	1	21	6	0	12	16	13	0	5	5	5	23	3	2	0										
		マーケティング	25/30	1	5	10	9	0	23	2	0	12	13	12	1	7	3	2	20	2	2	1										
		人的資源管理	26/30	11	13	1	1	1	20	5	0	11	15	12	1	5	5	3	23	3	0	0										
		財務管理	31/35	13	17	1	0	1	26	4	0	12	18	14	2	5	5	5	22	5	4	0										
		合計	110/125	35	50	15	10	3	90	17	0	47	62	51	15	22	18	15	88	13	8	1										
	平均(%)		31.8%	45.5%	13.6%	9.1%	2.7%	81.8%	15.5%	0.0%	43.1%	56.9%	42.1%	12.4%	18.2%	14.9%	12.4%	80.0%	11.8%	7.3%	0.9%											
	管理職クラス	経営戦略	34/36	12	20	2	0	3	30	1	0	12	22	6	8	10	5	5	5	8	20	1										
		マーケティング	30/36	1	14	8	7	4	25	1	0	11	19	4	7	7	7	5	4	8	17	0										
		人的資源管理	34/41	17	17	0	0	5	28	1	0	10	23	4	10	7	5	8	3	10	20	0										
		財務管理	28/30	9	19	0	0	3	24	1	0	9	19	6	6	6	6	3	5	4	19	0										
		合計	126/143	39	70	10	7	15	107	4	0	42	83	20	31	30	23	21	17	30	76	1										
	平均(%)		31.0%	55.6%	7.9%	5.6%	11.9%	84.9%	3.2%	0.0%	33.6%	66.4%	16.0%	24.8%	24.0%	18.4%	16.8%	13.7%	24.2%	61.3%	0.8%											
	全クラス	合計	236/268	74	120	25	17	18	197	21	0	89	145	71	35	52	41	36	105	43	84	2										
		平均(%)		31.4%	50.8%	10.6%	7.2%	7.6%	83.5%	8.9%	0.0%	38.0%	62.0%	30.2%	14.9%	22.1%	17.4%	15.3%	44.9%	18.4%	35.9%	0.9%										
通常 (冬期)	経営者クラス	経営戦略	29/34	16	13	0	0	1	20	20	0	19	22	9	15	8	6	3	30	11	0	0										
		マーケティング補講	26/26	6	18	2	0	1	22	3	0	13	13	11	5	3	3	4	16	2	8	0										
		財務管理実践	26/29	12	13	1	0	1	19	6	0	12	14	12	7	5	1	1	22	3	0	1										
		合計		34	44	3	0	3	61	29	0	44	49	32	15	16	10	8	68	16	8	1										
	平均(%)		42.0%	54.3%	3.7%	0.0%	2.7%	55.5%	26.4%	0.0%	40.4%	45.0%	26.4%	12.4%	13.2%	8.3%	6.6%	61.8%	14.5%	7.3%	0.9%											
	管理職クラス	経営戦略	25/32	1	24	0	0	7	29	4	0	16	24	13	7	9	6	5	2	38	0	0										
		合計		1	24	0	0	7	29	4	0	16	24	13	7	9	6	5	2	38	0	0										
	平均(%)		4.0%	96.0%	0.0%	0.0%	5.6%	23.0%	3.2%	0.0%	12.8%	19.2%	10.4%	5.6%	7.2%	4.8%	4.0%	1.6%	30.6%	0.0%	0.0%											
	全クラス	合計	106/121	35	68	3	0	9	68	30	0	47	60	34	29	22	13	9	54	52	0	1										
		平均(%)		33.0%	64.2%	1.3%	0.0%	3.8%	28.8%	12.7%	0.0%	20.1%	25.6%	14.5%	12.3%	9.4%	5.5%	3.8%	23.1%	22.2%	0.0%	0.4%										
2019年9月～2020年3月講座評価		回答者/受講生	講座満足度				年齢(人数)				性別(人数)		社員数(人数)					職位				部署(人数)										
			非常に満足	満足	普通	その他	～25	26～39	40～59	60～	男性	女性	～19	20～49	50～99	100～199	200～	企業幹部	部・課長	専門職	その他/未回答	人事・研修	総務	財務	技術	生産	その他/未回答					
専門	生産管理	21/28	11	17	0	1	1	13	4	0	11	7	5	0	6	3	2	5	6	6	4	1	3	0	3	7	3					
	財務管理(上級)	18/20	7	10	1	0	0	15	3	0	7	11	10	2	2	0	3	7	4	6	1	0	7	4	2	1	4					
	合計		18	27	1	1	1	28	7	0	18	18	15	2	8	3	5	12	10	12	5	1	10	4	5	8	7					
	平均(%)		38.3%	57.4%	2.1%	2.1%	2.8%	77.8%	19.4%	0.0%	50.0%	50.0%	45.5%	6.1%	24.2%	9.1%	15.2%	30.8%	25.6%	30.8%	12.8%	2.9%	28.6%	11.4%	14.3%	22.9%	20.0%					

業種コード表(日本標準産業分類)		MOJC通常コース受講者数				
大分類	中分類	17年	18年	19年(秋)	19年(冬)	合計
A 農業、林業	01 農業	7	5	1	1	14
	02 林業					0
	小計	7	5	1	1	14
B 漁業	03 漁業(水産養殖業を除く)					0
	04 水産養殖業					0
	小計	0	0	0	0	0
C 鉱業、採石業、砂利採取業	05 鉱業、採石業、砂利採取業	1		1		2
	小計	1	0	1	0	2
D 建設業	06 総合工事業	4		1		5
	07 職別工事業(設備工事業を除く)					0
	08 設備工事業	1				1
	小計	5	0	1	0	6
E 製造業	09 食料品製造業	16	12	4	3	35
	10 飲料・たばこ・飼料製造業	3		1	3	7
	11 繊維工業	3	3	7	4	17
	12 木材・木製品製造業(家具を除く)		1			1
	13 家具・装備品製造業	4	2	4	6	16
	14 ハルブ・紙・紙加工品製造業		1			1
	15 印刷・関連工業	1				1
	16 化学工業	1		1		2
	17 石油製品・石炭製品製造業					0
	18 プラスチック製品製造業(別掲を除く)	3	1	1		5
	19 ゴム製品製造業					0
	20 なめし革・同製品・毛皮製造業	1	1		2	4
	21 窯業・土石製品製造業	2	2		2	6
	22 鉄鋼業					0
	23 非鉄金属製造業					0
	24 金属製品製造業		1		1	2
	25 はん用機器器具製造業	1				1
	26 生産用機器器具製造業					0
	27 業務用機器器具製造業			1		1
	28 電子部品・デバイス・電子回路製造業					0
29 電気機器器具製造業					0	
30 情報通信機器器具製造業					0	
31 輸送用機器器具製造業		2			2	
32 その他の製造業	2		1	1	4	
	小計	37	27	19	22	105
F 電気・ガス・熱供給・水道業	33 電気業				1	1
	34 ガス業					0
	35 熱供給業					0
	36 水道業					0
	小計	0	0	0	1	1
G 情報通信業	37 通信業	1	1			2
	38 放送業					0
	39 情報サービス業				1	1
	40 インターネット付随サービス業					0
	41 映像・音声・文字情報制作業					0
	小計	1	1	0	1	3
H 運輸業、郵便業	42 鉄道業					0
	43 道路旅客運送業					0
	44 道路貨物運送業	1				1
	45 水運業					0
	46 航空運輸業					0
	47 倉庫業					0
	48 運輸に付帯するサービス業	1				1
	49 郵便業(信書便事業を含む)					0
		小計	2	0	0	0
I 卸売業・小売業	50 各種商品卸売業	1	12	11	5	29
	51 繊維・衣服等卸売業	3	1	1	1	6
	52 飲食物品卸売業			3		3
	53 建築材料・鉱物・金属材料等卸売業	1		1	1	3
	54 機械器具卸売業		1	1		2
	55 その他の卸売業	1	4	3		8
	56 各種商品小売業	1	1	1		3
	57 織物・衣服・身の回り品小売業	1		2	1	4
	58 飲食物品小売業	1	1			2
	59 機械器具小売業		1			1
	60 その他の小売業	4	2	3	4	13
	61 無店舗小売業					0
		小計	13	23	26	12
J 金融業・保険業	62 銀行業		1			1
	63 協同組織金融業					0
	64 貸金業・クレジットカード業等非預金信用機関					0
	65 金融商品取引業、商品先物取引業				1	1
	66 補助的金融業					0
	67 保険業(保険媒介代理業、保険サービス業を含む)	1		1		2
		小計	1	1	1	1
K 不動産業、物品賃貸業	68 不動産取引業		3	1	4	8
	69 不動産賃貸業・管理業	1	4			5
	70 物品賃貸業	3		1		4
	小計	4	7	2	4	17
L 学術研究、専門・技術サービス業	71 学術・開発研究機関					0
	72 専門サービス業(他に分類されないもの)	1	7	1	3	12
	73 広告業	2	2			4
	74 技術サービス業(他に分類されないもの)	1				1
	小計	4	9	1	3	17
M 宿泊業、飲食サービス業	75 宿泊業		1	1	3	5
	76 飲食店	1	1	1	3	5
	77 持ち帰り・配達飲食サービス業					0
	小計	0	2	2	6	10
N 生活関連サービス業、娯楽業	78 洗濯・理容・美容・浴場業					0
	79 その他の生活関連サービス業					0
	80 娯楽業		1			1
	小計	0	1	0	0	1
O 教育、学習支援等	81 学校教育					0
	82 その他の教育、学習支援業					0
	小計	0	0	0	0	0
P 医療、福祉	83 医療業	1	4	1		6
	84 保健衛生					0
	85 社会保険・社会福祉・介護事業					0
	小計	1	4	1	0	6
Q 複合サービス事業	86 郵便局					0
	87 協同組合(他に分類されないもの)					0
	小計	0	0	0	0	0
R サービス業(他に分類されないもの)	88 廃棄物処理業	1				1
	89 自動車整備業		1	2	1	4
	90 機械等修理業			1		1
	91 職業紹介・労働者派遣業					0
	92 その他の事業サービス業	2		2	4	8
	93 政治・経済・文化団体					0
	94 宗教					0
	95 その他のサービス業		1	1	3	5
	96 外国公務					0
		小計	2	3	6	8
S 公務(他に分類されるものを除く)	97 国家公務					0
	98 地方公務					0
	小計	0	0	0	0	0
T 分類不能の産業	99 分類不能の産業	1				2
	合計	79	83	62	59	283

モンゴル国日本人材開発センタービジネス人材育成・交流拠点機能強化プロジェクト

業務完了報告書別添

本邦への研修員受け入れ実績

1) 「ビジネス人材育成研修」(2018年)

【日程表】

実施日	時間	区分	研修テーマ	訪問先/講師
9/2(日)			来日	
9/3(月)	9:00-10:00		プログラムオリエンテーション	JICA 産業開発・公共政策部
	10:00-12:00		ブリーフィング	JICA 東京
	13:00-14:45	講義	オリエンテーション/課題確認	RPE 上席コンサルタント 中嶋修
	15:00-18:00	講義	導入講義:人に優しい経営	(株)経世済民カンパニー 昴 代表取締役 北條俊彦
9/4(火)	10:30-12:00	講義	トヨタ流 4S の進め方	(株)豊田自動織機 梅原茂
	14:30-17:30	講義	組織開発と人材育成	(株)エー・ピーカンパニー 人材 開発本部副部長 平野知実
9/5(水)	10:00-12:00	見学	環境への配慮:ペットボトルリサイクル工場訪問	東京ペットボトルリサイクル株式会社 代表取締役 古澤栄一
	13:00-14:10	講義	【ビジネス交流イベント】 セミナー①モンゴルビジネス環境紹介	JICA ビジネス交流支援専門家 中村功
	14:10-14:40	講義	【ビジネス交流イベント】 セミナー②モンゴル法律講座	大正法律事務所代表 岡英男
	15:00-17:00	実習	【ビジネス交流イベント】 モンゴル企業プレゼンテーション/ポスターセッション	
9/6(木)		移動	新幹線(東京→名古屋)	
	13:30-15:40	見学	トヨタ生産方式	トヨタ自動車(株) 社会貢献推進部
		移動	借上バス(豊田→新大阪)	
9/7(金)	10:00-12:00	講義	経営戦略、商品開発	(株)サンパック 代表取締役副社長 青山祐二郎
	14:30-17:30	講義	経営理念、マーケティング	(株)伍魚福 代表取締役社長 山中勸
	17:30-18:00	見学	店舗での売り場視察	マックスバリュ長田南店(株)伍魚福)
	19:00-21:00	実習	レストランチェーンでの顧客サービス体験	(株)エー・ピーカンパニー 塚田農場 JR 神戸店
9/8(土) ~9/9(日)			自主研修日	
9/10(月)	9:30-11:30	講義	前半振り返り	RPE 上席コンサルタント 中嶋修
	13:30-14:30	講義	【ビジネス交流イベント】 セミナー①モンゴルビジネス環境紹介	JICA ビジネス交流支援専門家 中村功
	14:30-15:00	講義	【ビジネス交流イベント】 セミナー②モンゴル法律講座	大正法律事務所代表 岡英男
	15:00-17:30	実習	【ビジネス交流イベント】 マッチングイベント	

実施日	時間	区分	研修テーマ	訪問先/講師
	14:30-16:30	講義	【ビジネスイベント不参加者】 日本の歴史的経営者に学ぶ 経営理念とものづくり	パナソニックミュージアム 松下 幸之助歴史館
9/11(火)	10:00-12:00	見学	【サービス】 オフィスで取り組むカイゼン・ 3S 活動	リコージャパン(株) 大阪支社大 阪中央第二営業部南営業所 所長 幣裕樹
	14:30-16:30	見学	【サービス】 経営理念、マーケティング、顧 客サービス	小金屋食品(株) 代表取締役 吉田恵美子
	10:00-12:00	見学	【ものづくり】 3S を理念とした経営	(株)タナカテック 代表取締役社長 田中良明
	14:00-17:00	見学	【ものづくり】 事業戦略と店舗スタッフの人 材育成	(株)ミキハウス HC サポート 副社長 藤原裕史
	17:00-18:00	見学	【ものづくり】 店舗見学	(株)ミキハウス
9/12(水)	10:00-12:30	講義	【サービス】 経営戦略、顧客満足	(株)関西ホームサービス 代表取締役 高宮令子
	14:00-17:30	見学	【サービス】 経営計画、従業員満足、ブラン ディング	(株)Dreams 代表取締役 宮平 崇
	10:00-12:00	見学	【ものづくり】 経営戦略と人材育成、技能経 営	(株)山岡製作所 執行役員 装置製造部部長 西村繁
	15:00-17:00	見学	【ものづくり】 経営戦略とブランディング	(株)羽車 代表取締役 杉浦正樹
9/13(木)	10:00-12:30	講義	原理・原則に基づいたカイゼ ン活動の進め方	大阪工業大学工学部環境工学 科 教授 皆川健多郎
	13:30-15:00	実習	原理・原則に基づいたカイゼ ン活動の進め方	
	15:15-17:15	実習	成果発表準備	RPE 上席コンサルタント 中嶋修
9/14(金)	10:00-12:30	発表	成果発表①	RPE 上席コンサルタント 中嶋修
	13:30-15:00	発表	成果発表②	
	15:15-16:15		評価会	RPE 辰巳晴香
	16:30-17:15		閉講式	JICA 関西業務第二課 貞谷季規
9/15(土)		移動	神戸→福岡	
9/16(日)			帰国	

### 【研修員リスト】

No.	氏名	所属先	役職	業務概要
1	Ms. GALBADRAKH Gerelmaa (ゲレルマー)	Goyo LLC	人事担当マ ネージャー	カシミア製品製 造・販売
2	Ms. JADAMBA Munkhtsetseg (ムンクツェツェグ)	Mongol Bath Construction LLC	社長	バス、洗面所製造・ 販売
3	Ms. LAMJAV Munkhtuya (ムンクトヤ)	Neu Kraft LLC	社長	電気、水道パイプ、 セキュリティアラ ーム設置サービス

No.	氏名	所属先	役職	業務概要
4	Ms. AKIM Gulmaira (グルマイラ)	Asylmura Co., Ltd.	社長	刺繍バッグ製造・販売
5	Ms. BAYARAA Enkhzaya (エンクザヤ)	Monos Pharma LLC	生産管理部 長	製薬・販売
6	Mr. SODNOMTSEREN Manlai (マンライ)	Sopoco Co., Ltd.	副社長	パネル製造・販売
7	Mr. OYUNCHIMEG Munkhjargal (ムンクジャルガル)	Vitafit Impex Co., Ltd.	販売課長	飲料水・乳製品製造
8	Ms. BATBAYAR Soliragchaа (ソリラグチャー)	Takhi Joint Stock Company	会計担当マ ネージャー	不動産賃貸、貿易、 仲介
9	Mr. TSEGMED Bumtsend (ボムツェンド)	Chiglel Co., Ltd.	社長	飲食店用調理機械 製造・販売
10	Ms. JAMIYANSENGEE Odonchimeg (オドンチメグ)	Tses Khaikhan LLC	人事総務、海 外販売部長	食料品生産
11	Mr. GAIRIN Bold (ボルド)	Algel Star Co., Ltd.	社長	ガラス製品製造
12	Ms. TSOODOL Unurjargal (ウヌウルジャルガル)	Asterisk Technologies LLC	販売課長	ビジネスソフトの 設計・販売
13	Mr. SAMDAN Ganbat (ガンバト)	Doloon Boldog LLC	副社長	キッチン家具製 造・販売
14	Mr. PUREVJAV Ganzorig (ガンゾリグ)	Auto SOS LLC	会長	交通事故保険手続 き処理代行業
15	Ms. NARANTUYA Batsukh (バトスフ)	NUM, Business School	マネージャ ー	教育(所属する NGO ではちみつ製 造)
16	Mr. NATSAGDORJ Batchuluun (バトチョローン)	Oyu Tolgoi LLC	専門家	鉱山会社 ※生産管理の現地 人講師として参加
17	Ms. KHALTARKHUU Garmaabazar (ガルマーバザル)	MOJC	総務課長	教育

【成果発表内容】

No.	項目	内容
1	氏名	Ms. GALBADRAKH Gerelmaa
	課題・日本で学びたいこと(来日前に記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・輸出、取引先の増加の可能性を広げる</li> <li>・変化に対応するマネジメント</li> <li>・工場の従業員向け研修方針、手法を学ぶ</li> <li>・従業員定着率を上げる日本の経営を学ぶ</li> </ul>
	日本での学び	上記についていずれも学ぶことが出来た
	アクションプラン	<p>①新入社員研修を9/27から開始する。2週間に1回、丸1日かけて行う計画。また後継者育成のための研修を検討し、内容を練って11/1にはスタートする。</p> <p>②日本式経営について、人を大切にする経営や従業員が一番大切だという考えを幹部に紹介する。またカイゼン、5Sの研修を行う。</p>
2	氏名	Ms. JADAMBA Munkhtsetseg
	課題・日本で学び	・無駄を削減する方法

No.	項目	内容
	たいこと(来日前に記載)	・5Sとカイゼンの実施方法
	日本での学び	カイゼンを行い、無駄を減らすことで品質が向上することが分かった
	アクションプラン	①経営理念の見直し・明確化を9月末までに実施する。 ②3Sと7つの無駄について、帰国直後から行う。毎月1回皆川教授のような楽しい研修を行い、毎日5分間、週末に30分間3S活動を実施する。
3	氏名	Ms. LAMJAV Munkhtuya
	課題・日本で学びたいこと(来日前に記載)	・カイゼンと、従業員定着率をあげる方法
	日本での学び	単に労働させるのではなく、生産性を上げることの重要性を学んだ。また無駄の見つけ方、従業員に会社に愛着を持ってもらうことの重要性、顧客サービスについても学んだ
アクションプラン	①5Sとカイゼン活動を10/17からスタートさせる。人材担当や従業員と5Sカイゼンの知識を深められる研修をしようと考えている。 ②顧客満足度を上げるため、11月に調査を行う。今後何をするのが自社にとって良いか考え、従業員と話し合いをする。 ③新入社員研修を5月から始める。社史や内規、労働条件等を新入社員にきちんと教える。	
4	氏名	Ms. AKIM Gulmaira
	課題・日本で学びたいこと(来日前に記載)	・工場のレイアウトが生産性に影響しているかを見つける ・個人の態度がビジネスにどれだけ影響しているかを見つける ・全従業員を一つの目的、一つの方向に向かせるため、どのように取り組んでいるかを学ぶ ・会社を長期的に経営するため、顧客を理解するために注目することを学ぶ ・部署間の連携を改善する方法を学ぶ
	日本での学び	これまで弊社は2つのビジョンを持っていたが、ビジョンの価値を浸透させるための理念がなく、またその理念を浸透させる機会がなかったため、せっかくのビジョンの価値が発揮されていない状況だったことがわかった。
アクションプラン	①社会、個人に自社が必要とされていることを従業員にわかってもらうため、9月末から個人とグループでの面談を実施する。 ②年明けから自働化・デジタル化可能な工程を検討し、3月以降に自動化に向けて動いていきたい。従業員と一緒に5年間の事業計画を考える。	
5	氏名	Ms. BAYARAA Enkhzaya
	課題・日本で学びたいこと(来日前に記載)	・生産性をどう上げるか等の課題をもって来日した
	日本での学び	日本式経営と自働化について学んだ。最初に学んだのは、相互に尊重し、人を大事にすること教えることの大切さであった。また工場の自動化の進め方について、様々な企業訪問で学べた
アクションプラン	最初の課題にはとらわれずに学んだことを実施したい。 ①日本式経営を従業員と相談しながら進める。2019年から3つの工場で日本式経営を浸透させたい。資料を集めながら研修を準備していきたい。 ②自働化について、大きな投資を伴うため、調査研究を伴い2年ほどかけて実施していきたい高リスクの工程を見極め、その自働化を進める。	
6	氏名	Mr. SODNOMTSEREN Manlai
	課題・日本で学びたいこと(来日前に記載)	・販売とマーケティングについて、特に販売はぜひ日本で学びたいと思っていた
	日本での学び	利益や販売のことばかり考えていたが、従業員や家族のことを考えて事業をしなければいけないとわかった。従業員満足があって初めて顧客満足が向上することが分かった。また商品開発やPOPでの見せ方等も学んだ。松下幸之助が国や人を愛し、世界の幸せを思って事業を行っていたことを知り、そういった視点で働くことを学んだ。

No.	項目	内容
	アクションプラン	①新人研修を実施する。キャリアプランを従業員に見えるように提示したい ②製品に付加価値をつけて新しい利益を生みたい。品質や値段を下げるのではなく、在庫を抱えずに、品質を下げないことを考える。 ③季節性の事業なので繁忙期があるが、アウトソーシングも検討し、閑散期には 3S やカイゼン等、新しい意見を従業員から集めることをやってみたい。3S や無駄の排除は自身がリーダーとなって実施する。
7	氏名	Mr. OYUNCHIMEG Munkhjargal
	課題・日本で学びたいこと(来日前に記載)	・商品をどうやって消費者に届けるかという課題がある(日本とモンゴルの流通システムは異なり、モンゴルではメーカーが店舗に運んで設置し、売れ残りを回収する)
	日本での学び	人を支援し、社会に貢献するという企業の理念を学んだ。あらゆるビジネスには無駄があり、それを明確化してなくしていくことの重要性を学んだ。また 5S を実施することで職場の生産性を高められることを学んだ。お客様の満足度が従業員の満足度になることも学んだ。
	アクションプラン	①11 月から 2 月にかけて、担当中の 3 部署に対して 3S を実施する。まずは現状を撮影して無駄を確認し、計画を立て、予算を確保し、期間を決めて実施する。 ②10/15～12/25 にかけて全従業員と面談し、彼らが働く目的について聞く。どんな研修が必要か聞いて、予算を確保して、給与・ボーナスにどう反映するかということを決める。
8	氏名	Ms. BATBAYAR Soliragchaa
	課題・日本で学びたいこと(来日前に記載)	・事業計画や戦略の立て方を学びたい
	日本での学び	企業はビジョンを持ち、それを従業員に理解してもらい、やりがいをもって働ける場でないといけないことが分かった。顧客の要望をとらえて新しい製品を生むことも学んだ。また企業としての利点を活かし、不足部分は他社の助けを借りて協力関係を強めるのが事業の良い形だとわかった。日本人が大事にしてきた文化・伝統・歴史をどう愛して守っているか、おもてなしの姿勢も感銘を受けた。
	アクションプラン	①3S の実施。3S ができれば仕事上の失敗はあらかじめ避けることが出来る。 ②新しいビジネスを検討中なので、事業計画を練って、不足している点は他社の協力を得て実施していきたい。
9	氏名	Mr. TSEGMED Bumtsend
	課題・日本で学びたいこと(来日前に記載)	・日本式経営を学び、それによってモンゴルで業界トップになること ・5S の実施方法を学び、品質の良さで認知されるようになること ・自社製品を日本に輸出すること
	日本での学び	3S を徹底することで無駄をなくし、生産性を高め、欠陥品を少なくすることが可能なのだと分かった。現場を改善するための基礎的な知識は得られたと思う。経営資源の中で一番重要なのは人材であり、人材を育てることで企業の発展や利益がついてくることが学べた。企業の本業を通じて、社会に貢献し、そのことが会社を発展させると学べた
	アクションプラン	①3S とカイゼンを 11 月から 2 年間行う。特に 11 月から稼働する新工場は事業内容が似ているタナカテック社に倣って運営管理を行う。 ②人材育成を 11 月から実施。人にやさしい経営を進める。
10	氏名	Ms. JAMIYANSENGEE Odonchimeg
	課題・日本で学びたいこと(来日前に記載)	・完璧な製品の作り方 ・日本式経営
	日本での学び	あらゆることに心が込められている、やった結果が期待を超えたものになるようにしているということが印象的だった。また、日本式経営の根幹部分は人材育成だと分かった。従業員の人間性が高まることで品質が高まることが分かった。
	アクションプラン	①自社の経営システムを改善する。従業員それぞれを育成することが会社の発展とリンクするため、個人のライフプランを考慮し、キャリアパスを明確に示す。
11	氏名	Mr. GAIRIN Bold

No.	項目	内容
	課題・日本で学びたいこと(来日前に記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5S や従業員の作業効率等、工場で抱えている問題を解決したい</li> <li>・形態に近い工場が 5S をどう実施しているか学びたい</li> <li>・企業文化の作り方</li> </ul>
	日本での学び	5S で無駄を明確にして、カイゼンを行い、効率化する手法を学んだ。5S は従業員に参加してもらい、チームでやるのが大事である。現場の従業員の動作のベストポジションを整えることで従業員が働きやすくなることがわかった。
	アクションプラン	<p>①5S を 9 月下旬から実施する。日本で学んだことを従業員に伝えて、問題を整理し、問題解決の方法をチームで話し合ってから実施する。</p> <p>②生産管理の改善を 10 月から実施予定。現状の製造工程の写真をとり、カイゼンのポイントを話し合う。無駄を明確にして、整理していく。</p> <p>③10 月末から企業文化を醸成する。人にやさしい経営の仕組みについて研修し、自社の価値について考えていく</p>
12	氏名	Ms. TSOODOL Unurjargal
	課題・日本で学びたいこと(来日前に記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員満足度と品質を向上させる方法</li> <li>・プロジェクト管理の手法</li> <li>・人材育成(人手不足、研修・勉強会の改善)</li> </ul>
	日本での学び	初来日であり、多くのことを学んだ。
	アクションプラン	<p>①従業員と一つになって自社の目的、経営理念を考え、明確化する</p> <p>②社内にカイゼンチームを作って毎週ミーティングを実施する</p> <p>③従業員満足度を向上させる。まず新入社員向けのマニュアルを作る。快適に働き、生産性が高まるような現場にしたい。従業員と定期的に面談をする</p>
13	氏名	Mr. SAMDAN Ganbat
	課題・日本で学びたいこと(来日前に記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の工場現場での整理整頓や安全管理を体験する</li> <li>・輸送及びその費用を削減できることを学ぶ</li> <li>・日本からモンゴルへの輸送について調べる</li> <li>・輸送期限について、いかに短期化できるか調べる</li> </ul>
	日本での学び	3S、5S 活動を実施中の会社を見学できたことで、3S 活動は中小企業に一番適切な方法であることが分かった。11 年ほど管理者として様々な取り組みをしたが、従業員の 70%程が離職してしまい、上手くいかなかった。人材流出の理由は従業員やその家族の幸せを考えていなかったからだとわかった。
	アクションプラン	<p>①3S の実施</p> <p>②従業員の満足度を上げ、顧客の感動を呼ぶために経営理念を変える</p> <p>③経営の土台は人であるため、モンゴルで愛されるような企業の一つになる</p>
14	氏名	Mr. PUREVJAV Ganzorig
	課題・日本で学びたいこと(来日前に記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスの本業/副業と財務管理、管理会計、人事管理、総務管理等の書類に関する業務を連携させ、ソフトウェア化する(ERP)</li> <li>・日本企業の従業員はなぜ仕事に対する熱意があり、心を尽くし、長く定着しているのかを学びたい</li> <li>・日本のサービス基準とサービス文化を学び、自社に導入する</li> </ul>
	日本での学び	人に優しい経営は自社で元々実施していたが、従業員が一丸となって取り組むような企業文化を醸成しないといけないことが分かった。また人材育成について、経済的なこと以上に心の方面から評価することが大切だとわかった
	アクションプラン	<p>①人にやさしい経営を実施する。従業員各自の生活や人生の目的とうまくリンクさせた事業を行うために、企業が目指しているものを見える化して従業員に浸透させる。2018 年 10 月～12 月にかけて行う。</p> <p>②日本のサービス文化を導入する。サービス向上のために自社でもうまく昇進や昇給とリンクさせたい。</p> <p>③人材育成、評価方法について、自分で働く部署を選択できるようにする。</p> <p>④VR 研修のように新しい技術やイノベーションを取り入れる。</p>
15	氏名	Ms. NARANTUYA Batsukh
	課題・日本で学びたいこと(来日前に記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修、コンサルティングサービスを提供している機関から研修実施方法を学ぶ</li> <li>・日本企業の 5S のベストプラクティスを学ぶ</li> <li>・店舗管理の改善、商品開発方法を学ぶ</li> </ul>

No.	項目	内容
	日本での学び	店舗運営をするうちに当初の目標を忘れ、利益ばかり考えるようになり、消費者の声を全く聞かずに、自分たちのやりたいようにやっていたことがわかった。3Sはトップダウンで行っていたためうまくいかず、自分から進んで見本を見せることと、従業員の意見を聞くことが大事だとわかった。
	アクションプラン	①周りに理解してもらうために自分が変わらないといけない。日本で学んだことを、少しずつ理解を得ながら実施していきたい。 ②何が異常で何が正常なのかを明らかにしていきたい。 ③インターン生が持っている夢や希望を聞き、卒業したときにきちんとビジネスに携われる人材となっているように育てたい。
16	氏名	Mr. NATSAGDORJ Batchuluun
	課題・日本で学びたいこと(来日前に記載)	・モンゴル企業はマネジメントがうまくいっておらず、経営者の事業に対する意識がまだまだだと感じる
	日本での学び	モンゴルでは日本の大企業のことばかり学んできたが、中小企業も経営理念をしっかり見える化して従業員に浸透させて成功していることがわかった
	アクションプラン	①人材育成と品質・生産管理のコンサルティングを実施する。企業は何のためにビジネスをしているのか理解させるためにプレゼンテーションを作り紹介する。
17	氏名	Ms. KHALTARKHUU Garmaabazar
	課題・日本で学びたいこと(来日前に記載)	・人事制度作りに必要な新たな知見やノウハウ(基準化、規程整備など) ・5S/カイゼン活動の徹底に必要な新たな知見やノウハウ(継続性、全職員自らの発想、参画図りなど)
	日本での学び	これまでは受講企業に知識や情報のみを与えていたが、実際にわかるようになるまで継続して指導することが大切だと思った
	アクションプラン	①職員のニーズをヒアリングして企画をたて、課長同士で話を詰めて予算を確保した職員向け研修を1月から実施する ②MOJC内のカイゼンチームと協力しながら正常とは何かを決め、数字で比較できるような形でカイゼン効果をはかる

2) 「モンゴル日本人材開発センター (MOJC) ビジネス人材育成研修」 (2019 年)

【日程表】

実施日	時間	区分	研修テーマ	訪問先/講師
9/1(日)			来日	
9/2(月)	09:00-10:00		プログラムオリエンテーション	JICA 産業開発・公共政策部
	10:00-12:30		ブリーフィング	JICA 東京
	13:30-15:30	講義	コースオリエンテーション/課題確認	RPE 上席コンサルタント 中嶋修(コースリーダー)
	15:45-17:45	講義	導入講義:日本の歴史・文化(日本企業の特徴)	歴史街道推進協議会
9/3(火)	09:30-12:00	講義	プロモーション戦略とその重要性	サクラインターナショナル(株)
	14:00-17:00	講義	最高の顧客満足を実現するために～理念経営と組織開発～	(株)イー・ピーカンパニー
	17:30-20:30	実習	レストランチェーンでの人材育成視察/顧客満足体験	北海道シントク町 塚田農場 新宿西口店(株)イー・ピーカンパニー
9/4(水)	10:00-12:00	講義	経営理念・企業文化～経営に対する考え方～	株式会社エアコンサービス
	ビジネス交流イベント			
	14:00-16:00	講義	セミナー①ビジネス環境紹介	JICA ビジネス交流支援専門家 中村功
		講義	セミナー②JICA の中小企業・SDGs ビジネス支援事業	JICA 民間連携事業部 計画・連携企画課
16:00-17:00	実習	ポスターセッション	参加企業 各自	
9/5(木)		移動	新幹線(東京→名古屋)	
	13:30-15:40	見学	トヨタ生産方式	トヨタ自動車(株)
		移動	借上バス(豊田→大阪)	
9/6(金)	10:00-12:00	講義	原理・原則に基づいたカイゼン	大阪工業大学工学部環境工学科
	13:00-17:00	実習	活動の進め方	
9/7(土)	10:00-11:00	見学	経営理念とものづくり	パナソニックミュージアム
	13:30-17:30	見学	日本文化体験プログラム(京都)	歴史街道推進協議会
9/8(日)			自主学習日	
9/10(月)	09:30-11:30	実習	前半振り返り	RPE 上席コンサルタント中嶋修
	14:00-17:00	講義/ 実習/ 見学	老舗百貨店の経営理念・人材育成～顧客目線の接客、マーケティング戦略～	(株)高島屋京都店
9/11(火)	07:30-11:30	見学	全員参加による 3S 活動、工程管理	(株)山田製作所
	14:00-16:00	見学	5S・安全管理	KTC 京都機械工具(株)
9/12(水)	10:00-12:00	講義	危機的状況を乗り越えた企業の経験	(株)樽正本店
	14:00-17:00	講義	経営理念、マーケティング	(株)伍魚福(見学:マックスバリュ ー長田南店)
	17:00-17:30	見学	店舗での売り場視察(伍魚福)	
9/13(木)	10:00-12:00	見学	企業ミュージアム見学:創業者の精神	カップヌードルミュージアム大阪池田
	13:30-17:30	実習	成果発表準備	RPE 上席コンサルタント中嶋修
9/14(金)	10:10-12:45	発表	成果発表①	RPE 上席コンサルタント中嶋修
	12:45-13:40	-	意見交換会	JICA 関西
	13:40-14:30	発表	成果発表②	RPE 上席コンサルタント中嶋修
	14:40-15:30	-	評価会	RPE 辰巳晴香
	15:45-16:30		閉講式	JICA 関西
9/15(土)			帰国	

【研修員リスト】

No.	氏名	所属先	役職	業務概要
1	Mr.MISHIGDORJ Bayarmagnai (バヤルマグナイ)	MYK Co., ltd	現場施工責任者・取締役	コンサルティング、観光、貿易、インテリアデザイン
2	Ms.DAMDINSHIIREV Bundkhorol (ブンドホロル)	Vortex LLC	社長	建築組み立て、インテリア
3	Mr.ERDENEBAATAR Ganbaatar (ガンバートル)	Gobi Khangai Mebel LLC	マーケティング部長	家具製造
4	Mr.PUREVSUREN Todrol (トドロル)	Monos Food JSC	CEO	食品製造
5	Ms.TSERENDAGVA Sarantsetseg (サラントツェツェグ)	MS Garment LLC	社長	レザー服製造・販売
6	Mr.BAT-OCHIR Chinzorig (チンゾリグ)	Shugam LLC	ゼネラルマネージャー	電線設計
7	Mr.DAMDINSHIIREV Ganbat (ガンバト)	Metroplast LLC	副社長	窓枠、パイプ、プラスチック製造業
8	Mr.DUGARSUREN Gankhuyag (ガンホヤグ)	General Etalon Co.Ltd	CEO	建築コンクリート、ブロック製造
9	Ms.TUMENJARGAL Solongo (ソロンゴ)	Tavan Bogd Consulting LLC	法律アドバイザー	経営コンサルティング、貿易
10	Mr.GANZORIG Ganbayar (ガンバヤル)	Monmaslo LLC	CEO	食品輸入、食品製造
11	Ms.LKHAMJAV Gerelmaa (ゲレルマー)	Lifetronik LLC	販売マネージャー	医療機器、研究所用備品、販売
12	Ms.CHULTEMDARJAA Khaltmaa (ハルトマー)	Skytel LLC	秘書	モバイル通信事業
13	Ms.AVIRMED Uyanga (オヤンガ)	Invescore Property Management LLC	ゼネラルマネージャー	不動産マネジメント
14	Mr.BAYARAA Unur (ウヌル)	Premium Palace LLC	CEO	ホテル・レストラン経営
15	Ms.DAMDIN Uyanga (オヤンガ)	Bumbugur Properties LLC	CEO	不動産マネジメント
16	Mr.DUNJMAA Bat-Erdene (バト・エルデネ)	Mon Shibusaki LLC	エンジニア	自動車部品製造
17	Ms.MYAGMARSUREN Byambasuren (ビャンバスレン)	Erdenet Carpet LLC	工場長	カーペット製造・販売・輸出
18	Ms.OTGON Sendegmaa (センデグマー)	Titem-Uvs LLC	社長	卸売、小売
19	Ms.DANSRAN Narantuya (ナラントヤ)	Snowfields LLC	ゼネラルマネージャー	カシミア製品製造
20	Ms.TSERENNADMID Dagiisuren (ダギースレン)	Monbakery LLC	品質管理マネージャー	食品製造
21	Ms.BOLD Khulan	Monfood Land	CEO	食品製造

No.	氏名	所属先	役職	業務概要
	(ホラン)	LLC		
22	Mr.NYAM-OCHIR Damdindorj (ダムディンドルジ)	NUM	会計教師	教育
23	Ms.BADARCHIN Lkhagvasuren (ハグワスレン)	Food and Agriculture Department of Darkhan-Uul Province	中小企業担 当	省庁
24	Ms.OYUN Bayarmaa (バイアルマー)	MOJC	ビジネスコ ース課職員	教育
25	Ms.SUKHBAATAR Amarbayasgalan (アマルバヤスガラン)	MOJC	日本語課職 員	教育

【成果発表内容】

研修課題	グループメンバー (研修員 No/名前)	発表概要
Group1 販売促進・ コスト削減 の効果的な 方法	11. ゲレルマー 12. ハルトマー 22. ダムディンドルジ 23. ハグワスレン 24. バヤルマー 25. アマルバヤスガラン	<p>&lt;グループ発表&gt;</p> <p>来日前の課題:製品やサービスが顧客の求める水準に達しておらず、セグメントや市場調査も不十分で、戦略的なマーケティングができていない。在庫管理が非効率的で、過多/欠品の頻発で無駄なコストが発生している。</p> <p>本邦研修での学び:販売を促進するため、展示会に参加したり、POPやプライスカードで情報を十分に提示したりすることの重要性を学んだ。また市場調査を行い、顧客満足度を高めることも必要だと感じた。</p> <p>&lt;個人発表&gt;</p> <p>ゲレルマー:従業員の定着を図り、朝礼を実施する。</p> <p>ハルトマー:長期的な事業計画をたて、マーケティング戦略を作る。</p> <p>ダムディンドルジ:生産性向上のため、無駄の削減に取り組む。</p> <p>ハグワスレン:エアコンサービスで学んだ褒めカードを導入する。</p> <p>バイアルマー:新人職員を育成する研修に日本での学びを活かしたい。</p> <p>アマルバヤスガラン:マンネリ化している5S活動をカイゼンする。</p>
Group2 人材マネジ メント	01. バヤルマグナイ 02. ブンドホロル 06. チンゾリグ 07. ガンバット 08. ガンホヤグ 19. ナヤントヤ 21. ホラン	<p>&lt;グループ発表&gt;</p> <p>各社共通の課題である人材をテーマに研修を受けた。どの分野の企業を訪問しても、皆勤勉であり、人を大切にしていることがわかった。帰国後は各社で以下4つに取り組んでいく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営理念を浸透させ、個人の育成計画を立てて人材育成を行う。</li> <li>・職場環境を改善してパフォーマンスを上げ、褒めカードの導入や勤続年数に応じた報酬等で、人材の定着を図る。</li> <li>・事業計画を明確化し、それに応じた個人目標をたてて管理する。</li> <li>・退職理由のヒアリングを行い、人材管理に活かす。</li> </ul> <p>&lt;個人発表&gt;</p> <p>バイアルマグナイ:3Sの実施と継続に取り組む。</p> <p>ブンドホロル:3Sカイゼンの実施と、日々の売り上げを数値化する。</p> <p>チンゾリグ:管理職なので、学びを共有し、経営者に働きかける。</p> <p>ガンバット:3S導入で無駄をなくし、人材定着率を向上させる。</p> <p>ガンホヤグ:3Sカイゼンの導入で無駄を削除する。</p> <p>ナヤントヤ:5Sによって安全性を確保し、定着率と生産性を上げる。</p> <p>ホラン:5Sの挫折経験があるので、3Sを改めて実施し定着させる。</p>

研修課題	グループメンバー (研修員 No/名前)	発表概要
<b>Group3</b> サービス基 準の設定と 人材の定着	09. ソロンゴ 13. オヤング 14. ウヌル 15. オヤング 18. センデグマー 20. ダギースレン	<p>&lt;グループ発表&gt;</p> <p>来日前の課題: 基準の不明瞭さや、離職率の高さのためにサービスが安定しておらず、顧客満足が得られにくい。また業務プロセス毎のマニュアル作成や PDCA 体制が整っておらず、生産性が低い。</p> <p>本邦研修での学び: 自社だけでなく、原料生産等の協力者や顧客も含めた All Win という考え方が重要だと感じた。また経営理念が全従業員に浸透すれば企業が 1 つの方向を目指すことができることや、心から敬意をこめたサービスをすることで従業員の満足度が上がり、顧客満足度も高まるということが理解できた。</p> <p>&lt;個人発表&gt;</p> <p>ソロンゴ: 忍耐強く努力を重ねることが大切だと感じた。</p> <p>オヤング(No.13): まずは 5S カイゼンを徹底させる。</p> <p>ウヌル: 従業員に自社の理念やミッションを理解頂けるよう取り組む。</p> <p>オヤング(No.15): 作業計画・事業計画の見直しを行いたい。</p> <p>センデグマー: 顧客データベースの整備や、POP のカイゼンを行う。</p> <p>ダギースレン: 従業員に学びを報告し、朝礼を定着させたい。</p>
<b>Group4</b> 生産工程の マネジメント 手法	03. ガンバートル 04. トドロル 05. サランツェツェグ 10. ガンバヤル 16. バト・エルデネ 17. ビャンバスレン	<p>&lt;グループ発表&gt;</p> <p>来日前の課題: 生産プロセスの適切なマネジメント方法や、労働安全・衛生の管理、体系的・組織的な生産方式、5S の実施、人材採用・育成をどのように行うか、商品の質の向上。</p> <p>本邦研修での学び: 製造業者の視点から訪問先を見ると、時間厳守・原理原則の徹底・整理整頓・日本化(自社への適用)によって発展したことがわかった。良い商品を作るためには良い材料が必要で、そのためには生産者である人材も大切にしなければならない。従業員が幸せであればよい商品を生み出せることを学んだ。</p> <p>&lt;個人発表&gt;</p> <p>ガンバートル: 小さいことでも常にカイゼンする努力を学んだ。</p> <p>トドロル: 生産の流れを意識し、従業員の理解を得るようにしたい。</p> <p>サランツェツェグ: All Win を実現させる方法を考えたい。</p> <p>ガンバヤル: 事業計画の立て直しとタイムマネジメントを行いたい。</p> <p>バト・エルデネ: 5S を継続実施しているが、更なるカイゼンをする。</p> <p>ビャンバスレン: 月次計画を見直し、品質管理を徹底したい。</p>

添付資料

1) 「ビジネス人材育成研修」(2018年)

1. 研修員アンケート結果 Part1 & Part2

2. 「モンゴルビジネスセミナー&企業交流会(東京)」参加日本企業アンケート結果

3. 「モンゴルビジネスセミナー&企業交流会(大阪)」参加日本企業アンケート結果

2) 「モンゴル日本人材開発センター(MOJC)ビジネス人材育成研修」(2019年)

1. 研修員アンケート結果 Part1 & Part2

2. 「モンゴルビジネスセミナー&企業交流会」参加日本企業アンケート結果

RPE質問票  
Questionnaire Result by RPE

<モンゴル日本センタービジネス人材育成研修2018>

2018/9/13

研修員# Participant#	Part 1 ツアー全体について (Evaluation of the tour)										研修成果について	研修員毎 平均点 AVE. per participant
	1. Impression of Japan Tour	2. Duration	3. Schedule	4. Number of Company Visit	5. Contents of texts	6. Translation of texts	7. Interpretation and coordination done by training coordinator	8. Facilities at JICA Center	9. Meals (especially each lunch)	10. Transportation	研修項目について、自 身の達成状況をどう評 価しますか？	
1	4	4	5	4	5	3	5	5	4	3	4	4.2
2	5	5	5	5	5	4	5	5	5	5	5	4.9
3	5	4	4	5	4	3	5	4	4	4	4	4.2
4	5	5	5	4	4	4	4	5	5	4	4	4.5
5	5	3	4	5	3	3	4	5	4	3	4	3.9
6	5	5	5	5	5	4	5	5	5	5	5	4.9
7	5	4	5	5	5	3	5	5	5	5	5	4.7
8	5	3	4	4	4	3	4	4	4	4	5	4.0
9	5	5	4	5	5	3	5	5	5	5	5	4.7
10	5	3	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4.0
11	5	5	5	5	5	4	5	5	5	5	5	4.9
12	5	5	4	5	5	4	4	5	5	5	5	4.7
13	5	5	5	4	5	4	5	5	5	5	5	4.8
14	4	4	3	5	3	3	4	4	4	3	3	3.6
15	5	3	4	4	2	2	4	4	3	3	5	3.5
16	5	4	4	3	4	2	5	5	4	4	4	4.0
17	5	5	5	5	5	2	5	5	5	3	5	4.5
結果 Result	5 = Excellent, 4 = Good, 3 = Fair, 2 = Poor, 1 = Very poor											
5	15	8	8	10	9	0	10	12	9	8	10	
4	2	5	8	6	5	6	7	5	7	3	6	
3	0	4	1	1	2	8	0	0	1	5	1	
2	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
回答数 Number of Response	17	17	17	17	17	17	17	17	17	16	17	
解答率 Response Ratio	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	94%	100%	
平均点 AVE.	4.9	4.2	4.4	4.5	4.3	3.2	4.6	4.7	4.5	4.2	4.5	全体平均点 AVE. 4.36

未回答

RPE質問票

<モンゴル日本センタービジネス人材育成研修2018>

Questionair Result by RPE

Part 2 各研修について (Evaluation of each program)

研修員#	北条氏導入講義	オリエンテーション/課題確認(中嶋)	トヨタL&F	APカンパニー講義	APカンパニー食事	東京ペットボトルリサイクル	ビジネスセミナー(東京)	トヨタ工場見学	サンパック	伍魚福	中間振り返り(中嶋)	ビジネスセミナー(大阪)	パナソニックミュージアム	リコー	小金屋食品	タナカテック	ミキハウス	関西ホームサービス	ドリームス	山岡製作所	羽車	皆川教授講義	皆川教授ワークショップ	成果発表準備(中嶋)	研修員毎平均点
1	5	5	5	4	5	4	4	4	4	5	4	5								4	4	5	5	5	4.53
2	4	5	4	5	4	5	3	4	4	4	5		5			5	5			3	4	5	5		4.39
3	5	5	5	5	4	5	3	5	5	5	5		5	5	5			4	5			5	5		4.78
4	5	5	5	5	5	5	4	5	5	5	5		5			4	4			5	5	5	5	5	4.84
5	4	4	5	5	5	5	3	5	4	4	4		5			4	5			5	4	5	5	4	4.47
6	5	5	5	5	5	5	4	5	5	5	5		5			5	5			5	5	5	5	5	4.95
7	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		5			5	5			5	5				5.00
8	5	5	5	5	5	5	3	5	5	5	5		4	5	5			5	5			5	5	5	4.84
9	4	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5		4			5	5			5	5	5	5	5	4.84
10	5	5	5	5	5	5	4	5	5	5	5		4			5	5			5	5	5	5	5	4.89
11	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		5			5	5			5	5	5	5	5	5.00
12	5	4	5	5	5	4	3	5	4	4	5		5	5	4			5	3			5	5	5	4.53
13	5	5	5	5	5	4	4	5	5	5	5		4			5	5			5	5	5	5	4	4.79
14	5	5	4	4	5	4	3	4	3	4	4		5		3			2	3			3	4		3.89
15	3	5	3	5	5	5	3	5	5	4	5		5		4			4	4			5	5	5	4.47
16	4	4	4	3	3	5	2	5	5	4	3		4			5	4			3	4	5	5	4	4.00
17	5	5	5	5	5	5	3	5	5	5	5		5		5			5	5			5	5		4.89
結果 Result	5 = Very useful, 4 = Useful, 3 = Normal, 2 = Little useful, 1 = Not useful																								
5	12	14	13	13	14	13	3	14	12	11	13	6	6	6	3	8	8	3	3	8	7	15	15	9	
4	4	3	3	3	2	4	5	3	4	6	3	2	3	0	2	2	2	2	1	1	4	0	1	3	
3	1	0	1	1	1	0	8	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2	2	0	1	0	0	
2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
回答数	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	8	9	6	6	10	10	6	6	11	11	16	16	12	
解答率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	91%	91%	100%	100%	100%	100%	94%	94%	71%	
平均点 AVE.	4.65	4.82	4.71	4.71	4.76	4.76	3.59	4.82	4.65	4.65	4.71	4.75	4.67	5.00	4.33	4.80	4.80	4.17	4.17	4.55	4.64	4.88	4.94	4.75	

未回答

訪問先平均点

『モンゴルビジネスセミナー&企業交流会』(9/5 東京)

参加企業アンケート集計結果

業種	製造業	9	21%
	サービス業	4	9%
	情報通信業	3	7%
	建設業	5	12%
	卸売・小売業	3	7%
	コンサルタント	9	21%
	自治体/支援機関等	3	7%
	NGO/NPO	0	0%
	その他	7	16%
合計	43	100%	

参加のきっかけ	JICA	23	55%
	東京都中小企業振興公社	4	10%
	中小企業基盤整備機構	0	0%
	千葉銀行	3	7%
	SNS	7	17%
	その他	5	12%
	合計	42	100%

参加理由	モンゴルの産業事情に興味があった	17	40%
	企業経営者との交流に興味があった	2	5%
	モンゴル進出を検討中	7	16%
	情報収集の一環として	17	40%
	その他	0	0%
合計	43	100%	

中村氏講義 満足度	満足	29	67%
	やや満足	14	33%
	どちらともいえない	0	0%
	やや不満	0	0%
	不満	0	0%
	合計	43	100%

岡弁護士講義 満足度	満足	15	36%
	やや満足	16	38%
	どちらともいえない	9	21%
	やや不満	1	2%
	不満	1	2%
合計	42	100%	

企業プレゼン・ポ スターセッション 満足度	満足	9	27%
	やや満足	14	42%
	どちらともいえない	10	30%
	やや不満	0	0%
	不満	0	0%
合計	33	100%	

セミナー全体 満足度	満足	12	35%
	やや満足	20	59%
	どちらともいえない	2	6%
	やや不満	0	0%
	不満	0	0%
合計	34	100%	

同様のセミナーへ の参加希望	参加したい	33	92%
	どちらともいえない	3	8%
	希望しない	0	0%
	合計	36	100%

# 『モンゴルビジネスセミナー&企業交流会』(9/10 大阪)

## 参加企業アンケート集計結果

セミナー全体 満足度	満足	11	100%
	どちらともいえない	0	0%
	満足していない	0	0%
	合計	11	100%

### 満足度の回答理由

- ・日本企業のリスクの話聞いて具体的なモンゴル企業との商談もできた
- ・モンゴル国の実情がよくわかりました
- ・中村氏、岡氏と面談できた
- ・両国共に関心のある方が多く参加している
- ・現地の生の声を聞くことが出来た
- ・内容は充実していました
- ・一般的な事業概要がわかった

特に参考になっ たプログラム (複数選択可)	中村氏講義	10
	岡弁護士講義	8
	企業面談・交流	4
	個別面談	4

同様のセミナー への参加希望	参加したい	9	82%
	希望しない	0	0%
	未回答	2	18%
	合計	11	100%

RPE質問票

Questionnaire Result by RPE

<モンゴル日本人材開発センター(MOJC)ビジネス人材育成研修>

研修員# Participant#	Part 1 ツアー全体について (Evaluation of the tour)										研修成果について 研修項目について、自身の達成状況をどう評価しますか？	研修員毎平均点 AVE. per participant
	1. Impression of Japan Tour	2. Duration	3. Schedule	4. Number of Company Visit	5. Contents of texts	6. Translation of texts	7. Interpretation and coordination done by training coordinator	8. Facilities(Hotel)	9. Meals (especially each lunch)	10. Transportation		
1	5	5	5	4	5	4	4	4	5	5	4	4.55
2	5	4	5	4	5	3	5	3	4	4	4	4.09
3	5	5	5	5	5	4	5	5	5	5	5	4.91
4	5	3	3	4	4	4	4	4	4	5	5	4.09
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.00
6	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	3.91
7	5	4	4	4	5	3	5	5	5	5	5	4.64
8	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.91
9	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.91
10	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.91
11	5	5	5	5	5	5	4	5	5	5	5	4.91
12	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.91
13	5	5	5	5	5	5	4	5	5	5	5	4.91
14	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.00
15	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.00
16	5	4	4	4	4	4	5	4	4	5	4	4.36
17	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.00
18	5	5	5	5	5	5	5	4	4	5	4	4.73
19	5	5	5	4	4	5	5	5	5	5	4	4.73
20	5	5	5	5	5	5	4	5	4	5	4	4.73
21	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4.82
22	5	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	4.91
23	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.91
24	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.00
25	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.91
<b>結果 Result</b>	5 = Excellent, 4 = Good, 3 = Fair, 2 = Poor, 1 = Very poor											
5	24	17	20	19	22	16	21	19	18	23	14	
4	1	7	4	6	3	7	4	4	6	2	11	
3	0	1	1	0	0	2	0	2	1	0	0	
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
<b>回答数 Number of Response</b>	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	
<b>解答率 Response Ratio</b>	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	<b>全体平均点 AVE.</b>
<b>平均点 AVE.</b>	4.96	4.64	4.76	4.76	4.88	4.56	4.84	4.68	4.68	4.92	4.56	4.75

## RPE質問票

## &lt;モンゴル日本人材開発センター(MOJC)ビジネス人材育成研修&gt;

## Questionnaire Result by RPE

研修員#	Part 2 各研修について (Evaluation of each program)																			研修員毎 平均点
	オリエン テーション /課題確 認(中嶋)	導入講義 (歴史街 道)	プロモー ション戦 略とその 重要性 (サクラ INTL)	APカンパ ニー講義	APカンパ ニー食事	エアコン サービス	ビジネス セミナー (東京)	トヨタ工場 見学	大阪工業 大学	パナソ ニック ミュージア ム	京都文化 研修	前半振り 返り(中 嶋)	京都タカ シマヤ	山田製作 所	KTC	樽正本店	伍魚福	カップヌー ドル記念 館		
1	5	5	5	4	4	5	4	5	5	4	5	5	4	5	5	4	5	5	5	4.67
2	4	3	3	4	4	5	3	4	5	4	4	5	3	5	3	3	3	3	3	3.78
3	5	5	3	5	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.83
4	4	4	3	5	5	5	3	5	5	5	5	4	3	5	5	4	4	4	5	4.39
5	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.94
6	4	4	3	4	4	4	5	5	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	4	4.22
7	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	5	4.89
8	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.00
9	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5	4	5	4	5	5	3	5	4	4	4.67
10	5	4	5	5	5	5	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4.78
11	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.94
12	5	5	4	5	5	5	4	5	5	5	4	5	4	4	5	4	5	4	4	4.61
13	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.00
14	5	5	3	5	5	5	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.78
15	5	5	3	5	5	5	3	5	5	5	5	5	3	5	5	5	5	5	5	4.67
16	4	4	4	5	4	4	3	5	5	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	4.33
17	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.94
18	4	5	4	5	4	5	4	4	5	5	5	5	5	4	4	5	5	4	4	4.56
19	5	5	4	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	5	5	5	4.83
20	5	4	3	5	5	5	4	4	5	4	5	5	4	5	4	4	4	3	4	4.33
21	5	5	3	5	5	5	4	5	5	5	5	4	4	5	5	5	5	4	4	4.67
22	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4.89
23	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.00
24	5	5	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.89
25	5	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	5	5	4	5	5	5	4.78
結果 Result	5 = Very useful, 4 = Useful, 3 = Normal, 2 = Little useful, 1 = Not useful																			
5	20	18	6	22	20	22	13	22	25	22	20	22	14	22	22	15	19	14		
4	5	6	10	3	5	3	6	3	0	3	5	3	8	3	2	8	4	10		
3	0	1	9	0	0	0	6	0	0	0	0	0	3	0	1	2	2	1		
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
回答数	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	平均点
解答率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
平均点 AVE.	4.80	4.68	3.88	4.88	4.80	4.88	4.28	4.88	5.00	4.88	4.80	4.88	4.44	4.88	4.84	4.52	4.68	4.52	4.70	

2019年9月4日開催 『モンゴルビジネスセミナー & 交流会』  
参加日本企業アンケート集計結果

参加者数	69
回答数	28
回答率	41%

業種	製造業	5	18%
	サービス業	2	7%
	情報通信業	1	4%
	建設業	1	4%
	卸売業・小売業	4	14%
	コンサルタント	10	36%
	自治体/支援機関等	0	0%
	NGO/NPO	0	0%
	その他	5	18%
合計	28	100%	

参加のきっかけ	JICA HP	9	32%
	JICA メルマガ	8	29%
	東京都中小企業振興公社	0	0%
	SNS	2	7%
	知人の紹介	7	25%
	その他	2	7%
合計	28	100%	

参加理由	産業事情に興味があった	15	44%
	企業経営者との交流に興味があった	3	9%
	進出を検討中	5	15%
	情報収集	10	29%
	その他	1	3%
合計	34	100%	

※複数回答可

中村氏 講義 満足度	満足	23	82%
	やや満足	3	11%
	どちらともいえない	1	4%
	やや不満	1	4%
	不満	0	0%
合計	28	100%	

コメント：  
・プレゼンしなかった資料の後半の話がとても重要。成功例だけでなく、日本人らしいやり方でできるビジネスが必要だと思います。  
・様々な点をカバーされていたこと、実務的な視点があったこと、良い点悪い点の両方にふれていただいでいて、とても勉強になりました。  
・モンゴルの特徴がよく分かった。もっとモンゴルの進出のTipsがあるとよかった。

JICA スキーム 説明 満足度	満足	15	54%
	やや満足	11	39%
	どちらともいえない	2	7%
	やや不満	0	0%
	不満	0	0%
合計	28	100%	

コメント：  
・新しく知る情報がたくさんありました。  
・もっと具体例を教えてください  
・SDGsの意味がわかり、モンゴルでの事業に力を入れてやっていきます

ポスター セッション 満足度	満足	15	75%
	やや満足	4	20%
	どちらともいえない	1	5%
	やや不満	0	0%
	不満	0	0%
合計	20	100%	

コメント：  
・ポスターの内容がわかりやすかったです。通訳の方もついてくれて、円滑に会話できました。  
・日本人ともっと交流したかったです  
・事前に企業情報が分かる(そうだったかもしれません)方が良かった。

全体的な 満足度	満足	19	73%
	やや満足	5	19%
	どちらともいえない	2	8%
	やや不満	0	0%
	不満	0	0%
合計	26	100%	

コメント：  
・モンゴルの事を理解できた

**モンゴル国**  
**日本人材開発センタービジネス人材**  
**育成・交流拠点機能強化プロジェクト**

**インパクト調査報告書**

2020年3月

リロ・パナソニック エクセルインターナショナル株式会社

FUSION CONSULTING LLC



## 目次

要約.....	1
1 調査概要.....	3
1.1 背景.....	3
1.2 調査対象.....	3
1.3 インパクト調査の主な目的.....	4
1.4 調査方法.....	4
2 調査対象企業アンケート結果.....	5
2.1 調査対象企業の概要.....	5
2.1-1 調査対象企業の分析.....	5
2.1-2 調査対象企業の業績推移.....	9
2.2 研修の評価.....	15
3 研修後の動向とその要因.....	19
3.1 研修から得た知識の実践.....	19
3.2 今後の課題.....	20
4 MOJC ビジネスコースに対する改善要望と期待.....	20
5 他類似機関における研修内容.....	21
添付資料.....	22



## 要約

2002年6月に開講したモンゴル日本人材開発センター（通称モンゴル日本センター：Mongolia-Japan Center for Human Resources Development: MOJC）のビジネスコースは本調査開始時において17年目を迎えた。ビジネスコース受講によるモンゴル企業へのインパクトを計測・分析する観点から、コース修了企業のその後をフォローアップ調査した。

モンゴル企業へのインパクトは、妥当性、持続性、有効性、効率性の4つの評価基準から確認した。妥当性においては、MOJC ビジネスコースのカリキュラム内容と、講座受講後の企業における売上や顧客数の増加、赤字事業の減少等の経営改善との関連性からその効果を測った。有効性においては、受講企業や社会に対する貢献度（雇用増が達成されたか等）、効率性においては「通常コース」での「経営者クラス」「管理職クラス」において適正な対象者が参加しているか、該当する役職者の参加比率を評価基準とし、持続性においては、ビジネスコースに継続的に受講者を送る企業数を判断基準とした。対象50社の主な調査項目に対する変化は以下の通りであった。

**売上高**：2014年度比で平均130%（2.3倍）を示した。

**利益率**：主要産業である中国向け鉱物資源の下落を受けた経済の低成長下で、多くの企業が利益率を落とす傾向が見られた。50社中34社が利益率20%以下を示した。

**従業員数**：2014年度の合計約2,000名に対し、2018年度は約2,700名に達した。

**離職率**：採用人数に対する離職率は2014年度比で57%から68%と悪化した。この背景には低成長下における外国への出稼ぎの影響があるものと思われる。

**平均勤続年数**：退職者の平均勤続期間は2014年度比で0.8ヶ月から18ヶ月となり、在職期間は長期化の傾向にある。

**顧客数**：2.5倍に増加している。

**クレーム数**：増加傾向を示した。

**品質不良率のカイゼン**：回答12社中、7社でカイゼンが見られた。

調査から得られたデータ分析から、講義を通して得られた様々な知見を企業で応用していることがわかった。「経営戦略」では事業が計画的に行われるようになった、売上が上昇したと評価する企業が50社中35社、「マーケティング」においては顧客数が増加したと評価する企業が50社中36社、「財務管理」においては赤字事業がなくなった・減ったと評価する企業が50社中24社、「人的資源管理」においては従業員間のコミュニケーションが改善したと評価する企業が50社中34社に上り、講座の妥当性が確認できた。有効性においては、対象50社における雇用増が2014年度の2,000人に対し2018年度は2,700人となり、修了企業の社会に対する雇用増面での貢献度が認められる。持続性においては、「通常コース」に2名以上の受講者を送る企業が調査機関の5年間で30社認められ、さらに10%の企業では10名以上の社員が受講者となっていたことから、モンゴル企業における人材育成機

関としての MOJC ビジネスコースの定着が伺え、持続性の高いコース運営ができていると言える。効率性の視点では、「経営者クラス」における経営者の参加率が 84%、「管理職クラス」における管理職の参加率が 72%という結果を示し、コースの内容と対象者が一致していると評価できる。

更に、コース運営はプロジェクト受注者であるリロ・パナソニック エクセルインターナショナル株式会のコンサルタント（プロジェクト総括）、MOJC スタッフ、長期専門家との意見交換を踏まえて実施されており、講義後の意見交換会等に至る一連の活動はスタッフの OJT となり、組織の持続性の確保に向けた準備が進められている。本インパクト調査においても MOJC スタッフは現地再委託先コンサルタント企業と協働してインタビューに当たっており、自主的にビジネスコースの成果確認を進めた。ビジネスコースの自律運営に向けたコースの効果確認を行う体制の構築が今後の課題だと思われる。

今後のビジネスコースのあり方として、現地スタッフと受講者企業、モンゴル国立大学関連機関等のネットワークを強化することで、更なる現地化の推進を可能とし、現地の課題解決に資するコース設計を自ら行えるようにすることと思料する。

# 1 調査概要

## 1.1 背景

モンゴル国は1990年代より市場経済化に向けて舵を切っている。主要資源である鉱物資源価格の上昇により2011年にはモンゴル国は約17%に達する非常に高い経済成長率を達成している。しかしながら鉱山以外の産業ではほとんど発展が見られない状況であり、中小企業の育成は産業の多様化と雇用の促進から非常に重要な課題となっている。

MOJCは日本的経営の考え方をベースとした優れた研修コースを中小企業の人材向けに提供しており、2002年度より2018年度までに約20,000名（中核の「通常コース」では約800名）を超える優秀な修了生を輩出している。今日では、MOJCは実践的な指導をモンゴルの有力企業に提供していることでも知られるようになっていく。

本プロジェクトの終了年度である2020年を前にして、今回のインパクト調査ではMOJCのビジネスコースが修了生企業に与えたインパクトを把握し、「成果事例集」にまとめることを通じて、MOJCのビジネスコースの人材育成事業によるモンゴル国の産業界への貢献を明らかにする。また、産業界のニーズにマッチするコースを今後とも提供するため、ビジネス人材育成ニーズを確認する。

## 1.2 調査対象

MOJCの「通常コース」修了生の中からMOJC推薦の50社を対象とする。

MOJCでは2002年よりビジネスコースを開講しているが、現時点でその成果を測ることは時間の経過と効果の面から疑問が残ることから、本調査では直近の5年間における「通常コース」修了企業累計約320社の中から、「通常コース」の受講回数の多さを主な基準に50社への絞り込みが行われた。

現在のMOJCの主な活動は以下の3点である。

- 1) ビジネスコース（基礎コース、通常コース、専門コース、モデル企業課題解決プログラム、企業内研修、PCコース等）
- 2) 日本語コース
- 3) 日本・モンゴル相互理解促進事業（モンゴル文化と日本文化の紹介イベント、日本留学フェア、留学情報提供、日本フェスティバル、図書室運営等）

本調査の対象は上記1) ビジネスコースにおける「通常コース」修了企業とする。その理由としては、「通常コース」の受講者は主に経営者であり、コース参加で得た知見を自身の意思で経営に活かせる立場にあるためである。「通常コース」の講義は「経営戦略」、「マーケティング」、「財務管理」、「人的資源管理」から構成されるが、2015年度までは前述4講座に加えて「生産管理」、「店舗管理」が選択科目として開講されていた。2015年度に実施されたニーズ調査により、2016年度から「通常コース」は「経営者クラス」及び「管理職クラス」の2クラスで運営されている。その内容と概要については、次頁表の通り。

## MOJC「通常コース」概要

種類	概要	内容
通常コース (経営者クラス)	対象：大企業・中小企業経営者 定員：1クラス原則40名まで 期間：3ヶ月程度、6日×4科目受講	目的：経営者の経営課題解決能力の強化を目的とする。 ①経営戦略、②マーケティング、 ③人的資源管理、④財務管理
通常コース (管理職クラス)	対象：大企業・中小企業の管理職 定員：1クラス原則40名まで 期間：3ヶ月程度、5日×4科目受講	目的：管理職としての実務知識の習得と実践力の向上を目的とする。 ①経営戦略、②マーケティング ③人的資源管理、④財務管理(現地講師)

直近5年間における「通常コース」受講者数の推移を下記に示す。

		2014年度 2014/9-2015/6	2015年度 2015/9-2016/6	2016年度 2016/9-2017/6	2017年度 2017/9-2018/6	2018年度 2018/9-2019/6
通常コース 1クラス制 2016/9以降 (経営者クラス)	経営戦略(20時間)	49	49	35	39	41
	マーケティング(20時間)	49	49	35	38	41
	財務管理(20時間)	49	49	32	36	41
	人的資源管理(20時間)	49	49	35	37	41
選択(1科目)	生産管理(20時間)	29	36			
	店舗管理(20時間)	26	47			
通常コース (管理職クラス)	経営戦略(20時間)			36	40	42
	マーケティング(20時間)			32	48	42
	財務管理(20時間)			37	42	42
	人的資源管理(20時間)			35	43	42
<b>通常コース合計</b>		<b>251</b>	<b>279</b>	<b>277</b>	<b>323</b>	<b>332</b>

### 1.3 インパクト調査の主な目的

本調査の主な目的は下記の通りである。

- 1) MOJC によるビジネスコースの成果を確認する。
- 2) 確認された成果を「成果事例集」としてまとめる。
- 3) MOJC が今後展開するビジネスコースの設計に有効な情報を収集する。

### 1.4 調査方法

本調査の方法は下記の通りである。

- 1) 対象：ビジネスコース「通常コース」修了生/修了企業 50 社
- 2) 調査手法：アンケート調査及び面談によるインタビュー調査
- 3) 調査地域：ウランバートル（以下、「UB」）及び近郊
- 4) 調査項目：
  - A) 企業概要
    - (ア) 企業名
    - (イ) 資本金
    - (ウ) 設立年度

- (エ) 業種
  - (オ) 従業員数
  - (カ) 「通常コース」参加年度
  - (キ) MOJC モデル企業経験の有無
  - (ク) モンゴル TOP150 企業での位置づけ
- B) 下記項目に対する 5 年間（2014 年～2018 年）の推移
- (ア) 売上高
  - (イ) 利益率
  - (ウ) 従業員数
  - (エ) 離職率
  - (オ) 従業員平均勤続年数
  - (カ) 顧客数
  - (キ) 品質クレーム数
  - (ク) 支店数

5) 調査時期：2019 年 4 月～12 月

## 2 調査対象企業アンケート結果

### 2.1 調査対象企業の概要

調査企業 50 社については、MOJC の協力によって推薦された 50 社に設定した。50 社の推薦基準は前述の通り、成果の発現が確認できることを前提に、「通常コース」への参加回数<sup>1</sup>の多さや、「モデル企業課題解決プログラム<sup>1</sup>」への参加経験に基づく。その内訳は製造業 30 社、非製造業（サービス、物販、卸、建設、農業等）20 社となった。この比率は通常コースの受講者の業種比率である製造業 45%、非製造業 55%に比較して、やや製造業の比率が高いが、業績推移を確認する上では支障はないものと思料する。

なお、調査企業に対する情報保護の観点から、50 社の企業概要は非公開とする。

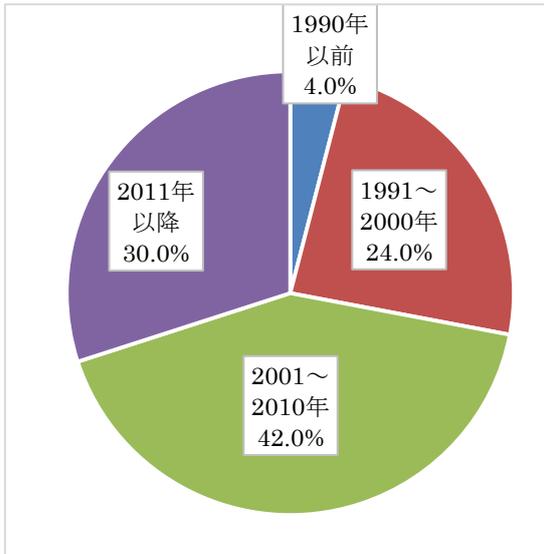
#### 2.1-1 調査対象企業の分析

##### 設立年度

設立年代毎の調査対象企業（50 社）の特徴は次頁の通りである。

---

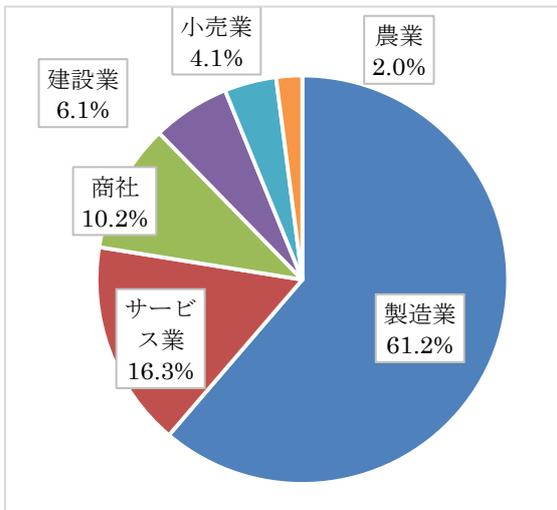
<sup>1</sup> 「モデル企業課題解決プログラム」は「通常コース」の修了生企業を対象に、年間 3 社～4 社に対して約 7 ヶ月間（6 回指導）にわたり指導するプログラムである。企業が直面する経営課題を分析し、課題を絞り込み、解決に向けて指導を行うプログラムであり、その改善プロセスが他企業のモデルとなるように企業育成を行う。



- ・ 1990年以前に設立された企業は社会主義時代の国営企業が民営化されたものである。
- ・ 受講者企業の96%は1991年以降に設立された企業である。
- ・ 対象50社の24%を占める1991年~2000年に設立された企業は大企業に成長している企業が多い。
- ・ 対象50社において、2001~2010年に設立された企業が全体の42%と最も高い割合を占めており、その中には年間売上げが100億MNT(モンゴルトゥグルグ、邦貨約3.9億円)を超える企業に成長しているものもある。

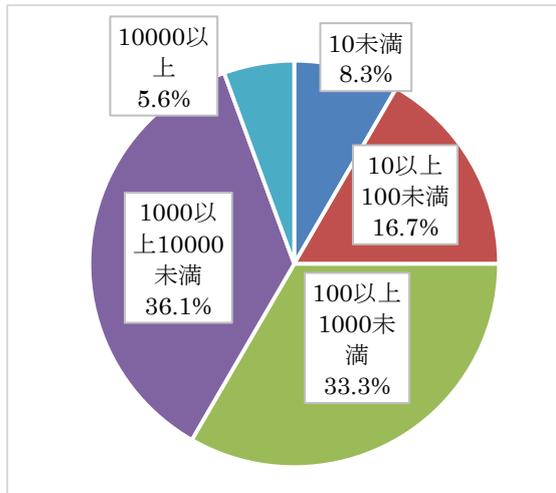
・ 2011年以降に設立された企業は全体の30%を占めているが、MOJC ビジネスコースを受講した大企業の子会社も多く含まれている。

業種



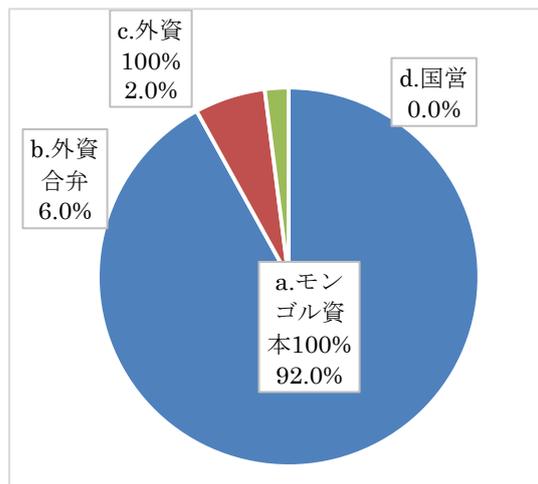
・ 本調査において対象となった50社の内訳は製造業約60%、製造業以外約40%であった。

資本金 (単位：百万 MNT)



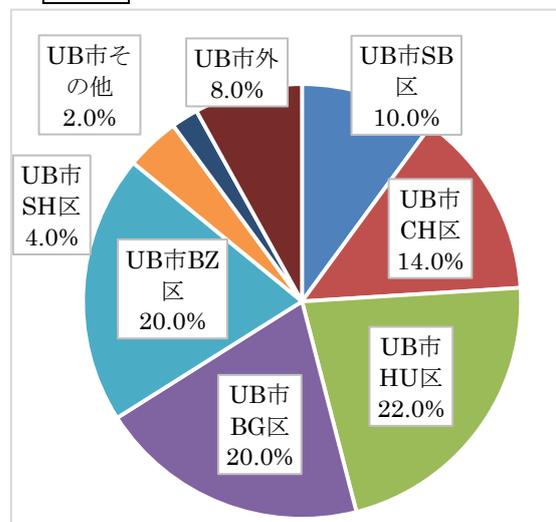
- ・資本金と売上高の比率（資本回転率）は必ずしも比例しない。一部の会社は資本が一回転していない。
- ・資本金 10 億 MNT 以上の会社の業種は製造業とサービス業（不動産）が多い。
- ・サービス業（不動産以外）は資本金 1 億 MNT 未満の企業が多い。

所有形態



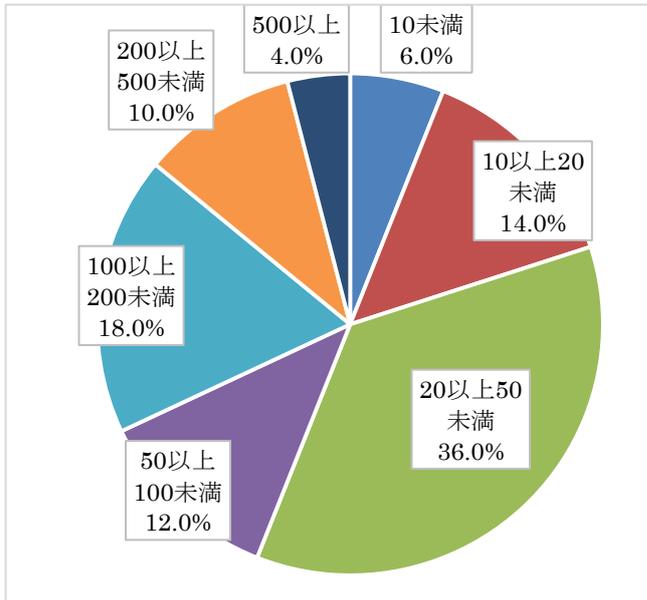
- ・モンゴル資本 100% が 46 社と、圧倒的に多かった。
- ・外資合弁企業は 3 社、外資 100% 企業は 1 社で、いずれも合弁相手は日本であった。
- ・国営企業は今回の調査対象には存在しなかった。

所在地



- ・UB 市中心部 6 区で全体の 9 割以上を占め、特にハンオール (HU) 区、バヤンズルフ (BZ) 区、バヤンゴル (BG) 区が多い。HU 区には社会主義時代からコンビナートがあったため、製造業社が多い。
- ・民主化以降は BG 区の第 4 発電所周辺も工業用途地域として私有化されたため、広い土地を持つ製造業が増えている。
- ・UB 市中心部以外および地方の企業は 4 社あり、このうち 3 社が製造業（繊維製品）である。

### 従業員数



・20人以上50人未満が36.0%（18社）で最も多かった。次いで、100人以上200人未満が18.0%（9社）である。

参考情報として、モンゴル国中小企業支援法（2019.6.6付）第5条5.1では企業規模の分類は次の通り定められている。

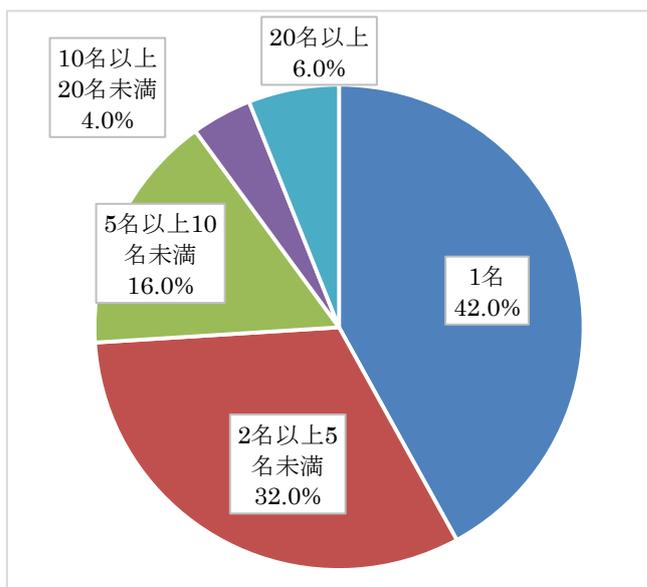
零細企業：従業員10人未満、製造業、商業、サービス業の売上高3億MNT未満の企業。

小企業：従業員10人以上50人未満、製造業、商業、サービス業の売上高3億以上10億MNT未満の企業。

中企業：従業員50人以上200人未満、製造業、商業、サービス業の売上高10億以上25億MNT未満の企業（従業員数と売上高を同時に満たさない場合、従業員数で区分する）

この区分に従うとすれば、50社のうち、零細企業が7社、小企業が21社、中企業が15社、大企業が7社となる。

### 通常コース受講者数



・MOJCのビジネスコースが地元企業にどのように受け入れられているかを、同じ企業から何名が「通常コース」を受講したかで調べたものである。

・全体の42%が1名参加であるが、他方2名以上を通常コースに送り込んだ企業は58%と過半数を占め、全体の10%が10名以上をコースに送り込んでいる。

・これらの数字から、MOJCはウランバートル中小企業ビジネス人材育成の研修機関として認知されている

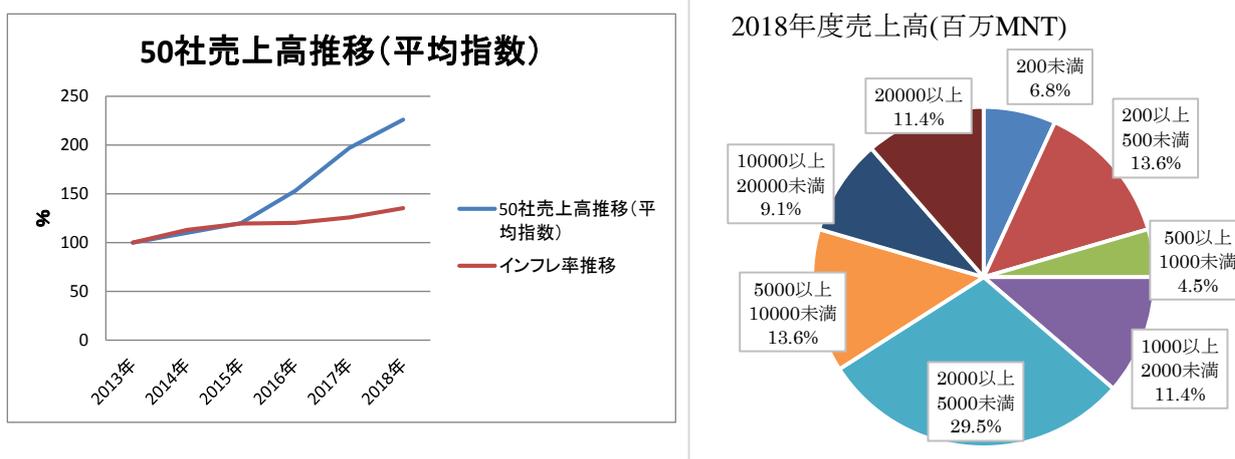
と言える。

## 2.1-2 調査対象企業の業績推移

### 売上高推移（2013～2018年業績）

50社の売上高推移を前年比で指数化した実績を以下のグラフで示す。

調査前年度である2013年の売上高を100とした場合、インフレ率は2018年度で30%を示すが、対象50社の売上高平均はそのインフレ率を上回り、130%の伸びを示している。

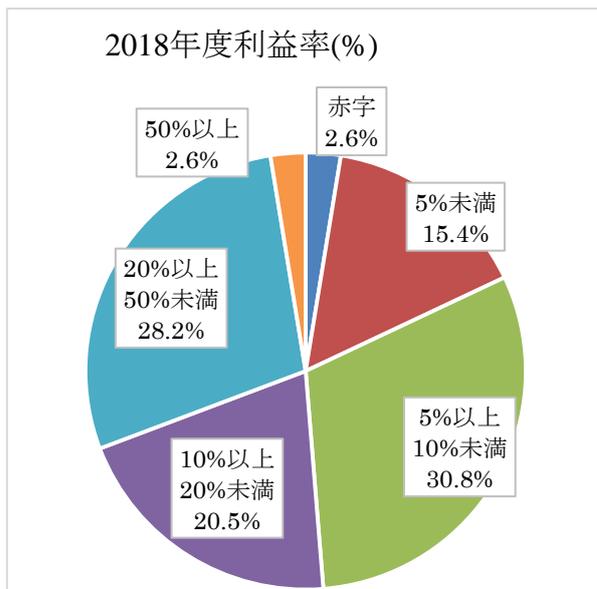
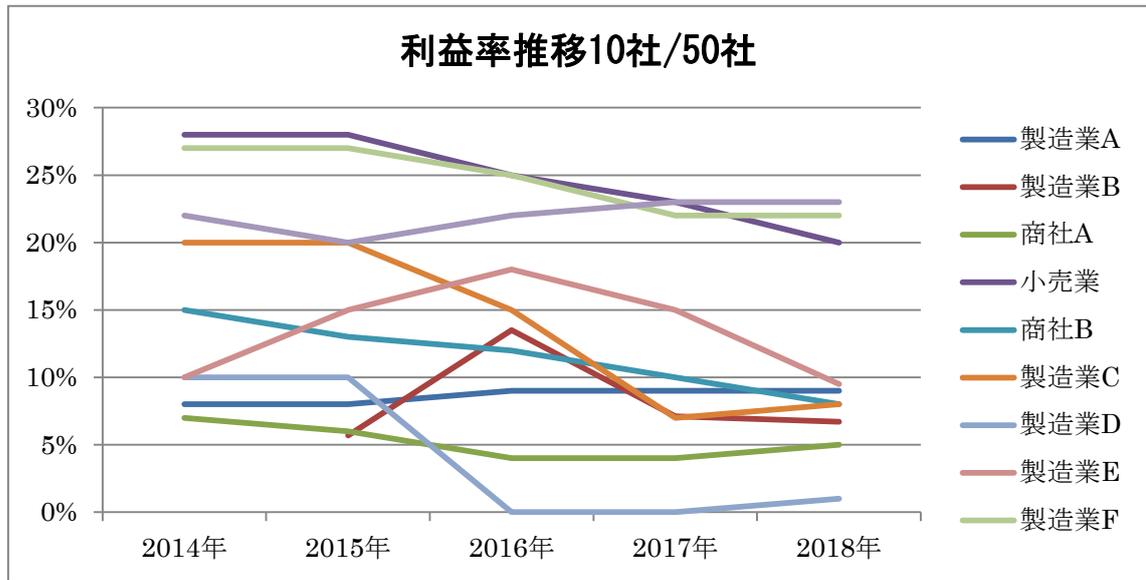


売上規模を金額ベースで見た場合、2,000百万MNT以上5,000百万MNT未満が27%と最多となり、全体では2,000百万MNTから20,000百万MNT以上の売上げ規模の企業が65%を占める。

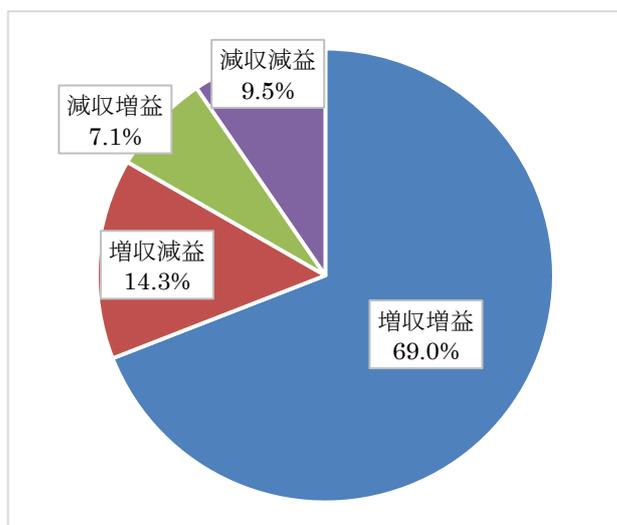
### 利益率

利益率に関するアンケートに回答した企業は50社中10社に留まった。次頁のグラフの通り、2014年以降利益率の下降傾向が顕著であるが、主な要因として、中国向けの鉱物資源（石炭）の需要減による価格の下落の影響がモンゴル経済全体に影響を与えたものと思料される。

流通・卸・小売りでは消費の低迷と思われる影響により漸減傾向にあるのと同様に、商社の利益率も下降傾向となっている。一方製造業において、日常に密着した業種では安定した利益率となっている。



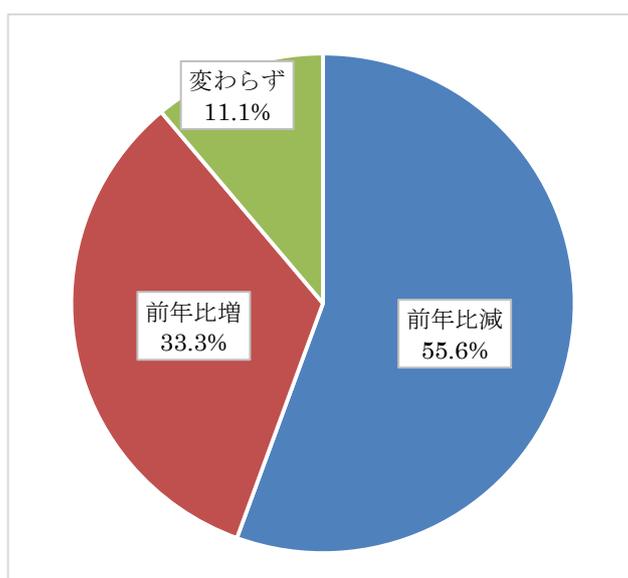
## 2018 年度の業績



対象 50 社の 2018 年度の業績調査においては、前年度比で増収・増益を示す企業が全体の 69%となった。その一方で、減収・減益の企業は 9.5%であった。

受講者企業における経営状況は概ね良好と言える。

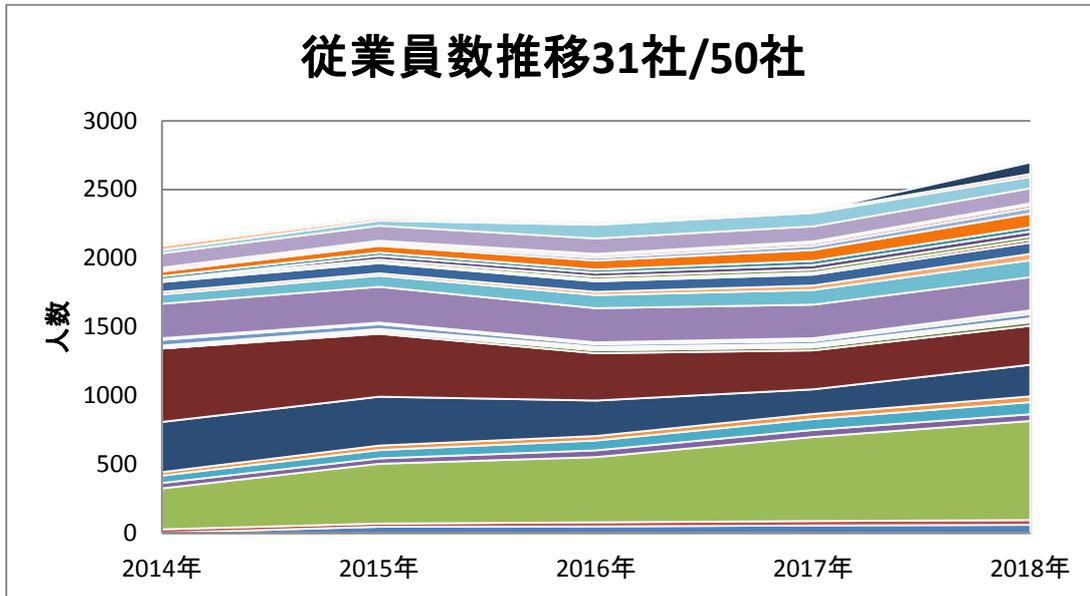
## 2018 年度クレーム状況



市場経済に移行するモンゴルにおいてクレーム対応の質的向上は重要な指標となり、MOJC のビジネスコースにおいても指導を行っている。

前年対比でクレーム数の変化調査を行ったところ、55.6%の企業においてクレーム数の発生が減少していた。他方、増加している企業も 33.3%となり、引き続き研修において顧客対応のカイゼンに気付きを与えることが求められる。

## 従業員数推移



従業員数の増減については、全体では2014年度累計の約2,000名規模から2018年度には約2,700名規模にまで拡大しているが、鉱物資源の価格下落に端を発した2016年～2017年の経済の低迷期の影響で、個々の企業では異なる状況を示している。

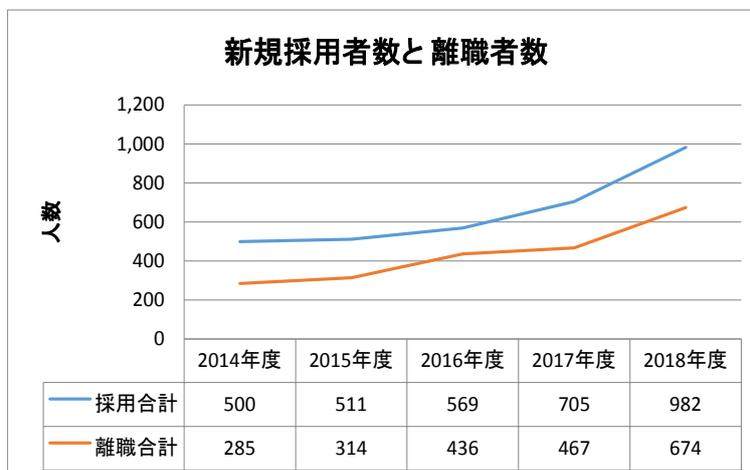
特に従業員数の減少を招いた分野は、地方経済の主要産業が挙げられる。

他方、従業員数を飛躍的に伸ばしたのは都市部を中心に製造販売する企業であった。従業員数が大幅に増加した企業はマーケティング力強化による新商品導入で客単価を5%上げることに成功し、また財務管理講義の受講を契機としてJICAのツーステップローンを受け、店舗数の増加が可能となった。組織強化においても部門間の連携が取れるようになり、職場環境の改善に伴って離職者が減少した。

## 離職率

モンゴル企業、特に中小企業では、人材の定着に課題を抱えている。MOJCのビジネスコースでは、人材はコストではなく資源であり、育成することが重要でありということや、採用から評価までの流れを指導している。

今回の調査での回答企業（50社中31社）における、各年度の新規採用数と離職者数の推移はグラフで示す通り。



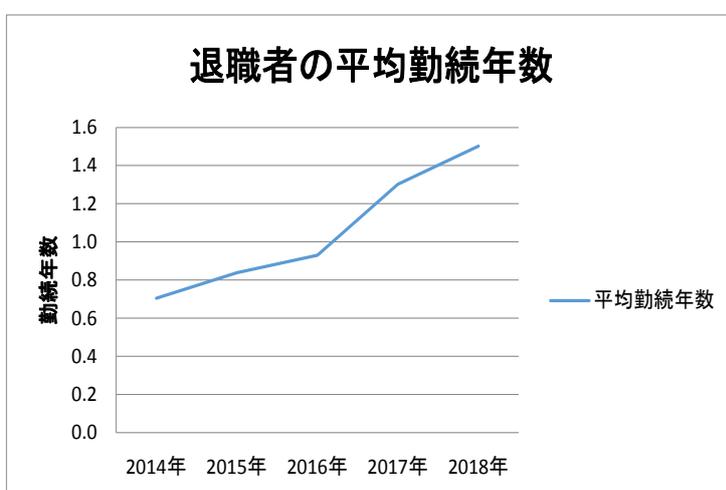
年々採用者数の増加が見られるが、離職者数の増加傾向も顕著であり、新規採用数に対する離職者数の割合は2014年度では57%であったが、2018年度では68%まで上昇した。

この背景には為替安による出稼ぎ者の増加が影響しており、技能労働者の受け入れ先である日本と韓国への出稼ぎ者の影響が数字に現れている。

31社の中で新規採用数以上に離職者数が発生した業種は低経済成長を反映している業種であった。他方、着実に定着率を向上させた企業は、都市部の消費者のニーズの流れに沿った業種、業界の企業に多く見られた。

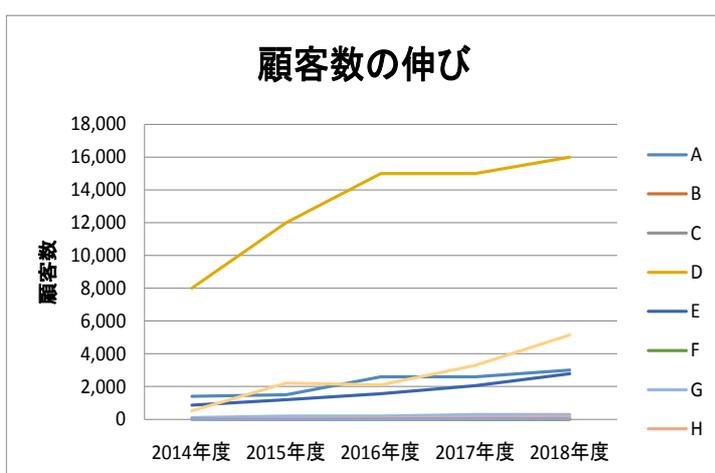
### 平均勤続年数

50社中21社より従業員の退職時における勤続年数の回答があった。



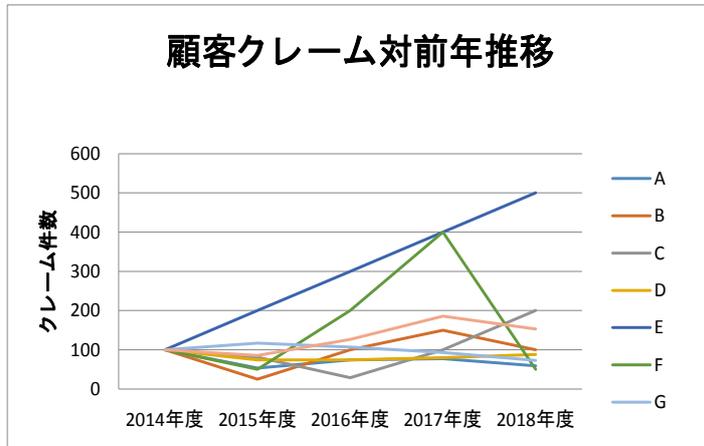
2014年度における退職者の平均在職年数は0.7年（8ヶ月）であったが、2018年度においては1.5年（18ヶ月）を示した。新規被雇用者の在職期間が長期化の傾向を示しており、定着率が向上しているといえる。

### 顧客数



顧客数に関し、有効な回答が入手できたのは50社中13社であり、その中で2014年度から2018年度の実績推移を確認することができた11社中8社の状況を左のグラフで示す。

## 顧客クレーム数

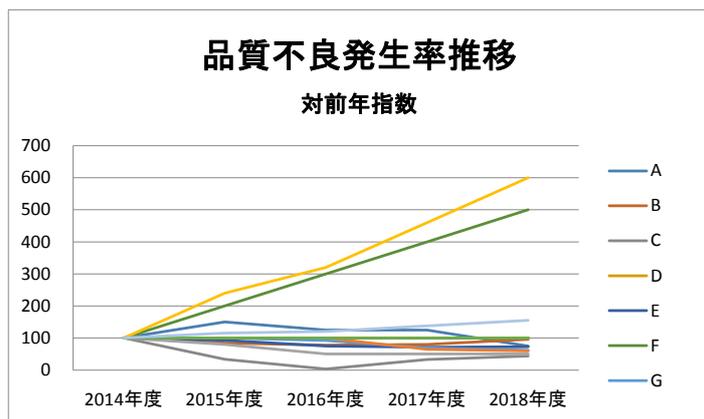


顧客クレーム数に関して有効な回答を入手出来たのは 50 社中 12 社であった。12 社中、時系列で追える 7 社のクレーム数の変動を左グラフで示す。

7 社中 4 社はクレーム数を維持もしくは下げている中、3 社においては増加傾向にある。特に E 社は売上高の増加率に沿ってクレームの増加を示す極端な

例であり、抜本的な顧客クレーム対応の改善が求められる。

## 品質不良発生率推移



品質不良発生率推移に関し有効な回答があったのは 50 社中 12 社であった。2014 年度に発生した件数を 100 と指数化した 2018 年度までの変動推移を左グラフに示す。

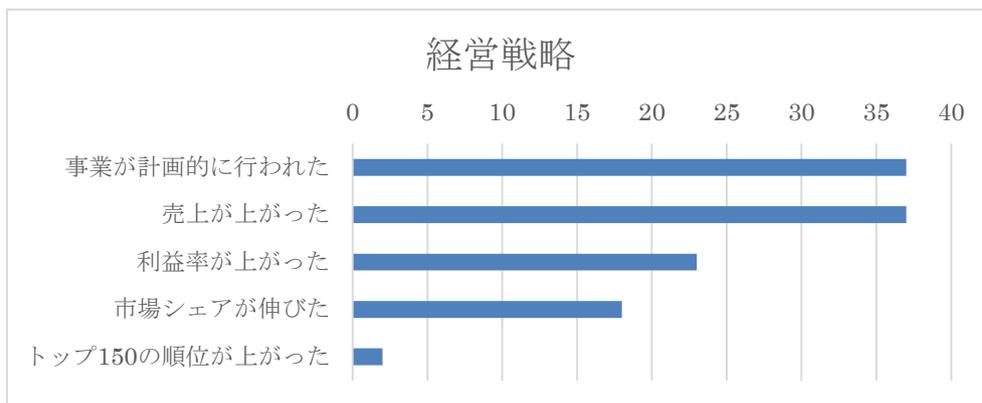
12 社中改善が進んだ企業は 7 社、現状維持は 3 社、不良発生率が増加した企業は 2 社であった。

改善事例として、「モデル企業課題改善型プログラム」を受講した企業における品質管理の向上が挙げられる。プロジェクトの日本人講師及び現地人講師から 5S ならびに工程管理の指導を受けたことによって 5S が定着して作業の効率化が進み、品質管理にかかる時間が増え、それまで品質不良の要因の 42% を占めていた人為的ミスが 20% にまで減少した。その結果として、全体の不良品発生率が 2.1% から 1.5% にまで下がった。

## 2.2 研修の評価

調査対象企業 50 社の「通常コース」主要 4 科目受講後の経営への影響につき確認調査を行った。回答の結果を以下に示す。

### 【経営戦略】

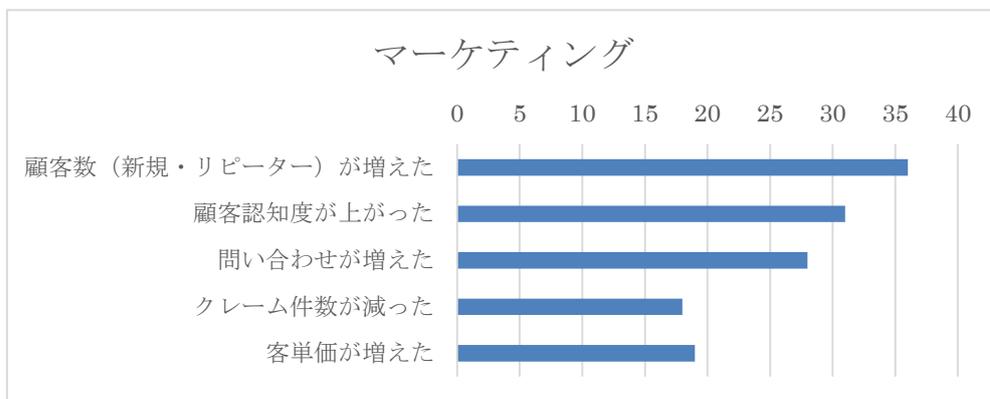


「経営戦略」においては、戦略ミックスと中小企業向け経営戦略事例紹介等の現地経営者ニーズに沿った講義がグループワークを軸に実施されている。さらに、経営戦略実現のためのサポート体制と参考事例等の実践的な講義運営が行われている。講義を通して市場経済下での経営計画作りがいかに重要であるかにモンゴルの経営者が気付き、多くの評価を得たものと思料される。

調査企業からのコメントとして、「毎朝の朝会を開始し、課題を共有・解決する体制が出来た」、「戦略計画を定めた」、「事業戦略を作成し 35 項目の分析を行った」、「根拠のない売り上げ計画の設定はやめて市場分析からスタートした」、「計画を可視化して従業員の目につく壁に掲示した」、「ボトムアップで従業員が計画を提案する体制を作った」、「受注生産から見込み生産へと体制を変え、生産計画を作成する体制を作った」等が挙げられている。

モンゴル企業 TOP150 で順位を上げた企業が 1 社、初入選で 92 位に入る企業が 1 社出た。

### 【マーケティング】

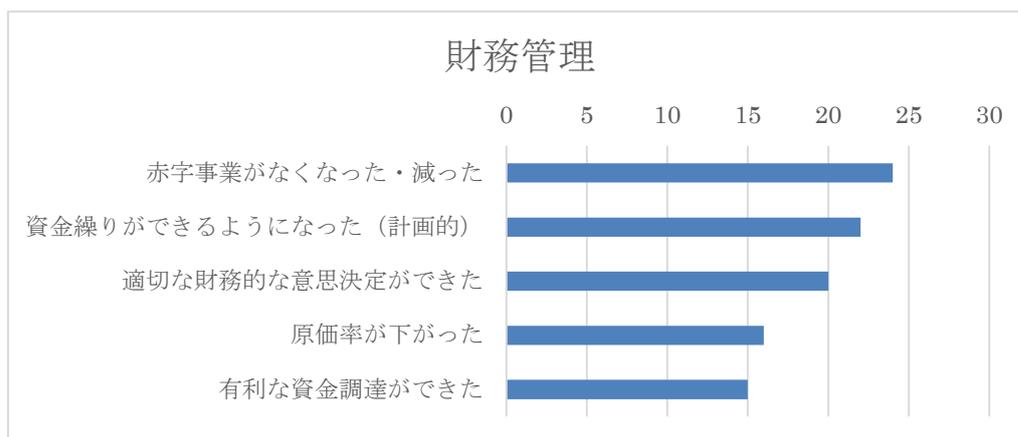


通常コースの経営者向けマーケティングでは、顧客数が増加したことが全体的な成果として言える。全体の数字でも顧客数は2014年度比で2018年度には251%と大きく伸ばしている。

講義において、講師は「GAP分析」手法を解説し、客観的な自己分析とGAPを埋めるための具体的な手法について事例を通じて紹介し、グループ討議で自らの課題に気づきを促すようファシリテーターに徹している。モンゴル企業の多くは計画経済の影響を少なからず受けており、マーケティングにおいては、市場経済の要であるマーケットインの考えが根付いていない。プロダクトアウト発想となり、売れないのは消費者側の問題であるとする企業も未だに多いが、マーケティング講義を受講することで、より消費者とのコミュニケーションをベースとした商品づくりが出来る企業が増えつつある。

調査企業からのコメントとして、「SNSの活用で問い合わせが飛躍的に増加した」、「CSRの視点で廃棄物ゼロを達成した」、「顧客数が増加した」、「海外進出で新たなビジネスチャンスを作った」、「取引先とのコミュニケーションを良化し売上増に繋げた」、「展示会への出店でビジネスチャンスを拡大した」、「顧客のデータベースを作って満足度を図る仕組みを作った」、「アプリを使ったオンタイム査定でビジネスチャンスを逃さなくなった」、「顧客分析を行うことでリピーターが増えた」、「客単価が増えた」、「高付加価値商品の開発に繋がった」、「商品ラインアップを充実させ売上増に繋げた」、「事業計画を策定する前に管理職によるSWOT分析等を行うようになった」、「クレームの分析を行い30%クレームを減少させた」、「従業員の待遇を改善することでクレームを減らすことが出来た」、「ブランディングを見直した」、等が挙げられている。

#### 【財務管理】



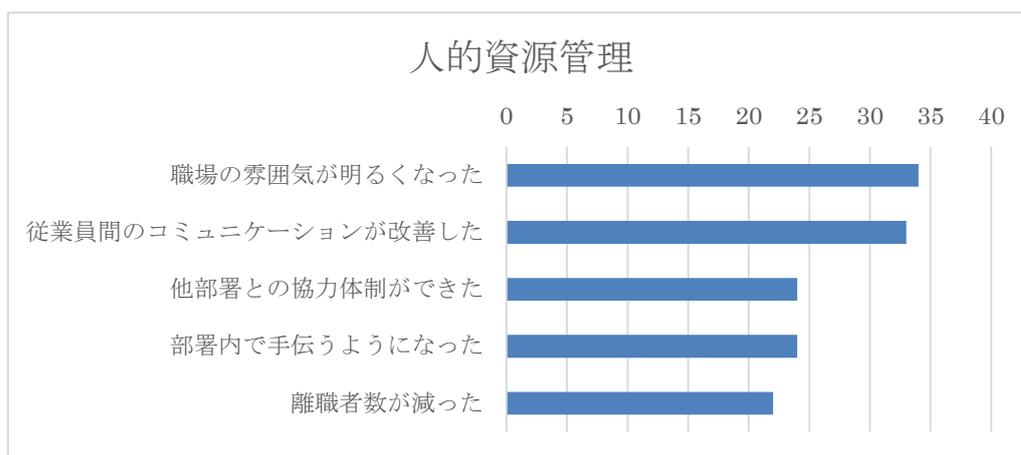
通常コースの「財務管理」においては、企業活動と資金、資金調達と運用、金融市場の種類、企業価値と評価・分析、投資意思決定の手法等を指導している。

モンゴル企業の多くはトップダウンで意思決定され、そこに従業員の衆知を活かす経営判断の仕組みはできていなかったが、次頁のコメントからは変化の兆しが見取れる。こ

これらの変化は「経営戦略」で学習した経営計画、「人的資源管理」で学習した、経営計画を実現するための人材の採用・育成や中間管理職のリーダーシップ、「マーケティング」でのマーケットインの考え方に、経営計画実現を支える「財務管理」の戦略的活用が相互に影響しているものと考えられる。

調査企業からのコメントとして、「経営者の独断でなくチームで分析するようになり赤字が減った」、「外部市場環境の調査を実施するようになった」、「消耗品の無駄を減らした」、「すべての工程を見直すことで5~10%のコスト削減に繋がった」、「廃棄物を削減し歩留まりを上げた」、「仕事を計画的に進めることで支出管理が出来るようになり経営にも貢献するようになった」、「商品ラインアップの見直しで赤字商品を外した」、「在庫の回転に留意するようになった」、「会計責任者、経理担当者、資材担当者が集まって財務部を組織し、適切な財務判断が出来るようになった」、「トヨタの工場見学で同じ8時間でも成果が違うことを理解しムダ取りに注目するようになった」、「投資計画に基づき財務判断をするようになった」、「売れ筋商品に資金を集中するようになった」、「支払い計画を作成し資金繰りを考えながら事業計画を作成するようになった」、「利益率を計算するようになり、経理スタッフを1名増やして分析を担当する体制とした」、「JICAのTSL（ツーステップローン）を受けた」、「アジア開発銀行から運転資金の融資を受けた」、「入出金計画を毎月作成し管理するようになった」、「財務規則を作成した」、「キャッシュフローの管理を行い支払い計画を作るようになった」、「無駄な仕入れを減らし、外注を使って仕事の効率化を図った」、「仕入れ先と交渉しまとめ買い割引を受けた」、「社員の原価意識が高まった」等が挙げられている。

### 【人的資源管理】



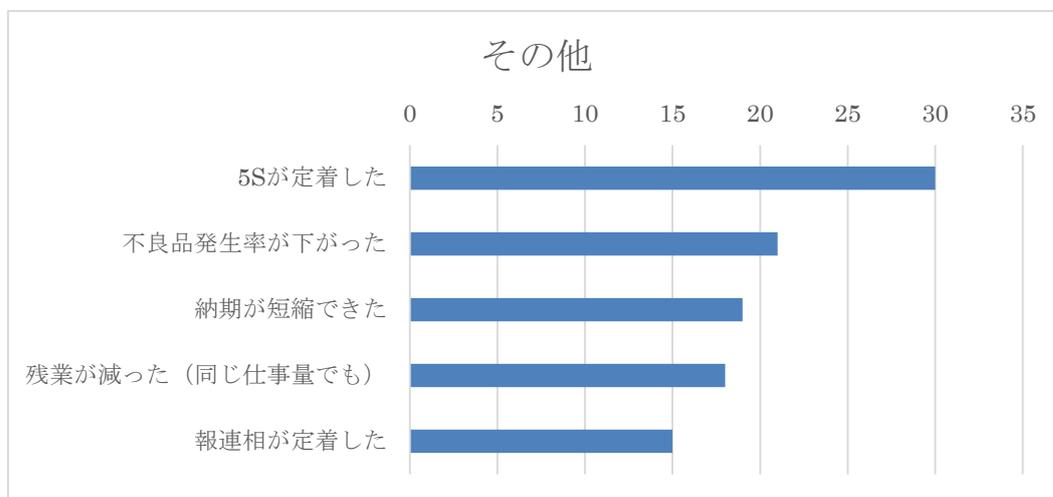
通常コースの「人的資源管理」においては、理論として人的資源管理の概念を共有した上で、人事戦略的人材マネジメント、組織能力のギャップ分析と採用、コンピテンシーによる採用と評価、人材開発、人事基盤制度と評価、リーダーシップ等を指導している。

多くのモンゴル企業では人材をコストとみなすことが従来の考え方であったが、センタ

一の講義においては、「人材とは資源であり、人材を活かすことで企業の成長がある」という考え方のもと、経営戦略に沿った人材の採用や、コンピテンシーによる評価制度、経営者のリーダーシップ等を指導している。

調査企業からのコメントとして、「コミュニケーションの改善に関してお互いに敬意を払い、相手を理解し、心を合わせることで成果が高くなることを理解した」、「毎月全員で食事会やイベントを実施するようになった」、「お互いに教え合うようになった」、「環境を改善し職務分掌を明確にした」、「毎朝朝礼で各自が業務予定を発表するようになった」、「セミナーに参加した職員が社内でセミナーを開くようになった」、「毎月 25 日に社内セミナーを実施し、MOJC で学習したことを共有している」、「本邦研修で感銘を受けた経営者を手本に従業員と接するようになった」、「従業員に定期的研修を受けさせ、能力向上を目指すようにした」、「部門間連携の為に各部署のマネージャーが他部門の週次ミーティングにも参加するようになった」、「戦略・計画に基づき組織改編を行った」、「プロセスフローを作成し全従業員が全体の仕事の流れを俯瞰できるようにした」等が挙げられている。さらに、職場の雰囲気づくりに関して、社内行事の開催や著名な経営者の本を従業員に配布し感想を話し合う等、労働環境の改善や従業員の意識改革を試みる企業が多く見られた。また、給料以外の面でも従業員を満足させることに注力しているというコメントも多く寄せられた。

#### 【その他】



MOJC のビジネスコースでは 2014 年度まで「生産管理」が通常コースに含まれていた。2015 年以降は専門コースでの受講となったが、日本的経営の母体となるものづくりを MOJC では重視しており、「モデル企業課題解決プログラム」においても生産管理分野は重要な位置を占めているため、今回のインパクト調査においてもアンケート調査を実施した。

「生産管理」講座では、工場の実態に適応可能な生産性向上と品質向上のためのカイゼン活動の知識を学ぶとともに、生産を効率的かつ確実なものにするための「日本的経営管理手法」を学び、自社の工場で応用・実践できる能力開発を行っている。

調査企業からのコメントとして、「品質不良の発生原因を明確化するシステムを改善した」、「QCサークルで工程内不良削減計画を作成し予防する活動を行い、その結果工程内不良・品質不良が50%削減された」、「2段階の設計レビューを行うことで設計不良が削減できた」、「品質チェックシートを導入し他の工程の品質チェックも行うようにした」、「自社倉庫を購入し、在庫管理や保管状況を改善して不良品削減を行った」、「品目の選択と集中を行ってラインアップを絞り、在庫の回転数を上げたことで期限切れ廃棄が減少した」、「工程ごとの検査を強化した」、「工程作業員が自ら品質検査を行えるよう仕組みを変えた」、「視覚化することにより在庫管理を改善した」、「在庫状況を改善することで納期短縮が実現できた」、「生産計画策定の成果で納期の短縮が図れるようになった」、「見込み生産から受注生産に移行して希望納期への対応が可能となった」、「商品の季節性を考慮した在庫管理で納期遵守が可能となった」、「顧客と一体となった納期管理でJust In Timeを実行している」、「工事計画を作業班が自主的に調整出来るようになった」、「業務の効率化により残業が減り残業手当を廃止することが出来た」、「在庫管理のカイゼンによって緊急注文に対応が可能となり、残業の必要がなくなった」、「報連相が定着した」、「5Sが定着した」、「事務所で5Sを実施している」、「社内規則に5S順守を明示した」等の成果のコメントが多く寄せられている。

### 3 研修後の動向とその要因

以上のアンケート回答から、通常コース修了後、多くの受講者が学習したことを社内で実践していることが伺える。特に「通常コース」は主要4科目の包括受講という仕組みの中、およそ40名の参加メンバーは各講座で同じであるが、グループワークのメンバーを講座毎に変更することでより多くの経営者と知り合い、意見交換を行う機会を提供している。それにより、自社内での実践上の課題を修了後もメンバー間で相談し合い解決に向けたアイデアを相互に交換するグループが、自然発生的に誕生している。

MOJCでは既にビジネスコース2期生が「カイゼン協会」という自主的な学びの組織を立ち上げるという風土が醸成されており、本邦研修におけるメンバー間の継続的交流の事例にも見られるように、研修後も孤立することなく相互に成長できる土壌が存在する。

#### 3.1 研修から得た知識の実践

既に記載した通り、多くの企業において講義を通して得られた知見が活用されており、またそれによって、多くの経営指標が改善され、事業の評価に活かされていると言える。

「経営戦略」においては50社中35社がより実践的な事業計画を策定し実践するようになり、その結果としてコスト削減や利益の確保等の成果をあげている。「マーケティング」においても同様に、自社中心の発想であるプロダクトアウトから、他社や市場、ビジネス環境の分析と言ったマーケットインに向けた活動に舵をとり、商品開発、広報、差別化戦略に向かう兆しを見せている。「財務管理」においてはいかに計画的な収支管理が戦略的な

経営計画に不可欠かを学習し、地道な在庫管理、日々の収支管理を通して経営改善に貢献している。同様に「人材管理」においては、受講後にコミュニケーションの良化を目指した就業時間内外の社内行事が増加しており、多くの経営者が多くの社員を巻き込んだ経営手法を取り入れるようになってきた。朝礼、定例会議、ビジネスプラン作成における一般社員の参加等、従業員のモチベーションを向上させることが事業の成長に繋がることを学び、実践していると言える。

### 3.2 今後の課題

調査対象企業 50 社が挙げる企業としての課題は、人材管理及び品質・生産管理に集約される。人材管理面においては、離職率の改善、労働環境の改善、従業員の能力向上、経営陣のマネジメント能力の向上、新人教育、人材確保、教育訓練制度、専門職確保、組織強化、報酬規程の見直し、サービスマンの技術力の向上、中間管理職の能力向上、報連相の定着等が課題として挙げられている。品質・生産管理面においては、ワーカーレベルの定着率が向上せず品質が安定しないことや、品質マネジメントシステムの構築、生産能力の増強、コスト削減、原料価格高騰対策、製品の歩留まり・品質改善、生産性の向上、5S の定着、品質の安定等が課題である。また、財務面では部門間連携の改善による材料調達資金の確保、財務に裏打ちされたビジネスプランの作成等が課題として挙げられている。

これらの企業側の課題を受けて、今後のビジネスコースの構成として、前述の技術的な課題を既存の 4 講座に織り込むことが重要である。その一方で、日本的経営をベースとした経営哲学や、企業の社会的存在意義と責任に気付かせるようなコースの提供が重要であり、それらが他の類似する経営者向け研修機関との差別化になるものと思われる。

## 4 MOJC ビジネスコースに対する改善要望と期待

本調査では 50 社に対し、MOJC ビジネスコースに対する改善要望と期待をアンケート調査している。主なコメントは下記の通りである。

- ✓ 一部翻訳者及び通訳者の質の向上
- ✓ 受講者のレベルに合った講義の実施
- ✓ マーケティング講義におけるモンゴルで適用可能な事例の紹介
- ✓ モンゴル企業にとってわかりやすい事例の紹介
- ✓ 日本的経営の基本的な理解の促進
- ✓ 現場での実習
- ✓ 大企業向けの広報活動方法
- ✓ 受講者企業の業種にマッチした教材
- ✓ 公開セミナーでの本コース内容が具体的にわかるようなプレゼンテーション
- ✓ 成功事例と失敗事例それぞれの紹介
- ✓ 経営者クラスと管理職クラスの違いの明確な事前説明

これらの項目に記された改善要望や期待に対して、MOJC は日本人講師へのフィードバックを行うとともに、コンサルタントは今後とも教材内容の事前チェック、講義前のビジネスコーススタッフによる講師や通訳者との意見交換の場の設定、また受講対象者の選別、講義終了後のアンケート調査項目の見直し等、次につながる仕組み作りを MOJC と共に行うことが求められる。

## 5 他類似機関における研修内容

本調査では MOJC のビジネスコースと類似する研修機関の活動状況の調査も実施している。MOJC のビジネスコースの強みとしては、日本的経営を日本人講師から直接学べること、実践点的な講義内容であること、「通常コース」は 4 講座 80 時間の包括受講であるために講座間の連携・相互効果が得られること、さらに研修費用に関して時間当たりの単価で競争力があることが挙げられる。

詳細は添付資料「モンゴルにおけるビジネスコース比較調査」参照。

以上

# 添付資料

## モンゴルにおけるビジネスコース比較調査

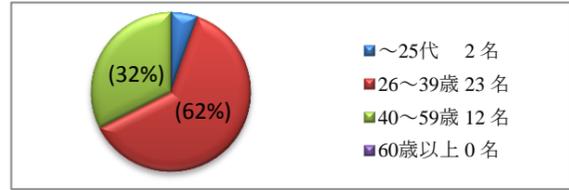
機関名	属性	コース種類	テーマ	コース時間	料金(MNT)	URL	講師	備考	
1 MOJC	国際機関	経営者クラス	Strategy, Marketing, HR, Finance	80時間	850,000	<a href="http://www.japan-center.mn/as/business/765">http://www.japan-center.mn/as/business/765</a>	日本人講師	Mongol-Japan Center. SBD6 (+976)7511-0879	
		管理職クラス	Strategy, Marketing, HR, Finance	80時間	700,000	<a href="http://www.japan-center.mn/as/business/765">http://www.japan-center.mn/as/business/765</a>	日本人講師		
		専門コース	HR, Finance, Production control, Shop management etc	20時間	240,000	<a href="http://www.japan-center.mn/as/business/771">http://www.japan-center.mn/as/business/771</a>	日本人講師		
		基礎コース	HR, Finance, Production control, Shop management etc	6時間	75,000	<a href="http://www.japan-center.mn/as/business/770">http://www.japan-center.mn/as/business/770</a>	モンゴル人講師		
2 MLC Training	民間機関	CEO College	経営戦略、交渉能力向上、Supplychain, IT, Finance, Innovation etc	45時間	695,000	<a href="http://mlctraining.mn/">http://mlctraining.mn/</a>	モンゴル人講師	Zaluuchud Hotel D-4F. SBD6 (+976)7011-1839	
		Manager College	Managing Oneself, Managerial Mindset, Communication At Work, Managing Teams, Primal Leadership etc	30時間	395,000				
3 BPN	国際機関	Business Academy	マスター販売者		12時間	195,000	<a href="https://bpn.mn/">https://bpn.mn/</a>	スイス人講師	Tanan center 404, Student Str. 33, SBD8 (+976)7711-3309
			経営管理		3日間	223,200			
			財務管理		4日間	249,000			
			マーケティング		4.5日間	279,000			
			チームワーク		3日間	248,000			
4 納入業者開発品質センター	民間機関		品質マネジメント研修	品質マネジメント研修		<a href="http://www.gqdc.mn/">http://www.gqdc.mn/</a>	モンゴル人講師	Arig center302, Jamiyungun St. 5/2, SBD1 (976-11) 321375	
			ビジネス開発サービス	ビジネス開発サービス					
5 Business center NOMADIGO	民間機関		経営戦略・経営管理	経営戦略・経営管理		<a href="http://nomadigo.mn/">http://nomadigo.mn/</a>	モンゴル人講師	39/2, J. Batmunkh St., SBD8, Ulaanbaatar, 14192 7000-0923	
			プロジェクトマネジメント	プロジェクトマネジメント					
			財務管理/経営者会計/会計士研修	財務管理/経営者会計/会計士研修					
			IT/ビジネス計画	IT/ビジネス計画					
			内部監査/資金調達・投資	内部監査/資金調達・投資					
			コーポレートガバナンス	コーポレートガバナンス					
			リーダーシップ/人材管理	リーダーシップ/人材管理					
6 Erkhes Suvd	民間機関		労働安全衛生研修	労働安全衛生研修		<a href="http://ersu.mn/">http://ersu.mn/</a>	モンゴル人講師	Munkhbul Office 403, SBD8, 91116364, 88128900, 99602469	
			職業訓練	職業訓練					
			経営コンサルティング	経営コンサルティング					
			リスク評価	リスク評価					
7 EBRD(欧州復興開発銀行中小企業支援チーム)	国際機関					<a href="https://www.ebrd.com/knowhow">https://www.ebrd.com/knowhow</a> <a href="https://www.ebrd.com/work-with-us/advice-for-small-businesses/mongolia.html">https://www.ebrd.com/work-with-us/advice-for-small-businesses/mongolia.html</a>	モンゴル人講師	MCS Plaza 3F, Seoul St. 4A, SBD1, Ulaanbaatar14251 (+976)11319278	
8 BDO Mongol	民間機関		組織改革	組織改革		<a href="https://www.bdo.mn/mn-service/advisory">https://www.bdo.mn/mn-service/advisory</a>	モンゴル人講師	Room No. 1502 Union Bldg-B block 15F, Narnii zam62, Unesco st., SBD1 (+976)-77404040	
			企業会計	企業会計					
			リスク管理・評価	リスク管理・評価					
9 Khan Golomt Consulting group	民間機関		企業内研修	企業内研修		<a href="http://www.khangolomt.mn/">http://www.khangolomt.mn/</a>	モンゴル人講師	UBH Center 7F, Peace Ave-23, SBD1 7011-0409, 9800-7060, 9999-8666	
			経営コンサルティング	経営コンサルティング					
			法務アドバイス	法務アドバイス					
			企業イメージ	企業イメージ					
			心理的アドバイス/メンター/個人アドバイザー	心理的アドバイス/メンター/個人アドバイザー					
10 GSMI(Global Strategy Management Institute)	民間機関		コンサルティング	コンサルティング		<a href="https://gsmi.mn/">https://gsmi.mn/</a>	モンゴル人講師	Tsast Impacs bldg, Chiodog st. SBD1 (976) 11-313363	
			研修	研修					
			コーチング	コーチング					
11 WBC Mongolia(女性経営者センター)	民間機関		ビジネスモデル/ビジネスプラン作成	ビジネスモデル/ビジネスプラン作成		<a href="https://www.wbcmongolia.com/content/index.php">https://www.wbcmongolia.com/content/index.php</a>	モンゴル人講師	Ulaanbaatar Bank 1F, 10th Khoroool, BGD (+976) 7011-0250	
			オンラインコミュニケーション	オンラインコミュニケーション	各3~4時間				
			コンテンツ・マーケティング	コンテンツ・マーケティング					
			信用保証協会の適用	信用保証協会の適用					
12 MNGCI(モンゴル商工会議所)	民間機関		CEO研修	CEO研修	2日間 計12時間	<a href="https://www.mongolchamber.mn/p/88">https://www.mongolchamber.mn/p/88</a>	モンゴル人講師	MNCCI Building 506, Mahatma Gandhi St., HUB-15 (+976) 7727-7070-ext. 5, 99031573	
			マネージャー能力向上	マネージャー能力向上	32時間				
13 Creative Mongolia	民間機関		チームワーク/チームプレー	チームワーク/チームプレー		<a href="http://creativemongolia.com/training-consulting/">http://creativemongolia.com/training-consulting/</a>	モンゴル人講師	22- 208, Amar St., Baga toiruu, SBD-8, UB 88028241	
			人事マネージャー研修	人事マネージャー研修	3時間x14日間				
14 Institute of National Human Resource	民間機関		組織運営のリーダーシップ	組織運営のリーダーシップ		<a href="https://www.facebook.com/inhrMN/?ref=spv_c&amp;id=ABR1ARqjMR1oa7d1Rn1k1MjV28d-D1Vx35-AQ4eF7y2054y067hbE7v8p0J0FEm0i10a0U130nWc">https://www.facebook.com/inhrMN/?ref=spv_c&amp;id=ABR1ARqjMR1oa7d1Rn1k1MjV28d-D1Vx35-AQ4eF7y2054y067hbE7v8p0J0FEm0i10a0U130nWc</a>	モンゴル人講師	Bluemon center 9F, SBD-8 7711-2050, 9906-3842	
			企業の法理、コーポレートガバナンスの基本理解、取締役会の活動、組織、取締役会と執行部の関係		2日間				300,000
15 CGDC(Corprate Governance Development Center)	民間機関						モンゴル人講師	University of Accounting and Economy C-1105, Peace ave. 5, B2D, UB 7000-8084, 99105111, 88978179	

モンゴル・日本センター プログラム別アンケート集計結果

プログラム名 : 経営戦略 (通常コース経営者クラス)  
 実施期間 : 2017年9月18日～23日  
 受講者数 : 39名  
 アンケート回答者数 : 37名 回答率 (95%)

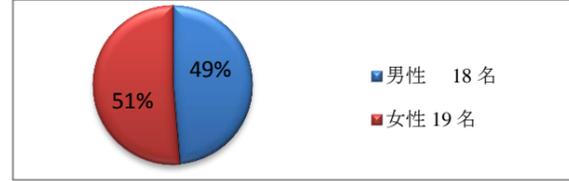
Q1. 年齢

1 ~25代	2名	(5%)
2 26～39歳	23名	(62%)
3 40～59歳	12名	(32%)
4 60歳以上	0名	(0%)



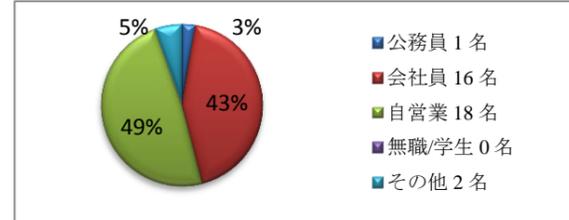
Q2. 性別

1 男性	18名	(49%)
2 女性	19名	(51%)



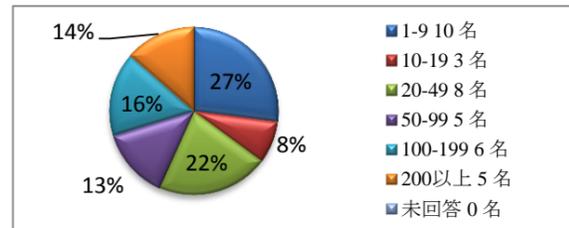
Q3. 職種

1 公務員	1名	(3%)
2 会社員	16名	(43%)
3 自営業	18名	(49%)
4 無職/学生	0名	(0%)
5 その他	2名	(5%)
未回答	0名	(0%)



Q4. 社員数

1 1-9	10名	(27%)
2 10-19	3名	(8%)
3 20-49	8名	(22%)
4 50-99	5名	(14%)
5 100-199	6名	(16%)
6 200以上	5名	(14%)
未回答	0名	(0%)



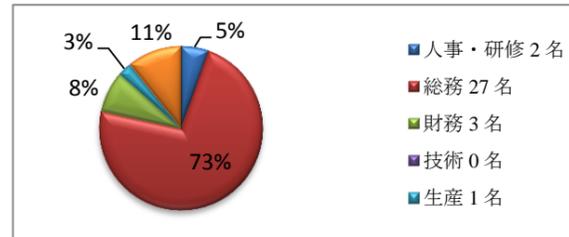
Q5. 職位

1 企業幹部(社長、取締役、役員)	31名	(84%)
2 部長、ディレクター、課長	6名	(16%)
3 スペシャリスト	0名	(0%)
4 その他	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



Q6.

部署		
1 人事・研修	2名	(5%)
2 総務	27名	(73%)
3 財務	3名	(8%)
4 技術	0名	(0%)
5 生産	1名	(3%)
6 その他	4名	(11%)
未回答	0名	(0%)



Q7.

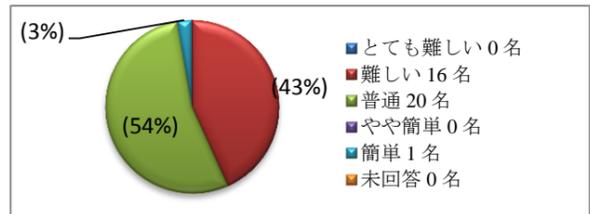
講義内容に関する満足度はどのぐらいですか。		
1 とても満足している	19名	51%
2 満足している	18名	49%
3 普通	0名	0%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- 問題解決に役立つ 3
- 自分に必要だった情報を聞いた 3
- 知っているようで知らないことを知った 2
- 今まで知らなかったことを知った 3
- グループで別れて演習したことがよかった 1
- 自分の会社ですぐに取り入れたいことが多かった 2
- 教室が寒かった
- 勉強しやすい環境、先生の教え方、時間を守っているとこ 3

Q8

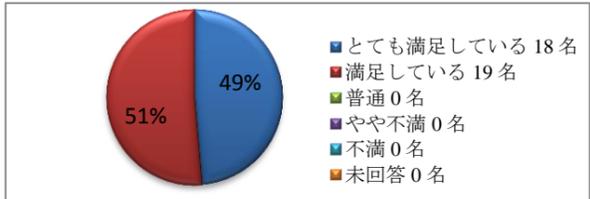
1 とても難しい	0名	(0%)
2 難しい	16名	(43%)
3 普通	20名	(54%)
4 やや簡単	0名	(0%)
5 簡単	1名	(3%)
未回答	0名	(0%)



- 前に勉強したことがあったので分かりやすかった 2
- 基礎知識がなかったので少し難しかった 6
- 演習のある部分に分かりにくいところがあった (value chain analys) 2
- スピードが速かった 2
- 久しぶりの勉強だから少し難しかった
- 演習が多いところがよかった
- 内容が良かった 4

Q9. 日本人講師の教え方に関する満足度はどのぐらいですか？

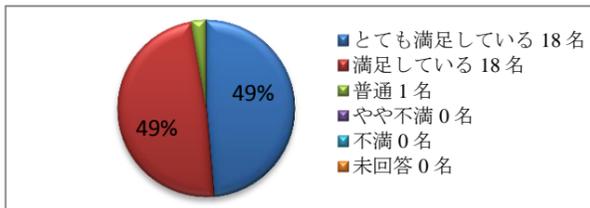
1 とても満足している	18名	49%
2 満足している	19名	51%
3 普通	0名	0%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- 経験が豊かなところがいい 4
- 心こめて教えてくれた 2
- 説明が分かりやすい 6
- 理論と実践的演習を交えたのがよかった
- 教え方が上手 2

Q10. 通訳に関する満足度はどのぐらいですか？

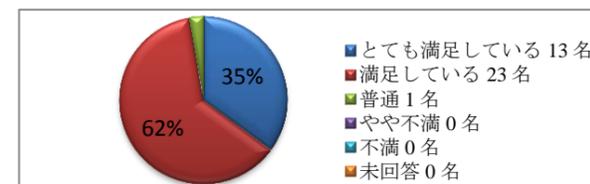
Ts. Badraa		
1 とても満足している	18名	49%
2 満足している	18名	49%
3 普通	1名	3%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- 分かりやすかった 7
- プロで、言葉が豊か 5
- 演習中にプラス情報を教えてくれた
- 声のトーンがよい、時間をしっかり守る
- 何回質問しても優しく説明してくれた
- 経験が豊か 2

Q11. 講座で使われた機材・設備に関する満足度はどのぐらいですか？

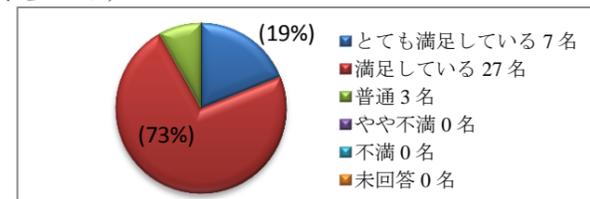
1 とても満足している	13名	35%
2 満足している	23名	62%
3 普通	1名	3%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- 充分だった 11
- 教室が寒かった 2

Q12. コーヒーブレイクで出されたコーヒー、紅茶、パイ、あめに関する満足度はどのぐらいですか？

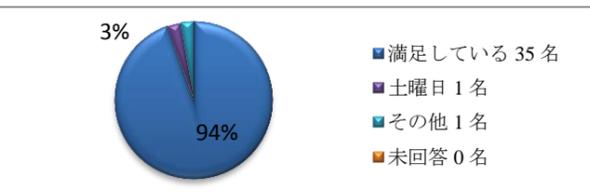
1 とても満足している	7名	(19%)
2 満足している	27名	(73%)
3 普通	3名	(8%)
4 やや不満	0名	(0%)
5 不満	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



- 充分だった 4
- 勉強に集中させるためのものがそろっていた
- ちょうどいい、休憩時間にちょうど間に合っていた
- もっと種類を増やしたほうがいい
- 飴は必要なかった気がする
- ホットドッグが食べにくかった 2
- 品質が悪くなかった

Q13. 授業時刻 (09:30~13:00) はどうですか？他の意見がありますか？

1 満足している	35名	(95%)
2 13:30~18:00	0名	(0%)
3 17:30~20:30	0名	(0%)
4 土曜日	1名	(3%)
5 その他	1名	(3%)
未回答	0名	(0%)



Q14 授業を6日間実施したのはどうですか？他の意見がありますか？

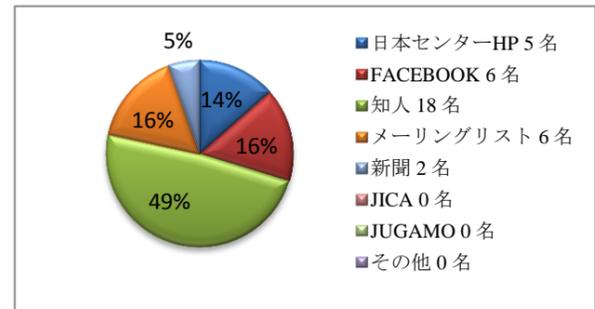
1 満足している	32名	(86%)
2 5日間	2名	(5%)
3 土曜日 (一日間)	2名	(5%)
4 その他	1名	(3%)
未回答	0名	(0%)



- 土曜日に長い時間でやってもいいと思う
- 基礎知識がない人のためにもう少しゆっくり教えた方がいいと思う

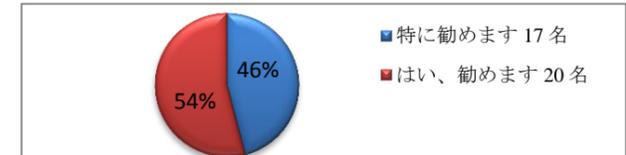
Q15. このプログラムの情報を何で知りましたか。

1 日本センターHP	5名	(14%)
2 FACEBOOK	6名	(16%)
3 知人	18名	(49%)
4 センターの掲示板	0名	(0%)
5 商工会議所	0名	(0%)
6 メーリングリスト	6名	(16%)
7 新聞	2名	(5%)
8 JICA	0名	(0%)
9 JUGAMO	0名	(0%)
10 その他	0名	(0%)



Q16. このプログラムを誰かにお勧めしますか。

1 特に勧めます	17名	(46%)
2 はい、勧めます	20名	(54%)
3 いいえ、勧めません	0名	(0%)



- 他の会社にも成長してほしいから 9
- 短期間で必要な情報を得ることができたから 2
- 自分の会社の社員にもこのコースに通ってほしい 2
- 先生がとてもいいから
- 取引先の会社の人に勧める 2
- 経営者は成長しないといけないから

Q17. 今回のコースでモンゴルの現状に適応しないと思ったところがあれば、お書きください。

- モンゴル人と日本人の考え方が違う 2
- 理論より実生活に基づいて話した方がいいと思う
- 分からない 2

Q18. センターでは、ビジネスコース、日本語コース、相互理解促進事業を実施していますが、センターの事業に対して要望があればお書き

- いいと思う 10
- もっと範囲を広げた方がいいと思う。モデル企業課題解決型プログラムはすごく効果的だと思う。 5
- 効果的だと思う
- コーポレートカルチャー、個人態度の講座があれば社員を参加させたい。
- 日本人専門家をモンゴルの企業で配属して、ある程度の期間で働かせることを考えてください。
- 日本的経営をモンゴルに定着させる
- 継続させるべき 2
- もっとPRすること、受講生数を増やすこと
- 両国の友好関係を深めるのにいい影響を与えていると思う 5

Q19. 今回のコースで一番良かったことと良くないことを記入してください。

- 良かった点：講義内容
- 教え方
  - 理論と実践が同時にできたこと
  - 全て
  - 環境がよかった
  - ProjectX
  - 時間をちゃんと守っているところ
  - グループワークできたこと、ProjectX, 職員の態度、授業料
  - コーヒーブレイク
- 良くない点：企業の組織について聴きたかったができなかった
- 演習時間をもっと設けた方がよかった
  - 教室が寒かった
  - テーマ毎の連係が良く分からなかった、

Q20. アンケート表に記述されていないことがあればお書きください。

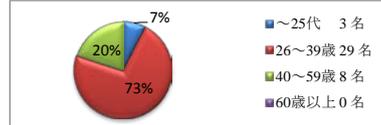
- 最後のテーマが間に合わなかったこと、
- KPIのことだが、モンゴルと日本の事例を取り上げたほうが良かったと思う
- 通訳するのが時間のロスだと思うのでモンゴル人専門家が教えるというのは可能でしょうか？

モンゴル・日本センター プログラム別アンケート集計結果

プログラム名 : 経営戦略 (通常コース管理職クラス)  
 実施期間 : 2017年9月25日～29日  
 受講者数 40名  
 アンケート回答者数 40名 回答率 (100%)

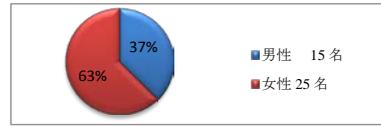
Q1. 年齢

1	～25代	3名	(8%)
2	26～39歳	29名	(73%)
3	40～59歳	8名	(20%)
4	60歳以上	0名	(0%)



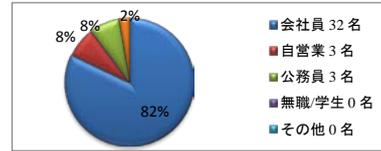
Q2. 性別

1	男性	15名	(38%)
2	女性	25名	(63%)



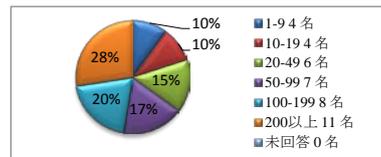
Q3. 職種

1	会社員	32名	(80%)
2	自営業	3名	(8%)
3	公務員	3名	(8%)
4	無職/学生	0名	(0%)
5	その他	0名	(0%)
	未回答	1名	(3%)



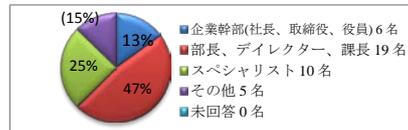
Q4. 社員数

1	1-9	4名	(10%)
2	10-19	4名	(10%)
3	20-49	6名	(15%)
4	50-99	7名	(18%)
5	100-199	8名	(20%)
6	200以上	11名	(28%)
	未回答	0名	(0%)



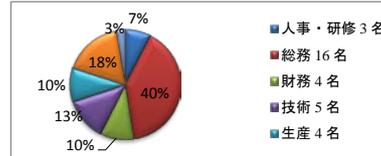
Q5. 職位

1	企業幹部(社長、取締役、役員)	6名	(15%)
2	部長、ディレクター、課長	19名	(48%)
3	スペシャリスト	10名	(25%)
4	その他	5名	(13%)
	未回答	0名	(0%)



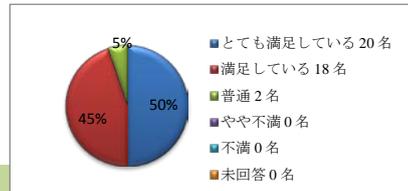
Q6. 部署

1	人事・研修	3名	(8%)
2	総務	16名	(40%)
3	財務	4名	(10%)
4	技術	5名	(13%)
5	生産	4名	(10%)
6	その他	7名	(18%)
	未回答	1名	(3%)



Q7. 講義内容に関する満足度はどのぐらいですか。

1	とても満足している	20名	50%
2	満足している	18名	45%
3	普通	2名	5%
4	やや不満	0名	0%
5	不満	0名	0%
	未回答	0名	0%

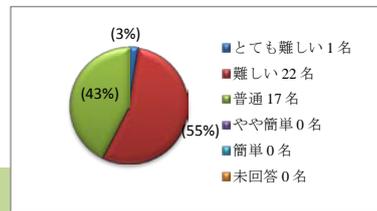


- 幅広く説明してくれた
- 担当部じゃなかったので、新情報を得た。
- 実践的演習を交えていたので、わかりやすかった
- 必要不可欠な知識を得た
- 教材がよい
- 内容がわかりやすかった
- わかりやすくて、自社の業務に連携していた
- 面白かった
- 自分に必要な情報を得た
- 教材通りに説明してくれた
- 経営戦略について少しでも知識を得た
- 流れが速かった
- 教材以外に資料を配ったのがよかった

2名  
2名  
3名  
4名

Q8 講義内容の難しきはどのぐらいですか？

1 とても難しい	1名	(3%)
2 難しい	22名	(55%)
3 普通	17名	(43%)
4 やや簡単	0名	(0%)
5 簡単	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



- 流れが速く、全く分からなかった
- 基礎知識がなかったので、あまり分からなかった 5名
- 戦略が多くて、分析するのが難しかった
- 専門的な情報を得た
- 流れが速かった 2名
- 理解するのに時間がかかった
- 経営とは何かを理解した 2名

Q9. 日本人講師の教え方に関する満足度はどのぐらいですか？

1 とても満足している	19名	48%
2 満足している	20名	50%
3 普通	0名	0%
4 やや不満	1名	3%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- 教え方がよかった
- 豊かな経験を持っている
- 理論と実践的演習を交えたのがよかった
- わかりやすかった
- 心がけていた

Q10. 通訳に関する満足度はどのぐらいですか？  
Ts. Badraa

1 とても満足している	18名	45%
2 満足している	20名	50%
3 普通	1名	3%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	1名	3%
未回答	0名	0%



- 先に、テーマを理解して、自信を持って通訳してほしい
- テーマを絞って説明してくれた
- 豊かな経験を持っている
- 講師のようによく説明していた
- 経験が豊かで、経営知識がよくて、通訳には問題ない
- 完璧に通訳していた
- よくわかった

Q11. 講座で使われた機材・設備に関する満足度はどのぐらいですか？

1 とても満足している	21名	53%
2 満足している	18名	45%
3 普通	1名	3%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- 適切
- 準備はよかった
- 充分していた
- 問題なし

Q12. コーヒーブレイクで出されたコーヒー、紅茶、パイ、あめに関する満足度はどのぐらいですか？

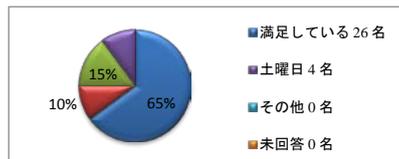
1 とても満足している	17名	(43%)
2 満足している	19名	(48%)
3 普通	4名	(10%)
4 やや不満	0名	(0%)
5 不満	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



- 充分していた
- 満足している

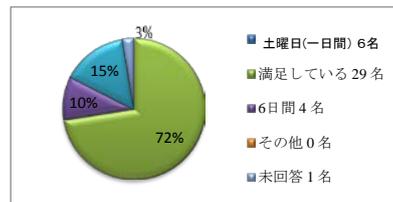
Q13. 授業時刻 (16:00~20:30) はどうですか？他の意見がありますか？

1 満足している	26名	(65%)
2 09:30~13:00	4名	(10%)
3 13:30~18:00	6名	(15%)
4 土曜日	4名	(10%)
5 その他	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



Q14. 授業を5日間実施したのはどうですか？他の意見がありますか？

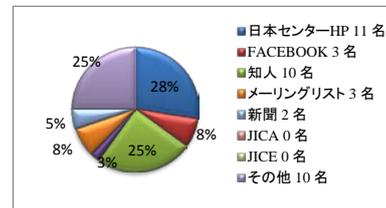
1 満足している	29名	(73%)
2 6日間	4名	(10%)
3 金曜日、土曜日 (一日間)	6名	(15%)
4 その他	0名	(0%)
未回答	1名	(3%)



- 仕事が忙しくて、時間調整は難しかった

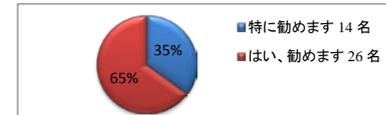
Q15. このプログラムの情報を何で知りましたか。

1 日本センターHP	11名	(28%)
2 FACEBOOK	3名	(8%)
3 知人	10名	(25%)
4 センターの掲示板	1名	(3%)
5 商工会議所	0名	(0%)
6 メーリングリスト	3名	(8%)
7 新聞	2名	(5%)
8 JICA	0名	(0%)
9 JICE	0名	(0%)
10 その他	10名	(25%)



Q16. このプログラムを誰かにお勧めしますか。

1 特に勧めます	14名	(35%)
2 はい、勧めます	26名	(65%)
3 いいえ、勧めません	0名	(0%)



- 特に、幹部に効果的だ
  - 学ぶことがたくさんあるからお勧めする
  - 効果的
  - 実践的演習
  - 自社や他社にも必要なコース
- 3名

Q17. 今回のコースでモンゴルの現状に適応しないと思ったところがあれば、お書きください。

- 日本企業の事例を取り上げたので、適応しないと思う
- 適応している
- 必要な情報を得た

Q18. センターでは、ビジネスコース、日本語コース、相互理解促進事業を実施していますが、センターの事業に対して要望があればお書きください。

- 先進国のビジネスや手法を入れたのがよかった
  - 以前、センターで日本交換留学試験を受けたことがある。両国交流に貢献していると思う
  - 両国の企業交流を支援していることは大切だ
  - とても満足している
  - 授業前のビデオや演習
  - コースを行う運営体制はともいい
  - 多種の活動を行っていることに感謝している
  - 講義内容
  - グループ演習
  - 必要
  - 応援している
  - よい
  - よく分からないが、センター事業に参加したいと思う
  - モンゴルでは製造業が必要である。日本の経営や製造業の重要性を訴えてくれた
- 2名
- 3名

Q19. 今回のコースで一番良かったことと良くないことを記入してください。

- 良かった点：
- 満足している
  - 実践的演習
  - グループワーク
  - 豊かな経験を持っている専門家が教えた
  - 教材
  - 全部
  - 授業は効果的だった
  - 内容
  - 運営体制はともいい
  - グループワークをしたおかげで、テーマがよくわかった
- 3名
- 4名
- 2名
- 2名
- 3名
- 2名
- 2名

- 良くなかった点：
- 最後のテーマの流れが速くて、残された部分がある。よくわからなかったところもある。
  - 横側に座っていたから首と肩がこった
  - 講義の終わる時間が遅かった
  - 流れが速かった
  - 理由を説明しても、事情をわかってくれなかった。丁寧に話してくれなかった
  - 部屋は寒かった
- 2名

Q20. アンケート表に記述されていないことがあればお書きください。

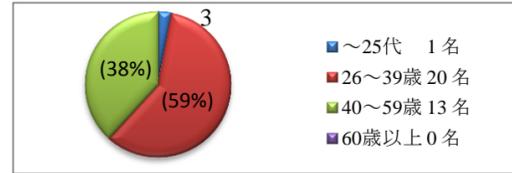
- 講義が始まる前（一週間前）に教材をもらえればテーマを理解するのに役に立つ

モンゴル・日本センター プログラム別アンケート集計結果

プログラム名 : マーケティング (通常コース経営者クラス)  
 実施期間 : 2017年11月20日～24日  
 受講者数 : 38名  
 アンケート回答者数 : 34名 回答率 (89%)

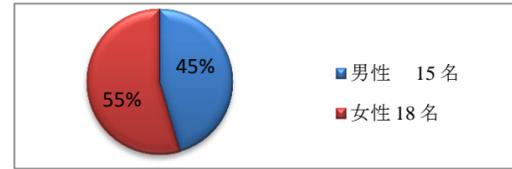
Q1. 年齢

1 ~25代	1名	(3%)
2 26～39歳	20名	(59%)
3 40～59歳	13名	(38%)
4 60歳以上	0名	(0%)



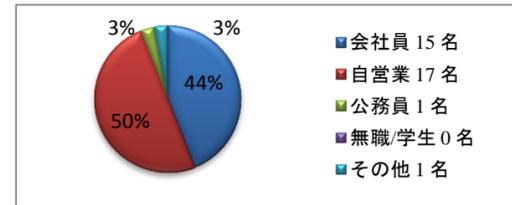
Q2. 性別

1 男性	15名	(44%)
2 女性	18名	(53%)



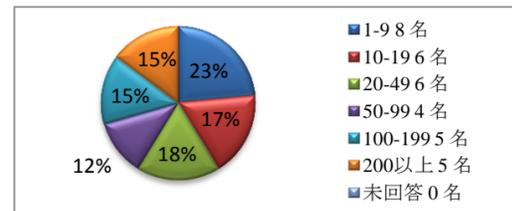
Q3. 職種

1 会社員	15名	(44%)
2 自営業	17名	(50%)
3 公務員	1名	(3%)
4 無職/学生	0名	(0%)
5 その他	1名	(3%)
未回答	0名	(0%)



Q4. 社員数

1 1-9	8名	(24%)
2 10-19	6名	(18%)
3 20-49	6名	(18%)
4 50-99	4名	(12%)
5 100-199	5名	(15%)
6 200以上	5名	(15%)
未回答	0名	(0%)



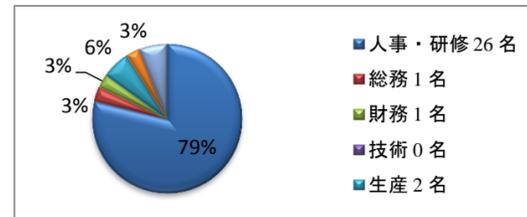
Q5. 職位

1 企業幹部(社長、取締役、役員)	29名	(85%)
2 部長、ディレクター、課長	5名	(15%)
3 スペシャリスト	0名	(0%)
4 その他	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



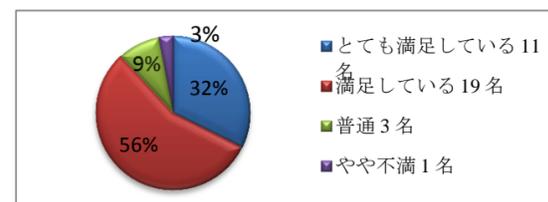
Q6.

部署		
1 人事・研修	26名	(76%)
2 総務	1名	(3%)
3 財務	1名	(3%)
4 技術	0名	(0%)
5 生産	2名	(6%)
6 その他	1名	(3%)
未回答	2名	(6%)



Q7.

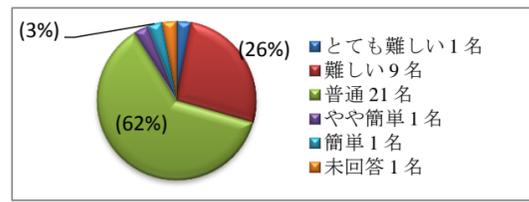
講義内容に関する満足度はどのぐらいですか。		
1 とても満足している	11名	32%
2 満足している	19名	56%
3 普通	3名	9%
4 やや不満	1名	3%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- ・いくつかのテーマが経営戦略、店舗管理のテーマと重なっていた。
- ・マーケティングについて明確な理解を得ていない。
- ・マーケティングは会社にとって大事な部分。
- ・想像できるまでによく説明した。
- ・一部のテーマの内容が不明
- ・マーケティングについてより詳しく説明すべき。グループ演習もっと入れれば良かった
- ・必要な知識、理解を得た。(4名)
- ・経験豊かな先生(2名)
- ・分かりやすく、詳しく教えていた。

Q8. 講義内容の難しさはどのぐらいですか？

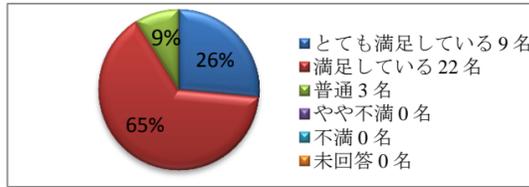
1 とても難しい	1名	(3%)
2 難しい	9名	(26%)
3 普通	21名	(62%)
4 やや簡単	1名	(3%)
5 簡単	1名	(3%)
未回答	1名	(3%)



- ・業務で使われている内容
- ・分かりやすかった。
- ・専門は財務なので、簡単だった
- ・マーケティングの知識がなかったので難しかった (3名)
- ・マーケティングにどうやって結びつけているのが、あまり見えてない
- ・販売を行っているので、講義は分かりやすい。
- ・内容は面白い。事例に基づいて説明していたのが良い。
- ・直面している課題を説明していた。
- ・マネジメント、マーケティングを学んだことがあり、知識を強化した。

Q9. 日本人講師の教え方に関する満足度はどのぐらいですか？

1 とても満足している	9名	26%
2 満足している	22名	65%
3 普通	3名	9%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%

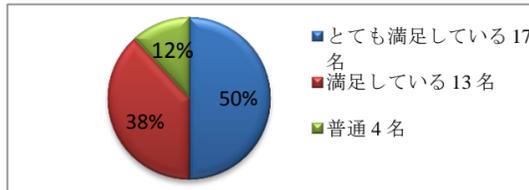


- ・繰り返しが多い。
- ・同じテンポで小さめの声で教えているのが、受講生の眠くなる要因となった。
- ・詳しく、深く説明してくれた。
- ・よく説明した。
- ・各テーマの後にグループ演習やれば良かった。
- ・事例を沢山上げたので、分かりやすかった (5名)
- ・メリットがある
- ・グループ演習にアドバイスをいただいたが、理論の面で繰り返しが多く、一つの事例で時間掛けすぎ。時間配分が良くない
- ・各受講生の情報が先生にあったので、一人ひとりの名前を呼んでビジネスの質問をしたのが良かった。
- ・事例が面白い。自分の結論をよく説明していた。(3名)
- ・理論を説明し、グループ演習の際により分かりやすくなった。
- ・理論に基づいた実践的なアドバイスいただいた。
- ・グループ演習が少ない。

Q10. 通訳に関する満足度はどのぐらいですか？

Ts. Badraa

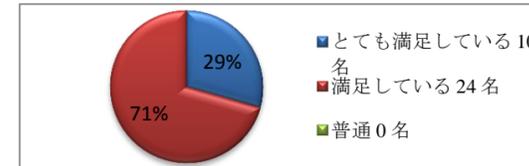
1 とても満足している	17名	50%
2 満足している	13名	38%
3 普通	4名	12%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- ・基礎知識が良い (4名)
- ・通訳はとても良い (4名)
- ・意味をしっかりと伝えていた
- ・同じテンポで話していたので、眠くなった。(3名)
- ・自分の知識が高いため、良く説明した。(2名)
- ・落ち着いた。

Q11. 講座で使われた機材・設備に関する満足度はどのぐらいですか。

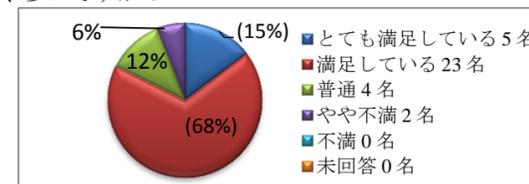
1 とても満足している	10名	29%
2 満足している	24名	71%
3 普通	0名	0%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- ・時々、マイクは音がおかしくなっていた
- ・配布資料が良い

Q12. コーヒーブレイクで出されたコーヒー、紅茶、パイ、あめに関する満足度はどのぐらいですか？

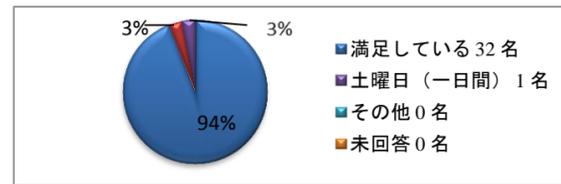
1 とても満足している	5名	(15%)
2 満足している	23名	(68%)
3 普通	4名	(12%)
4 やや不満	2名	(6%)
5 不満	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



- ・休憩時間を20分にする事は可能でしょうか
- ・今度、サンドイッチや肉食品が少なかった
- ・あまり良くなかった (2名)
- ・パイは合わなかった。抹茶があって嬉しかった
- ・休憩時間、サンドイッチ、コーヒー種類が多くていいと思う
- ・サンドイッチは食べにくかった。サンドイッチはツナを入れてほしい
- ・休憩時間が短い
- ・話し合えるので良い
- ・良い (2名)

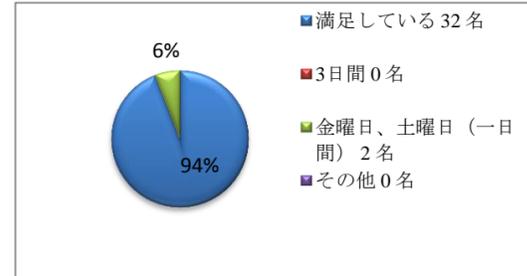
Q13. 授業時刻 (09:30~13:00) はどうですか?他の意見がありますか。

1 満足している	32名	(94%)
2 13:30~18:00	1名	(3%)
3 17:30~20:30	0名	(0%)
4 土曜日 (一日間)	1名	(3%)
5 その他	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



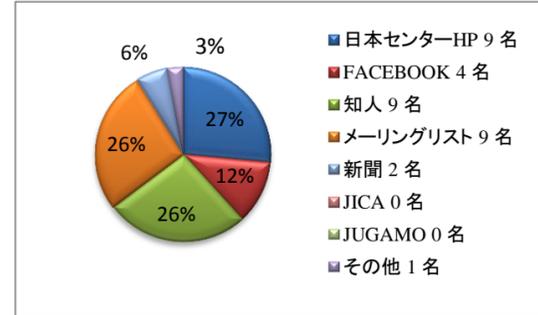
Q14. 授業を5日間実施したのはどうですか?他の意見がありますか。

1 満足している	32名	(94%)
2 3日間	0名	(0%)
3 金曜日、土曜日 (一日間)	2名	(6%)
4 その他	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



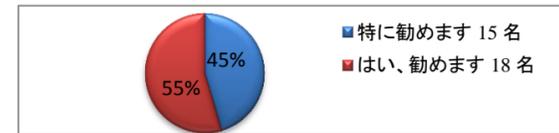
Q15. このプログラムの情報を何で知りましたか。

1 日本センターHP	9名	(26%)
2 FACEBOOK	4名	(12%)
3 知人	9名	(26%)
4 センターの掲示板	0名	(0%)
5 商工会議所	0名	(0%)
6 メーリングリスト	9名	(26%)
7 新聞	2名	(6%)
8 JICA	0名	(0%)
9 JUGAMO	0名	(0%)
10 その他	1名	(3%)



Q16. このプログラムを誰かにお勧めしますか。

1 特に勧めます	15名	(44%)
2 はい、勧めます	18名	(53%)
3 いいえ、勧めません	0名	(0%)



- ・ 経営者なら学ぶべき内容 (3名)
- ・ 効果的 (4名)
- ・ 新情報を得た
- ・ 友達にも解決すべき課題があるから
- ・ コース内容がいいから、大勢の人に学んでほしい (2名)
- ・ 同僚に、お勧めした。管理職クラスに6人がいる。
- ・ モンゴルでは、基礎知識がなくても起業する人が多いので必要だと思う。
- ・ 企業内研修を実施してほしい(生産職員向け)

Q17. 今回のコースでモンゴルの現状に適応しないと思ったところがあれば、お書きください。

- ・ 適応している (3名)
- ・ 文化の違いが見られた
- ・ モンゴル企業の事例をあげたらいいと思う
- ・ 現状は違うが、今後合うようにするべき
- ・ 現状には合わないけど、新しいアイデアはある。後は、経営者の能力によると思う。

Q18. センターでは、ビジネスコース、日本語コース、相互理解促進事業を実施していますが、センターの事業に対して要望があればお書きください。

- ・ 効果的 (2名)
- ・ 相互理解促進事業の情報をもらいたい
- ・ センターの事業はいいと思っている。企業内研修も大切だと思う
- ・ 感謝している
- ・ 応援している (2名)

Q19. 今回のコースで一番良かったことと良くないことを記入してください。

良かった点:

- ・ どこでもシート
- ・ 5日間実施したこと 2名
- ・ 経験豊かな先生 (3名)
- ・ 講師は詳しく、ゆっくり説明してくれた (5名)
- ・ Project X (3名)
- ・ 講義内容 (2名)
- ・ 面白かった
- ・ 全部
- ・ 実践的演習
- ・ グループ演習
- ・ マーケティングの知識を得た (2名)
- ・ 講義に受講した結果、会社運営は良くなり始めたので感謝している
- ・ 重要な情報を得た

良くなかった点:

- ・ 通訳
- ・ 実践的演習をもっとしてほしい (3名)
- ・ 時間が足りなかった
- ・ 一部のテーマの内容が不明

Q20. アンケート表に記述されていないことがあればお書きください。

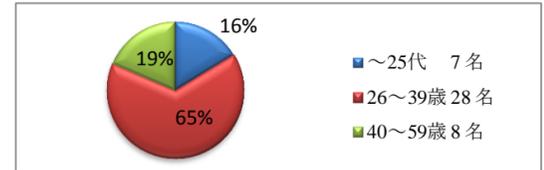
- ・ モンゴルでは、サービス営業は多いが、販売営業は少ない。販売専門店が少ない。そのため、本センターから販売業者向けの特別なコースを実施することは可能でしょうか。例えば:顧客さんへの挨拶、事業の分割り、商品の並べ方、販売を上げたら企業にどんな影響を与えるかなど...モンゴルではこの分野のコースはないから発展してない

モンゴル・日本センター プログラム別アンケート集計結果

プログラム名 : マーケティング (通常コース管理職クラス)  
 実施期間 : 2017年11月27日～12月1日  
 受講者数 : 48名  
 アンケート回答者数 : 43名 回答率 (90%)

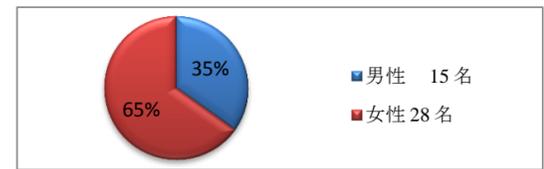
Q1. 年齢

1	～25代	7名	(16%)
2	26～39歳	28名	(65%)
3	40～59歳	8名	(19%)
4	60歳以上	0名	(0%)



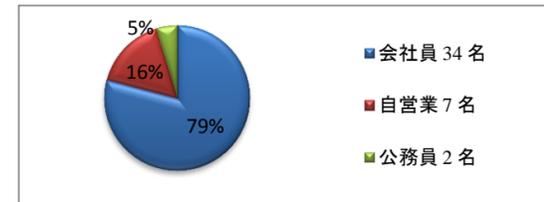
Q2. 性別

1	男性	15名	(35%)
2	女性	28名	(65%)



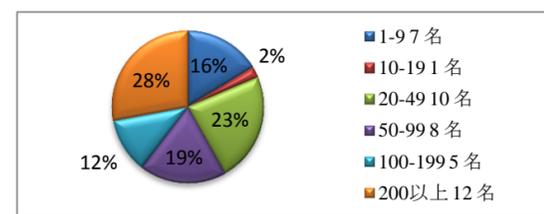
Q3. 職種

1	会社員	34名	(79%)
2	自営業	7名	(16%)
3	公務員	2名	(5%)
4	無職/学生	0名	(0%)
5	その他	0名	(0%)
	未回答	0名	(0%)



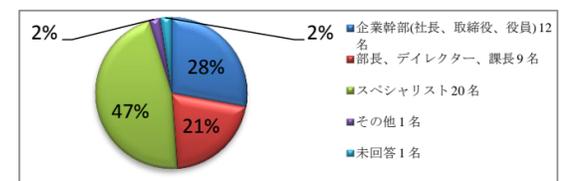
Q4. 社員数

1	1-9	7名	(16%)
2	10-19	1名	(2%)
3	20-49	10名	(23%)
4	50-99	8名	(19%)
5	100-199	5名	(12%)
6	200以上	12名	(28%)
	未回答	0名	(0%)



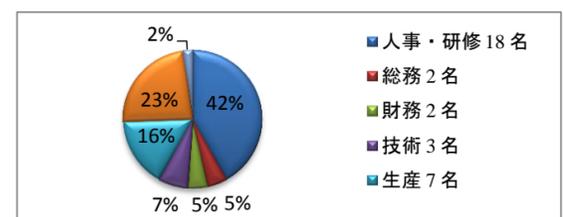
Q5. 職位

1	企業幹部(社長、取締役、役員)	12名	(28%)
2	部長、ディレクター、課長	9名	(21%)
3	スペシャリスト	20名	(47%)
4	その他	1名	(2%)
	未回答	1名	(2%)



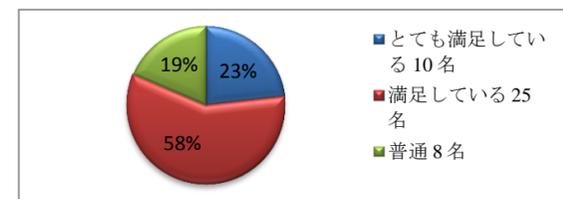
Q6.

	部署		
1	人事・研修	18名	(42%)
2	総務	2名	(5%)
3	財務	2名	(5%)
4	技術	3名	(7%)
5	生産	7名	(16%)
6	その他	10名	(23%)
	未回答	1名	(2%)



Q7.

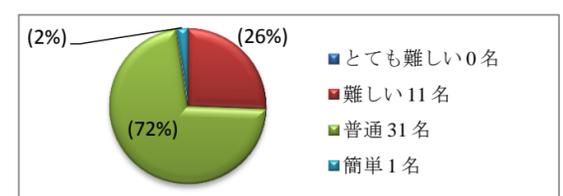
	講義内容に関する満足度はどのぐらいですか。		
1	とても満足している	10名	23%
2	満足している	25名	58%
3	普通	8名	19%
4	やや不満	0名	0%
5	不満	0名	0%
	未回答	0名	0%



- ー 同じことの繰り返しが多い 1名
- ー 話が長すぎる 2名
- ー 講師が知識が豊かで心を込めて教えてくれていた 1名
- ー 事例がモンゴルの状況に適していない気がした 1名
- ー 自社の問題点を見つけることができた 1名
- ー 分かりやすく、演習が良かった 3名

Q8.

	講義内容の難しさはどのぐらいですか？		
1	とても難しい	0名	(0%)
2	難しい	11名	(26%)
3	普通	31名	(72%)
4	やや簡単	0名	(0%)
5	簡単	1名	(2%)
	未回答	0名	(0%)



- ー 前回の経営戦略の内容と重なっているところがあった 1名
- ー 面白かった 1名
- ー 議論が多く、実践が少なかった 1名
- ー 英語のままの単語がいくつかあった 1名

Q9. 日本人講師の教え方に関する満足度はどのぐらいですか？

1	とても満足している	9名	21%
2	満足している	26名	60%
3	普通	8名	19%
4	やや不満	0名	0%
5	不満	0名	0%
	未回答	0名	0%

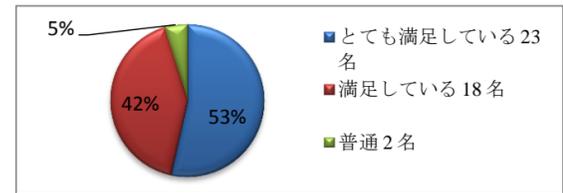


- ー 同じことの繰り返しが多く、演習が少ない。必要ないところに質問をするのが時間の無駄だった気がする 2名
- ー 分かりやすかった 2名
- ー 説明が長すぎる 3名
- ー 演習が少なかった 2名
- ー 自分の経験に基づいて具体的に教えていた 1名

Q10. 通訳に関する満足度はどのくらいですか？

Ts. Badraa

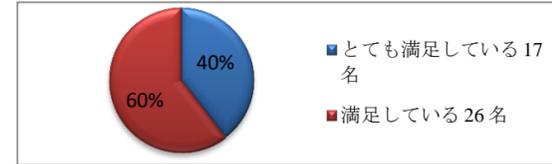
1 とても満足している	23名	53%
2 満足している	18名	42%
3 普通	2名	5%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



ー プロ級の通訳	1名
ー 知識が豊か	2名
ー 分かりやすい	1名
ー 経験豊富	1名

Q11. 講座で使われた機材・設備に関する満足度はどのくらいですか。

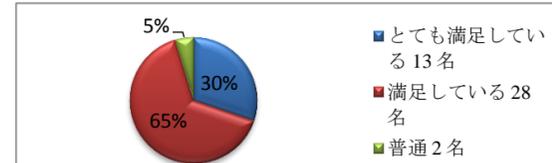
1 とても満足している	17名	40%
2 満足している	26名	60%
3 普通	0名	0%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



ー 必要なものが充実している	1名
ー 少し暑かった	1名

Q12. コーヒーブレイクで出されたコーヒー、紅茶、パイ、あめに関する満足度はどのくらいですか？

1 とても満足している	13名	(30%)
2 満足している	28名	(65%)
3 普通	2名	(5%)
4 やや不満	0名	(0%)
5 不満	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



ー 1回目の休憩にもサンドイッチが欲しい	1名
ー 新鮮で品質のいいものがある	1名
ー 飲食コーナーにテーブルが欲しい	1名
ー コーヒーブレイクのおかげで講義中に元気が出ていた	1名
ー 種類が多くてよかった	1名

Q13. 授業時刻 (09:30~13:00) はどうですか？他の意見がありますか。

1 満足している	30名	(70%)
2 13:30~18:00	6名	(14%)
3 17:30~20:30	5名	(12%)
4 土曜日 (一日間)	2名	(5%)
5 その他	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



Q14. 授業を5日間実施したのはどうですか？他の意見がありますか。

1 満足している	41名	(95%)
2 3日間	1名	(2%)
3 金曜日、土曜日 (一日間)	1名	(2%)
4 その他	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



Q15. このプログラムを誰かにお勧めしますか。

1 特に勧めます	14名	(33%)
2 はい、勧めます	28名	(65%)
3 いいえ、勧めません	1名	(2%)



ー 短期間で必要な情報が得た	2名
ー 効果的だから	4名
ー とてもいいコースだから	2名
ー 沢山の人の参加してほしい	1名
ー 友達に勧める	1名
ー 面白くなかった	1名
ー 日本式経営から学ぶことが沢山あるから	1名

Q16. 今回のコースでモンゴルの現状に適応しないと思ったところがあれば、お書きください。

ー 特になし	18名
ー いくつかのマーケティングプランがモンゴルで使えないような気がした	3名
ー 事例	4名
ー サービス業の事例だけでなくほかの業界の事例も入れてほしい	1名

Q17. センターでは、ビジネスコース、日本語コース、相互理解促進事業を実施していますが、センターの事業に対して要望があればお書きください。

ー これからも継続してほしい	1名
ー 必要な知識が得られるコース	5名
ー 満足している	4名
ー 両国の教育やビジネス交流のとても役に立っている	2名
ー 日本式経営を学ぶことができる	1名
ー MBAコース (日本留学含む) があればいい	1名
ー 日本の食品生産について知りたい	1名

Q18. 今回のコースで一番良かったことと良くないことを記入してください。

良かった点：

ー テーマと講師	3名
ー 講義内容	2名
ー 講師の教え方、グループメンバー	2名
ー 講義に使われている設備	1名
ー 全てが良かった	2名
ー 教室が暖かくてよかった	2名
ー 一つ一つ説明してくれたこと	1名
ー グループワークに対してアドバイスしてくれたこと	1名
ー 日常業務に役に立つ情報が得た	1名
ー 事例が良かった	1名
ー コース運営、スタッフの対応、講師と通訳	1名
ー グループワーク	

良くなかった点：

ー 教室が暑かった	2名
ー 演習が少なくて、期待通りではなかった	1名
ー 演習が少なかった	3名
ー クラスに知らない人が沢山入っていたこと	1名
ー 指紋登録が忘れた際に、スタッフが出欠取ってほしい	1名
ー 話が長い	2名
ー 説明が長すぎる	1名
ー 日本の事例が多かった	1名

Q19. アンケート表に記述されていないことがあればお書きください。

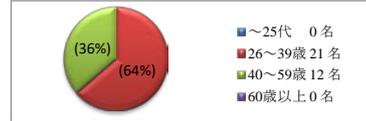
- ー PROJECTXのモンゴル語字幕に間違いが多かった
- ー 財務管理コースを2018年の1月にしてほしい

モンゴル・日本センター プログラム別アンケート集計結果

プログラム名 : 人事管理 (通常コース経営者クラス)  
 実施期間 : 2018年1月29日～2月3日  
 受講者数 : 37名  
 アンケート回答者数 : 33名 回答率 (89%)

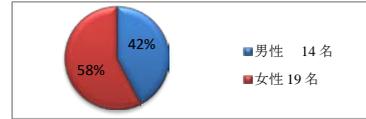
Q 1. 年齢

1	～25代	0名	(0%)
2	26～39歳	21名	(64%)
3	40～59歳	12名	(36%)
4	60歳以上	0名	(0%)



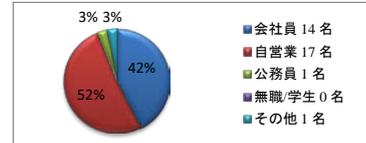
Q 2. 性別

1	男性	14名	(42%)
2	女性	19名	(58%)



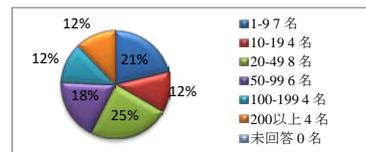
Q 3. 職種

1	会社員	14名	(42%)
2	自営業	17名	(52%)
3	公務員	1名	(3%)
4	無職/学生	0名	(0%)
5	その他	1名	(3%)
	未回答	0名	(0%)



Q 4. 社員数

1	1-9	7名	(21%)
2	10-19	4名	(12%)
3	20-49	8名	(24%)
4	50-99	6名	(18%)
5	100-199	4名	(12%)
6	200以上	4名	(12%)
	未回答	0名	(0%)



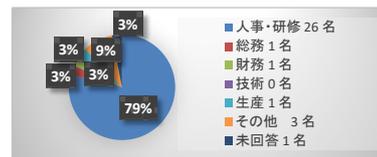
Q 5. 職位

1	企業幹部(社長、取締役、役員)	28名	(85%)
2	部長、ディレクター、課長	5名	(15%)
3	スペシャリスト	0名	(0%)
4	その他	0名	(0%)
	未回答	0名	(0%)



Q 6. 部署

1	人事・研修	26名	(79%)
2	総務	1名	(3%)
3	財務	1名	(3%)
4	技術	0名	(0%)
5	生産	1名	(3%)
6	その他	3名	(9%)
	未回答	1名	(3%)



・ 対外関係

Q 7. 講義内容に関する満足度はどのぐらいですか。

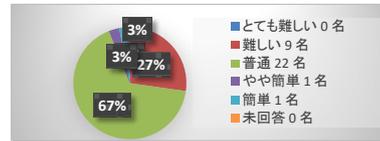
1	とても満足している	14名	42%
2	満足している	18名	55%
3	普通	1名	3%
4	やや不満	0名	0%
5	不満	0名	0%
	未回答	0名	0%



- ・ 自分の弱点を知ることが出来た。
- ・ ずっと前から知りたかったことを勉強することが出来て大変うれしい。
- ・ 実践的で良い知識を得ることが出来た。
- ・ 沢山の知識と情報を得ることが出来た。
- ・ 自社で直面している課題の解決方法を見つけた。
- ・ とても勉強になった。チームワークが楽しかった。
- ・ 大変効果的な講義だった。仕事で実践したいことを沢山勉強した。
- ・ 目に見えない、隠れている問題を明確にする方法を学んだ。
- ・ 私が決して思い付かない多くのアイデアを考えさせてくれた。特に、「求職者も顧客だ」という発想が面白かった。
- ・ 実践方法を教えてくださった。

Q 8. 講義内容の難しさはどのぐらいですか？

1 とても難しい	0名	(0%)
2 難しい	9名	(27%)
3 普通	22名	(67%)
4 やや簡単	1名	(3%)
5 簡単	1名	(3%)
未回答	0名	(0%)



- ・ 人事担当の人ではないので少し分りにくかった。 2名
- ・ 内容が簡潔で明確だった。とても分かりやすかった。
- ・ 時間が短い。
- ・ 事例が多く、分かりやすかった。
- ・ ちょうど良い。
- ・ 日常生活にも、仕事にでも活用したい100%の内容だった。
- ・ 演習問題が多く、理論的な部分が間に合わなかった。 2名
- ・ グループ演習が効果的だった。
- ・ グループ演習がとても楽しかった。
- ・ リーダーに必要な素質を教えてくれた。

Q 9. 日本人講師の教え方に関する満足度はどのぐらいですか？

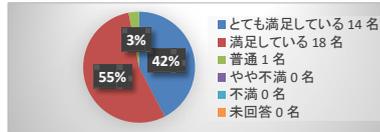
1 とても満足している	12名	36%
2 満足している	20名	61%
3 普通	1名	3%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- ・ 講師の教え方が革新的だった。
- ・ 経験が豊富で教え方がとても良い。新しく教えた内容を演習で確認する機会を与えてくれた。
- ・ 練習問題や説明やジョグなどのバランスが良かった。
- ・ 講師の教え方が優秀で分かりやすく説明して下さった。事例やケーススタディが多かった。
- ・ 練習問題が多く、チームワークもあった。チームで競い合った。
- ・ 先生はさすががプロだ。
- ・ 先生自身がパワーフルで知識も豊富だ。
- ・ 受講者一人一人に行き届いた講義だった。

Q10. 通訳に関する満足度はどのぐらいですか？ N. Batdelger

1 とても満足している	14名	42%
2 満足している	18名	55%
3 普通	1名	3%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- ・ よく訳していた。 2名
- ・ とても分かりやすかった。
- ・ この分野の知識が豊かだ。 2名
- ・ 上手だ
- ・ とても良い人だと思う。
- ・ まじめな人だ。
- ・ 上手に訳した。

Q11. 講座で使われた機材・設備に関する満足度はどのぐらいですか。

1 とても満足している	11名	33%
2 満足している	22名	67%
3 普通	0名	0%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- ・ よく設備されている。 2名
- ・ マーカーが出にくかった。
- ・ 足りないものはなかった。
- ・ 十分だ。

Q12. コーヒーブレイクで出されたコーヒー、紅茶、サンドイッチに関する満足度はどのぐらいですか？

1 とても満足している	9名	(27%)
2 満足している	18名	(55%)
3 普通	6名	(18%)
4 やや不満	0名	(0%)
5 不満	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



- ・ メニューがあれば良い。おにぎりかKimbabがほしい。
- ・ 選択があれば良い。
- ・ ちょうどよかった。
- ・ 朝食を食べずに来るようになった。

- Q13. 授業時刻 (09:30~13:00) はどうですか?他の意見がありますか。
- |               |     |       |
|---------------|-----|-------|
| 1 満足している      | 31名 | (94%) |
| 2 13:30~18:00 | 1名  | (3%)  |
| 3 17:30~20:30 | 0名  | (0%)  |
| 4 土曜日 (一日間)   | 1名  | (3%)  |
| 5 その他         | 0名  | (0%)  |
| 未回答           | 0名  | (0%)  |

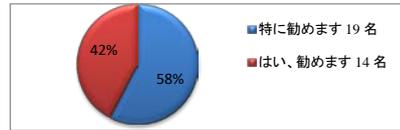


- Q14. 授業を6日間実施したのはどうですか?他の意見がありますか。
- |                 |     |       |
|-----------------|-----|-------|
| 1 満足している        | 30名 | (91%) |
| 2 3日間           | 0名  | (0%)  |
| 3 金曜日、土曜日 (一日間) | 2名  | (6%)  |
| 4 その他           | 1名  | (3%)  |
| 未回答             | 0名  | (0%)  |



- ・ 出来れば講義後、授業で学んだことを会社でどのように活かしているかといったフィードバックあれば良い。
- ・ 前回と同様に平日5日間実施すればちょうど良い。

- Q15. このプログラムを誰かにお勧めしますか。
- |             |     |       |
|-------------|-----|-------|
| 1 特に勧めます    | 19名 | (58%) |
| 2 はい、勧めます   | 14名 | (42%) |
| 3 いいえ、勧めません | 0名  | (0%)  |



- ・ 国際経験から学ぶことが出来るから
- ・ 他社が実施しているコースより質が良い。経営者がリーダーシップについて勉強するべきだと思う。
- ・ モンゴルの現状に適應する多くの知識を教えてもらうから
- ・ 学べることが多いから 2名
- ・ 経営者と管理職に必要な知識を教えているから
- ・ このプログラムがとても気に入った。
- ・ モンゴルの企業が直面している課題に必要だと思う。 2名
- ・ (中小企業) 経営者のほとんどが自分の専攻分野と違う分野に携わることが多いため、とても必要だと思う。
- ・ とても効果的だから
- ・ 実践的だから
- ・ 経営者にとっても必要な知識を与えているから
- ・ 大変満足している。
- ・ クラスの雰囲気が良い。それに講義も効果的。
- ・ 多くのことを学び、自分自身を改めて知ることが出来た。
- ・ ビジネスに必要な多くの情報を提供しているから

- Q16. 今回のコースでモンゴルの現状に適應しなかったところがあれば、お書きください。

- ・ 適している。ただ、モンゴルの特徴に合わせるべきだと思う。
- ・ 適している。 9名
- ・ 中小企業に適應することが少ないと思う。
- ・ 適することが比較的に少ない。 2名
- ・ 日本の人事管理の良い点をモンゴルの特徴の合わせて実施するべきだと思う。
- ・ 適應しないところもある。
- ・ 日本の事例が多かった。
- ・ モンゴル人と日本人の考え方が違うことに気づいた。 2名
- ・ 私たちは勉強ががんばるべきだ。
- ・ 日本の賃金がモンゴルよりかなり高いため、人事分野において大きなギャップがある。

- Q17. センターでは、ビジネスコース、日本語コース、相互理解促進事業を実施していますが、センターの事業に対して要望があればお書きください。

- ・ 応援している。 4名
- ・ 日本の文化をモンゴルで紹介していることを大変うれしく思っている。
- ・ とても良い事業だと思う。 5名
- ・ 重要な事業を実施している。 2名
- ・ 大変感謝している。成果を出したいと思っている。
- ・ とても効果的だ。 2名
- ・ 気に入っている。
- ・ センターへの満足度が上がると信じている。

- Q18. 今後モンゴル・日本センターでどのようなコースがあれば参加したいと思いますか。

- ・ 一般職員向けコース
- ・ サービス従業員向けコース
- ・ 会社向けコンサルティングサービス
- ・ 自己啓発についてのコース 2名
- ・ プロセスの簡素化についての講義
- ・ 生産分野で働いている職員にモノづくりの大切さを理解してもらいたい
- ・ ビジネス関係
- ・ 各種コース
- ・ 理論と実践を両立したコース
- ・ プレゼンスキルを上げる方法
- ・ 経営者コースを毎年受けたい
- ・ 生産管理における内部作業

Q19. 今回のコースで一番良かったことと良くないことを記入してください。

良かった点：

- ・ 上級コースを多く実施してほしい。
- ・ グループ演習 2名
- ・ 講師の教え方 2名
- ・ グループ分け
- ・ テーマ毎にディスカッションがあったこと
- ・ チームワークが効果的だったこと
- ・ コース全般 4名
- ・ とても効果的だったこと
- ・ 講師 2名
- ・ 講義内容 2名
- ・ 実践問題 2名
- ・ 日本のノウハウから学んだこと
- ・

良くなかった点：

- ・ 時間通りに休憩しなかったこと
- ・ 1科目で教える量が多すぎる。それに対して時間が短すぎる。
- ・ 他の受講者が迷惑をかけていること
- ・ 理論が少なかったこと
- ・ 土曜日に授業があったこと

Q20. アンケート表に記述されていないことがあればお書きください。

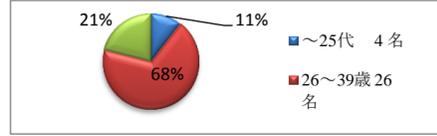
- ・ 人の本質が分かるDISGという理論がある。その理論を日本でどのように使っているかを講義内容に入れればと思う。
- ・ 日本人専門家とモンゴル人専門家交換プログラムが実施可能か？

モンゴル・日本センター プログラム別アンケート集計結果

プログラム名 : 人事管理 (通常コース管理職クラス)  
 実施期間 : 2018年2月5日～9日  
 受講者数 : 44名  
 アンケート回答者数 : 38名 回答率 (86%)

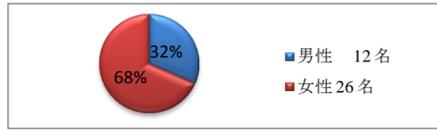
Q1. 年齢

1 1～25代	4名	(11%)
2 26～39歳	26名	(68%)
3 40～59歳	8名	(21%)
4 60歳以上	0名	(0%)



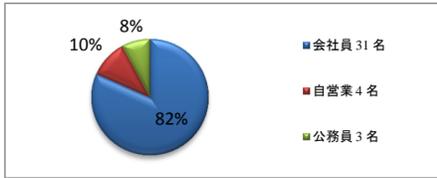
Q2. 性別

1 男性	12名	(32%)
2 女性	26名	(68%)



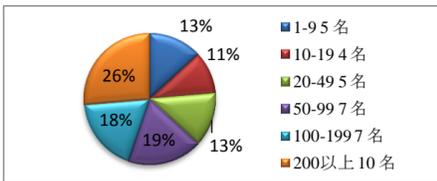
Q3. 職種

1 会社員	31名	(82%)
2 自営業	4名	(11%)
3 公務員	3名	(8%)
4 無職/学生	0名	(0%)
5 その他	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



Q4. 社員数

1 1-9	5名	(13%)
2 10-19	4名	(11%)
3 20-49	5名	(13%)
4 50-99	7名	(18%)
5 100-199	7名	(18%)
6 200以上	10名	(26%)
未回答	0名	(0%)



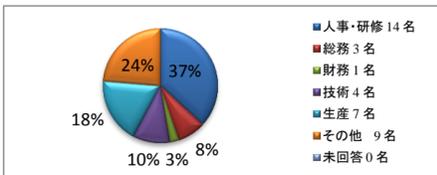
Q5. 職位

1 企業幹部(社長、取締役、役員)	8名	(21%)
2 部長、ディレクター、課長	5名	(13%)
3 スペシャリスト	24名	(63%)
4 その他	1名	(3%)
未回答	0名	(0%)



Q6. 部署

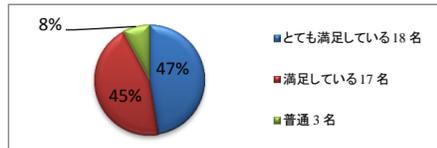
1 人事・研修	14名	(37%)
2 総務	3名	(8%)
3 財務	1名	(3%)
4 技術	4名	(11%)
5 生産	7名	(18%)
6 その他	9名	(24%)
未回答	0名	(0%)



・ 販売

Q7. 講義内容に関する満足度はどのぐらいですか。

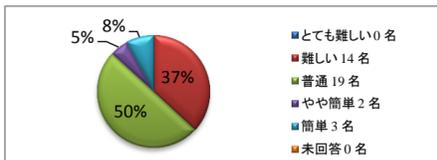
1 とても満足している	18名	47%
2 満足している	17名	45%
3 普通	3名	8%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- ・ 知らなかったことを沢山教えてもらった 3名
- ・ 受講生からの質問が多くて時間がかかった
- ・ 自分の会社にすぐに取り入れたい事例があった
- ・ 欲しい情報が得た
- ・ スピードがゆっくりだった 2名
- ・ 事例が面白かった
- ・ 実践的でよかった

Q8. 講義内容の難しさはどのぐらいですか？

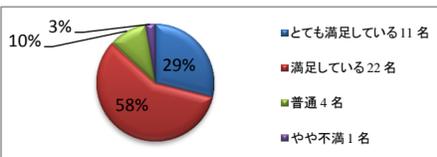
1 とても難しい	0名	(0%)
2 難しい	14名	(37%)
3 普通	19名	(50%)
4 やや簡単	2名	(5%)
5 簡単	3名	(8%)
未回答	0名	(0%)



- ・ 基礎知識がないので少し難しかった
- ・ モンゴルの事例があればよかった

Q9. 日本人講師の教え方に関する満足度はどのぐらいですか？

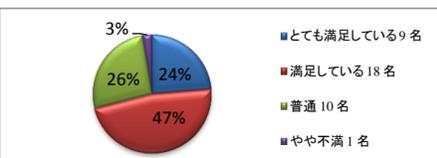
1 とても満足している	11名	29%
2 満足している	22名	58%
3 普通	4名	11%
4 やや不満	1名	3%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- ・ 経験豊富な方だった 3名
- ・ しっかり説明してくれた
- ・ 教え方が上手で心を込めて教えていた 3名
- ・ グループワークが沢山あったのが良かった

Q10. 通訳に関する満足度はどのぐらいですか？ B. Oyuntsetseg

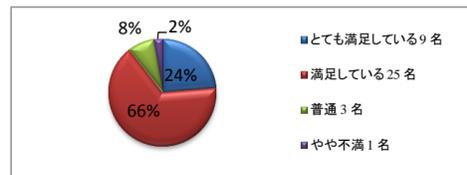
1 とても満足している	9名	24%
2 満足している	18名	47%
3 普通	10名	26%
4 やや不満	1名	3%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- ・ 声が低い 3名
- ・ 暗い
- ・ 人事管理について詳しい方だった
- ・ とても分かりやすかった 5名
- ・ 通訳に関して上手だが、感情的でなかった

Q11. 現地講師に関する満足度はどのくらいですか D. Dashmaa

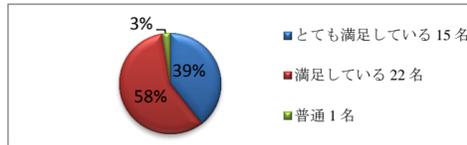
1 とても満足している	9名	24%
2 満足している	25名	66%
3 普通	3名	8%
4 やや不満	1名	3%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- ・モンゴルの事例があったので良かった
- ・経験豊富
- ・分かりやすくスピードが良かった

Q12. 講座で使われた機材・設備に関する満足度はどのくらいですか。

1 とても満足している	15名	39%
2 満足している	22名	58%
3 普通	1名	3%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- ・教室が暑かった
- ・必要なものがすべて揃っていた

Q13. コーヒーブレイクで出されたコーヒー、紅茶、サンドイッチに関する満足度はどのくらいですか？

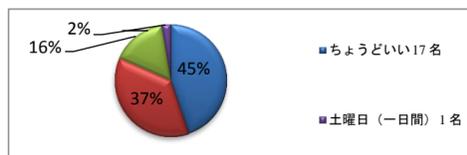
1 とても満足している	15名	(39%)
2 満足している	20名	(53%)
3 普通	3名	(8%)
4 やや不満	0名	(0%)
5 不満	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



- ・美味しくて品質がいい 3名
- ・おかげで元気を出せていた
- ・オーガニック食があればいい

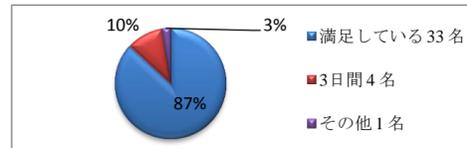
Q14. 授業時刻 (16:00~20:30) はどうですか？他の意見がありますか。

1 ちょうどいい	17名	(45%)
2 09:30~03:00	14名	(37%)
3 13:30~18:00	6名	(16%)
4 土曜日 (一日間)	1名	(3%)
5 その他	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



Q15. 授業を5日間実施したのはどうですか？他の意見がありますか。

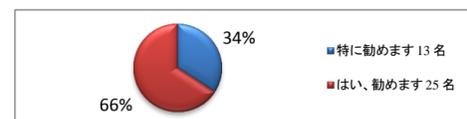
1 満足している	33名	(87%)
2 3日間	4名	(11%)
3 金曜日、土曜日 (一日間)	0名	(0%)
4 その他	1名	(3%)
未回答	0名	(0%)



- ・管理職クラスの2つの講義はクリスマスとツァガンサルの前に実施されたので講義に集中して参加するのに悪影響与えていた

Q16. このプログラムを誰かにお勧めしますか。

1 特に勧めます	13名	(34%)
2 はい、勧めます	25名	(66%)
3 いいえ、勧めません	0名	(0%)



- ・効果的なので勧める 2名
- ・特に中小企業に勧める

Q17. 今回のコースでモンゴルの現状に適応しないと思ったところがあれば、お書きください。

- ・事例

Q18. センターでは、ビジネスコース、日本語コース、相互理解促進事業を実施していますが、センターの事業に対して要望があればお書きください。

- ・日本から学ぶことが沢山ある
- ・ニーズを十分に満たしている
- ・とても満足している
- ・両国の架け橋になっている

Q19. 今後モンゴル・日本センターでどのようなコースがあれば参加したいと思いますか。

- ・IT, 技術開発
- ・社会、経済
- ・人事管理、マーケティング
- ・ビジネスコースにプラス日本語コース
- ・継続的に実施してほしい

Q20. 今回のコースで一番良かったことと良くないことを記入してください。

良かった点:

- ・実践
- ・講師
- ・講義内容
- ・運営体制
- ・事例
- ・グループワーク

良くなかった点:

- ・時期的にツァガンサルの前なので大変だった

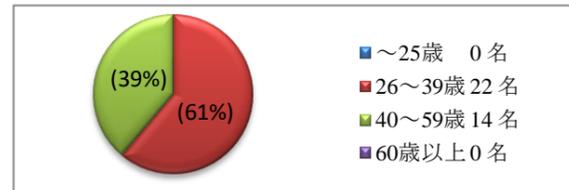
Q21. アンケート表に記述されていないことがあればお書きください。

## モンゴル・日本センター プログラム別アンケート集計結果

プログラム名 : 財務管理 (通常コース経営者クラス)  
 実施期間 : 2018年2月26日～3月3日  
 受講者数 : 36名  
 アンケート回答者数 : 36名 回答率 (100%)

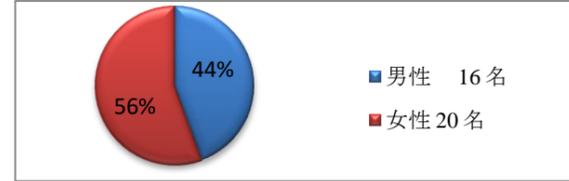
### Q 1. 年齢

1 ~25歳	0名	(0%)
2 26～39歳	22名	(61%)
3 40～59歳	14名	(39%)
4 60歳以上	0名	(0%)



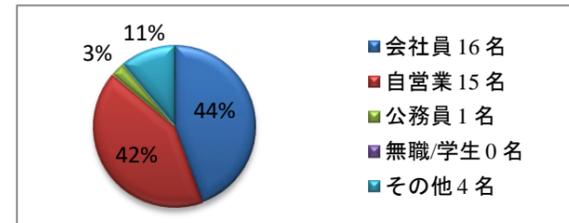
### Q 2. 性別

1 男性	16名	(44%)
2 女性	20名	(56%)



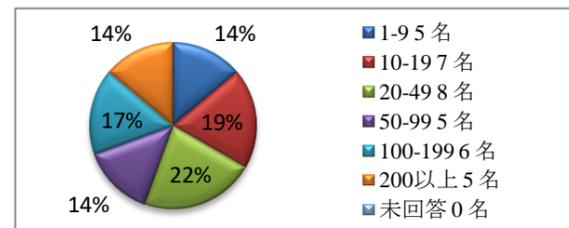
### Q 3. 職種

1 会社員	16名	(44%)
2 自営業	15名	(42%)
3 公務員	1名	(3%)
4 無職/学生	0名	(0%)
5 その他	4名	(11%)
未回答	0名	(0%)



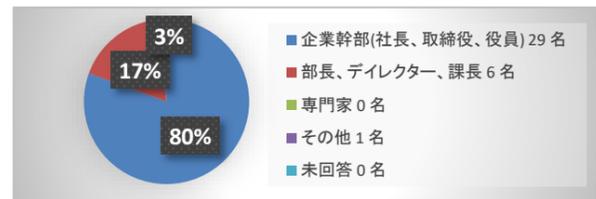
### Q 4. 社員数

1 1-9	5名	(14%)
2 10-19	7名	(19%)
3 20-49	8名	(22%)
4 50-99	5名	(14%)
5 100-199	6名	(17%)
6 200以上	5名	(14%)
未回答	0名	(0%)



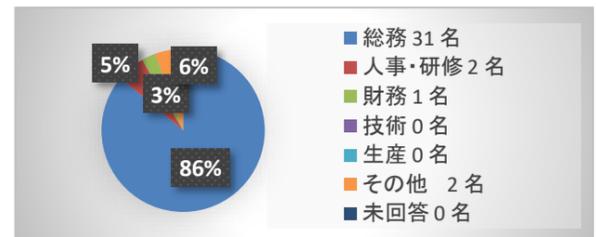
### Q 5. 役職

1 企業幹部(社長、取締役、役員)	29名	(81%)
2 部長、ディレクター、課長	6名	(17%)
3 専門家	0名	(0%)
4 その他	1名	(3%)
未回答	0名	(0%)



### Q 6. 部署

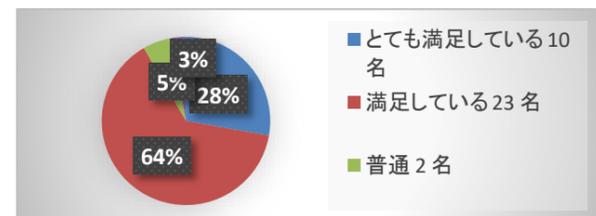
1 総務	31名	(86%)
2 人事・研修	2名	(6%)
3 財務	1名	(3%)
4 技術	0名	(0%)
5 生産	0名	(0%)
6 その他	2名	(6%)
未回答	0名	(0%)



- ・ 保健部
- ・ 対外関係部

### Q 7. 講義内容に関する満足度はどのぐらいですか。

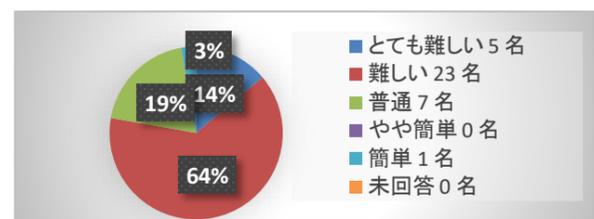
1 とても満足している	10名	28%
2 満足している	23名	64%
3 普通	2名	6%
4 やや不満	1名	3%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- ・ 講義自体が有意義なことは分かったが、内容を把握することが出来なかった。 2名
- ・ 知らなかったことがよくわかった。
- ・ 大変難しいテーマだった。
- ・ 大学で勉強していた財務計算式の実践的な意義を改めて理解した。
- ・ とても有意義だった。
- ・ 必要な知識を全部得た。
- ・ 難しかったため、よく分からなかった。
- ・ 財務の知識が全くなかったことに気づいた
- ・ 明確で、分かりやすかった。

Q 8. 講義内容の難しさはどのぐらいですか？

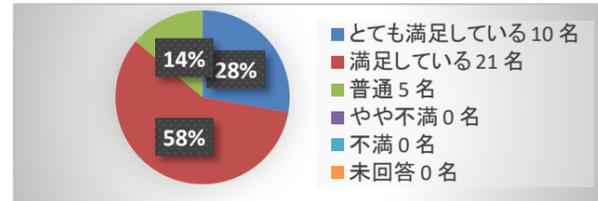
1 とても難しい	5名	(14%)
2 難しい	23名	(64%)
3 普通	7名	(19%)
4 やや簡単	0名	(0%)
5 簡単	1名	(3%)
未回答	0名	(0%)



- ・ 財務知識があまりなかったのが、難しかった。 2名
- ・ 基礎知識もなかったのが難しかった。 2名
- ・ 専門知識が必要なので、少し難しかった。 2名
- ・ 財務管理というテーマ自体が難しい。
- ・ ニーズに沿った講義だった。

Q 9. 日本人講師の教え方に関する満足度はどのぐらいですか？

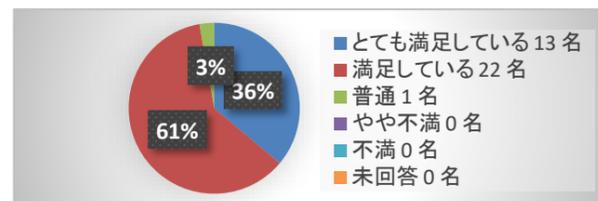
1 とても満足している	10名	28%
2 満足している	21名	58%
3 普通	5名	14%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- ・ 先生ができるだけ実践的に教えるために各質問に丁寧に答えていた。
- ・ 必要な知識を明確に教えてくださった。事例がとても分かりやすかった。
- ・ 財務分析に必要な情報を分かりやすく説明してくれた。
- ・ 財務表が分かりにくかった。
- ・ 財務諸表や投資の仕方などについてとても分かりやすく説明してくださいました。
- ・ 実績があって、プロだった。
- ・ 各質問に丁寧に答えていただき、ありがたかった。
- ・ 講義の準備がしっかりしている。知識が豊富だ。

Q10. 通訳に関する満足度はどのぐらいですか？ N. Batdelger

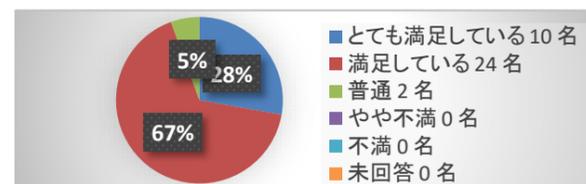
1 とても満足している	13名	36%
2 満足している	22名	61%
3 普通	1名	3%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- ・ 説得力が高い。そのまま訳すのではなく、説明を加えながら訳していた。
- ・ この分野で働いている人のように思われた。
- ・ 経験が豊富だ。
- ・ 一部の説明が分かりにくかった。

Q11. 講座で使われた機材・設備に関する満足度はどのぐらいですか？

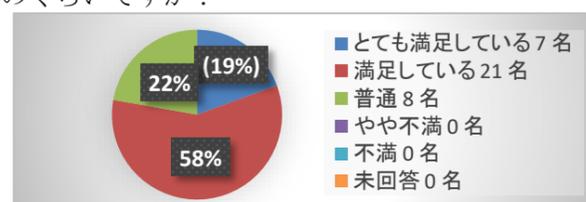
1 とても満足している	10名	28%
2 満足している	24名	67%
3 普通	2名	6%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- ・ 必要なものが全部揃っていた。
- ・ たまに雑音が聞こえる。
- ・ 教室の後ろに座っていたため、よく見えなかった。
- ・ プロジェクターの映りが良くなかった。もう少し大きくしてほしい。2名
- ・ 設備が古かった。

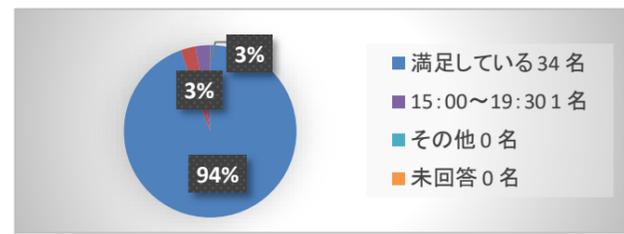
Q12. コーヒーブレイクで出されたコーヒー、紅茶、サンドイッチに関する満足度はどのぐらいですか？

1 とても満足している	7名	(19%)
2 満足している	21名	(58%)
3 普通	8名	(22%)
4 やや不満	0名	(0%)
5 不満	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)

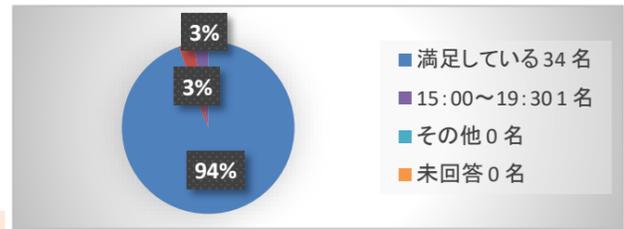


- ・ Kimbabのごはんが硬かった
- ・ 特に気にしなかった。

- Q13. 授業時刻 (09:30~13:00) はどうですか?他の意見がありますか。
- |               |     |       |
|---------------|-----|-------|
| 1 満足している      | 34名 | (94%) |
| 2 13:30~18:00 | 1名  | (3%)  |
| 3 17:30~20:30 | 0名  | (0%)  |
| 4 15:00~19:30 | 1名  | (3%)  |
| 5 その他         | 0名  | (0%)  |
| 未回答           | 0名  | (0%)  |

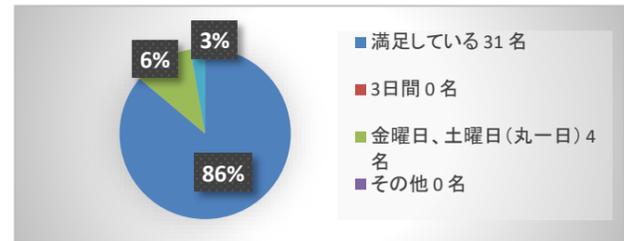


- Q14. 管理職クラスの授業時刻 (16:00~20:30) はどうですか?御社にとってどの時間帯が一番適切かご意見はありますか?
- |               |     |       |
|---------------|-----|-------|
| 1 適切である       | 13名 | (36%) |
| 2 09:30~13:00 | 5名  | (14%) |
| 3 13:30~18:00 | 3名  | (8%)  |
| 4 土曜日 (丸一日)   | 2名  | (25%) |
| 5 その他         | 1名  | (3%)  |
| 未回答           | 12名 | (33%) |



- ・ 09:00~13:00
- ・ 経営者クラスの時間と重ならなかったことが良かった。

- Q15. 授業を6日間実施したのはどうですか?他の意見がありますか。
- |                 |     |       |
|-----------------|-----|-------|
| 1 満足している        | 31名 | (86%) |
| 2 3日間           | 0名  | (0%)  |
| 3 金曜日、土曜日 (丸一日) | 4名  | (11%) |
| 4 その他           | 0名  | (0%)  |
| 未回答             | 1名  | (3%)  |



- Q16. このプログラムを誰かにお勧めしますか。
- |             |     |       |
|-------------|-----|-------|
| 1 強く勧めます    | 17名 | (47%) |
| 2 はい、勧めます   | 19名 | (53%) |
| 3 いいえ、勧めません | 0名  | (0%)  |



- ・ とても効果的だ。
- ・ 経営者にとって必要な知識と方法を学んだ。
- ・ とても勧めている。
- ・ 将来のモンゴルのために勧める。
- ・ この難しいテーマの主な内容、そして要点を分かりやすく教えていただいたことに感謝している。
- ・ 会社の経営と発展にとっても役に立つため、強く勧める。
- ・ 多くのことを新しく学んだ。学んだことを自社で取り入れ始めた。
- ・ 今後も実施してほしい。
- ・ 短期間に多くの知識が得られるため、勧める。
- ・ 経営者に必要な財務の基礎知識を与えてくださった。

- Q17. 今回のコースでモンゴルの現状に適さないと思ったところがあれば、お書きください。

- ・ 適している。 21名
- ・ あった。経済状況や銀行の利子などが異なっていた。
- ・ 一部訳語の意味合い
- ・ モンゴルでは、一部数字のデータベースがなかなか見つからないときがある。
- ・ 先生が適さないところを説明し、モンゴルの現状に合わせる方法を教えてくれた。

- Q18. センターでは、ビジネスコース、日本語コース、相互理解促進事業を実施していますが、センターの事業に対して要望があればお書き

- ・ 定期的実施しているのがとても良い。
- ・ 今回のビジネスコースに参加することが出来て大変うれしい。
- ・ とても良い取り組みだと思う。 2名
- ・ 大変満足している。 3名
- ・ これらの事業はとても効果的だと思う。今後も続けてほしい。 2名
- ・ モンゴルの生産分野を応援し、事業展開をサポートしていることに大変感謝している。
- ・ 両国の共同商工会議所があれば良い。
- ・ モンゴルの発展に貢献している

- Q19. 今後モンゴル・日本センターでどのようなコースがあれば参加したいと思いますか。

- ・ 各会社に必要なコース
  - ・ サービスの基礎コース
  - ・ 社員向けの各種コース
  - ・ 自己成長に関するコース
  - ・ 事業をもっと拡大してほしい
  - ・ 良いプレゼンの仕方について
  - ・ 追加で専門コースの種類を増やすこと
  - ・ 通常コースを毎年このまま実施してほしい
  - ・ 店舗管理
  - ・ 日本人専門家をモンゴルの企業に短期間招待する仕組みを整えてください。
  - ・ 仕事の効率を上げる方法
  - ・ 財務分析
  - ・ 中学生向けに個人の成長について
- 2名

Q20. 今回のコースで一番良かった点と良くなかった点を記入してください。

良かった点：

- ・ 財務管理の専門知識を身に付けることが出来たこと
- ・ 全テーマ
- ・ 知りたいと思っていたことを知れたこと
- ・ 財務分析についての説明
- ・ 先生の教え方
- ・ コース全般 4名
- ・ 時間調整
- ・ 予想以上に良かったこと
- ・ 講義内容 2名
- ・ ケーススタディ
- ・ 財務管理を再度勉強することが出来たこと

良くなかった点：

- ・ 財務計算式が間違っていたところがあったこと
- ・ 私自身の知識不足のために、ケーススタディのとき、ついていけなかった。

Q21. アンケートに書けなかったことがあればお書きください。

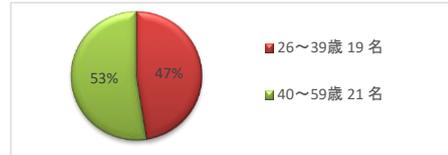
- ・ 今後もケーススタディを頑張りたいと思っている。財務諸表の読み方について教えてくれればよかったと思う。
- ・ 職員交換プログラムがあれば教えてください。

モンゴル・日本センター プログラム別アンケート集計結果

プログラム名 : 経営戦略 (通常コース経営者クラス)  
 実施期間 : 2018年10月1日～5日  
 受講者数 : 41名  
 アンケート回答者数 : 40名 回答率 (98%)

Q1. 年齢

1	～25代	0名	(0%)
2	26～39歳	19名	(48%)
3	40～59歳	21名	(53%)
4	60歳以上	0名	(0%)



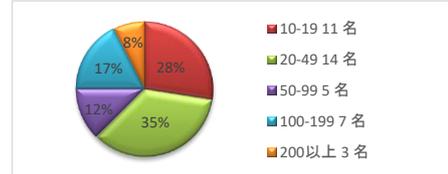
Q2. 性別

1	男性	18名	(45%)
2	女性	21名	(53%)
	未回答	1名	(3%)



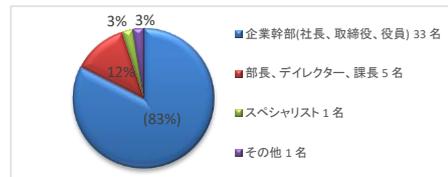
Q3. 社員数

1	1-9	0名	(0%)
2	10-19	11名	(28%)
3	20-49	14名	(35%)
4	50-99	5名	(13%)
5	100-199	7名	(18%)
6	200以上	3名	(8%)
	未回答	0名	(0%)



Q4. 職位

1	企業幹部(社長、取締役、役員)	33名	(83%)
2	部長、ディレクター、課長	5名	(13%)
3	スペシャリスト	1名	(3%)
4	その他	1名	(3%)
	未回答	0名	(0%)



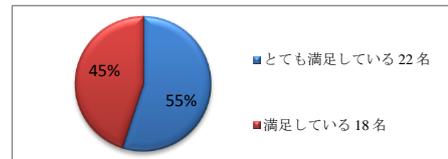
Q5. 部署

1	総務	26名	(65%)
2	人事・研修	0名	(0%)
3	財務	3名	(8%)
4	技術	0名	(0%)
5	生産	5名	(13%)
6	その他	5名	(13%)
	未回答	0名	(0%)



Q6. 講義内容に関する満足度はどのぐらいですか。

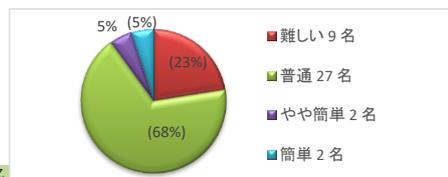
1	とても満足している	22名	55%
2	満足している	18名	45%
3	普通	0名	0%
4	やや不満	0名	0%
5	不満	0名	0%
	未回答	0名	0%



- 自分に必要だった情報を開けた 4名
- 自分の会社ですぐに取り入れたいが多かった 3名
- 幹部、管理職員に常識で大事な内容だった 2名
- 最後の演習がわかりにくかった 2名
- 短期間で知識が得ることができた 2名
- これからの活動に役立つ 1名
- 今まで知らなかったことを知った 1名
- 演習内容が良かった 1名
- 教材が良かった 1名
- 理論的な新しい情報を獲得できた 1名
- 獲得した情報の整理ができた 1名

Q7. 講義内容の難しさはどのぐらいですか？

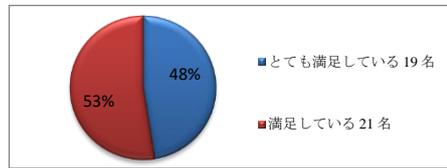
1	とても難しい	0名	(0%)
2	難しい	9名	(23%)
3	普通	27名	(68%)
4	やや簡単	2名	(5%)
5	簡単	2名	(5%)
	未回答	0名	(0%)



- 前に勉強したことがあったので分かりやすかった 1名
- 久しぶりの勉強だから少し難しかった 1名
- 内容が良かった 1名
- 最後の演習が課題が多く内容がわかりにくかった 1名
- 前に勉強したことの復習になる上でそれに加える情報が得た 1名
- 専門用語が多くて、難しかった 1名
- 実際に実施した戦略の事例を使っていた 1名
- 知りたかった理論的説明の理解できた 1名
- 略語が多かった 1名
- 時間が足りなかった 1名
- 生活に離れた戦略なので少し難しかった 1名
- 基礎知識がない人のためにもう少しゆっくり教えた方がいいと思ふ 1名
- 理論が多かったため、使い分けが分からなかった 1名

Q8. 日本人講師の教え方に関する満足度はどのぐらいですか？

1 とても満足している	19名	48%
2 満足している	21名	53%
3 普通	0名	0%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- 教え方が上手 6名
- 経験が豊かなところがいい 3名
- 分かりやすく説明してくれた 2名
- 理論と実践的演習を交えたのがよかった 1名
- 内容自体が良かった 1名
- 面白かった 1名
- 会話しながら説明してくれた 1名
- やりがいを感じた 1名
- モンゴル人とモンゴルに状況をよく知っていた 1名

Q9. モンゴル人講師に関する満足度はどのぐらいですか？ (G. NYAMDORJ)

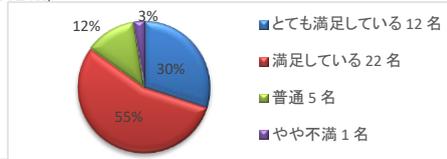
1 とても満足している	15名	38%
2 満足している	20名	50%
3 普通	3名	8%
4 やや不満	1名	3%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- 分かりやすかった 3名
- 成功した会社の事例を紹介した 3名
- 質問に答えてくれなかった 2名
- モンゴルに適応したケースが良かった 2名
- 自信がなかった 1名
- スライドがはっきり見えなかった 1名
- 個別で打ち合わせすることになった 1名
- 役に立ついくつかの戦略について話してくれた 1名

Q10. モンゴル人講師に関する満足度はどのぐらいですか？ (「Shilen khiits社」 D. GANTULGA)

1 とても満足している	12名	30%
2 満足している	22名	55%
3 普通	5名	13%
4 やや不満	1名	3%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- 実際経験したことを話していた 3名
- 分かりやすく、スライドも良かった 2名
- 経験豊かさ 1名
- 必要で取り入れたい事が多かった 1名

Q11. 通訳に関する満足度はどのぐらいですか？

B. OYUNTSETSEG		
1 とても満足している	23名	58%
2 満足している	15名	38%
3 普通	1名	3%
4 やや不満	1名	3%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- 経験が豊かだ 2名
- 時間を有効に使っていた 2名
- 素晴らしかった 1名
- 分かりやすかった 1名
- プロで、言葉が豊か 1名
- 演習中にプラス情報を教えてくれた 1名
- 質問に優しく説明してくれた 1名
- 時々、理解の違いが出ていた 1名
- 心こめて教えてくれた 1名

Q12. 講座で使われた機材・設備に関する満足度はどのぐらいですか？

1 とても満足している	10名	25%
2 満足している	25名	63%
3 普通	4名	10%
4 やや不満	1名	3%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- 復習ができるように設定していた 1名
- 一時停電した 1名
- 一時機会が動かなくなった 1名
- 準備が整っていた 1名
- 教室が寒かった 1名

Q13. コーヒーブレイクで出されたコーヒー、紅茶、パイ、あめに関する満足度はどのぐらいですか？

1 とても満足している	15名	(38%)
2 満足している	21名	(53%)
3 普通	4名	(10%)
4 やや不満	0名	(0%)
5 不満	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



- 頭を冷やすことができた 1名
- 休憩時間だけではなく、飲みたいとき飲めるように設定してほしい 1名
- 品質が良くなかった 1名

Q14. 授業時刻 (09:30~13:00) はどうですか? 他の意見がありますか。

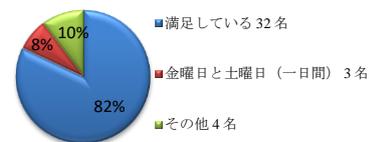
1 満足している	30名	(75%)
2 13:30~18:00	3名	(8%)
3 17:30~20:30	2名	(5%)
4 土曜日 (一日間)	3名	(8%)
5 その他	2名	(5%)
未回答	0名	(0%)



- 時間を延長すること 11名
- 金曜日の演習が短かった 4名
- 6:00-9:30にすること 1名

Q15. 授業を5日間実施したのはどうですか? 他の意見がありますか?

1 満足している	32名	(80%)
2 金曜日と土曜日 (一日間)	3名	(8%)
3 その他	4名	(10%)
未回答	0名	(0%)



- 予定通りに進めば良かった 3名
- 休日一日間 (長時間) にすること 1名
- 土曜日に長い時間やった方が良いと思う 1名
- 平日の三日間、土日 1名

Q16. 本プログラムは期待に応じましたか?

1 はい	40名	(100%)
2 いいえ	0名	(0%)



- ビジネス経営者にとって重要な情報が開けた 2名
- 新しいこと (システムのとりいれ、指導法、計画作成) が学べた 2名
- 新しい知識が獲得した 1名
- 自社に取り入れ、実施するようにしている 1名
- 聞きたいことが開けた 1名
- 疑問を解けた 1名
- ケースの使い方が学べた 1名

Q17. このプログラムを誰かにお勧めしますか。

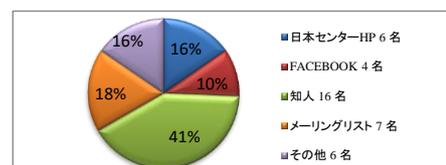
1 特に勧めます	22名	(55%)
2 はい、勧めます	18名	(45%)
3 いいえ、勧めません	0名	(0%)



- 統一的な理解が必要のため、従業員にもう勧めた 3名
- 経営に必要なだから 2名
- 企業を拡大したいから 1名
- 私のような自分に合った方法がまだ見つけていない人が多いため 1名
- 発展するから 1名

Q18. このプログラムの情報を何で知りましたか。

1 日本センターHP	6名	(15%)
2 FACEBOOK	4名	(10%)
3 知人	16名	(40%)
4 センターの掲示板	0名	(0%)
5 商工会議所	0名	(0%)
6 メールングリスト	7名	(18%)
7 新聞	0名	(0%)
8 JICA	0名	(0%)
9 JICE	0名	(0%)
10 その他	6名	(15%)



- 他の会社にも成長してほしいから 9名
- 短期間で必要な情報を得ることができたから 2名
- 自分の会社の社員にもこのコースに通ってほしい 2名
- 取引先の会社の人に勧める 2名
- 優秀な講師だから 1名
- 経営者は成長しないといけないから 1名

Q19. 今回のコースでモンゴルの現状に適応しないと思ったところがあれば、お書きください。

- 良く適応した 1名
- 特になかった 1名
- 大手企業の事例が多かったため、中堅企業も含めて欲しい 1名
- 分からない 1名

Q20. 今回のコースで一番良かったことと良くないことを記入してください。

良かった点:		
- 講義内容		
- 優秀な講師と通訳者、教え方		6名
- グループワークできたこと、ProjectX、職員の態度、授業料		5名
- 練習が多かったこと		3名
- コース全般		1名
- 環境がよかった		1名
- 時間をちゃんと守っているところ		1名
- 機械を良く使っていたこと		1名
良くない点:		
- 教科書の翻訳に間違いが多かった		5名
- グループワークの時間が短かった		3名
- 最後の授業が間に合わなかった		3名
- 企業の組織について聴きたかったができなかった		1名

Q21. センターでは、ビジネスコース、日本語コース、相互理解促進事業を実施していますが、センターの事業に対して要望があればお書きください。

- いいと思う	4名
- もっと範囲を広げた方がいいと思う	1名
- 効果的だと思う	1名
- コーポレートカルチャー、個人態度の講座があれば社員を参加させたい	1名
- 継続させるべき	1名
- これから参加するようにする	1名
- 応援している	1名

Q22. これから、他にどのようなコースが行われて欲しいですか。

- 従業員向けの研修	4名
- 自己啓発（個人態度）	3名
- 各会社毎に研修を導入する	1名
- 時代の適応した新しい戦略をもっと紹介する	1名
- IT向けの研修	1名
- 各分野に向けた研修	1名

Q23. アンケート表に記述されていないことがあればお書きください。

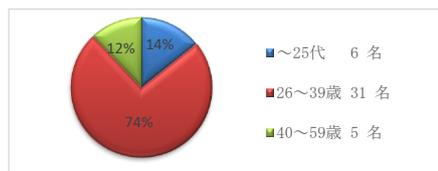
- 通訳するのが時間のロスだと思う、同時通訳を取り入れること	6名
- 最後の演習が間に合わなくて、復習できなかった	5名
- 教科書を終わらせること	3名
- もっとモンゴルの事例を取り上げた方が良くと思う	1名
- 練習の時間を延ばすこと	1名
- 全て気に入った	1名

モンゴル・日本センター プログラム別アンケート集計結果

プログラム名 : 経営戦略(通常コース管理職クラス)  
 実施期間 : 2018年10月8日~12日  
 受講者数 42名  
 アンケート回答者数 42名 回答率(100%)

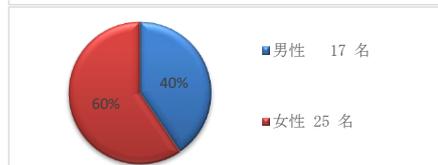
Q1. 年齢

1 ~25代	6名	(14%)
2 26~39歳	31名	(74%)
3 40~59歳	5名	(12%)
4 60歳以上	0名	(0%)



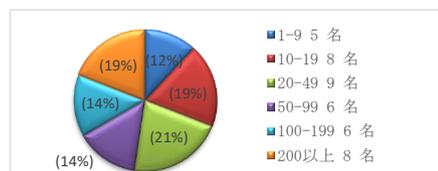
Q2. 性別

1 男性	17名	(40%)
2 女性	25名	(60%)
未回答	0名	(0%)



Q3. 社員数

1 1-9	5名	(12%)
2 10-19	8名	(19%)
3 20-49	9名	(21%)
4 50-99	6名	(14%)
5 100-199	6名	(14%)
6 200以上	8名	(19%)
未回答	0名	(0%)



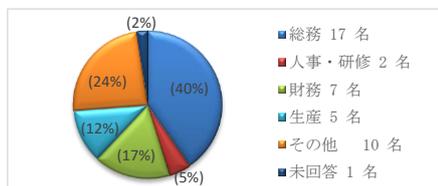
Q4. 職位

1 企業幹部(社長、取締役、役員)	6名	(14%)
2 部長、ディレクター、課長	12名	(29%)
3 スペシャリスト	18名	(43%)
4 その他	4名	(10%)
未回答	1名	(2%)



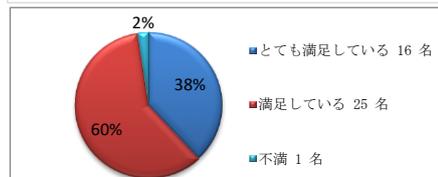
Q5. 部署

1 総務	17名	(40%)
2 人事・研修	2名	(5%)
3 財務	7名	(17%)
4 技術	0名	(0%)
5 生産	5名	(12%)
6 その他	10名	(24%)
未回答	1名	(2%)



Q6. 講義内容に関する満足度はどのぐらいですか。

1 とても満足している	16名	38%
2 満足している	25名	60%
3 普通	0名	0%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	1名	2%
未回答	0名	0%



- 自分に必要だった情報が聞けた 2名
- 自分の会社ですぐに取り入れたいことが多かった
- 演習をしたのがもっと分かりやすくなった 3名
- 短期間で知識が得ることができた 2名
- 前回教えてもらったことを練習できた
- グループで演習をしたことが良かった
- 先生の教え方が良かった 3名
- 教材が良かった
- 実用的な資料を採用して授業を行ったことが良かった 2名
- 理論的な新しい情報を獲得できた
- 期間が短すぎ、内容も期間に合わせたようだった 2名
- 通訳の繰り返しが多かった
- 演習が終わったら、確認し、フィードバックをした方が良かった

Q7. 講義内容の難しさはどのぐらいですか？

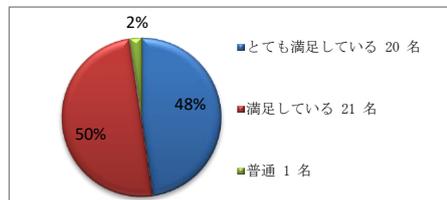
1 とても難しい	0名	(0%)
2 難しい	19名	(45%)
3 普通	21名	(50%)
4 やや簡単	1名	(2%)
5 簡単	1名	(2%)
未回答	0名	(0%)



- 仕事に実際に使われる、必要な情報が多かった 2名
- 授業内容が自分の職業に関係なかったが、興味深かった
- 最初は分からないことがあったが、3日目から分かりやすくなった
- 経営戦略について良く理解できるようになった
- 実際に実施した戦略の事例を使っていた
- 知りたかった理論的説明の理解できた
- 難しいことがなかった
- 知らなかったことが知った
- 広い範囲の内容を分かりやすくしてくれた
- 逐次通訳をしていたので、時間が足りなかった 2名
- 良く分からなかった

Q8. 日本人講師の教え方に関する満足度はどのぐらいですか？

1 とても満足している	20名	48%
2 満足している	21名	50%
3 普通	1名	2%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- 室内が暑くて、眠くなることがあった 2名
- 心をかけて教えてくれた 2名
- 分かりやすく説明が良く整理されていた 2名
- 理論と実践的演習を交えたのがよかった 3名
- 先生の教え方と通訳者の説明が良かった 3名
- 分かりやすく、丁寧に説明してくれた 3名
- 短期間で実用的な会社の例に基づいて説明してくれた 3名
- 時間の使い分けと説明が良かった 3名

Q9. モンゴル人講師に関する満足度はどのぐらいですか？ (G. NYAMDORJ)

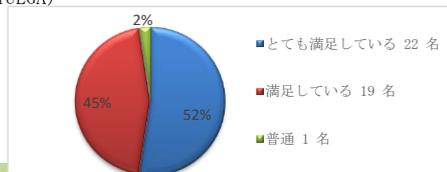
1 とても満足している	12名	29%
2 満足している	23名	55%
3 普通	3名	7%
4 やや不満	3名	7%
5 不満	1名	2%
未回答	0名	0%



- 分かりにくくて、質問に答えてくれなかった 3名
- モンゴルの会社の事例を紹介した 3名
- 経験があった 2名
- 本人が経験したことに基づいて説明してくれた 2名
- 説明が分かりにくい、資料が良くできてない 2名
- 授業の内容について復習できた 2名
- 基本の話だけしてくれた、もっと詳しい話聞きたかった 2名
- 実用的な会社の例で説明してくれた 2名

Q10. モンゴル人講師に関する満足度はどのぐらいですか？ (「Shilen khiits社」 D. GANTULGA)

1 とても満足している	22名	52%
2 満足している	19名	45%
3 普通	1名	2%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- 実際経験したことを話していた 5名
- 分かりやすく、スライドも良かった 5名
- 経験豊かさ 5名
- 現実的な説明が多く、詳しい話が聞くことができた 2名

Q11. 通訳に関する満足度はどのぐらいですか？  
B. OYUNTSETSEG

1 とても満足している	20名	48%
2 満足している	19名	45%
3 普通	3名	7%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- 通訳だけではなく、実際自分でも授業の内容を分かっていた 4名
- 素晴らしかった 3名
- 分かりやすかった 3名
- 演習中にプラス情報を教えてくれた 3名
- 繰り返しが多かった 3名
- 時々、理解の違いが出ていた 3名
- 自分の言葉で説明を分かりやすくしてくれた 3名

Q12. 講座で使われた機材・設備に関する満足度はどのくらいですか？

1 とても満足している	16名	38%
2 満足している	23名	55%
3 普通	3名	7%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- 復習ができるように設定していた 2名
- 資料の準備が良かった 2名
- 準備が整っていた 2名
- 完璧だった 2名

Q13. コーヒーブレイクで出されたコーヒー、紅茶、パイ、あめに関する満足度はどのぐらいですか？

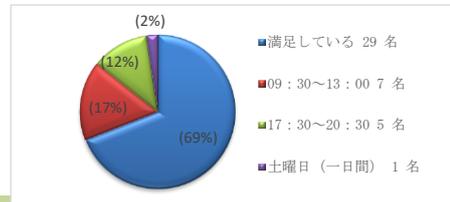
1 とても満足している	15名	(36%)
2 満足している	22名	(52%)
3 普通	5名	(12%)
4 やや不満	0名	(0%)
5 不満	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



- 頭を冷やすことができた 4名
- 国産品が出るとうい 4名
- 良かった 4名
- お茶、コーヒー以外にペットボトルの水置いてほしい 4名

Q14. 授業時刻 (15:00～19:30) はどうですか?他の意見がありますか。

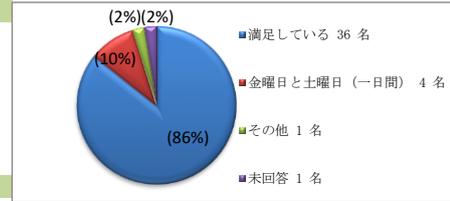
1 満足している	29名	(69%)
2 09:30～13:00	7名	(17%)
3 17:30～20:30	5名	(12%)
4 土曜日 (一日間)	1名	(2%)
5 その他	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



- 昼間眠くなったりすることがあった
- 問題なかった
- 午前中の方がいい

Q15. 授業を5日間実施したのはどうですか? 他の意見がありますか?

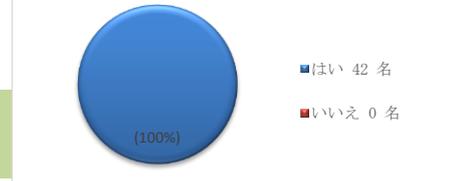
1 満足している	36名	(86%)
2 金曜日と土曜日 (一日間)	4名	(10%)
3 その他	1名	(2%)
未回答	1名	(2%)



- 平日、週末もできるといい、水、木、金、土、日

Q16. 本プログラムは期待に応じましたか?

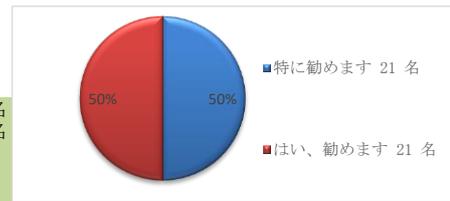
1 はい	42名	(100%)
2 いいえ	0名	(0%)



- ビジネス経営者にとって重要な情報が聞けた
- 結果的、実現できる
- 聞きたいことが聞けた
- 先生が良くまとめて説明してくれた

Q17. このプログラムを誰かに勧めますか。

1 特に勧めます	21名	(50%)
2 はい、勧めます	21名	(50%)
3 いいえ、勧めません	0名	(0%)

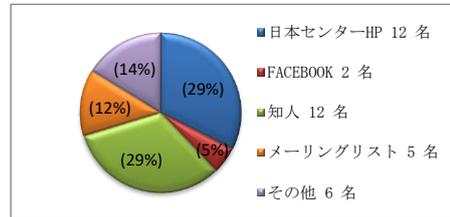


- 効果的だから
- 経営に必要なだから
- 私のような自分に合った方法がまだ見つけていない人が多いため
- 同じ会社から何人かの人が出席した方がいい
- 自社の社員に教わったことを伝えるようにする

3名  
3名

Q18. このプログラムの情報を何で知りましたか。

1 日本センターHP	12名	(29%)
2 FACEBOOK	2名	(5%)
3 知人	12名	(29%)
4 センターの掲示板	0名	(0%)
5 商工会議所	0名	(0%)
6 メールングリスト	5名	(12%)
7 新聞	0名	(0%)
8 JICA	0名	(0%)
9 JICE	0名	(0%)
10 その他	6名	(14%)



Q19. 今回のコースでモンゴルの現状に適応しないと思ったところがあれば、お書きください。

- 特にない
- 事例の範囲が広すぎた、モンゴルに合う会社の事例を取るといい
- マーケティング戦略は難しかった
- 輸入会社についてもっと事例を取るといい

24名

Q20. 今回のコースで一番良かったことと良くないことを記入してください。

良かった点:		
- 講義内容	7名	
- 優秀な講師と通訳者、教え方	4名	
- 会社で使える多くのことが分かった	2名	
- 整理されて、準備よくできてた	2名	
- グループワークできたこと、ProjectX、職員の態度、授業料	5名	
- 練習が多かったこと	2名	
- 知識をもっと伸ばす自信を持った		
- 室内が良かった		
- APUの実現事例、モンゴル人先生の授業		
- 全体的に良かった	2名	
- 授業で実例的な事例を使っていた	5名	
良くない点:		
- 通訳が少し分かりにくかった		
- 休憩中に会社とかの説明された、授業前か授業後の方がいい		
- グループワーク演習を全部カバーできなかった		
- 特にない	10名	
- 現地講師		
- 教科書の翻訳に間違いが多かった		
- 授業期間が5日間のみなので、前から資料配った方が良かった		

Q21. センターでは、ビジネスコース、日本語コース、相互理解促進事業を実施していますが、センターの事業に対して要望があればお書きください。

- |                           |    |
|---------------------------|----|
| - 良かった                    | 3名 |
| - もっと範囲を広げた方がよいと思う        | 2名 |
| - 効果的だと思う                 |    |
| - 重要だ                     |    |
| - 将来日本の会社との協力を目指している      |    |
| - 継続させるべき                 | 2名 |
| - 現実的、社会的で、よいと思う          |    |
| - ビジネス学部の学生たちをコースに参加させること |    |
| - 当社の活動について良く分からない        |    |
| - 日本会社の仕方などをモンゴルに入れ込んでいる  |    |

Q22. これから、他にどのようなコースが行われて欲しいですか。

- |                             |    |
|-----------------------------|----|
| - 営業の研修コースを作してほしい           |    |
| - 社長、マネジャーたちの意見交換したい        |    |
| - 企業内研修を自分の会社に受けたい          |    |
| - 日本語通じる方々向けの日本語を上達するためのコース |    |
| - スタートアップ企業向けの経営戦略コース実      | 2名 |
| - 戦略についてもっと詳しく              |    |
| - 一般人向けの会社員に限らない、新しいコース     | 2名 |
| - IT向けの研修                   |    |
| - プロジェクトXを従業員に見せたい          |    |
| - 発表能力上達させるコース実施してほしい       |    |

Q23. アンケート表に記述されていないことがあればお書きください。

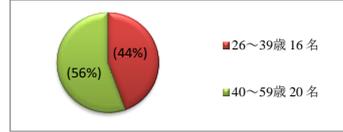
- |                                |  |
|--------------------------------|--|
| - 日本語の会話のみの授業ができるコースがあったらよいと思う |  |
|--------------------------------|--|

モンゴル・日本センター プログラム別アンケート集計結果

プログラム名 : マーケティング (通常コース経営者クラス)  
 実施期間 : 2018年11月12日~17日  
 受講者数 : 41名  
 アンケート回答者数 : 36名 回答率 (88%)

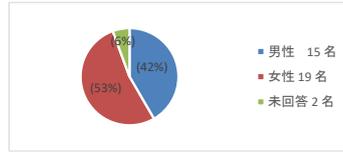
Q1. 年齢

1 1~25代	0名	(0%)
2 26~39歳	16名	(44%)
3 40~59歳	20名	(56%)
4 60歳以上	0名	(0%)



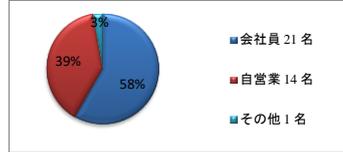
Q2. 性別

1 男性	15名	(42%)
2 女性	19名	(53%)
未回答	2名	(6%)



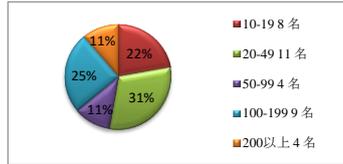
Q3. 職種

1 会社員	21名	(58%)
2 自営業	14名	(39%)
3 公務員	0名	(0%)
4 無職/学生	0名	(0%)
5 その他	1名	(3%)
未回答	0名	(0%)



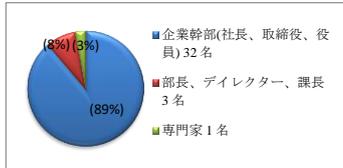
Q4. 社員数

1 1-9	0名	(0%)
2 10-19	8名	(22%)
3 20-49	11名	(31%)
4 50-99	4名	(11%)
5 100-199	9名	(25%)
6 200以上	4名	(11%)
未回答	0名	(0%)



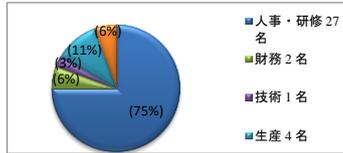
Q5. 役職

1 企業幹部(社長、取締役、役員)	32名	(89%)
2 部長、ディレクター、課長	3名	(8%)
3 専門家	1名	(3%)
4 その他	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



Q6.

部署		
1 人事・研修	27名	(75%)
2 総務	0名	(0%)
3 財務	2名	(6%)
4 技術	1名	(3%)
5 生産	4名	(11%)
6 その他	2名	(6%)
未回答	0名	(0%)



Q7.

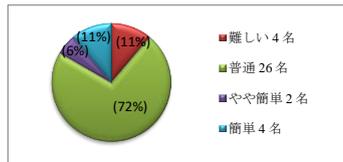
講義内容に関する満足度はどのぐらいですか。		
1 とても満足している	6名	17%
2 満足している	25名	69%
3 普通	3名	8%
4 やや不満	2名	6%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- ・ 実務例が少なかった (2名)
- ・ 知らないことを知ることができた。 (1名)
- ・ 知りたかった理論的な知識を得ることが出来た (1名)
- ・ 自社の問題解決に役に立つ内容だった (1名)
- ・ 練習が少なく、理解度を高める機会がなかった (1名)
- ・ 理論が多かった (1名)
- ・ 普通どこでも開ける内容だった (1名)
- ・ 期待に達していない (1名)
- ・ 長年使われた教材でアップデートしないような気がした (1名)
- ・ 重要な情報が得た (1名)
- ・ いくつかのテーマが経営戦略のテーマと重なっていた。(1名)
- ・ マーケティングに関する基本的な知識が得た (1名)

Q8

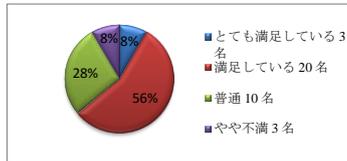
講義内容の難しさはどのぐらいですか？		
1 とても難しい	0名	(0%)
2 難しい	4名	(11%)
3 普通	26名	(72%)
4 やや簡単	2名	(6%)
5 簡単	4名	(11%)
未回答	0名	(0%)



- ・ 各課題の内容にマーケティング戦略が含まれていて面白かった (1名)
- ・ 実務例を加えて欲しい (1名)
- ・ 印象に残った (1名)
- ・ 販売、戦略調査、マーケティングが面白かった (1名)
- ・ マーケティングの知識がなかったので難しかった (1名)
- ・ マーケティングにどうやって結びつけているのが、あまり見えてない (1名)
- ・ マーケティングを学んだことがあり、知識を強化した。

Q9. 日本人講師の教え方に関する満足度はどのぐらいですか？

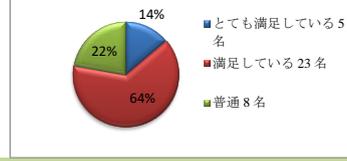
1 とても満足している	3名	8%
2 満足している	20名	56%
3 普通	10名	28%
4 やや不満	3名	8%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- 講師の話が長くて、参加者の参加があまりなかった (3名)
- グループ活動が少なかった (3名)
- 実務例が少なかった (3名)
- 実務的な活動がなかった (2名)
- 講師が知識・経験豊かで、実務的な角度から説明してくれた (1名)
- PPを見ながら教えていて、面白くなかった (1名)
- スライドが分かりにくく、質問することが出来なかった (1名)
- スライドを見ながら教えるパターンの一つだった (1名)
- つまらなかった (1名)
- モンゴルの生活に応じて、実施する方法を詳しく説明してほしい (1名)
- マーケティングに関する知識・経験がないので実際の場面でどういう風に活かせるかを疑問に思っている (1名)
- 最初の三日は教科書通りに話して、その通訳がついていて長談義していた (1名)
- 分かりやすかった (1名)
- 各課題の後にグループ演習をやれば良かった (1名)
- 理論に基づいた実践的なアドバイスいただいた (1名)

Q10. 通訳に関する満足度はどのぐらいですか？ D. Namjilmaa

1 とても満足している	5名	14%
2 満足している	23名	64%
3 普通	8名	22%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- 質問のポイントを通訳していないような気がした (1名)
- 専門用語の知識が足りない (1名)
- 講師の伝えたいことが十分伝わっていたように思われた (1名)

Q11. 講座で使われた機材・設備に関する満足度はどのぐらいですか？

1 とても満足している	12名	33%
2 満足している	22名	61%
3 普通	2名	6%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- 良く準備していた。 (1名)
- 経験があるように感じた。 (1名)
- ケースの資料が少なかった (1名)

Q12. コーヒーブレイクで出されたコーヒー、紅茶などに関する満足度はどのぐらいですか？

1 とても満足している	10名	(28%)
2 満足している	23名	(64%)
3 普通	3名	(8%)
4 やや不満	0名	(0%)
5 不満	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



- あまり良くなかった (2名)
- 良い (2名)
- サービスが良く、質のあるものを出していた (1名)
- 健康的な食品であった方がいい、あるいはケーキ (1名)

Q13. 授業時刻 (09:30~13:00) はどうですか？他の意見がありますか。

1 満足している	33名	(92%)
2 13:30~18:00	0名	(0%)
3 17:30~20:30	0名	(0%)
4 土曜日 (一日間)	1名	(3%)
5 その他	2名	(6%)
未回答	0名	(0%)



- 7:30から始めるといい
- 6:30~11:00の方がいい

Q14. 授業を6日間実施したのはどうですか？他の意見がありますか。

1 満足している	32名	(89%)
2 3日間	2名	(6%)
3 金曜日、土曜日 (一日間)	0名	(0%)
4 その他	2名	(6%)
未回答	0名	(0%)



- 土曜日 (全日) で、平日半日に実施するとい (1名)
- 6日間の実施で教科書を終わらせて、嬉しく思う (1名)
- 平日 (月曜日~金曜日) の方がいい (1名)

Q15. このプログラムを誰かにお勧めしますか。

1 特に勧めます	9名	(25%)
2 はい、勧めます	26名	(72%)
3 いいえ、勧めません	1名	(3%)



- 経営者なら学ぶべき内容 (2名)
- 多くのことを学んだ (2名)
- 自社の管理者を参加させたい (1名)
- 重要な演習だった (1名)
- 多くの友達、職員に聞かせて欲しい (1名)
- 授業時刻が仕事の時間と適しているから (1名)
- 分かりやすく教えてくれた (1名)
- 新情報を得た (1名)
- 特にマーケティングはお勧めしない (1名)

Q16. 今回のコースでモンゴルの現状に適応しなかったところがあれば、お書きください。

- ・ 適応している (1名)
- ・ 現在の仕事に役に立つ (1名)
- ・ ほとんどの例が大きいメーカーだった (1名)
- ・ 実務例が少なかった (1名)
- ・ モンゴル企業の事例を挙げた方がいい (1名)
- ・ ほとんど適応していた (1名)
- ・ 理論が多かった (1名)
- ・ モンゴルの状況に応じ、比較できる卒業者の実務したケースの話を開かせた欲しい (1名)
- ・ できるだけモンゴルに近い国の例を挙げて欲しい (1名)
- ・ 新しいアイデアが獲得できた (1名)

Q17. 今回のコースで一番良かったことと良くないことを記入してください。

良かった点：

- ・ Project X (2名)
- ・ マーケティングの知識を得た (2名)
- ・ グループワーク (2名)
- ・ 最後の日の発表 (2名)
- ・ 経営計画を作成した (1名)
- ・ 授業内容 (1名)
- ・ 講義した実務例のスライド (1名)
- ・ 参加者達と共有すること (1名)
- ・ 実務例 (1名)
- ・ 4P, 4Cの説明 (1名)
- ・ 講師の熱意 (1名)
- ・ マーケティングに関する計画の基本コンテンツとなる知識を短時間で得た (1名)
- ・ 最後の日のグループ発表から学ぶことが多かった (1名)
- ・ 最新の情報が得た (1名)
- ・ グループ発表が効果的であった。(1名)
- ・ 先生のスライドが分かりやすくできていた (1名)
- ・ 製品を市場に進出するための知識を新たに分かってもらった (1名)
- ・ 教科書に理論が分かりやすく書かれていた (1名)
- ・ 教材が従来仕事に役に立つ (1名)
- ・ 将来の経営に大事な演習だった (1名)
- ・ 現在している仕事に役に立つ (1名)
- ・ 重要な情報を得た (1名)

良くなかった点：

- ・ 実践的演習をもっとしてほしい (4名)
- ・ 実務例が少なかった。(3名)
- ・ サービス業でのマーケティングに関することは教えなかった (1名)
- ・ グループワークが少なかった (1名)
- ・ 講師の教え方・講義内容が面白かったが、伝わらなかった (1名)
- ・ 各テーマ毎にマーケティング戦略を策定しながら、それを継続していけば効果的であった (1名)
- ・ 部屋が暑かった (1名)
- ・ 例が少なかった (1名)
- ・ 講義がつまらなく、新しいことが少なかった (1名)
- ・ 面白くなかった (1名)
- ・ PPを見ながら教えていた (1名)
- ・ 生活に近い(役に立つ)説明がなかった (1名)
- ・ 教科書を見ながら話すのではなく、テーマ毎にケースを説明してほしい (1名)
- ・ 各テーマ毎に事例を教えて欲しい (1名)
- ・ 理論的な演習が多かった (1名)

Q18. センターでは、ビジネスコース、日本語コース、相互理解促進事業を実施していますが、センターの事業に対して要望があれば

- ・ 感謝している (2名)
- ・ これからの活動に興味を持っている (1名)
- ・ 教材はモンゴル人に分かりやすくするといふ (1名)
- ・ ビジネスコースが効果的で、多くの企業に貢献を与えた (1名)
- ・ 効果があるように思われた (1名)
- ・ センターの事業はいいと思っている。企業内研修も大切だと思う (1名)
- ・ PROJECT Xを企業・学校に見せて欲しい (1名)
- ・ 両国の交流を支援した活動に満足している (1名)
- ・ 応援している (1名)
- ・ 重要な活動を行っている (1名)
- ・ センター事業に関する情報は定期的にとっている (1名)
- ・ 日本企業を見学できる会議・セミナーを年に1回実施してほしい (日本で) (1名)
- ・ モンゴル企業の成長に貢献していることに感謝する (1名)
- ・ 交流をさらに促進すること、日本企業との連携を求めているから (1名)

Q19. アンケート表に記述されていないことがあればお書きください。

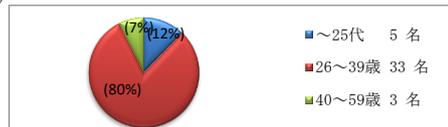
- ・ マーケティングの計画を作成し、事業・サービスの実務例を加えるといい。特にモンゴルの事例 (1名)
- ・ 日本センターを案内してほしい (1名)
- ・ 講師・スタッフと仲良くなりたい (歓迎会を開いて欲しい) (1名)
- ・ コースを理論より実務的に知識を高めるように設定するといふ (1名)
- ・ このように多くの会社に参加させて、モンゴルの将来に貢献していることに感謝している (1)
- ・ 経営者向けのコースのため、ケースに基づいて新たな形に変えると効果がある (1名)
- ・ 実務例を増やしてほしい (1名)

## モンゴル・日本センター プログラム別アンケート集計結果

プログラム名 : マーケティングコース管理職クラス  
 実施期間 : 2018年11月19日～23日  
 受講者数 : 42名  
 アンケート回答者数 : 41名 回答率 (98%)

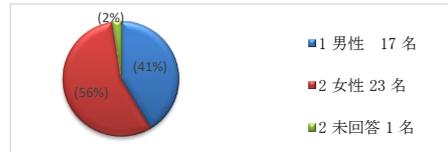
### Q1. 年齢

1	～25代	5名	(12%)
2	26～39歳	33名	(80%)
3	40～59歳	3名	(7%)
4	60歳以上	0名	(0%)



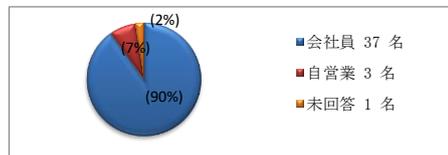
### Q2. 性別

1	男性	17名	(41%)
2	女性	23名	(56%)
	未回答	1名	(2%)



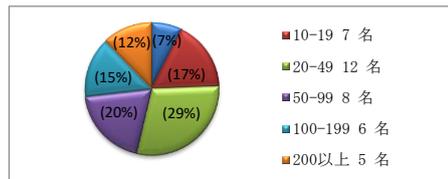
### Q3. 職種

1	会社員	37名	(90%)
2	自営業	3名	(7%)
3	公務員	0名	(0%)
4	無職/学生	0名	(0%)
5	その他	0名	(0%)
	未回答	1名	(2%)



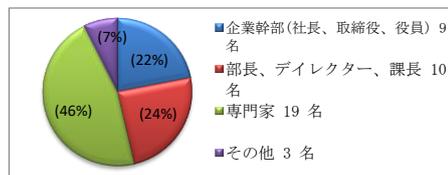
### Q4. 社員数

1	1-9	3名	(7%)
2	10-19	7名	(17%)
3	20-49	12名	(29%)
4	50-99	8名	(20%)
5	100-199	6名	(15%)
6	200以上	5名	(12%)
	未回答	0名	(0%)



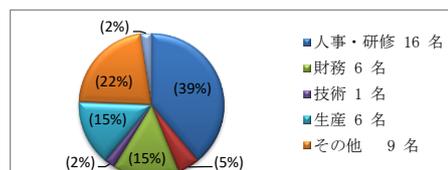
### Q5. 役職

1	企業幹部(社長、取締役、役員)	9名	(22%)
2	部長、ディレクター、課長	10名	(24%)
3	専門家	19名	(46%)
4	その他	3名	(7%)
	未回答	0名	(0%)



### Q6.

	部署		
1	人事・研修	16名	(39%)
2	総務	2名	(5%)
3	財務	6名	(15%)
4	技術	1名	(2%)
5	生産	6名	(15%)
6	その他	9名	(22%)
	未回答	1名	(2%)



### ・販売(2名)

### Q7.

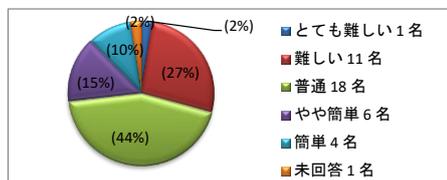
	講義内容に関する満足度はどのぐらいですか。		
1	とても満足している	4名	10%
2	満足している	15名	37%
3	普通	14名	34%
4	やや不満	7名	17%
5	不満	1名	2%
	未回答	0名	0%



- ・ 例が少ない (3名)
- ・ 長談義 (3名)
- ・ つまらない (3名)
- ・ 整理してなくて、分かりにくい (2名)
- ・ 理論が多い (1名)
- ・ 授業の形式・流れが良くない (1名)
- ・ 期待した情報が獲得できなかった (1名)
- ・ 面白くなかった (1名)
- ・ 大事ではない話に結構時間をかかっていた (1名)
- ・ 恒例の教え方 (1名)
- ・ 習うことが少ない (1名)
- ・ 内容が薄い (1名)
- ・ マーケティングとして、古くて常識的なことしかない (1名)
- ・ 各テーマ毎に日本企業の実務例があったが、モンゴルの例も入れて欲しい (1名)
- ・ 整った知識を得た (1名)
- ・ 説明より、簡潔に課題を述べていた (1名)
- ・ 前コースより良くない (結びつけがない) (1名)
- ・ 知識までにはならなかった。授業の構成が整理していない (1名)
- ・ 知らないことを知ることができた。 (1名)

Q8 講義内容の難しさはどのぐらいですか？

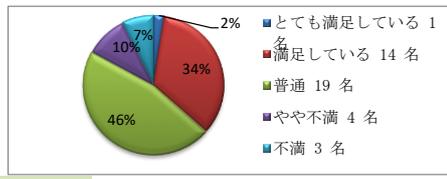
1 とても難しい	1名	(2%)
2 難しい	11名	(27%)
3 普通	18名	(44%)
4 やや簡単	6名	(15%)
5 簡単	4名	(10%)
未回答	1名	(2%)



- ・ 常識的な内容 (2名)
- ・ 全然難しくない (1名)
- ・ 各課題が結ばれていない (1名)
- ・ 長い間勉強していないから、少し難しかった (1名)
- ・ 重要 (1名)
- ・ まとめしにくかった (1名)
- ・ 分かりにくい (1名)
- ・ 専門が工学だから、難しい (1名)

Q9. 日本人講師の教え方に関する満足度はどのぐらいですか？

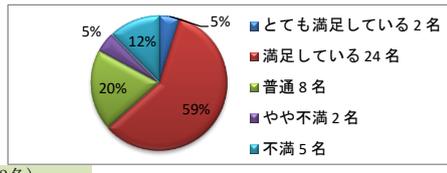
1 とても満足している	1名	2%
2 満足している	14名	34%
3 普通	19名	46%
4 やや不満	4名	10%
5 不満	3名	7%
未回答	0名	0%



- ・ 教科書を読みながら、進んでいた (4名)
- ・ 長談義していた (3名)
- ・ 経験豊富な講師 (2名)
- ・ 理論が多い (2名)
- ・ スライドを読みながら教えていた (2名)
- ・ 授業を面白くしてほしい (2名)
- ・ 少し、つまらない (2名)
- ・ プロジェクトXから学ぶことが多いが、講師は最新の形式で教えて欲しい (1名)
- ・ 長談義 (1名)
- ・ 例が良い (1名)
- ・ 各課題に関する例・説明が少なかった (1名)
- ・ 実務例の説明が少ない (1名)
- ・ 十分ではないと評価したい (1名)
- ・ 教え方が良くない (1名)
- ・ 自社の問題解決に役に立つ情報を得なかった (1名)
- ・ 講師の能力・コミュニケーション (1名)
- ・ 最新情報はなくて、伝わらない (1名)
- ・ グループワークを増やすことで、理解度を上げると良い (1名)
- ・ テーマ毎にディスカッションした方が効果的 (1名)
- ・ 講師が生き生きとしていた (1名)
- ・ 心を込めて教えてくれた (1名)
- ・ どのように活かせるかを説明してほしい (1名)
- ・ グループワークに対するアドバイス・意見はあまり言わない (1名)
- ・ 長いテキストを読んでくれた (1名)
- ・ 面白い授業を面白くなくした (1名)
- ・ 自分の経験ばかり話していた (1名)
- ・ 適応していない例を挙げていた (1名)

Q10. 通訳に関する満足度はどのぐらいですか？ Ts. Badraa

1 とても満足している	2名	5%
2 満足している	24名	59%
3 普通	8名	20%
4 やや不満	2名	5%
5 不満	5名	12%
未回答	0名	0%



- ・ ある程度日本語を分かる人がいたため、通訳しない場合もあった (2名)
- ・ スライドを読みながら教えていた (2名)
- ・ 分かりやすい (1名)
- ・ 教科書をそのまま読んでいた、詳しく説明した方が良い (1名)
- ・ モンゴルの市場に関する知識があった方が良い (1名)
- ・ 簡潔に通訳していた (1名)
- ・ 前回の通訳者のように通訳してほしい (1名)
- ・ 良い (1名)
- ・ 慣用句・ことわざをモンゴル語にするとき意味的に対立しない (1名)
- ・ マイクを持たずに通訳するとき、聞こえなくなっていた (1名)
- ・ 逐訳していた (1名)
- ・ 先生の話の全部訳してない。特にグループワーク・発表は通訳していない (1名)
- ・ 日常的に使わない文章の言葉で訳していた (1名)
- ・ 教科書通りに話していた (2名)

Q11. 講座で使われた機材・設備に関する満足度はどのぐらいですか？

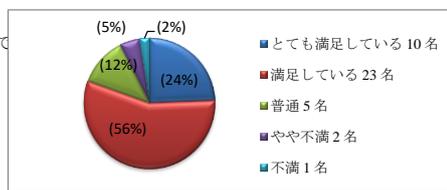
1 とても満足している	8名	20%
2 満足している	32名	78%
3 普通	0名	0%
4 やや不満	1名	2%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- ・ 同時通訳が望ましい (1名)
- ・ 暑い (エアコンを付けて欲しい) (1名)
- ・ 何も問題がなかった (1名)

Q12. コーヒーブレイクで出されたコーヒー、紅茶などに関する満足度はどのぐらいですか？

1 とても満足している	10名	(24%)
2 満足している	23名	(56%)
3 普通	5名	(12%)
4 やや不満	2名	(5%)
5 不満	1名	(2%)
未回答	0名	(0%)



- ・ ツナサンドイッチ以外、まずくて質がない (1名)
- ・ 緑茶など砂糖が入っていない飲み物の選択が少ない (1名)
- ・ とても適応している (1名)
- ・ 2つの休憩に軽い食品にして欲しい (1名)
- ・ クッキーを変える (1名)
- ・ 水を置いた方が良い (1名)
- ・ おいしい (1名)
- ・ サンドイッチのパンが堅くて、食べにくかった (1名)

Q13. 授業時刻 (15:00～19:30) はどうですか?他の意見がありますか。

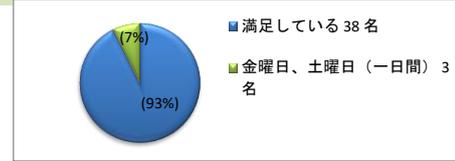
1 満足している	34名	(83%)
2 16:00～20:30	0名	(0%)
3 9:30～14:00	6名	(15%)
4 土曜日 (一日間)	1名	(2%)
5 その他	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



- ・ 午後は、眠くなったり、暑く成ったり、うとうとしていた (1名)
- ・ 6:30～11:00 (1名)

Q14. 授業を5日間実施したのはどうですか?他の意見がありますか。

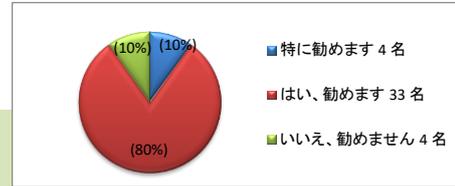
1 満足している	38名	(93%)
2 3日間	0名	(0%)
3 金曜日、土曜日 (一日間)	3名	(7%)
4 その他	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



- ・ 土曜日 (一日間) で、平日半日に実施すること。
- ・ 金曜日・土曜日の2日間が適する (1名)

Q15. このプログラムを誰かにお勧めしますか。

1 特に勧めます	4名	(10%)
2 はい、勧めます	33名	(80%)
3 いいえ、勧めません	4名	(10%)



- ・ 前回の経営戦略が良かった (2名)
- ・ ビジネス事業を行っている会社・職員・マネージャーに重要 (2名)
- ・ 友達との会話から友達にも必要であるのが分かった (1名)
- ・ 効果が少ない (1名)
- ・ つまらなくて、習うことが少ない (1名)
- ・ 短期間で教え方が良い (1名)
- ・ 戦略が効果的 (1名)
- ・ 市場調査 (1名)
- ・ 需要が普及している (1名)
- ・ 企業の職員にも必要 (1名)
- ・ 多くの人に関して欲しい (1名)
- ・ 日本式のコース (1名)
- ・ コースの効果がある (1名)
- ・ 必要 (1名)
- ・ 改善が必要。前回の経営戦略のように各課題を結び付けをした方が良い

Q16. 今回のコースでモンゴルの現状に適応しないと思ったところがあれば、お書きください。

- ・ モンゴル市場の特徴に適応した、実務例がない (1名)
- ・ 全部知っていることで、最新の情報内容を加えて欲しい (1名)
- ・ 日本の例が多い (1名)
- ・ 習ったことをどうやって活かせるが分からない (1名)
- ・ 市場調査 (1名)
- ・ 事例 (1名)

Q17. 今回のコースで一番良かったことと良くないことを記入してください。

良かった点:

- ・ グループワーク (6名)
- ・ 最後の日の発表が良かった (3名)
- ・ 計画作成 (2名)
- ・ 日本人の講師 (2名)
- ・ 講師との個人的なコミュニケーション (1名)
- ・ コースの構成 (1名)
- ・ 参加者の参加態度 (1名)
- ・ 講師が実務経験が豊富 (1名)
- ・ 参加者達から学ぶことが多い (企業の実務例から新しいのことを学んだ) (1名)
- ・ テーマの範囲が広く、多くのことが含まれていた (1名)
- ・ 講師・スタッフの態度 (1名)
- ・ 駐車場 (1名)
- ・ 忘れていたことを回復できた (1名)
- ・ 先生の態度と親切さ (家族のように接してくれた)
- ・ 各テーマ (1名)
- ・ 経営計画を作成した (1名)
- ・ 授業内容 (1名)
- ・ 講義した実務例のスライド (1名)
- ・ 参加者達と共有すること。 (1名)
- ・ 成功した企業の実務例の説明 (1名)

良くなかった点:

- ・ 長談義の演習 (4名)
- ・ 通訳者 (3名)
- ・ 教科書に依存しすぎた (2名)
- ・ 普通ある講義の形式で進んだ (2名)
- ・ 同時通訳が望ましい (2名)
- ・ 従属性が足りない (2名)
- ・ 面白なくて、つまらなかった (1名)
- ・ 先生が、間違いの説明を教えてください、正しくやったか、間違えたかが分からない (1名)
- ・ 教科書の翻訳が間違い多い (1名)
- ・ 通訳者の消極的 (1名)
- ・ 授業の流れと形式 (1名)
- ・ 授業内容 (1名)
- ・ 実務例が少ない (1名)
- ・ 内容 (1名)
- ・ 講義の効果 (1名)
- ・ 講師の教え方 (1名)
- ・ 教科書に書かれたことではなく、実際に活かせることを教えて欲しい (1名)
- ・ 最初の三日間は講義しすぎて眠くなっていた (1名)
- ・ 内容的に分らなかった (1名)
- ・ コーヒーブレイクの食品 (1名)
- ・ 講師の教え方 (1名)
- ・ 日本の例が多かったが、モンゴルの例がない (1名)
- ・ モンゴルの例を加えたら分かりやすくなる (1名)
- ・ モンゴルの現状に適応した実務例を話しながら進んで欲しい (1名)
- ・ 理論が多い (理論は分かっている) (1名)
- ・ 5日間無効で、新しいことを何も習っていない (1名)

Q18. センターでは、ビジネスコース、日本語コース、相互理解促進事業を実施していますが、センターの事業に対して要望があればお書きください。

- ・ とても良い (5名)
- ・ 満足している (2名)
- ・ 応援している (2名)
- ・ 先進国の、面白い実務例を挙げて欲しい (1名)
- ・ コースを通じて日本式戦略を導入したことを満足している (1名)
- ・ 感謝している (1名)
- ・ 同時通訳に入れ替えた方が講師にも参加者にも役に立つ (1名)
- ・ 全コースが効果的である (1名)

Q19. アンケート表に記述されていないことがあればお書きください。

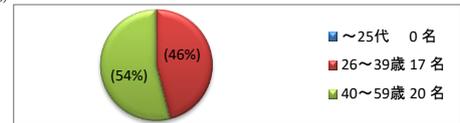
- ・ 通訳・翻訳の質を上げるといい (専門家のアドバイスを受けるなど) (1名)
- ・ 日本語のコースを増やす (1名)
- ・ モンゴル企業のマーケティングの実務例を加えて欲しい (1名)
- ・ グループワークを増えて欲しい (1名)

モンゴル・日本センター プログラム別アンケート集計結果

プログラム名 : 人事管理 (通常コース経営者クラス)  
 実施期間 : 2019年1月14日～19日  
 受講者数 : 41名  
 アンケート回答者数 : 37名 回答率 (90%)

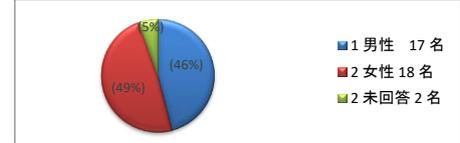
Q1. 年齢

1	～25代	0名	(0%)
2	26～39歳	17名	(46%)
3	40～59歳	20名	(54%)
4	60歳以上	0名	(0%)
	未回答	0名	



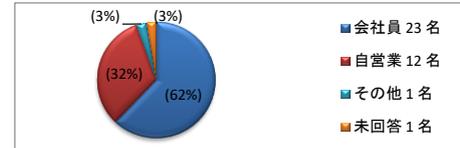
Q2. 性別

1	男性	17名	(46%)
2	女性	18名	(49%)
	未回答	2名	(5%)



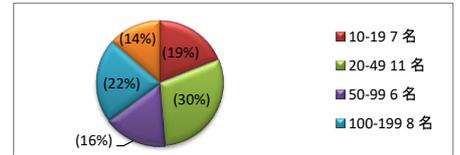
Q3. 職種

1	会社員	23名	(62%)
2	自営業	12名	(32%)
3	公務員	0名	(0%)
4	無職/学生	0名	(0%)
5	その他	1名	(3%)
	未回答	1名	(3%)



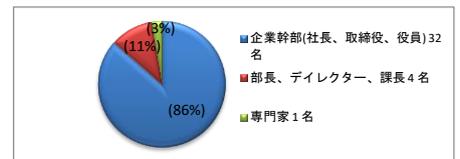
Q4. 社員数

1	1-9	0名	(0%)
2	10-19	7名	(19%)
3	20-49	11名	(30%)
4	50-99	6名	(16%)
5	100-199	8名	(22%)
6	200以上	5名	(14%)
	未回答	0名	(0%)



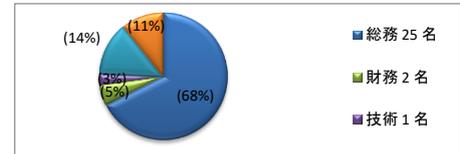
Q5. 役職

1	企業幹部(社長、取締役、役員)	32名	(86%)
2	部長、ディレクター、課長	4名	(11%)
3	専門家	1名	(3%)
4	その他	0名	(0%)
	未回答	0名	(0%)



Q6.

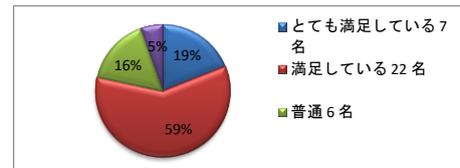
	部署		
1	総務	25名	(68%)
2	人事・研修	0名	(0%)
3	財務	2名	(5%)
4	技術	1名	(3%)
5	生産	5名	(14%)
6	その他	4名	(11%)
	未回答	0名	(0%)



・販売。

Q7.

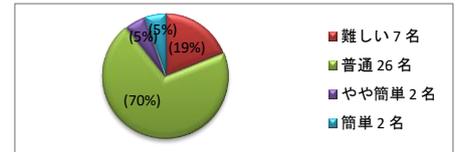
	講義内容に関する満足度はどのぐらいですか。		
1	とても満足している	7名	19%
2	満足している	22名	59%
3	普通	6名	16%
4	やや不満	2名	5%
5	不満	0名	0%
	未回答	0名	0%



- ・ KPI評価について聞くと期待していたが、ふれなかった。(3名)
- ・ 講義が教科書通りに進めなかったから、疑問に思われるときもあった。
- ・ 効果的。
- ・ 分かりやすかった。
- ・ 自社にある問題の解決方法が見つかることが出来た。
- ・ 整理された理解と結論がなかった。
- ・ ありふれた内容だった。
- ・ 順番的に進まなくて、繰り返したりしていた。

Q8

	講義内容の難しさはどのぐらいですか？		
1	とても難しい	0名	(0%)
2	難しい	7名	(19%)
3	普通	26名	(70%)
4	やや簡単	2名	(5%)
5	簡単	2名	(5%)
	未回答	0名	(0%)



- ・ 理論と実践を結び付けていた。
- ・ コンピテンシーと採用試験のやり方が難しかった。
- ・ 新入社員に関する人材管理について話していたが、中間管理職に関することはあまり話していない。
- ・ KPI?
- ・ 整理されていない。

Q9. 日本人講師の教え方に関する満足度はどのぐらいですか？

1 とても満足している	8名	22%
2 満足している	22名	59%
3 普通	7名	19%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- ・ 経験が豊かな講師で、分かりやすかった。(2名)
- ・ 態度が良く、心込めて教えていた。
- ・ 教えるべきことは教えたと思う。
- ・ 実務例に基づいて説明していた。
- ・ 受講生を聞こうとしていて、質問に是非答え、解決策も考えてくれた。
- ・ 質問に対して十分答えられない場合もあった。
- ・ 教科書にある内容に制限されていた。

Q10. 通訳に関する満足度はどのぐらいですか？ B. Oyuntsetseg

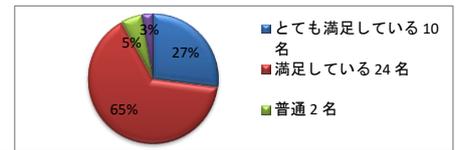
1 とても満足している	14名	38%
2 満足している	16名	43%
3 普通	6名	16%
4 やや不満	1名	3%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- ・ 声のトーンが低かった。(3名)
- ・ 5, 5, 5。
- ・ 講師のスライドと教科書がずれていたがその時点ですぐ直していた。
- ・ 説明が良かった。
- ・ 自分でも講師できる知識が高い方だった。

Q11. 講座で使われた機材・設備に関する満足度はどのぐらいですか？

1 とても満足している	10名	27%
2 満足している	24名	65%
3 普通	2名	5%
4 やや不満	1名	3%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- ・ 良い。(2名)
- ・ 普通。
- ・ 講師がパソコンに振るとき、静電気が走っていた。ステージの方にカーペットを置かない方がいい。
- ・ 同時通訳が望ましい。

Q12. コーヒーブレイクで出されたコーヒー、紅茶などに関する満足度はどのぐらいですか？

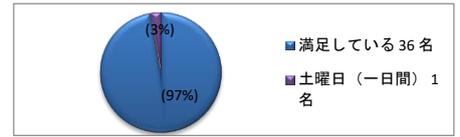
1 とても満足している	11名	(30%)
2 満足している	22名	(59%)
3 普通	4名	(11%)
4 やや不満	0名	(0%)
5 不満	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



- ・ たまにチョコパイを出していたため、食べない人もいた。(2名)
- ・ 気に入った。
- ・ 今回出されたものが気に入らなかった。
- ・ 肉の入った物を出した方がいい。
- ・ 良かった。

Q13. 授業時刻 (15:00~19:30) はどうですか？他の意見がありますか。

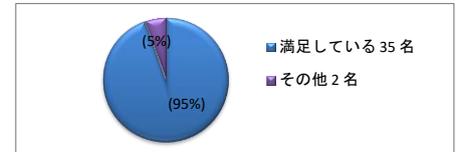
1 満足している	36名	(97%)
2 16:00~20:30	0名	(0%)
3 9:30~14:00	0名	(0%)
4 土曜日 (一日間)	1名	(3%)
5 その他	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



- ・ 適応している。
- ・ 5日間にするといい。

Q14. 授業を6日間実施したのはどうですか？他の意見がありますか。

1 満足している	35名	(95%)
2 3日間	0名	(0%)
3 金曜日、土曜日 (一日間)	0名	(0%)
4 その他	2名	(5%)
未回答	0名	(0%)



- ・ 正しい選択だった。
- ・ 休日(土・日)二日間にするといい。

Q15. このプログラムを誰かに勧めますか。

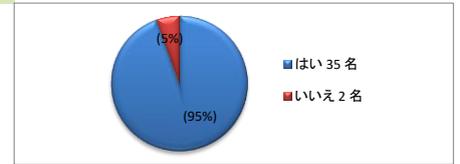
1 特に勧めます	13名	(35%)
2 はい、勧めます	24名	(65%)
3 いいえ、勧めません	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



- ・ 経験豊富な先生だから(2名)
- ・ どのような仕事であれ、成功の基になるのが人材育成と人材態度であるということが深く理解した。より多くの人が成長して欲しい。
- ・ 分かりやすかった。
- ・ 短期間で効果的な研修になった。
- ・ 自社の情報技術の者を参加させたい。

Q16. このプログラムは期待に応じましたか。

1 はい	35名	(95%)
2 いいえ	2名	(5%)
未回答	0名	(0%)



- ・ 学ぶことが多かった。
- ・ 新しい情報とアイデアを得た。
- ・ 経営戦略と財務管理が期待に応じた。
- ・ 実務例を使ったらもっと良くなると思う。

Q17. 今回のコースでモンゴルの現状に適応しなかったところがあれば、お書きください。

- ・ 個人面談とリーダーシップなどが良かった。
- ・ 文化が違うけど、モンゴルに、また自社に実現してみたいことがあった。
- ・ 日本的な理論は現状に合わないため、色々体験してみたいと思う。
- ・ モンゴルで実現した例を挙げるといい。
- ・ モンゴルでは応募者と募集者の関係が日本と違う。
- ・ 日本の実務例が多かった。欧米とアジア諸国の実務例も加えて欲しい。
- ・ 今回の授業をパーセントで評価すると75%である。ケースが十分ではなかった。
- ・ 一部の例をモンゴルに合わせるとうい。
- ・ モンゴル人と日本人の性格が違う。先生方がだいたい日本人に応じた例を挙げていた。

Q18. 今回のコースで一番良かった点と良くなかった点を記入してください。

良かった点：

- ・ 経験豊かな講師。(2名)
- ・ 例をたくさん挙げていたこと。(2名)
- ・ 論理と実務例を同時に説明してくれたこと。
- ・ 講師が経験豊富で、生活に近い話。
- ・ ケースが少なかった。
- ・ コースの効果。
- ・ 受講生の質問ごとに答えていたこと。
- ・ 人事管理の理論。
- ・ 日本の実務例。
- ・ 教材、講義内容とケース。
- ・ PROJECT X。
- ・ 例の説明。
- ・ 面接。
- ・ クラスの仲間達、おもてなしのセンターの皆様。
- ・ 期待通り経営戦略と財務管理。
- ・ 実務例の説明。
- ・ 学ぶことが多かった。
- ・ 準備が達していて、講師の伝えようという気持ち伝わった。
- ・ グループワークで話し合ったこと。
- ・ 全てのテーマが分かりやすかった。
- ・ リーダーシップ、人材開発。

良くなかった点：

- ・ 通訳者の選択があった方がいい。
- ・ 教科書の翻訳の内容が講義内容を十分表現していない。
- ・ 人事管理の理論があったが、具体的な説明がなかった。
- ・ 一部の情報が足りなかった。
- ・ 一部の内容が一般的であったりしていた。
- ・ KPIについて聞けなかった。
- ・ マーケティングと人事管理が多少良くなかった。
- ・ 練習が少なかった。

19. 通常コースの各科目で自社に実施できるようなことがありましたか。

経営戦略：

- ・ できた。自社で実施している。(7名)
- ・ SWOT分析。
- ・ BSC、SWOT。
- ・ 目標の明確さ。
- ・ ミッション・ビジョンはただ壁に貼るだけではなく、従業員の個人目標に結び付けるといい。また、SWOT分析も行った方がいいということが学んだ。
- ・ 自社の計画的戦略が整理していなかったが、整理された計画の作り方が学んだ。明確な戦略を計画すべきということが分かった。
- ・ 最新情報とアイデアを聞き、興味を持つようになった。今は継続的に本・論文などで学んでいる。自社のビジョン・ミッションも変えた。
- ・ 自社でSWOT分析を行い、戦略を新しく練った。結果的に全職員の意識が統一された目標を立てた。
- ・ 戦略策定に使える知識を得た。
- ・ 丁度事業計画の策定期期と重なったので、講義内容から使える理論が多くて、満足している。
- ・ たくさん大事な情報が得た。
- ・ チームで自社の経営戦略を策定している。
- ・ 大変気に入った。戦略策定、経営計画に使われている。
- ・ 戦略計画を本格的に新しく策定した。
- ・ 十分できた。
- ・ 理解度を深め、新しいスキルが習得できた。
- ・ 企業内研修を受けたいと思う。
- ・ 戦略の策定期間を明確にしたいと思う。
- ・ 全体的に良かった。
- ・ 戦略の効果各課・全従業員に分かってもらい、正式な戦略を策定することが分かった。
- ・ 経営戦略を明確化した。
- ・ 学ぶことが多かった。
- ・ 大変いいアイデアが得られた。

マーケティング：

- ・ 学ぶことがあった(4名)
  - ・ 消費者を満足させるためマーケティングの事業が必要だ。
  - ・ データ情報があるほどマーケティングの計画が正確にできる。
  - ・ マーケティング戦略策定を作成中。
  - ・ 聞きたい内容が聞けた。
  - ・ 自社のマーケティング部門の職員に理論・知識を与えた方がいいと思った。
  - ・ STP。
  - ・ お客様の満足度。
  - ・ 重要な情報を得た。
  - ・ 良いことが学び、実施した。理論が多かったが個人的に重要だったので、役に立った。
  - ・ マーケティング計画の確認事業を行う必要があるということが分かった。
  - ・ 理解度を深めるとともに、新しいアイデアを得た。
  - ・ 売れないマーケティングはマーケティングではないということが分かった。
  - ・ 目的市場の選択に関する理解度を深めた。
  - ・ 各事業ごとに適したマーケティング戦略を策定すると良いということが分かった。
- 
- ・ 良くなかった。
  - ・ できなかった。分かりやすくてつまらなかった。
  - ・ 革新的ではなくて、効果がなかった。講師の教え方が良くなかった。
  - ・ 演習が長かった。
  - ・ できていない。話が分かりにくかった。

**財務管理：**

- ・ 学ぶことがあった。(3名)
  - ・ 限界利益、リターン。(資本)
  - ・ 計画・分析。
  - ・ お金の将来的価値。
  - ・ 計算書の分析の必要性。
  - ・ 各プロジェクトの計画段階で投資リターンを計算する必要性。
  - ・ 良かった。
  - ・ 学ぶが多かった。
  - ・ 現金の収支の計算表は確実にするはずということが分かった。
  - ・ 一次財務会計書を改善した。
  - ・ 重要な分析のやり方が学んだ。
  - ・ 会計分析に役に立つと思う。
  - ・ 実施し始めた。
  - ・ 学んだ理論を活かすようにしている。
  - ・ 身近な科目で、興味深かった。貨幣流通のプランを作っている。
  - ・ できた実施している。
  - ・ 企業内研修を受けたいと思う。
  - ・ 知識を身に付けた。
  - ・ 会計予算表を改善した。
  - ・ 会計予算表の確認事業のやり方を理解してもらった。
  - ・ 利益と赤字を把握することができた。
  - ・ 良かった。実施するような新しいアイデアが獲得できた。
  - ・ 全部分かった。効果があるのと感じた。
- ・ まあまあ。
  - ・ 質問に対する答えとフィードバックがなかった。
  - ・ できなかった。

**人事管理：**

- ・ 学ぶことがあった。(3名)
  - ・ 人材開発。
  - ・ リーダーシップと人材開発。
  - ・ コミュニケーション能力の向上。
  - ・ HRD、コンピテンシー評価。
  - ・ 新人による規則・記録と個人成長シート。
  - ・ 新しいアイデアと知識。
  - ・ 自社の職員との個別面談をし、お互い話し合うことの重要性。
  - ・ 改善の必要性和従業員的能力育成の向上。
  - ・ 正しい面接のやり方、育成制度の決断、リーダーの発揮。
  - ・ 各コースごとに知識と情報の獲得と実施するようなことが得られた。
  - ・ 新しいアイデアを得た。
  - ・ 人材開発計画の再確認を行う。
  - ・ 聞きたい内容が聞けた。
  - ・ 自社の人事基盤制度の改善の必要ということが分かった。
  - ・ 新しい情報を得た。
  - ・ フィードバックが早く、重要な講義だった。
  - ・ 採用試験のやり方を身に付けた。
  - ・ 実施可能なものがいくつかあった。
  - ・ 聞いてよかった。自社に人事の人を加えようと思う。
  - ・ 従業員と公平的に接すると良いということが分かった。
- ・ 整理されなかった。
  - ・ もっと専門的な内容であれば良かったと思う。
  - ・ 大した知識が得られなかった。

Q20. センターでは、ビジネスコース、日本語コース、相互理解促進事業を実施していますが、センターの事業に対して要望があればお書きください。

- ・ 良いと思う。
  - ・ 効果的であった。
  - ・ センターの事業が良くできていて、感謝している。ご成功を祈っている。(2名)
  - ・ センターの実施しているコースが重要で効果があるのと思われる。
- ・ モンゴル・日本センターに関わって嬉しく思う
- ・ 個人的に裁断師からはじめ、モンゴルの家畜の生皮の業界で30年間働いてきた。本コースで学んだことを通
  - ・ 本事業を応援している。モンゴルの企業に重要な研修だった。
  - ・ これから参加するから経営者クラスの皆さんを呼んでください。
  - ・ もっと事業活動を広げてください
  - ・ 運営体制が良い。
- ・ 本邦研修に多くの受講生が参加できるといい。
  - ・ 情報・研修の提供が良かったが、もう少し面白くする方法を考えた方が良い。
  - ・ どんな事業を行っているかがまだ十分わかっていない。

Q21. アンケート表に記述されていないことがあればお書きください。

- ・ 多くのことが学んだ。皆様に感謝している。モンゴルの中小企業の人材育成に貢献するよう祈っている。
  - ・ 頑張ってください。センターの皆さんが凄かった。
  - ・ 今のところ加えるものがない。
- ・ 清掃員とセキュリティの態度が悪かった。(トイレに行くとき、ローカーを通るときなど) (2名)
  - ・ センターの清掃員とセキュリティがもう少し、態度・サービスを改善して欲しい。
  - ・ 試験の結果は決まった期間で送ると良い。

## モンゴル・日本センター プログラム別アンケート集計結果

プログラム名 : 人事管理コース (管理職クラス)  
 実施期間 : 2019年01月21日～25日  
 受講者数 : 42名  
 アンケート回答者数 : 41名 回答率 (98%)

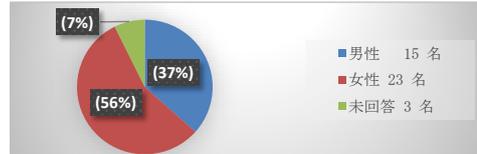
### Q 1. 年齢

1 25歳以下	5名	(12%)
2 26～39歳	30名	(73%)
3 40～59歳	6名	(15%)
4 60歳以上	0名	(0%)



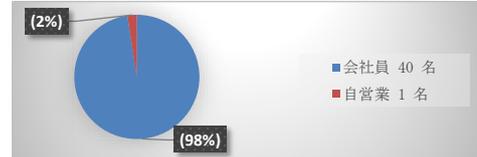
### Q 2. 性別

1 男性	15名	(37%)
2 女性	23名	(56%)
未回答	3名	(7%)



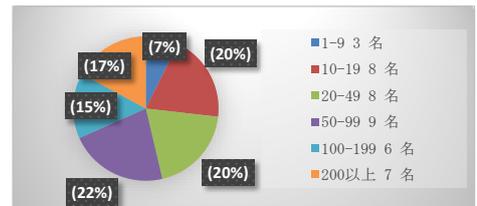
### Q 3. 職種

1 会社員	40名	(98%)
2 自営業	1名	(2%)
3 公務員	0名	(0%)
4 無職/学生	0名	(0%)
5 その他	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



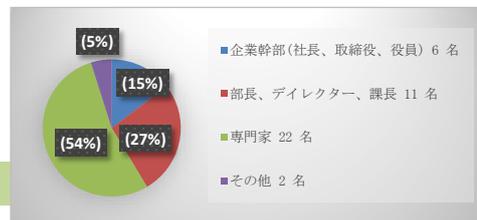
### Q 4. 社員数

1 1-9	3名	(7%)
2 10-19	8名	(20%)
3 20-49	8名	(20%)
4 50-99	9名	(22%)
5 100-199	6名	(15%)
6 200以上	7名	(17%)
未回答	0名	(0%)



### Q 5. 役職

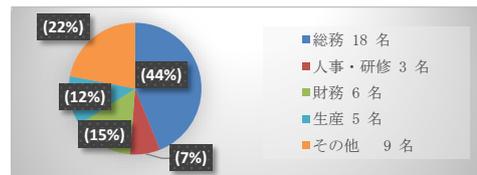
1 企業幹部(社長、取締役、役員)	6名	(15%)
2 部長、ディレクター、課長	11名	(27%)
3 専門家	22名	(54%)
4 その他	2名	(5%)
未回答	0名	(0%)



- 会計士  
- 物流士

### Q 6. 部署

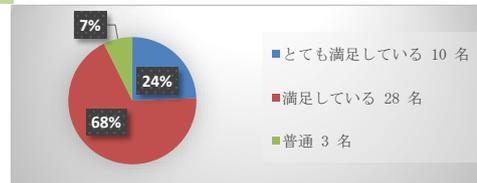
1 総務	18名	(44%)
2 人事・研修	3名	(7%)
3 財務	6名	(15%)
4 技術	0名	(0%)
5 生産	5名	(12%)
6 その他	9名	(22%)
未回答	0名	(0%)



- エンジニア  
- 貿易 (3名)  
- マーケティング貿易

### Q 7. 講義内容に関する満足度はどのぐらいですか。

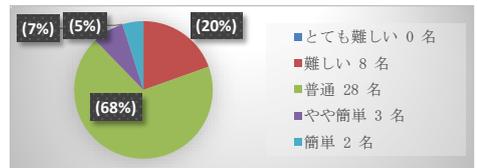
1 とても満足している	10名	24%
2 満足している	28名	68%
3 普通	3名	7%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- 重要な内容だった。  
- 通訳の時間が無駄に感じた。モンゴル人講師の授業が興味深かった。  
- 分かりやすく、教えてくれた。  
- 人事管理に関する考え方が変わった。  
- 翻訳の間違いがあった。

### Q 8. 講義内容の難しさはどのぐらいですか？

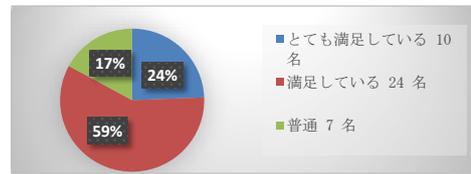
1 とても難しい	0名	(0%)
2 難しい	8名	(20%)
3 普通	28名	(68%)
4 やや簡単	3名	(7%)
5 簡単	2名	(5%)
未回答	0名	(0%)



- 繰り返しが多かったが、グループワークがあった。  
- 興味深い。  
- 仕事に実際にある問題が出た。  
- 難しくなかった。  
- 良く分かった。

Q 9. 講師の教え方に関する満足度はどのぐらいですか？

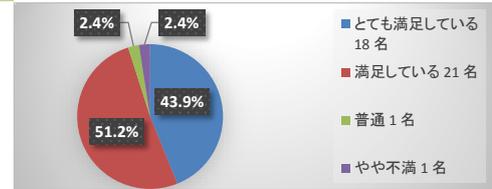
1 とても満足している	10名	24%
2 満足している	24名	59%
3 普通	7名	17%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- 話が長すぎて分かり難くなった。
- 話が多すぎた。
- 教え方が上手、興味深い。

Q10. モンゴル人講師に関する満足度はどのぐらいですか？ (D. DASHMAA)

1 とても満足している	18名	43.9%
2 満足している	21名	51.2%
3 普通	1名	2.4%
4 やや不満	1名	2.4%
5 不満	0名	0.0%
未回答	0名	0.0%

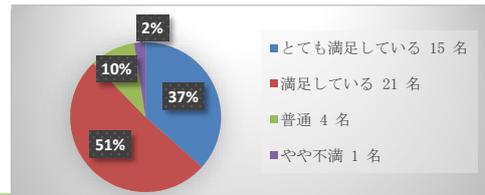


- 授業が良かったが、話し方、言葉遣いが良くなかった。
- 時間が足りなかったので、急いで終わらせた。
- 良かった。
- 分かりやすく、モンゴルの現状に合った内容だった。
- 興味深い、通訳なし、経験があると感じた。
- 教え方が上手。
- 分かりやすく、良かった。
- モンゴルの市場について情報が得た。

Q11. 通訳に関する満足度はどのぐらいですか？

B. OYUNTSETSEG

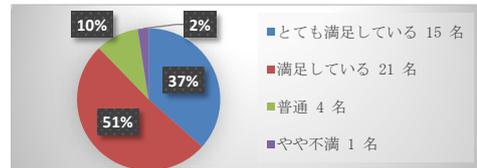
1 とても満足している	15名	37%
2 満足している	21名	51%
3 普通	4名	10%
4 やや不満	1名	2%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- 分かりやすく、通訳してくれた。
- 分かりやすく、正しい。
- 抑揚がない。
- 良かった。(2名)
- 通訳が良かったが、抑揚がない。

Q12. 講座で使われた機材・設備に関する満足度はどのぐらいですか？

1 とても満足している	15名	37%
2 満足している	21名	51%
3 普通	4名	10%
4 やや不満	1名	2%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- 問題ない。

Q13. コーヒーブレイクで出されたコーヒー、紅茶などに関する満足度はどのぐらいですか？

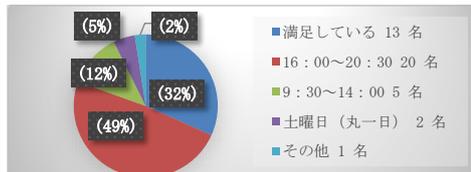
1 とても満足している	14名	34%
2 満足している	25名	61%
3 普通	2名	5%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- パン、甘い物より、サンドとかが良いと思う。
- お茶の方が種類を増やして欲しい、コーヒーが多すぎ。
- 必要性があった。

Q14. 授業時刻 (15:00~19:30) はどうでしたか？他の意見がありますか？

1 満足している	13名	(32%)
2 16:00~20:30	20名	(49%)
3 9:30~14:00	5名	(12%)
4 土曜日 (丸一日)	2名	(5%)
5 その他	1名	(2%)
未回答	0名	(0%)



Q15. 授業を5日間実施したのはどうですか？他の意見がありますか？

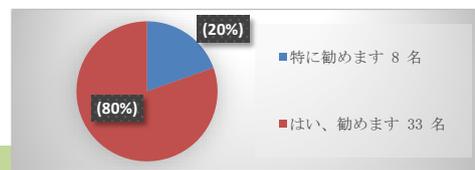
1 満足している	34名	(83%)
2 3日間	0名	(0%)
3 金曜日、土曜日 (丸一日)	6名	(15%)
4 その他	1名	(2%)
5 未回答	0名	(0%)



- 六日間だったら良い。

Q16. このプログラムを誰かにお勧めしますか。

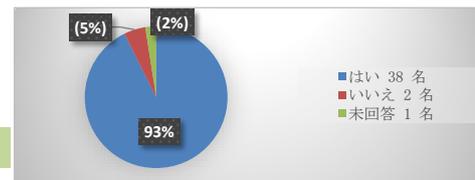
1 特に勧めます	8名	(20%)
2 はい、勧めます	33名	(80%)
3 いいえ、勧めません	0名	(0%)



- 多くのことが知った。非常に重要な講義だった。
- 重要な情報が聞けた。

Q17. このプログラムは期待に応じましたか。

1 はい	38名	93%
2 いいえ	2名	(5%)
未回答	1名	(2%)



- 知らなかったことが知ることが出来た。
- 仕事で起きる問題に答えが見つかった。

Q18. 今回のコースでモンゴルの現状に適応しないと思ったところがあれば、お書きください。

- 文化と社会の違いがあったので、モンゴル社会に合わないことがあった。
- 従業員心理評価、経営者心理評価がモンゴルと日本人の特徴によって違うと思う。
- 新入社員を受け入れるプロセス。
- いくつかの事例がモンゴル文化に合わない感じがした。

Q19. 今回のコースで一番良かった点と良くなかった点を記入してください。

**良かった点：**

- 講義内容が分かりやすかった。
- 組織構造。
- DASHMAA先生。
- 分かりやすい、重要な情報が多い。
- もっとやるべきがあると知った。
- 事例。
- モンゴル人講師の授業。
- MBO評価、リーダーシップ
- 面接について内容が良かった。
- グループワーク
- 実践的なグループワーク多かった。
- 教室が良い、駐車場がある。
- 総合知識、日本的経営

**良くなかった点：**

- 繰り返しが多い。(2名)
- 翻訳の間違い、内容、文書が分かりにくいがあった。

20. 通常コースの各科目で自社に実施できるようなことがありましたか。

**経営戦略：**

- 学ぶことが出来た。(7名)
- 良く実施できた。
- 会社の戦略を教えた通りに自社の特徴に合う戦略を作る。
- 戦略計画が自社で出来ていなかったの、講義の内容に基づいて実施するように予定している。
- ビジネス計画
- 戦略の事例に基づいてグループワークをした
- 管理を改善した、戦略計画を立てる。
- 短中長期間の戦略計画を立てる。
- 自社の戦略計画を立てて、実施する。
- 戦略を毎年新しく更新して、改善する。
- 会社、部門の戦略の立て方。
- 企業ビジョン、目的を教えてもらった通りに戦略を立てている。
- 目的、戦略計画を立てるプランを使う。
- SWOT

**マーケティング：**

- 学ぶことが出来た。(3名)
- マーケティングコースの内容が比較的知っていたことがあった。
- 今の仕事にマーケティングプランを立てて、新製品を市場に出す。
- 理論
- マーケティングの基本知識が得ることが出来た。
- 商品開発を行う。
- 良く分からない、分かりにくかった。
- 製品差別化
- SWOT
- マーケティング計画の新しいアイデアを出して、実施している。
- 実施する。

財務管理：

- 学ぶことが出来た。(2名)
- 財務管理講義で学んだ通りに最初に戦略を立ててから、計画することになった。
- 学ぶことがあった
- 自分の専門ではないので、難しかった。
- 財務管理
- 投資、現在価値に関して、良く学んだことを実施するようになった。
- コスト計算
- プロジェクト価値を計算する。
- 自社のような小企業に合わない内容があったが興味深くて重要な情報が得ることが出来た。
- ローンシステム、コスト評価。
- 意思決定をするために最初に結果を計算する。
- 試験がもう少し簡単な方が良い。
- 会社総資産の流動性、コストを評価できるようになった。
- 非常に興味深い講義だった。
- 財務実績に基づいて、意思決定をする。

人事管理：

- 学ぶことが出来た。(7名)
- 人事管理コースが一番実施したい内容だったので、講義で学んだことを全部自社で実施する予定。
- 実験することにした。
- 人事管理、計画を立てる。
- 理論、方法論。
- 部下を育成する、リーダーシップ。
- 新入社員を育成するプログラム、コース、従業員の育成。
- 従業員のモチベーションアップのための活動を行うと良い評価が出る。
- 人事管理制度を実施したい。
- 従業員、経営者とのコミュニケーション、関係に関して様々なことが知った。
- 授業員のトレーニング、リーダーシップ。
- 講義内容を改善する。
- 面接と、人事管理計画を実施し始めた。
- 新入社員オリエンテーションを行う。
- 非常に良かった。
- 面接のやり方。

Q21. センターでは、ビジネスコース、日本語コース、相互理解促進事業を実施していますが、センターの事業に対して要望があればお書きください。

- 良かった。(3名)
- 非常に重要なコース、続けて欲しい。(2名)
- 日本のスピーチプラクティックコースを実施したら良いと思う。
- 時間、仕事を良く管理して、次々のコースに参加したい。
- 正しい、良いコースだと思う。
- 非常に良いコースを実施し、モンゴルの経営発展につながっていることに感謝している。
- 同時通訳の方が良い。

Q22. アンケートに書けなかったことがあればお書きください。

- グループ分けを良くすれば、もっと多くの人と知り合うことが出来ると思う。
- 人事管理コースのモンゴル人講師と日本人講師が講義の時間を半々にして分けて授業を行うと良いと思う。
- クラスの皆さんと仲良くなった。
- モンゴル人講師の授業が良かった。
- モンゴル日本人材開発センターの皆さまに感謝している。

モンゴル・日本センター プログラム別アンケート集計結果

プログラム名 : 財務管理 (通常コース経営者クラス)  
 実施期間 : 2018年12月3日~8日  
 受講者数 41名  
 アンケート回答者数 36名 回答率 (88%)

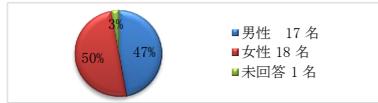
Q1. 年齢

1 ~25代	0名	(0%)
2 26~39歳	18名	(50%)
3 40~59歳	18名	(50%)
4 60歳以上	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



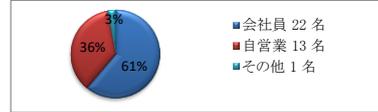
Q2. 性別

1 男性	17名	(47%)
2 女性	18名	(50%)
未回答	1名	(3%)



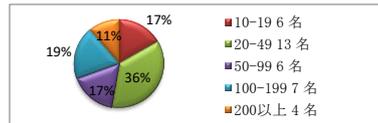
Q3. 職種

1 会社員	22名	(61%)
2 自営業	13名	(36%)
3 公務員	0名	(0%)
4 無職/学生	0名	(0%)
5 その他	1名	(3%)
未回答	0名	(0%)



Q4. 社員数

1 1-9	0名	(0%)
2 10-19	6名	(17%)
3 20-49	13名	(36%)
4 50-99	6名	(17%)
5 100-199	7名	(19%)
6 200以上	4名	(11%)
未回答	0名	(0%)



Q5. 役職

1 企業幹部(社長、取締役、役員)	30名	(83%)
2 部長、ディレクター、課長	5名	(14%)
3 専門家	1名	(3%)
4 その他	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



Q6.

部署		
1 総務	25名	(69%)
2 人事・研修	0名	(0%)
3 財務	3名	(8%)
4 技術	0名	(0%)
5 生産	3名	(8%)
6 その他	5名	(14%)
未回答	0名	(0%)



Q7.

講義内容に関する満足度はどのぐらいですか。		
1 とても満足している	11名	31%
2 満足している	23名	64%
3 普通	2名	6%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- ・モンゴルの事例を挙げ、確実にすると良い
- ・だいたい財務管理の基礎が身に付けることが出来た。後は自分で理解度を深めていくだけ
- ・新たな知識を得た
- ・もっと広い範囲の情報を期待していた
- ・基礎を身に付けた
- ・各テーマが事業に役に立つテーマだった

Q8

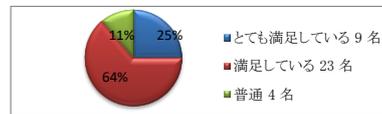
講義内容の難しさはどのぐらいですか？		
1 とても難しい	1名	(3%)
2 難しい	15名	(42%)
3 普通	18名	(50%)
4 やや簡単	2名	(6%)
5 簡単	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



- ・財務の教材を読まなければならないと思った

Q9. 日本人講師の教え方に関する満足度はどのぐらいですか？

1 とても満足している	9名	25%
2 満足している	23名	64%
3 普通	4名	11%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- ・ 経験豊富な講師
- ・ 非常に面白かった
- ・ 講師が上手で責任感が強く、慎重な人

Q10. 通訳に関する満足度はどのぐらいですか？ N. Batdelger

1 とても満足している	18名	50%
2 満足している	17名	47%
3 普通	1名	3%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- ・ 良い通訳者 (2名)
- ・ 通訳者が財務を専攻したと見えて、良くできていた
- ・ 通訳者が変わった

Q11. 通訳に関する満足度はどのぐらいですか？ D. Namjilmaa

1 とても満足している	11名	31%
2 満足している	21名	58%
3 普通	4名	11%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- ・ プロな通訳者
- ・ マーケティングより財務の通訳の方がよくできていた
- ・ 上手な通訳者

Q12. 講座で使われた機材・設備に関する満足度はどのぐらいですか？

1 とても満足している	12名	33%
2 満足している	22名	61%
3 普通	1名	3%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	1名	3%



- ・ 翻訳の間違いが多かった (2名)
- ・ コースが始まる前に、翻訳の再確認を行う必要がある

Q13. コーヒーブレイクで出されたコーヒー、紅茶などに関する満足度はどのぐらいですか？

1 とても満足している	10名	(28%)
2 満足している	23名	(64%)
3 普通	3名	(8%)
4 やや不満	0名	(0%)
5 不満	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



- ・ コーヒーブレイクに出されるものを変えることが出来るのでしょうか？

Q14. 授業時刻 (09:30~13:00) はどうでしたか？他の意見がありますか。

1 満足している	33名	(92%)
2 13:30~18:00	0名	(0%)
3 17:30~20:30	1名	(3%)
4 土曜日 (丸一日)	2名	(6%)
5 その他	0名	(0%)
未回答	1名	(3%)



Q15. 授業を6日間実施したのはどうですか？他の意見がありますか。

1 満足している	29名	(81%)
2 3日間	1名	(3%)
3 金曜日、土曜日 (丸一日)	2名	(6%)
4 その他	3名	(8%)
未回答	1名	(2%)



- ・ 平日 (月~金) (3名)
- ・ 三日間にする (土曜日は一日間、日曜日は半日)
- ・ 金曜日、土曜日2日間にするが良い

Q16. このプログラムを誰かにお勧めしますか。

1 特に勧めます	12名	(33%)
2 はい、勧めます	23名	(64%)
3 いいえ、勧めません	1名	(3%)



- ・ 財務の基礎知識のない人に短期間で分かりやすく、整理した情報を与える中で、実務例を挙げ、それにミニテストと例題を加えて説明していた
- ・ 多くのことを学んだ
- ・ 講義内容が期待に応じていない
- ・ 効果的

Q17. 今回のコースでモンゴルの現状に適応しなかったところがあれば、お書きください。

- ・ 関税・料金などが確実ではなかった (3名)
- ・ 事例 (2名)
- ・ 例と計算ミニテスト
- ・ 最後の二日間は実務例が少なく、論理が多かった
- ・ ケースはモンゴルの実務例であると思う
- ・ 計算テストと例をモンゴルの状況に合わせると良い
- ・ ミニテストに加えると良い
- ・ 例題は企業の実務例の問題点を解決する方法を探るテストにすると効果がある
- ・ 統計・利益率などの数値教示は日本の通りであった
- ・ 各課題にモンゴルの実務例を挙げると良い
- ・ 教科書での例の数字がモンゴルの現状に適応させる。(利子・関税)
- ・ 国際的な通称を日本語にしないで英語(そのまま)した方が良い
- ・ ローンの利息が異なるため例が適応しない気がした
- ・ 適応している

Q18. 今回のコースで一番良かった点と良くなかった点を記入してください。

良かった点:

- ・ Project X (3名)
- ・ 財務計算書の理解度を深めた (3名)
- ・ 例題 (3名)
- ・ 企業の実務例を使用していた (3名)
- ・ 各例の後に説明があったのが (2名)
- ・ 分かりやすい説明 (2名)
- ・ 表示と配布資料 (2名)
- ・ 講師の教え方
- ・ 値下げの意思決定
- ・ 面白く、グループワークも多かった
- ・ 説明が基礎を勉強していない人に適応した
- ・ 財務諸表の読み方
- ・ 72の規則
- ・ キャッシュフロー
- ・ 貨幣流通分析
- ・ ミニテストと例題が多かったのが理解度を高めていた
- ・ 財務計算表の分析 (経営するとき評価し、観察するとき役に立つ効果がある)
- ・ 全部
- ・ 教科書と講義内容
- ・ 期待通りの内容
- ・ 分かりやすく説明してくれた
- ・ モンゴル企業の実務例
- ・ 配布資料の表示

良くなかった点:

- ・ 教科書に翻訳の間違いが多かった (3名)
- ・ 例と統計・数値表示のある部分 (2名)
- ・ 最後の日の投資意思決定手法の例題が分かりにくかった、基礎コースでの例の方が良かった
- ・ モンゴルの現状に適応した例を挙げ、説明するとい
- ・ 教室が暑かった
- ・ 教科書を後振り返ってみると誤解するかもしれない
- ・ 参加者の財務管理のレベルが異なるため、簡単な質問をしたりして時間を無駄にしていた
- ・ 実務例を加えるとい
- ・ 教科書の翻訳に不満を持つ。内容が時間に拘束されていた。

Q19. センターでは、ビジネスコース、日本語コース、相互理解促進事業を実施していますが、センターの事業に対して要望があればお書きください。

- ・ 良くできている (5名)
- ・ JICAによるプロジェクト借款に関する情報を受けることが出来るのでしょうか
- ・ 外国の文化をモンゴルに提供することを応援している
- ・ 気に入っている
- ・ 日本の経験に教わり、協力する機会を与えていることに感謝している
- ・ 効果のある研修
- ・ 日本企業とのマッチングに関する活動がなかった、日本企業と協力できるようにセンターから事業を行って欲しい
- ・ その他の事業にも興味を持っている
- ・ 満足している。頑張ってください
- ・ 私は普通の裁判士であり、工場を経営しているが、国に貢献することが出来るのではないかと刺激を受けた
- ・ 感謝している

Q20. アンケートに書けなかったことがあればお書きください。

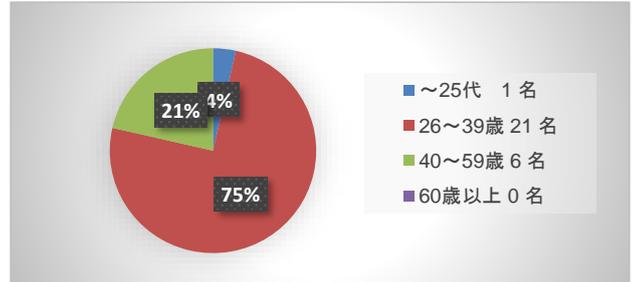
- ・ 8時半のPROJECT Xを借りられる? (職員に見せて欲しい)
- ・ 成功を祈っている
- ・ 個人的に日本企業とのマッチングのアドバイスと支援を欲しい (そのことに関して公開的に活動を行って欲しい)
- ・ 多くのCEO達がそれを望んでいる。又、モンゴル人のスタッフとの間で距離感を感じた。  
(通訳者ではなく、センターの組織者達)

モンゴル・日本センター プログラム別アンケート集計結果

プログラム名 : 経営戦略通常コース  
 実施期間 : 2019年9月16日～9月23日  
 受講生 30名  
 アンケート回答者数 28名 回答率 (93%)

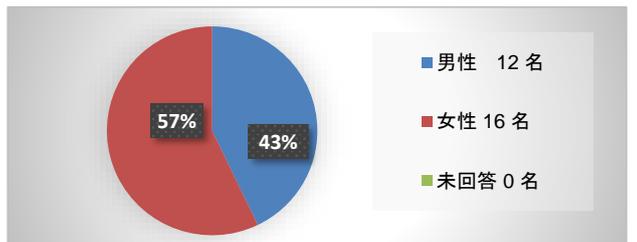
Q 1. 年齢

1 ~25代	1名	(4%)
2 26～39歳	21名	(75%)
3 40～59歳	6名	(21%)
4 60歳以上	0名	(0%)
5 未回答	0名	(0%)



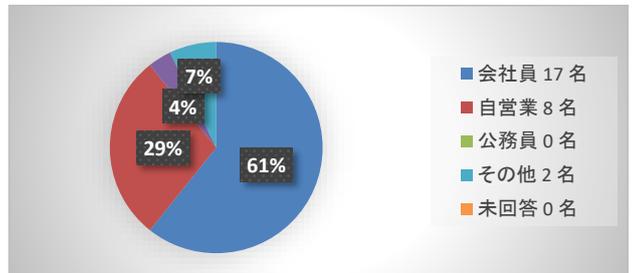
Q 2. 性別

1 男性	12名	(43%)
2 女性	16名	(57%)
3 未回答	0名	(0%)



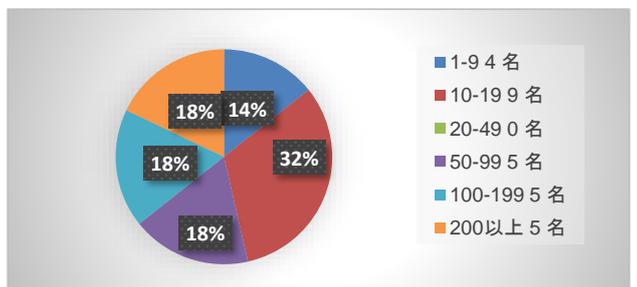
Q 3. 職種

1 会社員	17名	(61%)
2 自営業	8名	(29%)
3 公務員	0名	(0%)
4 無職/学生	1名	(4%)
5 その他	2名	(7%)
6 未回答	0名	(0%)



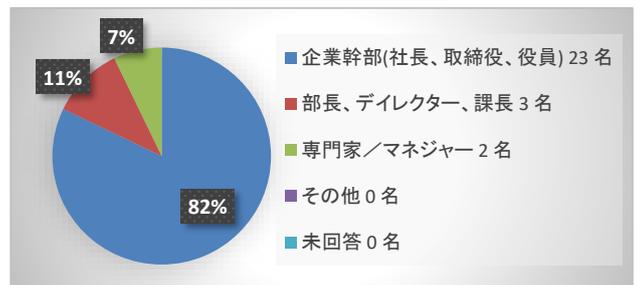
Q 4. 社員数

1 1-9	4名	(14%)
2 10-19	9名	(32%)
3 20-49	0名	(0%)
4 50-99	5名	(18%)
5 100-199	5名	(18%)
6 200以上	5名	(18%)
7 未回答	0名	(0%)



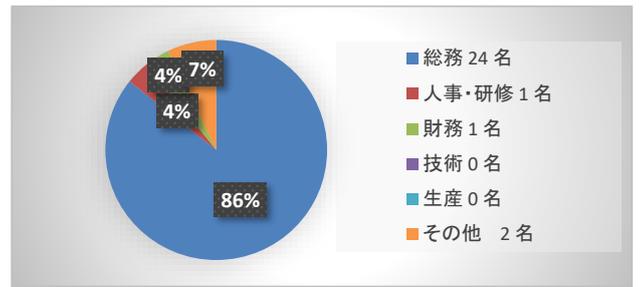
Q 5. 役職

1 企業幹部(社長、取締役、役員)	23名	(82%)
2 部長、ディレクター、課長	3名	(11%)
3 専門家/マネジャー	2名	(7%)
4 その他	0名	(0%)
5 未回答	0名	(0%)



Q6. 部署

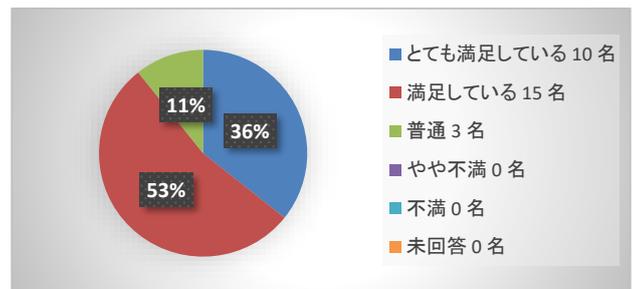
1 総務	24 名	(86%)
2 人事・研修	1 名	(4%)
3 財務	1 名	(4%)
4 技術	0 名	(0%)
5 生産	0 名	(0%)
6 その他	2 名	(7%)
7 未回答	0 名	(0%)



- 輸入、販売
- 貿易

Q7. 講義内容に関する満足度はどのぐらいですか。

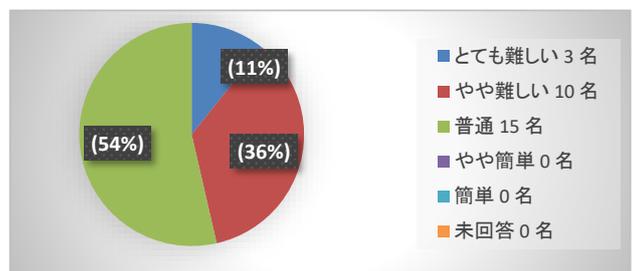
1 とても満足している	10 名	(36%)
2 満足している	15 名	(54%)
3 普通	3 名	(11%)
4 やや不満	0 名	(0%)
5 不満	0 名	(0%)
6 未回答	0 名	(0%)



- 演習問題が気に入り、そのまま会社で使える。 2名
- 以前、このような講義受けたことがない。
- 質問回答が自由。
- 講義内容やサービスが良い。
- 製造業に近いテーマや事例が多かった。
- 以前は分かっていたても実施出来なかったが、今は出来るようになった。
- 時間が短いので、教科書内容はすべて終わらなかった。
- 演習問題沢山やったのが効果的だった。

Q8 講義内容の難しさはどのぐらいですか？

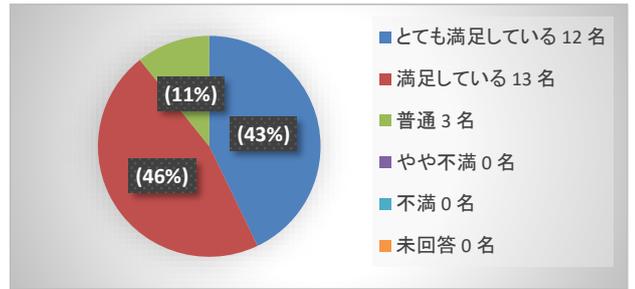
1 とても難しい	3 名	(11%)
2 やや難しい	10 名	(36%)
3 普通	15 名	(54%)
4 やや簡単	0 名	(0%)
5 簡単	0 名	(0%)
6 未回答	0 名	(0%)



- 専門的な講義だった。 3名
- 時間が足りなかった。 3名
- 講師の教え方、講義内容、事例はすべて良かった。
- 経験のある講師だった。
- 組織管理卒なので、そんなに難しくなかつ 2名
- 6日間で沢山の事学んだ。
- 短時間で内容が多かったから少し難しかった。
- スピードが早かった。 2名

Q9. 日本人 講師の教え方に関する満足度はどのぐらいですか？

1 とても満足している	12名	(43%)
2 満足している	13名	(46%)
3 普通	3名	(11%)
4 やや不満	0名	(0%)
5 不満	0名	(0%)
6 未回答	0名	(0%)

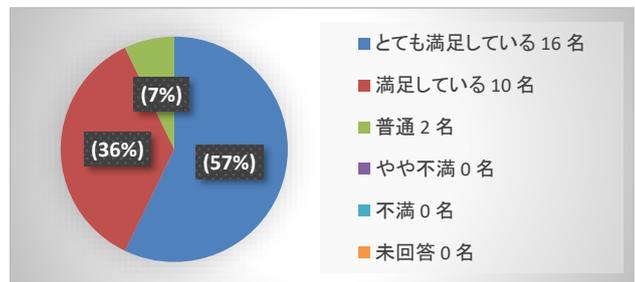


- 演習問題をたくさんやったことが気に入った。
- 通訳付きなので理解度が低くなる。
- 実践的で面白かった。
- 経験のある講師だった。 2名
- 追加情報提供していた。
- 質問に分かり易くて適切な回答している。
- 分かり易い、より実践的だった。
- 教え方、事例が良かった。 3名
- 全内容まで教える時間がなかった。

Q10. 通訳に関する満足度はどのぐらいですか？

D. ENKHBOLD

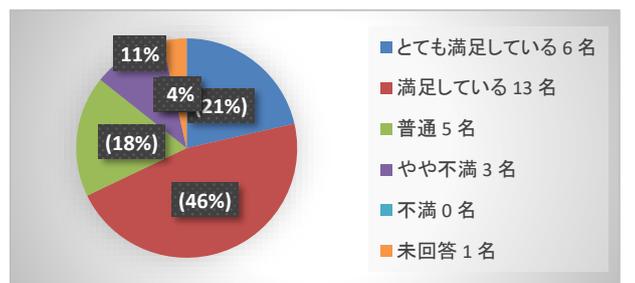
1 とても満足している	16名	(57%)
2 満足している	10名	(36%)
3 普通	2名	(7%)
4 やや不満	0名	(0%)
5 不満	0名	(0%)
6 未回答	0名	(0%)



- 分からないことをすぐ先生に聞いていた。
- 専門的な知識を持ち、適切な言葉を使って通訳した3名
- 能力がある。
- 日本人講師との連携が良くできていた。
- 講師と良く組んでいた。
- 非常に良い通訳者だった。

Q11. モンゴル人講師に関する満足度はどのぐらいですか？ (D. Munkhbald)

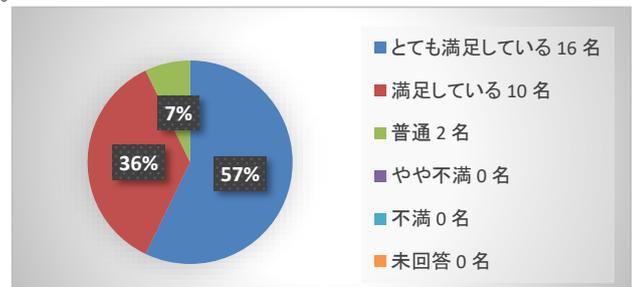
1 とても満足している	6名	21%
2 満足している	13名	46%
3 普通	5名	18%
4 やや不満	3名	11%
5 不満	0名	0%
6 未回答	1名	4%



- 分かり易くて事例として使える。
- 効果的だった。
- 十分な情報を得た。
- 企業の選択が良くない。
- 一面的な見方で結論した事例紹介だった。
- 自分の立場から見過ぎた。要するに間違った情報を提供した。

Q12. 講座で使われた機材・設備に関する満足度はどのくらいですか。

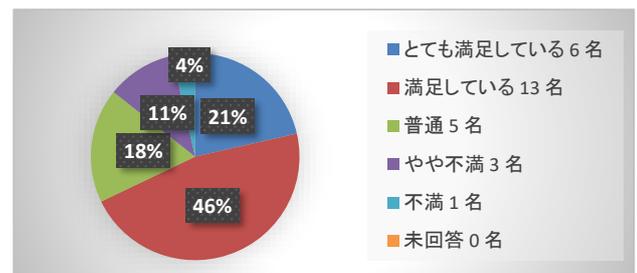
1 とても満足している	16名	(57%)
2 満足している	10名	(36%)
3 普通	2名	(7%)
4 やや不満	0名	(0%)
5 不満	0名	(0%)
6 未回答	0名	(0%)



- 黒板の置き場所が見えづらかった。
- 問題なかった。
- 100%だった。
- 最初の日寒くて風ひいた。

Q13. コーヒーブレイクで出されたコーヒー、紅茶、サンドイッチに関する満足度はどのくらいですか？

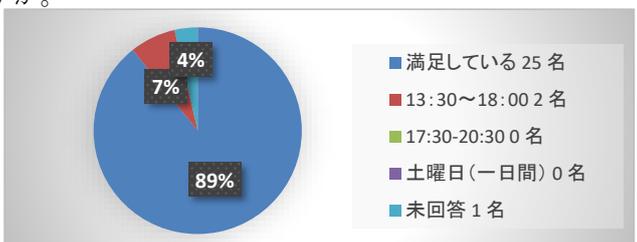
1 とても満足している	6名	(21%)
2 満足している	13名	(46%)
3 普通	5名	(18%)
4 やや不満	3名	(11%)
5 不満	1名	(4%)
6 未回答	0名	(0%)



- 休憩時間が短い。
- 種類が多くて美味しかった。
- 健康的だった。
- 100%だった。
- 美味しかった。
- 最近、ベジタリアン多くなっているから、検討してください。

Q14. 授業時刻 (09:30~13:00) はどうですか？他の意見がありますか。

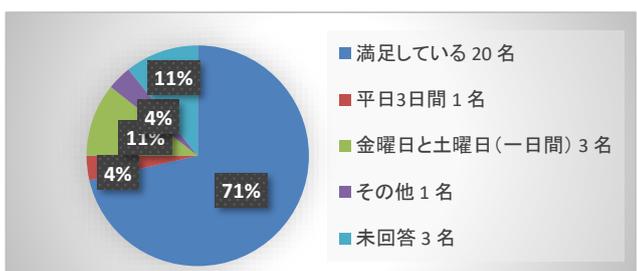
1 満足している	25名	(89%)
2 13:30~18:00	2名	(7%)
3 17:30~20:30	0名	(0%)
4 土曜日 (一日間)	0名	(0%)
5 未回答	1名	(4%)



- 土日に行った方が仕事時間を取らない。

Q15. 授業を6日間実施したのはどうですか？他の意見がありますか。

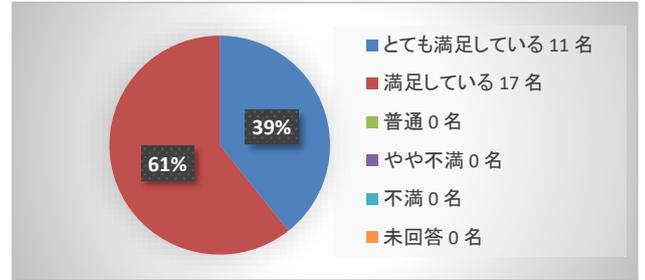
1 満足している	20名	(71%)
2 平日3日間	1名	(4%)
3 金曜日と土曜日 (一日間)	3名	(11%)
4 その他	1名	(4%)
5 未回答	3名	(11%)



- 5日間
- 平日が適切
- 平日5日間 (8時半から12時まで)

Q16. センターのスタッフに関する満足度がどのぐらいですか。

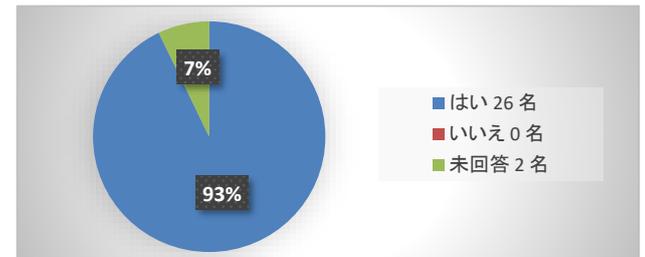
1 とても満足している	11名	(39%)
2 満足している	17名	(61%)
3 普通	0名	(0%)
4 やや不満	0名	(0%)
5 不満	0名	(0%)
6 未回答	0名	(0%)



- 親切で動きが早い。
- スタッフ全員が積極的だった。
- サービスが良い。

Q17. 今回のコースがご期待に応えることができましたか。

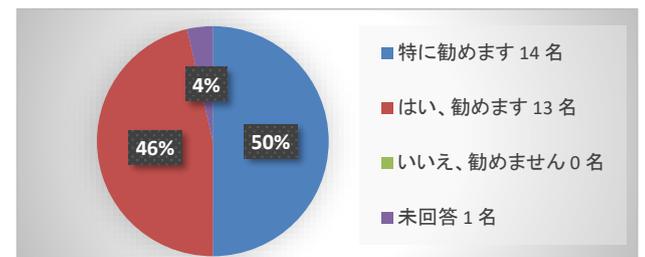
1 はい	26名	(93%)
2 いいえ	0名	(0%)
3 未回答	2名	(7%)



- 経営戦略について沢山の知識を得た。
- 企業によくある問題を解決できるようになった。
- 知識を高めることができた。
- 運営体制が非常に良い。

Q18. このプログラムを誰かにお勧めしますか。

1 特に勧めます	14名	(50%)
2 はい、勧めます	13名	(46%)
3 いいえ、勧めません	0名	(0%)
4 未回答	1名	(4%)



- 必ず講義を受けるよう勧めする。
- 満足度100%
- 効果的だった。

Q19. 今回のコースでモンゴルの現状に適応しないと思ったところがあれば、お書きください。

- 製造業向けが多かった。
- 取り上げられた事例はモンゴルにまだ入っていない。

Q20. 今回のコースで一番良かった点と良くなかった点を記入してください。

良かった点：

- 企業に必要な分析をやったこと。
- 講義は時間通りに始まっていたこと。
- 日本人講師の教え方や演習問題が良かった。
- 講義前のビデオ (ProjectX)
- 全グループ演習発表が出来なかった。
- グループの皆と短い間で仲間になった。
- 全てが気に入った。 2名
- 最初の3日間の講義内容は分かり易かった。
- 体操、コーヒースタイル
- 戦略を立てる方法が分かった。

- 演習問題や追加資料が十分だった。
- 自社の戦略を立てた。 2名
- 演習問題やって、他のグループの発表を聞いたこと。
- コースはちゃんと準備出来ていた。
- グループで演習問題やったこと。

良くなかった点：

- 授業科目の関連を説明しなかった。
- クラス全員の紹介や参加会社の事業紹介がなかった。
- 最後の2日間の講義内容は難しかった。
- 教室が暑かった。 2名
- 最後の講義は土曜日ではなく、月曜日に行ったこと。
- 休憩時間が短い。45分ごとに休憩5分あれば良いと思う。
- 講義資料をデータでほしい。部下に教えるのに必要。
- 早いスピードだったので、分からない点もあった。
- 分かり易いことを何度も説明して時間かけた。

Q21. 今後モンゴル・日本センターでどのようなコースがあれば参加したいと思いますか。

- 実施方法を教えてくれるテーマの講義してほしい。
- 組織文化
- 日本センターのコースを受けたモンゴル企業の経験事例。
- 従業員に躰教育させるコース。
- 健康企業の管理者向けのコースを行って欲しい。
- 日本の大手企業の成功事例
- タイムマネジメント
- 食品製造・売り上げ上昇する
- 人事管理

Q22. センターでは、ビジネスコース、日本語コース、相互理解促進事業を実施していますが、センターの事業に対して要望があればお書きください。

- 効果的だと思う。 2名
- 応援している。
- 日本センターを通して両国の文化、ビジネス交流など上手く出来ていると思う。
- モンゴル企業の従業員の能力
- 良く分からない。
- 運営体制良い。

Q23. アンケートに書けなかったことがあればお書きください。

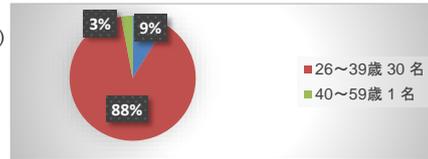
- 頑張ってください。
- ありがとうございました。

モンゴル・日本センター プログラム別アンケート集計結果

プログラム名 : 経営戦略 (通常コース管理者クラス)  
 実施期間 : 2019年09月16日～20日  
 受講者数 : 36名  
 アンケート回答者数 : 34名 回答率 (94%)

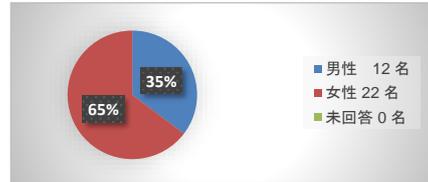
Q1. 年齢

1 1～25代	3名	(9%)
2 26～39歳	30名	(88%)
3 40～59歳	1名	(3%)
4 60歳以上	0名	(0%)



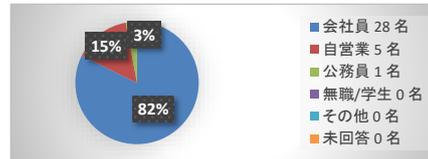
Q2. 性別

1 男性	12名	(35%)
2 女性	22名	(65%)
未回答	0名	(0%)



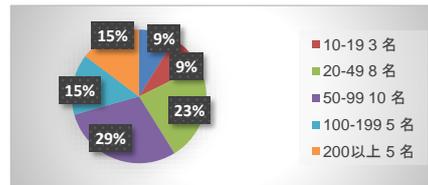
Q3. 職種

1 会社員	28名	(82%)
2 自営業	5名	(15%)
3 公務員	1名	(3%)
4 無職/学生	0名	(0%)
5 その他	0名	(0%)
6 未回答	0名	(0%)



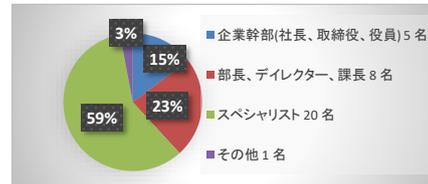
Q4. 社員数

1 1-9	3名	(9%)
2 10-19	3名	(9%)
3 20-49	8名	(24%)
4 50-99	10名	(29%)
5 100-199	5名	(15%)
6 200以上	5名	(15%)
未回答	0名	(0%)



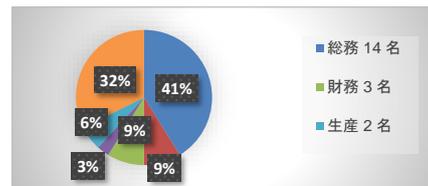
Q5. 職位

1 企業幹部(社長、取締役、役員)	5名	(15%)
2 部長、ディレクター、課長	8名	(24%)
3 スペシャリスト	20名	(59%)
4 その他	1名	(3%)
未回答	0名	(0%)
- 会計者	1名	



Q6. 部署

1 総務	14名	(41%)
2 人事・研修	3名	(9%)
3 財務	3名	(9%)
4 技術	1名	(3%)
5 生産	2名	(6%)
6 その他	11名	(32%)
未回答	0名	(0%)



- マーケティング 3名
- 国際コミュニケーション 2名
- 販売 2名

Q7. 講義内容に関する満足度はどのぐらいですか。

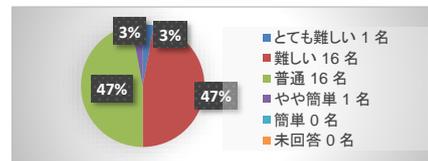
1 とても満足している	12名	35%
2 満足している	20名	59%
3 普通	2名	6%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- 各項目の実例を使い説明し、理論名の格差を論理的によく説明 2名
- 理論通りグループディスカッションをやったのはいいと思う。 2名
- 将来実際に使えられる沢山なことを教えてもらった。
- 時間が短い、良く教えてもらった。
- 事例を使っていたのは分かりやすかった。 2名
- 簡潔で整理がいい

Q8. 講義内容の難しさはどのぐらいですか？

1 とても難しい	1名	(3%)
2 難しい	16名	(47%)
3 普通	16名	(47%)
4 やや簡単	1名	(3%)
5 簡単	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



- 事例を使っていたので分かりやすかった。
- 時間的に厳しい(短い)
- 基礎知識がないので難しかった。 2名
- 5日間は短いと感じた。
- 前回企業内コースに参加していたが、今回すごく理解できた。
- 一気に沢山情報を受けたので難しかった。
- 前勉強していたことを再確認できた。

Q9. 日本人講師の教え方に関する満足度はどのぐらいですか？

1 とても満足している	17名	50%
2 満足している	16名	47%
3 普通	1名	3%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- とても良い、分かりやすかった。 2名
- 明確に説明した。
- 経験が深い
- 事例を使って説明していたのは気に入った。

Q10. 通訳に関する満足度はどのぐらいですか？（エンフボルド）

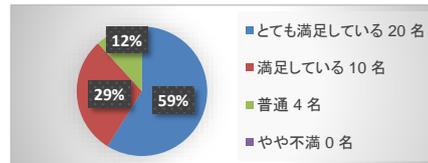
1 とても満足している	17名	50%
2 満足している	10名	29%
3 普通	7名	21%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- 通訳者両方は能力が良い、事例を使っていた。
- 良い
- 分かりにくい、繰り返しが多い。
- 経営戦略の知識を持っているので説明が良かったと思う。
- 時々分からないことがあった。

Q11. 通訳に関する満足度はどのぐらいですか？（バトデレゲル）

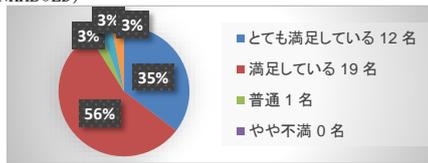
1 とても満足している	20名	59%
2 満足している	10名	29%
3 普通	4名	12%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- 通訳者両方は能力が良い、事例を使っていた。 2名
- 簡潔、明快
- 良い
- 経営戦略の知識を持っているので説明が良かったと思う。
- 通訳者は経営の教師だから説明が分かりやすかった。

Q12. モンゴル人講師に関する満足度はどのぐらいですか？（「ERDENET社」D. MUNKHBOLD）

1 とても満足している	12名	35%
2 満足している	19名	56%
3 普通	1名	3%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	1名	3%
未回答	1名	3%



- 自社の文化的な問題の事例を説明した。
- 実例を使った。
- 自社の問題を説明しすぎ。
- 知識を深めることができた。

Q13. 講座で使われた機材・設備に関する満足度はどのぐらいですか？

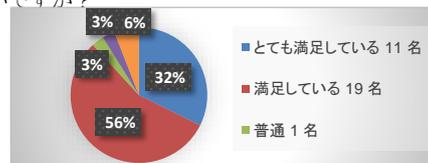
1 とても満足している	22名	65%
2 満足している	12名	35%
3 普通	0名	0%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- 快適、見やすい
- 全部講義前に準備できていたのでいいと思う。

Q14. コーヒーブレイクで出されたコーヒー、紅茶などに関する満足度はどのぐらいですか？

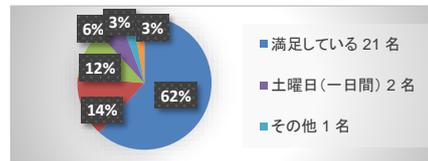
1 とても満足している	11名	(32%)
2 満足している	19名	(56%)
3 普通	1名	(3%)
4 やや不満	1名	(3%)
5 不満	0名	(0%)
未回答	2名	(6%)



- 美味しかった。
- 体に軽くて良いと思う。
- 1日サンドイッチがなかったことは辛かった。
- クッキーばかりだった。果物を欲しかった。

Q15. 授業時刻（15：00～19：30）はどうでしたか？他の意見がありますか。

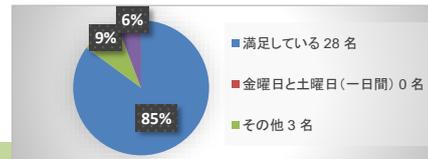
1 満足している	21名	(62%)
2 09：30～13：00	5名	(15%)
3 13：30～18：30	4名	(12%)
4 土曜日（一日間）	2名	(6%)
5 その他	1名	(3%)
未回答	1名	(3%)



- 16：00-20：00

Q16. 授業を5日間実施したのはどうですか？他の意見がありますか？

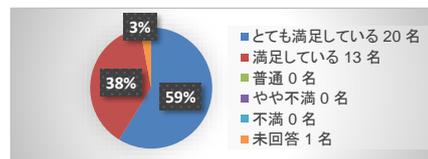
1 満足している	28名	(82%)
2 金曜日と土曜日（一日間）	0名	(0%)
3 その他	3名	(9%)
未回答	2名	(6%)



- 7-10日間、深く学習したい  
- 講義の期間が短い

Q17. センターのスタッフに関する満足度がどのぐらいですか。

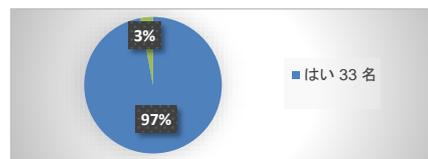
1 とても満足している	20名	(59%)
2 満足している	13名	(38%)
3 普通	0名	(0%)
4 やや不満	0名	(0%)
5 不満	0名	(0%)
6 未回答	1名	3%



- 親切

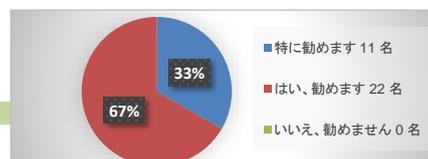
Q18. 今回のコースが期待に応えることが出来ましたか。

1 はい	33名	(97%)
2 いいえ	0名	(0%)
3	1名	(3%)



Q19. このプログラムを誰かにお勧めしますか。

1 特に勧めます	11名	(32%)
2 はい、勧めます	22名	(65%)
3 いいえ、勧めません	0名	(0%)



- 同じ職位の人に勧めます。

Q20. 今回のコースでモンゴルの現状に適応しないと思ったところがあれば、お書きください。

- ないと思う。 6名

Q21. 今回のコースで一番良かった点と良くなかった点を記入してください。

良かった点：	
- グループディスカッション	4名
- 教師の教え方	3名
- 整理がいい	2名
- 専門性の高い通訳者たち	
- 時間通りにやっていたこと	
- 講義内容	2名
- 全部	2名
- 配布資料	2名
- 整理、環境、コミュニケーション	
- 積極的、整理がいい	
- 教師、通訳者	
- 体操、事例、グループに分けたこと	
良くなかった点：	
- 5日間短かった	
- 講義は午前にあった方が良かった。	

Q22. センターでは、ビジネスコース、日本語コース、相互理解促進事業を実施していますが、センターの事業に対して要望があればお書き

- コンサルティングコースをやって欲しい  
- コミュニケーションと組織文化  
- 自己啓発  
- 経営戦略を再確認できる時間をグループにあげてほしい。  
- 若者の考え方を変えられるコース  
- ビジネスマネジメント、コーポレートガバナンス  
- 自己啓発傾向

Q23. センターでは、ビジネスコース、日本語コース、相互理解促進事業を実施していますが、センターの事業に対して要望があればお書き

- 良い、満足している 2名

Q24. アンケートに書けなかったことがあればお書きください。

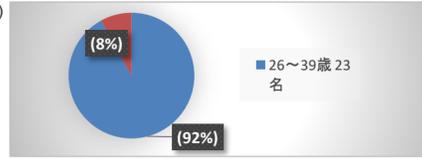
- 整理がいい

モンゴル・日本センター プログラム別アンケート集計結果

プログラム名 : マーケティング (秋期通常コース経営者クラス)  
 実施期間 : 2019年10月28日～11月02日  
 受講者数 30名  
 アンケート回答者数 25名 回答率 (83%)

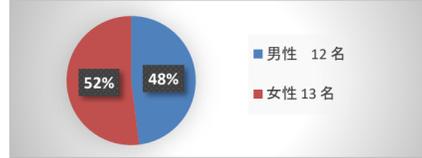
Q1. 年齢

1 1～25代	0名	(0%)
2 26～39歳	23名	(92%)
3 40～59歳	2名	(8%)
4 60歳以上	0名	(0%)



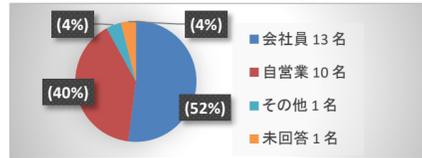
Q2. 性別

1 男性	12名	(48%)
2 女性	13名	(52%)
未回答	0名	(0%)



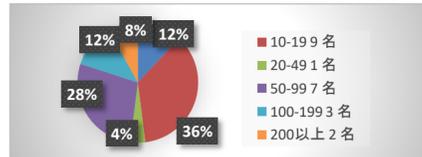
Q3. 職種

1 会社員	13名	(52%)
2 自営業	10名	(40%)
3 公務員	0名	(0%)
4 無職/学生	0名	(0%)
5 その他	1名	(4%)
6 未回答	1名	(4%)



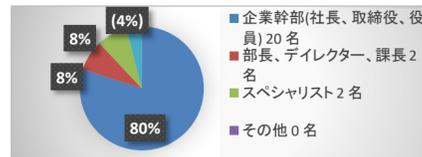
Q4. 社員数

1 1-9	3名	(12%)
2 10-19	9名	(36%)
3 20-49	1名	(4%)
4 50-99	7名	(28%)
5 100-199	3名	(12%)
6 200以上	2名	(8%)
未回答	0名	(0%)



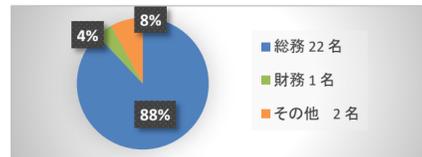
Q5. 職位

1 企業幹部(社長、取締役、役員)	20名	(80%)
2 部長、ディレクター、課長	2名	(8%)
3 スペシャリスト	2名	(8%)
4 その他	0名	(0%)
未回答	1名	(4%)



Q6. 部署

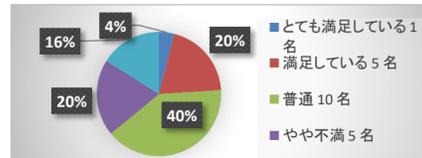
1 総務	22名	(88%)
2 人事・研修	0名	(0%)
3 財務	1名	(4%)
4 技術	0名	(0%)
5 生産	0名	(0%)
6 その他	2名	(8%)
未回答	0名	(0%)



- 貿易 1名

Q7. 講義内容に関する満足度はどのぐらいですか。

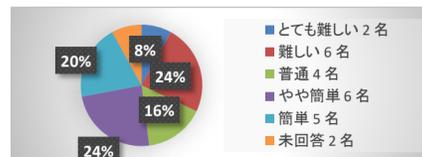
1 とても満足している	1名	4%
2 満足している	5名	20%
3 普通	10名	40%
4 やや不満	5名	20%
5 不満	4名	16%
未回答	0名	0%



- 内容と教え方 3名  
 - つまらない、古すぎる 2名  
 - 分かりやすく面白く教えてもらえなかった  
 - 内容はいいけど、教え方が少しつまらない  
 - 事例を説明して欲しかった  
 - 試験の内容が古い  
 - 理論が多すぎる  
 - 内容が新鮮的じゃなかった

Q8. 講義内容の難しさはどのぐらいですか？

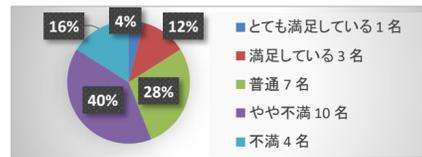
1 とても難しい	2名	(8%)
2 難しい	6名	(24%)
3 普通	4名	(16%)
4 やや簡単	6名	(24%)
5 簡単	5名	(20%)
未回答	2名	(8%)



- 分かりにくかった

Q9. 日本人講師の教え方に関する満足度はどのぐらいですか？

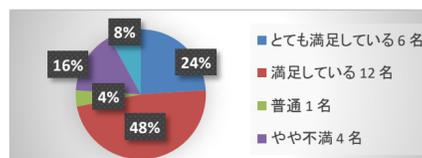
1 とても満足している	1名	4%
2 満足している	3名	12%
3 普通	7名	28%
4 やや不満	10名	40%
5 不満	4名	16%
未回答	0名	0%



- 話が長い、グループワークに判断してくれなかった  
 - 教え方、事例、経験  
 - モンゴルでの経験、心理がわからない  
 - 教え方が面白くない  
 - ケース、グループワークが少なく理論が多かった  
 - 環境調査やってほしい

Q10. 通訳に関する満足度はどのぐらいですか？ (Ts. Badraa)

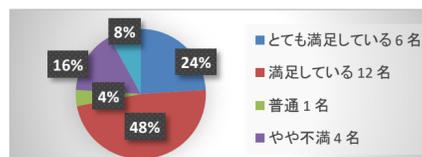
1 とても満足している	6名	24%
2 満足している	12名	48%
3 普通	1名	4%
4 やや不満	4名	16%
5 不満	2名	8%
未回答	0名	0%



- 眠くなるほど穏やかだった

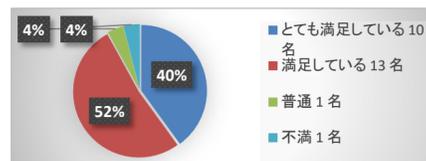
Q11. 通訳に関する満足度はどのぐらいですか？ (Enkhbold)

1 とても満足している	6名	24%
2 満足している	11名	44%
3 普通	1名	4%
4 やや不満	2名	8%
5 不満	3名	12%
未回答	2名	8%



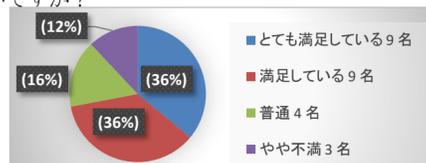
Q12. 講座で使われた機材・設備に関する満足度はどのくらいですか。

1 とても満足している	10名	40%
2 満足している	13名	52%
3 普通	1名	4%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	1名	4%
未回答	0名	0%



Q13. コーヒーブレイクで出されたコーヒー、紅茶などに関する満足度はどのくらいですか？

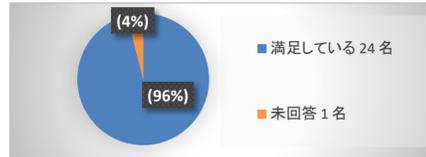
1 とても満足している	9名	(36%)
2 満足している	9名	(36%)
3 普通	4名	(16%)
4 やや不満	3名	(12%)
5 不満	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



- ベジタリアンもいるので、肉が入っていない野菜サンドイッチ欲しい

Q14. 授業時刻 (9:30~13:00) はどうでしたか？他の意見がありますか。

1 満足している	24名	(96%)
2 13:30~18:00	0名	(0%)
3 17:30~20:30	0名	(0%)
4 土曜日 (一日間)	0名	(0%)
5 その他	0名	(0%)
未回答	1名	(4%)



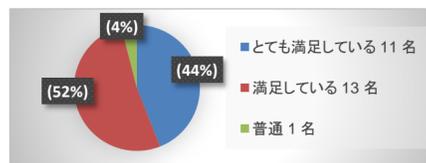
Q15. 授業を6日間実施したのはどうですか？他の意見がありますか？

1 満足している	24名	(96%)
2 3日間でいいと思う	0名	(0%)
3 金曜日と土曜日 (一日間)	0名	(0%)
4 その他	0名	(0%)
未回答	1名	(4%)



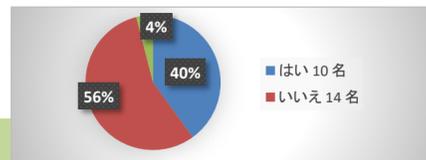
Q16. センターのスタッフに関する満足度がどのくらいですか。

1 とても満足している	11名	(44%)
2 満足している	13名	(52%)
3 普通	1名	(4%)
4 やや不満	0名	(0%)
5 不満	0名	(0%)
6 未回答	0名	(0%)



Q17. 今回のコースが期待に応えることが出来ましたか。

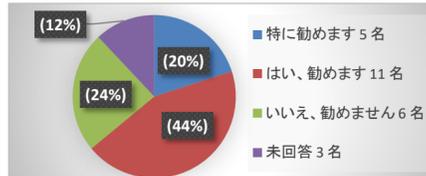
1 はい	10名	(40%)
2 いいえ	14名	(56%)
未回答	1名	(4%)



- 先生の教え方とコースの内容  
 - もっと面白くして欲しい、自社で実践できなそう、的確ではなかった  
 - 期待が高かった  
 - マーケティングを強化し、近代マーケティングについてもっと入れて欲しい  
 - マーケティングにおける最近のトレンドについての新鮮な情報が欠けている  
 - 受講中、受講者たちへの活性化が欠けている  
 - 新鮮だった

Q18. このプログラムを誰かにお勧めしますか。

1 特に勧めます	5名	(20%)
2 はい、勧めます	11名	(44%)
3 いいえ、勧めません	6名	(24%)
未回答	3名	(12%)



Q19. 今回のコースでモンゴルの現状に適応しないと思ったところがあれば、お書きください。

- 内容が全体的に、また事例も適していない  
 - 事例をもっと国際的にすれば  
 - 特になし  
 - 日本の事例が多い  
 - 適応している  
 - 古すぎる  
 - 内容の変更が望ましい  
 - 多少ありました

4名

Q20. 今回のコースで一番良かった点と良くなかった点を記入してください。

良かった点：  
 - いくつかの具体的な事例  
 - 特になし  
 - 全体的にサービス、コミュニケーション、環境  
 - 日本の事例が多かったこと  
 - マーケティング活動  
 - 財務管理

良くなかった点：  
 - テーマと内容  
 - 時代遅れの内容  
 - 古い理論は要りません、最近のマーケティング術について知りたい (長所と短所)  
 - 古い  
 - 講義が長く冗長的だった  
 - 分かりにくくて冗長的  
 - 旧式的で面白くない  
 - 発展史

Q21. センターでは、ビジネスコース、日本語コース、相互理解促進事業を実施していますが、センターの事業に対して要望があればお書き

- 財務についてのコース  
 - 生産活動を改善することについてのコース  
 - 現地講師の育成  
 - クラスで他社訪問したい

Q22. センターでは、ビジネスコース、日本語コース、相互理解促進事業を実施していますが、センターの事業に対して要望があればお書き

- 特になし

Q23. アンケートに書けなかったことがあればお書きください。

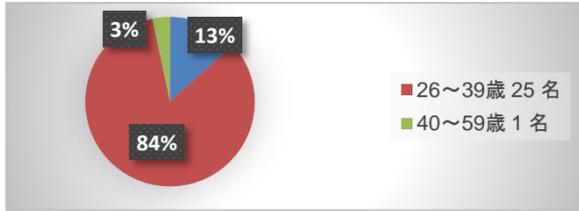
- 特になし

# モンゴル・日本センター プログラム別アンケート集計結果

プログラム名 : マーケティング (通常コース管理者クラス)  
 実施期間 : 2019年10月28日～11月2日  
 受講者数 : 36名  
 アンケート回答者数 : 30名 回答率 (83%)

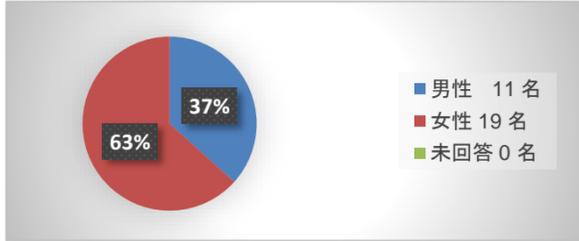
Q1. 年齢

1 1～25代	4名	(13%)
2 26～39歳	25名	(83%)
3 40～59歳	1名	(3%)
4 60歳以上	0名	(0%)



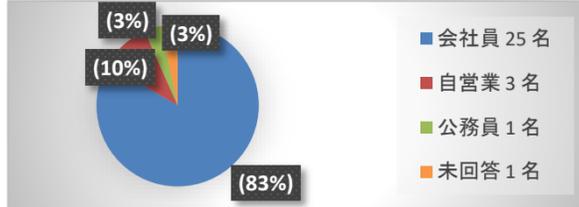
Q2. 性別

1 男性	11名	(37%)
2 女性	19名	(63%)
未回答	0名	(0%)



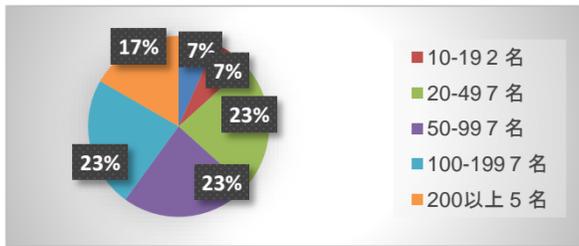
Q3. 職種

1 会社員	25名	(83%)
2 自営業	3名	(10%)
3 公務員	1名	(3%)
4 無職/学生	0名	(0%)
5 その他	0名	(0%)
6 未回答	1名	(3%)



Q4. 社員数

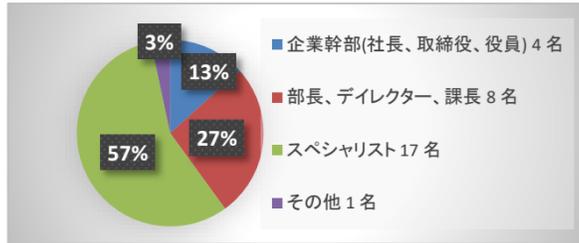
1 1-9	2名	(7%)
2 10-19	2名	(7%)
3 20-49	7名	(23%)
4 50-99	7名	(23%)
5 100-199	7名	(23%)
6 200以上	5名	(17%)
未回答	0名	(0%)



Q5. 職位

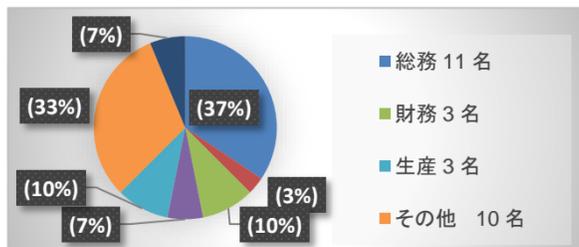
1 企業幹部(社長、取締役、役員)	4名	(13%)
2 部長、ディレクター、課長	8名	(27%)
3 スペシャリスト	17名	(57%)
4 その他	1名	(3%)
未回答	0名	(0%)

- ブランドマネージャー



Q6. 部署

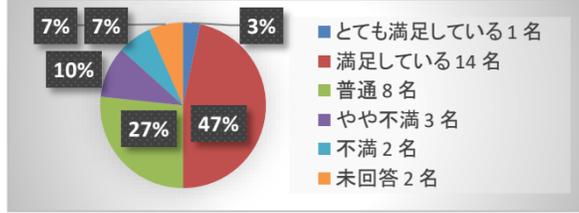
1 総務	11名	(37%)
2 人事・研修	1名	(3%)
3 財務	3名	(10%)
4 技術	2名	(7%)
5 生産	3名	(10%)
6 その他	10名	(33%)
未回答	2名	(7%)



- 外交  
 - 貿易  
 - 営業  
 - 商品開発  
 - 事業計画  
 2名

Q7. 講義内容に関する満足度はどのぐらいですか?

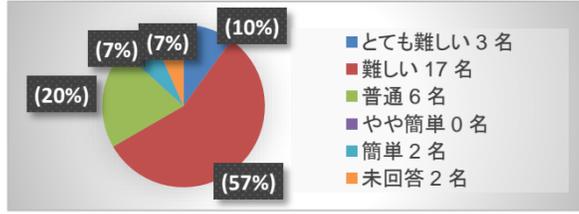
1 とても満足している	1名	3%
2 満足している	14名	47%
3 普通	8名	27%
4 やや不満	3名	10%
5 不満	2名	7%
未回答	2名	7%



- 冗長的だった  
 - 教材、環境、講師  
 - 教材とプレゼンテーションから日本語で読んだりしていた。  
 - 論理的過ぎる、練習問題が少ない。試験受けることになったら、何も頭に入っていない。  
 2名

Q8. 講義内容の難しさはどのぐらいですか?

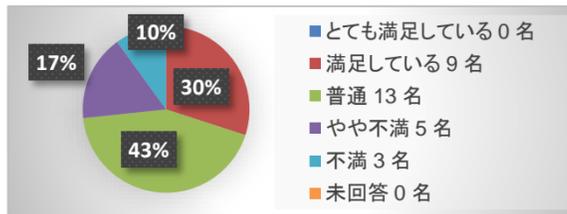
1 とても難しい	3名	(10%)
2 難しい	17名	(57%)
3 普通	6名	(20%)
4 やや簡単	0名	(0%)
5 簡単	2名	(7%)
未回答	2名	(7%)



- 講義が長い  
 - 理論が多かった  
 - 理論が多く、事例が少し適しいない感じだった  
 - 理論が多かったため、冗長的に感じられた  
 - 自分の専門ではないため  
 - マーケティングの基礎が分からないため

Q9. 日本人講師の教え方に関する満足度はどのぐらいですか？

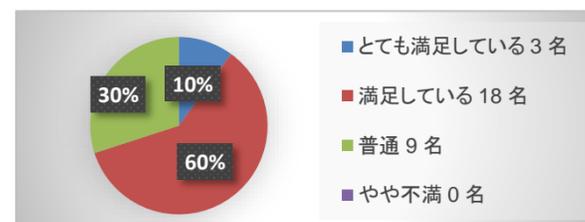
1 とても満足している	0名	0%
2 満足している	9名	30%
3 普通	13名	43%
4 やや不満	5名	17%
5 不満	3名	10%
未回答	0名	0%



- 教え方が気に入らなかった
  - コースを面白くして欲しい、今回のコースは眠たくなりました。
  - 理論ばかりで眠たくなる。面白くない、事例が古い。
  - 優しい
  - 講義ばかりだった、ほかの講師たちと比べ積極的さが欠けている
  - 少し面白くない
  - グループワークの時間をもらえなかった、自己紹介までしていない。講師の履歴や、マーケティングでどこでどんな分野の仕事をされていたかなどの経験を知らなかった。
  - 前のコースが付けた標準に到達できなかった、パネルに向いて話していたばかりだった。時間とお金ももったいなく感じている。また受講したい。
  - 講師の分かってもらいたいという気持ちを強く感じた、満足している。
- 2名

Q10. 通訳に関する満足度はどのぐらいですか？ (エンフボルド)

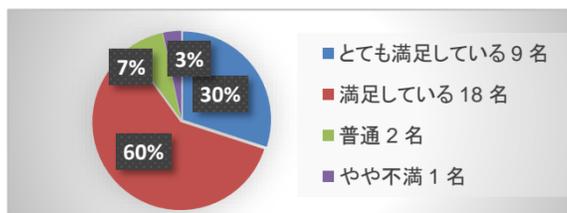
1 とても満足している	3名	10%
2 満足している	18名	60%
3 普通	9名	30%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- いちいち言葉を一つずつ訳している
- 分かりやすく早い

Q11. 講座で使われた機材・設備に関する満足度はどのぐらいですか。

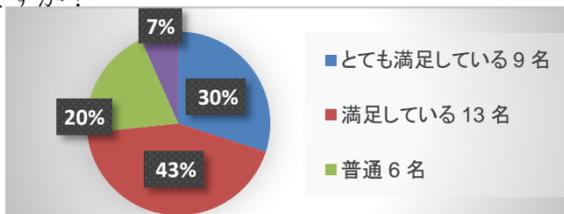
1 とても満足している	9名	30%
2 満足している	18名	60%
3 普通	2名	7%
4 やや不満	1名	3%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- 各テーブルにマイクを置いて欲しい、質問するたびスタッフが来るのを待ったりすると講義の邪魔をしてしまったような気持ちになる

Q12. コーヒーブレイクで出されたコーヒー、紅茶などに関する満足度はどのぐらいですか？

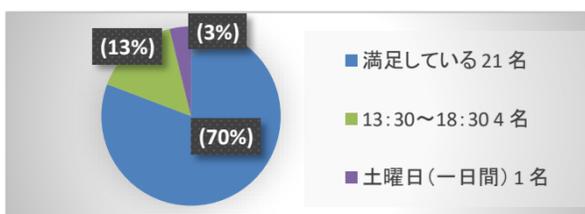
1 とても満足している	9名	(30%)
2 満足している	13名	(43%)
3 普通	6名	(20%)
4 やや不満	2名	(7%)
5 不満	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



- 気に入った。
- 小麦粉の製品が多かった
- 女性の受講者たちに小麦粉が入っている商品を出されていることが少し不
- 肥育食品が多い

Q13. 授業時刻 (15:00~19:30) はどうでしたか？他の意見がありますか。

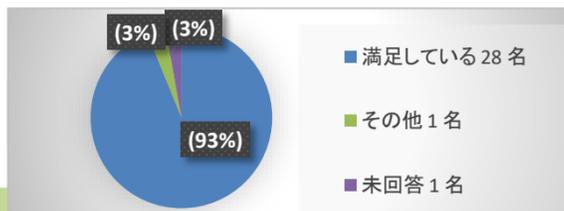
1 満足している	21名	(70%)
2 09:30~13:00	0名	(0%)
3 13:30~18:30	4名	(13%)
4 土曜日 (一日間)	1名	(3%)
5 その他	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



- 試験はあとで行って欲しい、レビューする時間が少なかった。

Q14. 授業を5日間実施したのはどうですか？他の意見がありますか？

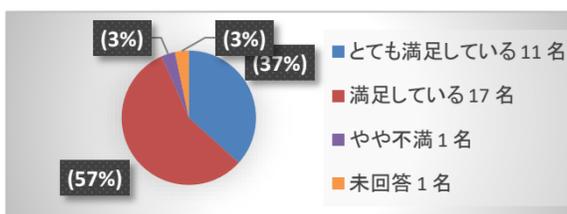
1 満足している	28名	(93%)
2 金曜日と土曜日 (一日間)	0名	(0%)
3 その他	1名	(3%)
未回答	1名	(3%)



- 月、1回ならいいかも

Q15. センターのスタッフに関する満足度がどのぐらいですか。

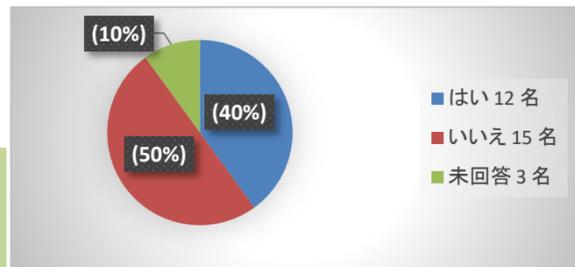
1 とても満足している	11名	(37%)
2 満足している	17名	(57%)
3 普通	0名	(0%)
4 やや不満	1名	(3%)
5 不満	0名	(0%)
6 未回答	1名	(3%)



- マーケティングの講師を間違っただか、あるいはコースのテーマを変えるべし

Q16. 今回のコースが期待に応えることが出来ましたか。

1 はい	12名	(40%)
2 いいえ	15名	(50%)
3 未回答	3名	(10%)

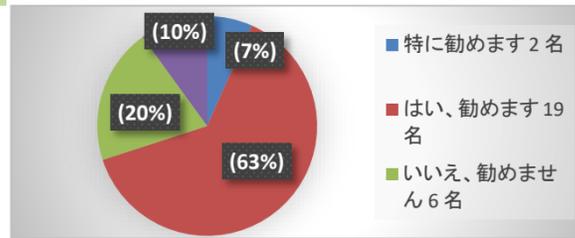


2名

- 期待に沿えなかった
- 理論が多かったため、少しつまらないと感じた
- 内容が良くない、冗長的
- 一番期待が高かったのに、もっとも期待に合わなかったコース
- マーケティングは幅広いテーマをカバーしています。主に理論が多かったため、実生活に即しているかは分かりません。モンゴルに欠けていることは何か、世界はどの方向に進んでいるか知りたかった。
- 一番重要なものを細かくした方がいい。一般的過ぎた。
- ソーシャルメディア・マーケティング、あるいはデジタルマーケティングについて教えていたらもっと面白かった

Q17. このプログラムを誰かにお勧めしますか。

1 特に勧めます	2名	(7%)
2 はい、勧めます	19名	(63%)
3 いいえ、勧めません	6名	(20%)
未回答	3名	(10%)



Q18. 今回のコースでモンゴルの現状に適応しないと思ったところがあれば、お書きください。

2名

- 事例をもっと面白くして欲しい
- 特になし
- モンゴルに来たことがない、モンゴルの状況が分からない講師を選んだため適していない
- 日本の事例が多かった、講師がモンゴル人の受講者たちを調べておいたら良かった。
- モンゴルに来るのが初めての人に予め、モンゴルについて研修したらいいかもしれない。モンゴルについて全く分からない人だったため、講義が難しくつまらなかった。

2名

Q19. 今回のコースで一番良かった点と良くなかった点を記入してください。

良かった点：

- 先生の努力、通訳が一貫している
- 事例が良かった
- 内容が冗長的だった
- 優しい、通訳、講師
- マーケティングについての多面的情報を与えた。
- テーマが古い、あるいは講師があまりよくできなかった。

良くなかった点：

- コースは全体的につまらなかった。内容が冗長的で、事例がたくさん変わった。
- 主に理論的だったこと
- 特になし
- もっと細かくしたい
- 講師の教え方

Q20. センターでは、ビジネスコース、日本語コース、相互理解促進事業を実施していますが、センターの事業に対して要望があればお書きください。

5日間で過ぎたら、すぐ試験があるのは気に入らなかった。仕事があるため、勉強する時間が足りなかった。理論が多いコースのに。

Q21. センターでは、ビジネスコース、日本語コース、相互理解促進事業を実施していますが、センターの事業に対して要望があればお書きください。

前の2つのコースが面白く、結果的だった。

Q22. アンケートに書けなかったことがあればお書きください。

このコースを違うアプローチで学びたい。  
経営戦略の前に行ったほうがいいかもしれない。

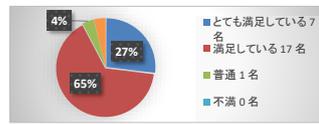
モンゴル・日本センター プログラム別アンケート集計結果

プログラム名 : マーケティング補講 (秋期通常コース経営者・管理職クラス)  
 実施期間 : 2020年01月20日～01月23日  
 受講者数 26名  
 アンケート回答者数 26名 回答率 (100%)

Q1. 年齢				
1 1～25代	1名	(4%)		
2 26～39歳	22名	(85%)		
3 40～59歳	3名	(12%)		
4 60歳以上	0名	(0%)		
Q2. 性別				
1 男性	13名	(50%)		
2 女性	13名	(50%)		
未回答	0名	(0%)		
Q3. 職種				
1 会社員	14名	(54%)		
2 自営業	11名	(42%)		
3 公務員	1名	(4%)		
4 無職/学生	0名	(0%)		
5 その他	0名	(0%)		
6 未回答	0名	(0%)		
Q4. 社員数				
1 1-9	3名	(12%)		
2 10-19	8名	(31%)		
3 20-49	5名	(19%)		
4 50-99	3名	(12%)		
5 100-199	3名	(12%)		
6 200以上	4名	(15%)		
未回答	0名	(0%)		
Q5. 職位				
1 企業幹部(社長、取締役、役員)	16名	(62%)		
2 部長、ディレクター、課長	2名	(8%)		
3 スペシャリスト	8名	(31%)		
4 その他	0名	(0%)		
未回答	0名	(0%)		
Q6. 部署				
1 総務	20名	(77%)		
2 人事・研修	1名	(4%)		
3 財務	2名	(8%)		
4 技術	0名	(0%)		
5 生産	1名	(4%)		
6 その他	2名	(8%)		
未回答	0名	(0%)		
Q7. 講義内容に関する満足度はどのぐらいですか。				
1 とても満足している	6名	23%		
2 満足している	18名	69%		
3 普通	2名	8%		
4 やや不満	0名	0%		
5 不満	0名	0%		
未回答	0名	0%		
- 講師の教え方がいい - 分かりやすい - 事例が分かりやすかった - 前回のコースに比べて非常に良かった - 演習が少なかったので少し寂しかった				
Q8. 講義内容の難しさはどのぐらいですか？				
1 とても難しい	0名	(0%)		
2 難しい	2名	(8%)		
3 普通	22名	(84%)		
4 やや簡単	2名	(8%)		
5 簡単	0名	(0%)		
未回答	0名	(0%)		
- 事例がいい - 内容が多すぎず、大事なことだけ教えてくれた - モンゴルの事例がいい				
Q9. 日本人講師の教え方に関する満足度はどのぐらいですか？				
1 とても満足している	5名	19%		
2 満足している	17名	65%		
3 普通	4名	15%		
4 やや不満	0名	0%		
5 不満	0名	0%		
未回答	0名	0%		
- 受講生1人1人に向けて説明してくれていた				
Q10. 通訳に関する満足度はどのぐらいですか？ (D. Enkhbold)				
1 とても満足している	6名	23%		
2 満足している	17名	65%		
3 普通	3名	12%		
4 やや不満	0名	0%		
5 不満	0名	0%		
未回答	0名	0%		
- 所々分かりづらい通訳があった				
Q11. ビジネス交流促進事業の専門家に関する満足度はどのぐらいですか？				
1 とても満足している	9名	35%		
2 満足している	15名	58%		
3 普通	2名	8%		
4 やや不満	0名	0%		
5 不満	0名	0%		
未回答	0名	0%		
- 内容がシンプルで両国の比較があつてよかった - モンゴルについて詳しい方だった				

Q12. ゲーム形式でのものを販売する演習について意見ありますか？

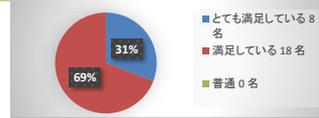
1 とても満足している	7名	27%
2 満足している	17名	65%
3 普通	1名	4%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	1名	4%



- 実物を使った演習なのでよかった
- もっと楽しくできるように工夫すればもっと良くなる

Q13. 講座で使われた機材・設備に関する満足度はどのくらいですか。

1 とても満足している	8名	(31%)
2 満足している	18名	(69%)
3 普通	0名	(0%)
4 やや不満	0名	(0%)
5 不満	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



-

Q14. コーヒーブレイクで出されたコーヒー、紅茶などに関する満足度はどのくらいですか。

1 とても満足している	4名	(15%)
2 満足している	15名	(58%)
3 普通	6名	(23%)
4 やや不満	0名	(0%)
5 不満	1名	(4%)
未回答	0名	(0%)



- 種類が少なかった

Q15. 授業の実施時間（15:00-19:30）について意見ありますか？ 他の意見がありましたら教えてください。

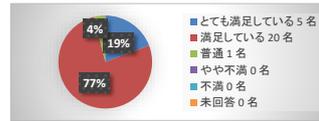
1 満足している	16名	(62%)
2 3日間がいいと思う	3名	(12%)
3 金曜日と土曜日（一日間）	0名	(0%)
4 その他	2名	(8%)
未回答	0名	(0%)



- 午前中の方がいいと思う 4名

Q16. センターのスタッフに関する満足度がどのくらいですか。

1 とても満足している	5名	(19%)
2 満足している	20名	(77%)
3 普通	1名	(4%)
4 やや不満	0名	(0%)
5 不満	0名	(0%)
6 未回答	0名	(0%)



- 優しい

Q17. 今回のコースが期待に応えることが出来ましたか。

1 はい	25名	(96%)
2 いいえ	1名	(4%)
未回答	0名	(0%)



- 前回のコースで理解できなかったことが理解できた
- モンゴルの事例がいい

Q18. 今回のコースでモンゴルの現状に適応しないと思ったところがあれば、お書きください。

- インターネットの事例

Q19. 今回のコースで一番良かった点と良くなかった点を記入してください。

**良かった点：**

- 専門家が講義をしてくれたこと
- 講師は前回の講師より良くて、教材も効果的なものだった
- 内容が改善されていたこと
- 講師の説明
- コースの進み方
- 事例 2名
- もう一度実施してくれたありがとう
- プレゼンテーション

**良くなかった点：**

- コーヒーブレイク
- 
- 

Q20. センターでは、ビジネスコース、日本語コース、相互理解促進事業を実施していますが、センターの事業に対して要望があればお書きください。

- 財務、戦略、人事管理のコース
- 食品製造
- 生産管理
- 自己啓発
- 倉庫管理 2名

Q21. センターでは、ビジネスコース、日本語コース、相互理解促進事業を実施していますが、センターの事業に対して要望があればお書きください。

-

Q22. アンケートに書けなかったことがあればお書きください。

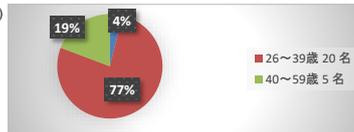
- 教材のプリントはカラーであればいいと思う

モンゴル・日本センター プログラム別アンケート集計結果

プログラム名 : 人事管理 (秋期通常コース経営者クラス)  
 実施期間 : 2019年10月14日～10月19日  
 受講者数 : 30名  
 アンケート回答者数 : 26名 回答率 (87%)

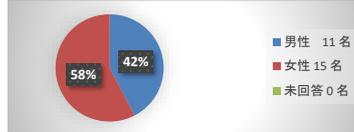
Q1. 年齢

1 1～25代	1名	(4%)
2 26～39歳	20名	(77%)
3 40～59歳	5名	(19%)
4 60歳以上	0名	(0%)



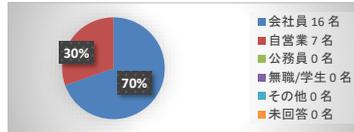
Q2. 性別

1 男性	11名	(42%)
2 女性	15名	(58%)
未回答	0名	(0%)



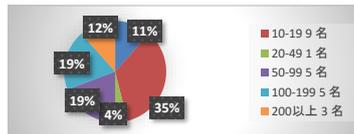
Q3. 職種

1 会社員	16名	(62%)
2 自営業	7名	(27%)
3 公務員	0名	(0%)
4 無職/学生	0名	(0%)
5 その他	0名	(0%)
6 未回答	0名	(0%)



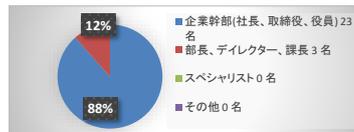
Q4. 社員数

1 1-9	3名	(12%)
2 10-19	9名	(35%)
3 20-49	1名	(4%)
4 50-99	5名	(19%)
5 100-199	5名	(19%)
6 200以上	3名	(12%)
未回答	0名	(0%)



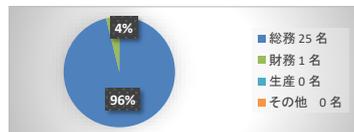
Q5. 職位

1 企業幹部(社長、取締役、役員)	23名	(88%)
2 部長、ディレクター、課長	3名	(12%)
3 スペシャリスト	0名	(0%)
4 その他	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



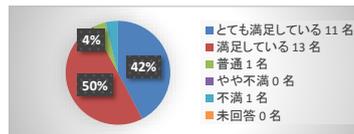
Q6. 部署

1 総務	25名	(96%)
2 人事・研修	0名	(0%)
3 財務	1名	(4%)
4 技術	0名	(0%)
5 生産	0名	(0%)
6 その他	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



Q7. 講義内容に関する満足度はどのぐらいですか。

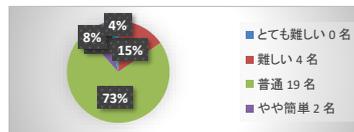
1 とても満足している	11名	42%
2 満足している	13名	50%
3 普通	1名	4%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	1名	4%
未回答	0名	0%



- 必要な知識を全部得た  
 - 必要な講義だった 2名  
 - 教材が良い

Q8. 講義内容の難しさはどのぐらいですか？

1 とても難しい	0名	(0%)
2 難しい	4名	(15%)
3 普通	19名	(73%)
4 やや簡単	2名	(8%)
5 簡単	1名	(4%)
未回答	0名	(0%)



- やったことがないものもあった。  
 - 人事管理について基礎知識が足りなかった  
 - 理論が多かった

Q9. 日本人講師の教え方に関する満足度はどのぐらいですか？

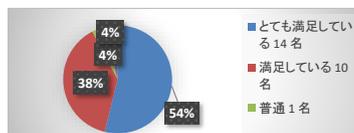
1 とても満足している	9名	35%
2 満足している	13名	50%
3 普通	4名	15%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- 心から教えてくれた  
 - 事例が良かった 2名  
 - 質問の回答を100%もらっていない  
 - グループディスカッションが少なかった 2名

Q10. 通訳に関する満足度はどのぐらいですか？ (TS. Badraa)

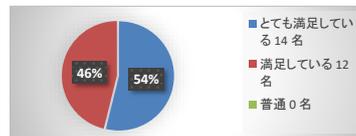
1 とても満足している	14名	54%
2 満足している	10名	38%
3 普通	1名	4%
4 やや不満	1名	4%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- 通訳者が良い  
 - 専門の通訳者  
 - 場合によって詳しく説明してくれた  
 - 同じテンポで話していた

Q11. 講座で使われた機材・設備に関する満足度はどのくらいですか。

1 とても満足している	14名	54%
2 満足している	12名	46%
3 普通	0名	0%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



Q12. コーヒーブレイクで出されたコーヒー、紅茶などに関する満足度はどのくらいですか？

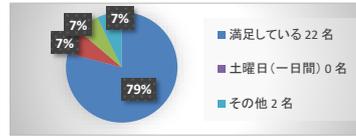
1 とても満足している	5名	(19%)
2 満足している	15名	(58%)
3 普通	3名	(12%)
4 やや不満	3名	(12%)
5 不満	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



- 公開されていない
- パーカーが冷たく、品質が悪い
- カップケーキを入れてほしくない

Q13. 授業時刻 (9:30~13:00) はどうでしたか？他の意見がありますか。

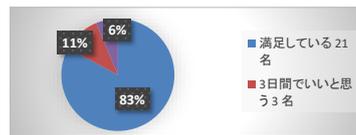
1 満足している	22名	(85%)
2 13:30~18:00	2名	(8%)
3 17:30~20:30	0名	(7%)
4 土曜日 (一日間)	0名	(0%)
5 その他	2名	(8%)
未回答	0名	(0%)



- 土曜日の講義10時もしくは11時に開始してほしい
- 8:30-12:00

Q14. 授業を6日間実施したのはどうですか？他の意見がありますか？

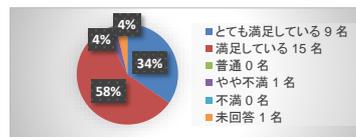
1 満足している	21名	(88%)
2 3日間がいいと思う	3名	(12%)
3 金曜日と土曜日 (一日間)	0名	(0%)
4 その他	2名	(7%)
未回答	0名	(0%)



- 5日にしたい
- 土曜日に9時から15時まで

Q15. センターのスタッフに関する満足度がどのくらいですか。

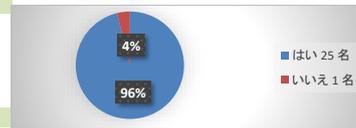
1 とても満足している	9名	(35%)
2 満足している	15名	(58%)
3 普通	0名	(0%)
4 やや不満	1名	(4%)
5 不満	0名	(0%)
6 未回答	1名	4%



- 満足
- 最初の3日間話が長かった
- コミュニケーション能力がない

Q16. 今回のコースが期待に応えることが出来ましたか。

1 はい	25名	(96%)
2 いいえ	1名	(4%)



- 会社で実施をする

Q17. このプログラムを誰かに勧めますか。

1 特に勧めます	10名	(38%)
2 はい、勧めます	13名	(50%)
3 いいえ、勧めません	2名	(8%)



- 社会的に必要な講義
- 人事管理について短期間で教わった

Q18. 今回のコースでモンゴルの現状に適応しなかったところがあれば、お書きください。

- 必要な知識を得る 2名

Q19. 今回のコースで一番良かった点と良くなかった点を記入してください。

- 良かった点：
- 部下とのコミュニケーションの取り方をもっと詳しく聞きたい 2名
  - MBO、評価シート
  - 先生の知識
  - 最後の2日が良かった
  - 教材が実例があって良かった
- 良くなかった点：
- 時間短い
  - グループディスカッションが少なかった
  - 全講義の最後にテストない方がいい
  - センタースタッフ

Q20. センターでは、ビジネスコース、日本語コース、相互理解促進事業を実施していますが、センターの事業に対して要望があればお書き

- コーチング、MBO 2名
- 財務、法律
- 生産管理
- 人事管理についてもっと詳しく教わりたい

Q21. センターでは、ビジネスコース、日本語コース、相互理解促進事業を実施していますが、センターの事業に対して要望があればお書き

Q22. アンケートに書けなかったことがあればお書きください。

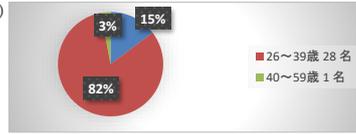
モンゴル・日本センター プログラム別アンケート集計結果

プログラム名 : 人事管理 (秋期通常コース管理職クラス)  
 実施期間 : 2019年10月14日～10月18日  
 受講者数 : 41名  
 アンケート回答者数 : 34名

回答率 (83%)

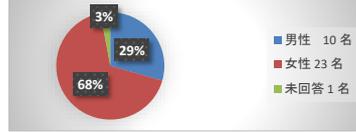
Q1. 年齢

1 1～25代	5名	(15%)
2 26～39歳	28名	(82%)
3 40～59歳	1名	(3%)
4 60歳以上	0名	(0%)



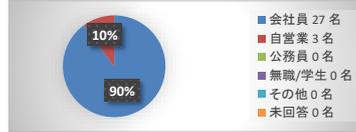
Q2. 性別

1 男性	10名	(29%)
2 女性	23名	(68%)
未回答	1名	(3%)



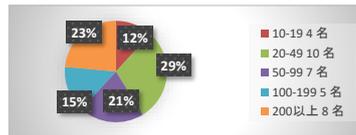
Q3. 職種

1 会社員	27名	(79%)
2 自営業	3名	(9%)
3 公務員	0名	(0%)
4 無職/学生	0名	(0%)
5 その他	0名	(0%)
6 未回答	0名	(0%)



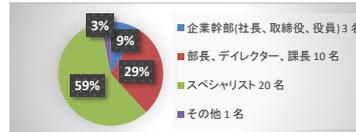
Q4. 社員数

1 1-9	0名	(0%)
2 10-19	4名	(12%)
3 20-49	10名	(29%)
4 50-99	7名	(21%)
5 100-199	5名	(15%)
6 200以上	8名	(24%)
未回答	0名	(0%)



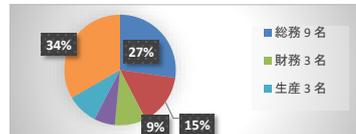
Q5. 職位

1 企業幹部(社長、取締役、役員)	3名	(9%)
2 部長、ディレクター、課長	10名	(29%)
3 スペシャリスト	20名	(59%)
4 その他	1名	(3%)
未回答	0名	(0%)



Q6. 部署

1 総務	9名	(26%)
2 人事・研修	5名	(15%)
3 財務	3名	(9%)
4 技術	2名	(6%)
5 生産	3名	(9%)
6 その他	11名	(32%)
未回答	0名	(0%)



Q7. 講義内容に関する満足度はどのぐらいですか。

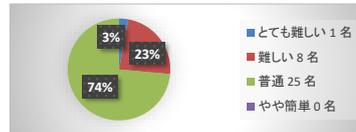
1 とても満足している	17名	50%
2 満足している	17名	50%
3 普通	0名	0%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- 必要な知識を得た 3名
- 通訳者が分かり易く通訳してくれた 2名
- 事例がたくさんあって分かり易かった 2名
- 分かり易く、話が整理されていた 2名
- 満足

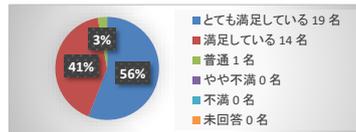
Q8. 講義内容の難しさはどのぐらいですか？

1 とても難しい	1名	(3%)
2 難しい	8名	(24%)
3 普通	25名	(74%)
4 やや簡単	0名	(0%)
5 簡単	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



Q9. 日本人講師の教え方に関する満足度はどのぐらいですか？

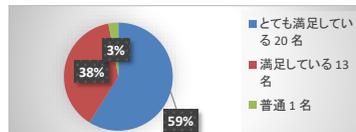
1 とても満足している	19名	56%
2 満足している	14名	41%
3 普通	1名	3%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- 満足
- 面白かった
- ゲームと実例があって面白かった

Q10. 通訳に関する満足度はどのぐらいですか？ (S. Lkhamchimeg)

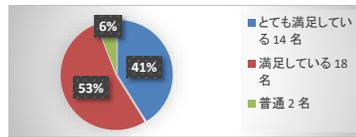
1 とても満足している	20名	59%
2 満足している	13名	38%
3 普通	1名	3%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- 専門的に通訳してくれた、声がいい 3名
- マイクの使い方に問題があった
- 分かり易く通訳してくれた

Q11. 講座で使われた機材・設備に関する満足度はどのくらいですか。

1 とても満足している	14名	41%
2 満足している	18名	53%
3 普通	2名	6%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- 準備されていた
- マイクの不具合があった
- 1グループにつき1マイクをあったほうがいい

Q12. コーヒーブレイクで出されたコーヒー、紅茶などに関する満足度はどのくらいですか？

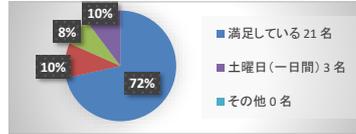
1 とても満足している	10名	(29%)
2 満足している	16名	(47%)
3 普通	7名	(21%)
4 やや不満	1名	(3%)
5 不満	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



- 前回より品質が落ちている
- CHOCO CHIPがまずい

Q13. 授業時刻 (9:30~13:00) はどうでしたか？他の意見がありますか。

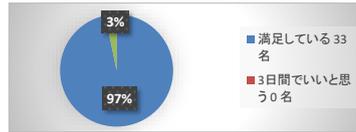
1 満足している	21名	(62%)
2 13:30~18:00	3名	(9%)
3 17:30~20:30	7名	(7%)
4 土曜日 (一日間)	3名	(9%)
5 その他	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



- 報告書を提出する期間だったので土曜日に1日講義にしてほしい
- 時に仕事から電話があるため土曜日に1日講義にしてほしい

Q14. 授業を6日間実施したのはどうですか？他の意見がありますか？

1 満足している	33名	(88%)
2 3日間がいいと思う	0名	(0%)
3 金曜日と土曜日 (一日間)	1名	(3%)
4 その他	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



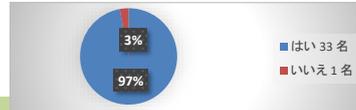
Q15. センターのスタッフに関する満足度がどのくらいですか。

1 とても満足している	15名	(44%)
2 満足している	17名	(50%)
3 普通	0名	(0%)
4 やや不満	0名	(0%)
5 不満	0名	(0%)
6 未回答	1名	3%



Q16. 今回のコースが期待に応えることが出来ましたか。

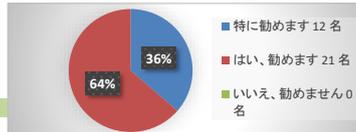
1 はい	33名	(97%)
2 いいえ	1名	(3%)
3	0名	(0%)



- 内容もっと詳しく聞きたい

Q17. このプログラムを誰かにお勧めしますか。

1 特に勧めます	12名	(35%)
2 はい、勧めます	21名	(62%)
3 いいえ、勧めません	0名	(0%)



- もっと人事管理について

Q18. 今回のコースでモンゴルの現状に適応しないと思ったところがあれば、お書きください。

- 日本的経営について詳しく聞きたい

Q19. 今回のコースで一番良かった点と良くなかった点を記入してください。

- 良かった点：
- グループワーク 3名
  - 講師、通訳者
  - 講師の例えが良かった
  - ゲームを通して知識を得た 7名
  - 講義全般に満足
  - 問題解決について分かり易く、事例をあげて説明してくれた
  - 同僚とのコミュニケーションの取り方
  - 会社で起きている問題の解決策を学んだ
  - 実例があって面白かった
  - テーマ
  - 講師の教え方
- 良くなかった点：
- グループワークが少ない
  - 出欠を取りが厳しい
  - 教材が所々分かりにくい
  - 理論が多い
  - 時間が足りない

Q20. センターでは、ビジネスコース、日本語コース、相互理解促進事業を実施していますが、センターの事業に対して要望があればお書き

- タイムマネジメント

Q21. センターでは、ビジネスコース、日本語コース、相互理解促進事業を実施していますが、センターの事業に対して要望があればお書き

- 先進国の講師から学ぶ機会を与えていることに感謝している
- 初参加

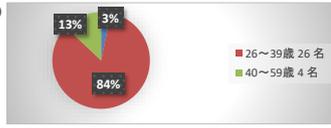
Q22. アンケートに書けなかったことがあればお書きください。

モンゴル・日本センター プログラム別アンケート集計結果

プログラム名 : 財務管理 (秋期通常コース経営者クラス)  
 実施期間 : 2019年09月30日～10月05日  
 受講者数 : 35名  
 アンケート回答者数 : 31名 回答率 (89%)

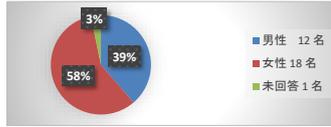
Q1. 年齢

1 1～25代	1名	(3%)
2 26～39歳	26名	(84%)
3 40～59歳	4名	(13%)
4 60歳以上	0名	(0%)



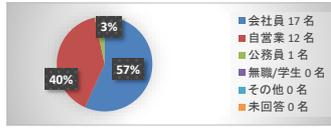
Q2. 性別

1 男性	12名	(39%)
2 女性	18名	(58%)
未回答	1名	(3%)



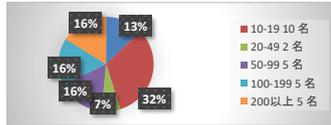
Q3. 職種

1 会社員	17名	(55%)
2 自営業	12名	(39%)
3 公務員	1名	(3%)
4 無職/学生	0名	(0%)
5 その他	0名	(0%)
6 未回答	0名	(0%)



Q4. 社員数

1 1-9	4名	(13%)
2 10-19	10名	(32%)
3 20-49	2名	(6%)
4 50-99	5名	(16%)
5 100-199	5名	(16%)
6 200以上	5名	(16%)
未回答	0名	(0%)



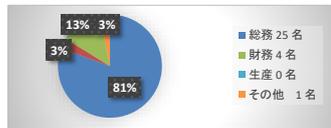
Q5. 職位

1 企業幹部(社長、取締役、役員)	22名	(71%)
2 部長、ディレクター、課長	5名	(16%)
3 スペシャリスト	4名	(13%)
4 その他	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



Q6. 部署

1 総務	25名	(81%)
2 人事・研修	1名	(3%)
3 財務	4名	(13%)
4 技術	0名	(0%)
5 生産	0名	(0%)
6 その他	1名	(3%)
未回答	0名	(0%)



- 国際関係 2名

Q7. 講義内容に関する満足度はどのぐらいですか。

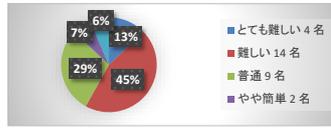
1 とても満足している	13名	42%
2 満足している	17名	55%
3 普通	1名	3%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- 重要な知識を獲得した  
 - 教師の教え方法が良くて、分かりやすかった  
 - 教師の経験が豊富

Q8. 講義内容の難しさはどのぐらいですか？

1 とても難しい	4名	(13%)
2 難しい	14名	(45%)
3 普通	9名	(29%)
4 やや簡単	2名	(6%)
5 簡単	2名	(6%)
未回答	0名	(0%)



- 専門は経済だから簡単だった。 2名  
 - 医者だから財務管理を分らないので難しかった  
 - 大学生のとき勉強していた  
 - 基礎知識がない人は多かった

Q9. 日本人講師の教え方に関する満足度はどのぐらいですか？

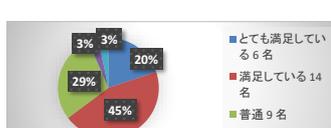
1 とても満足している	11名	35%
2 満足している	16名	52%
3 普通	4名	13%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- 講義資料は分かりやすかった  
 - 実践的な事例があった  
 - 講義内容を全部説明した 2名

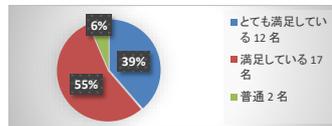
Q10. 通訳に関する満足度はどのぐらいですか？ (S. Lkhamchimeg)

1 とても満足している	6名	20%
2 満足している	14名	45%
3 普通	9名	29%
4 やや不満	1名	3%
5 不満	1名	3%
未回答	0名	0%



- 通訳はいい。コミュニケーション力を高めた方がいいと思う 3名  
 - 声が小さい  
 - 単純で話まらない、眠りそうで面白くなかった。  
 - 通訳者の説明が分かりにくかった 2名  
 - 専門的な通訳者

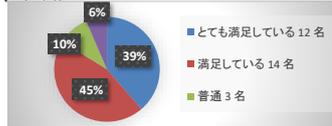
Q11. 講座で使われた機材・設備に関する満足度はどのくらいですか。		
1 とても満足している	12名	39%
2 満足している	17名	55%
3 普通	2名	6%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	0名	0%



- 最終の2日間エアコンから匂いがして不便だった。
- 教室の匂い

Q12. コーヒーブレイクで出されたコーヒー、紅茶などに関する満足度はどのくらいですか？

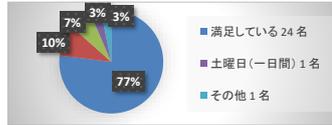
1 とても満足している	12名	(39%)
2 満足している	14名	(45%)
3 普通	3名	(10%)
4 やや不満	2名	(6%)
5 不満	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



- ベジタリアンなのでやや不満
- 新生食品、飲み物の種類が多かった。
- 種類が多くて、美味しかった

Q13. 授業時刻（9：30～13：00）はどうでしたか？他の意見がありますか。

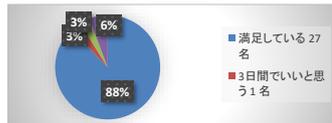
1 満足している	24名	(77%)
2 13：30～18：00	2名	(10%)
3 17：30～20：30	3名	(7%)
4 土曜日（一日間）	1名	(3%)
5 その他	1名	(3%)
未回答	0名	(0%)



- 平日以外
- 8:30-12:00
- 現在の時間が適していないと思う。仕事に負担がかかっている。

Q14. 授業を6日間実施したのはどうですか？他の意見がありますか？

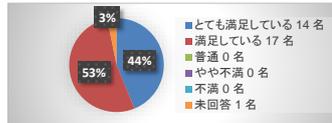
1 満足している	27名	(88%)
2 3日間がいいと思う	1名	(3%)
3 金曜日と土曜日（一日間）	1名	(3%)
4 その他	2名	(6%)
未回答	0名	(0%)



- 月から金 2名

Q15. センターのスタッフに関する満足度がどのくらいですか。

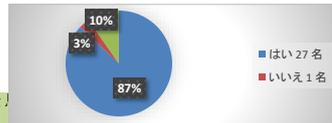
1 とても満足している	14名	(45%)
2 満足している	17名	(55%)
3 普通	0名	(0%)
4 やや不満	0名	(0%)
5 不満	0名	(0%)
6 未回答	1名	3%



- 優しい

Q16. 今回のコースが期待に応えることが出来ましたか。

1 はい	27名	(87%)
2 いいえ	1名	(3%)
3	3名	(10%)



- 日本の事例が多かった、モンゴルの事例で説明した方が分かりやすいと
- 重要な講義だったが、つまらなかった。

Q17. このプログラムを誰かにお勧めしますか。

1 特に勧めます	11名	(35%)
2 はい、勧めます	18名	(58%)
3 いいえ、勧めません	0名	(0%)



- 効率的で、実践的なコース

Q18. 今回のコースでモンゴルの現状に適応しないと思ったところがあれば、お書きください。

Q19. 今回のコースで一番良かった点と良くなかった点を記入してください。

良かった点：

- 財務管理の知識が上がったと思う。
- 講義の通りグループディスカッションをしていたのは気に入った。
- 内容と教師の教え方法 2名
- 財務分析 2名
- 整理がよい、教室が広い
- 内容はちょっと難しかった。
- 投資について
- 投資分析、キャッシュフロー

良くなかった点：

- 直接エクセルでやればよかった。
- 通訳者の声が低い

Q20. センターでは、ビジネスコース、日本語コース、相互理解促進事業を実施していますが、センターの事業に対して要望があればお書き

- ProjectXを弊社の職員に見せたい
- 日本での企業内研修がたくさんあった方がいと思う
- 実践的な講義であればいいと思う。
- 食品企業
- エクセル
- 財務管理を実践的にエクセルでやれるようなコースが欲しい
- もっとレベルを上げられる財務管理の専門コースが欲しい
- 国際関係
- 販売マネジメント
- 健康について
- 経営戦略の期間を増やしたい
- 企業マネジメント

Q21. センターでは、ビジネスコース、日本語コース、相互理解促進事業を実施していますが、センターの事業に対して要望があればお書き

- 応援する 2名
- 社会に貢献するコース行っていると思う
- ビジネス市場に影響を受けられるコースなどが行われていると思う。

Q22. アンケートに書けなかったことがあればお書きください。

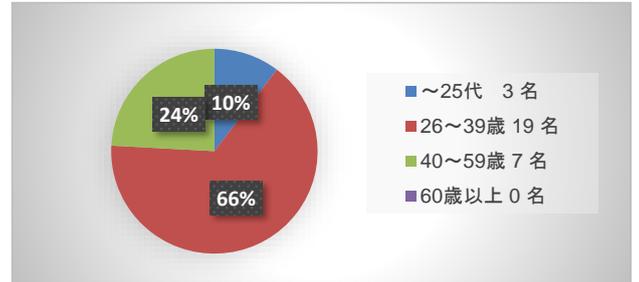
- 会社の負担金を高くして、より多くの人が日本研修に参加できるようにして欲しい

モンゴル・日本センター プログラム別アンケート集計結果

プログラム名 : 経営戦略通常コース  
 実施期間 : 2019年12月02日～12月07日  
 受講生 34名  
 アンケート回答者数 29名 回答率 (85%)

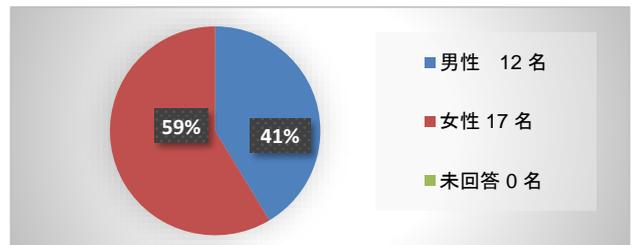
Q 1. 年齢

1 ~25代	3名	(10%)
2 26～39歳	19名	(66%)
3 40～59歳	7名	(24%)
4 60歳以上	0名	(0%)
5 未回答	0名	(0%)



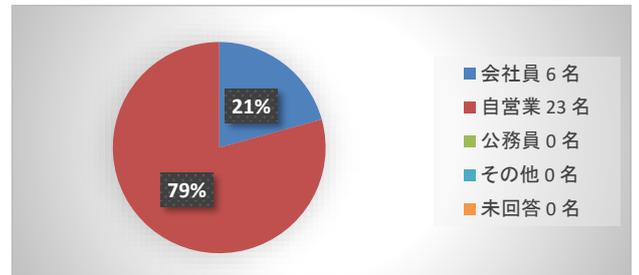
Q 2. 性別

1 男性	12名	(41%)
2 女性	17名	(59%)
3 未回答	0名	(0%)



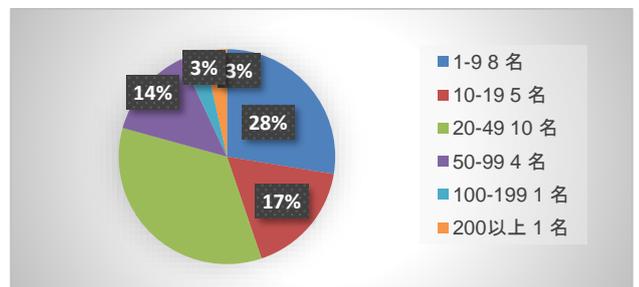
Q 3. 職種

1 会社員	6名	(21%)
2 自営業	23名	(79%)
3 公務員	0名	(0%)
4 無職/学生	0名	(0%)
5 その他	0名	(0%)
6 未回答	0名	(0%)



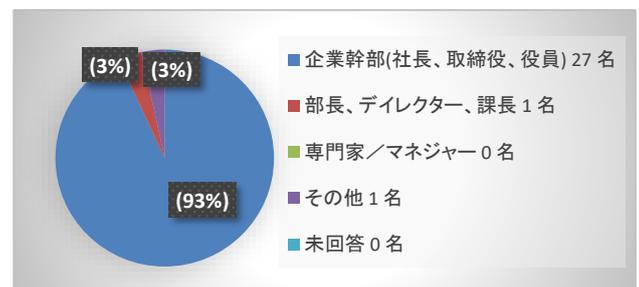
Q 4. 社員数

1 1-9	8名	(28%)
2 10-19	5名	(17%)
3 20-49	10名	(34%)
4 50-99	4名	(14%)
5 100-199	1名	(3%)
6 200以上	1名	(3%)
7 未回答	0名	(0%)



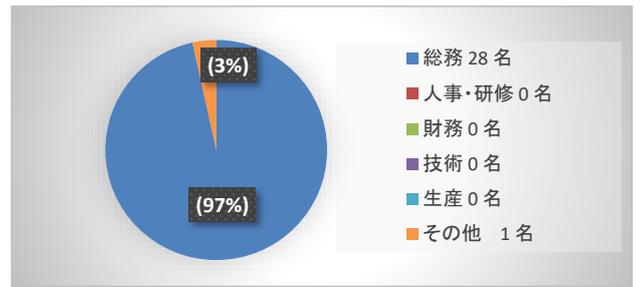
Q 5. 役職

1 企業幹部(社長、取締役、役員)	27名	(93%)
2 部長、ディレクター、課長	1名	(3%)
3 専門家/マネジャー	0名	(0%)
4 その他	1名	(3%)
5 未回答	0名	(0%)



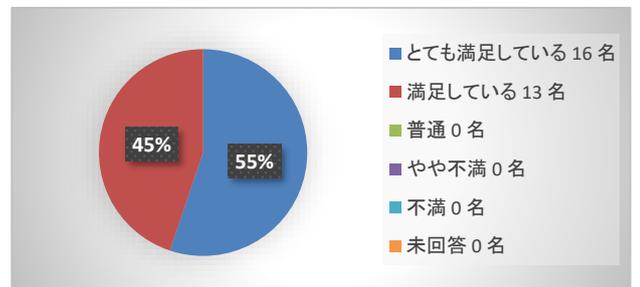
Q6. 部署

1 総務	28名	(97%)
2 人事・研修	0名	(0%)
3 財務	0名	(0%)
4 技術	0名	(0%)
5 生産	0名	(0%)
6 その他	1名	(3%)
7 未回答	0名	(0%)



Q7. 講義内容に関する満足度はどのぐらいですか。

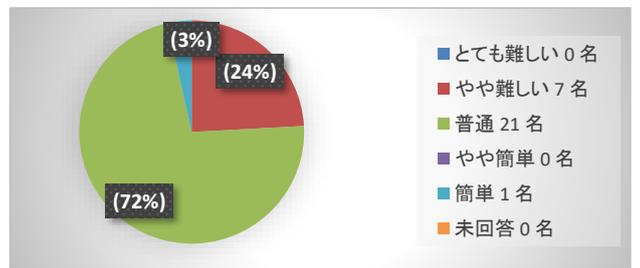
1 とても満足している	16名	(55%)
2 満足している	13名	(45%)
3 普通	0名	(0%)
4 やや不満	0名	(0%)
5 不満	0名	(0%)
6 未回答	0名	(0%)



- 分かり易い、事例が多い 3名
- 会社にとって戦略をなぜ必要なのかを分かった
- 具体的に教えてくれた
- 会社の経営戦略を出せるようになった
- 期待を上回る講義だった
- 短期間で会社の問題を解決できるようになったと思う
- モンゴル企業の事例を取り入れるとありがたい
- 多くの情報を得た
- 講師の教え方が良かった
- 講義内容がすぐに使える内容だった
- 短期間で多くの知識を得た
- 時々理論が長かった

Q8 講義内容の難しさはどのぐらいですか？

1 とても難しい	0名	(0%)
2 やや難しい	7名	(24%)
3 普通	21名	(72%)
4 やや簡単	0名	(0%)
5 簡単	1名	(3%)
6 未回答	0名	(0%)

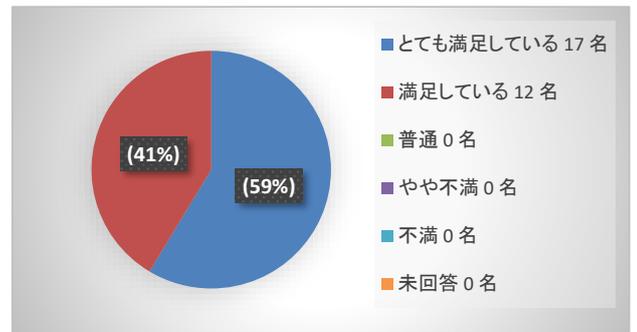


- 説明が分かり易い
- 理論、グループワーク、事例を組み合わせた
- 以前経営戦略の知識不足のため
- バランスがあった講義だった
- 知識不足のため難しかった
- 面白かった
- 基礎知識不足のため難しかった
- 講義をもっと詳しく進めたい

Q9. 日本人 講師の教え方に関する満足度はどのぐらいですか？

1 とても満足している	17名	(59%)
2 満足している	12名	(41%)
3 普通	0名	(0%)
4 やや不満	0名	(0%)
5 不満	0名	(0%)
6 未回答	0名	(0%)

- 経験豊富 2名
- 分かり易く説明してくれた 2名
- 講師の教え方が良い 3名
- 理論と事例とグループワークの組み合わせ分かり易かった
- 事例がたくさんあった 2名
- 最近の情報をたくさん得られた
- 話が整理されていた
- 出来れば1時間個別相談したい

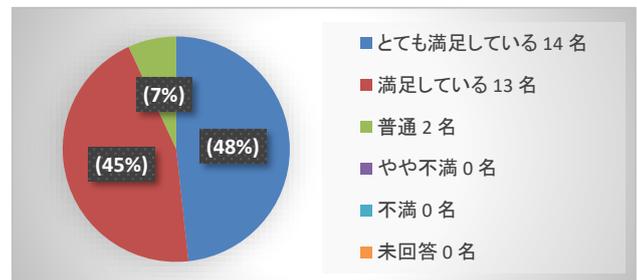


Q10. 通訳に関する満足度はどのぐらいですか？

D. ENKHBOLD

1 とても満足している	14名	(48%)
2 満足している	13名	(45%)
3 普通	2名	(7%)
4 やや不満	0名	(0%)
5 不満	0名	(0%)
6 未回答	0名	(0%)

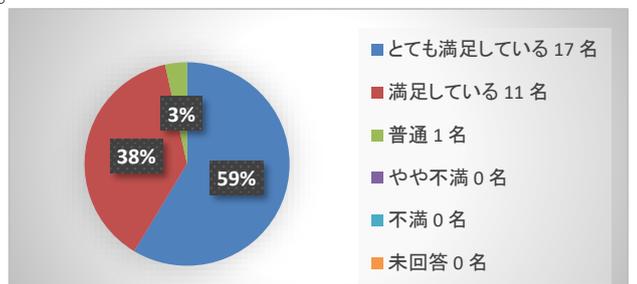
- 分かり易く通訳してくれた 4名
- 口ぐせが多い
- 経験豊富な通訳者 2名



Q11. 講座で使われた機材・設備に関する満足度はどのぐらいですか。

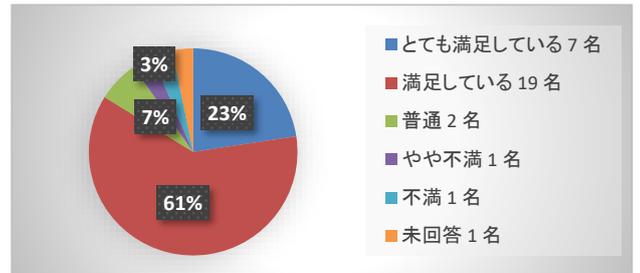
1 とても満足している	17名	(59%)
2 満足している	11名	(38%)
3 普通	1名	(3%)
4 やや不満	0名	(0%)
5 不満	0名	(0%)
6 未回答	0名	(0%)

- プロジェクターの字が見にくかった
- 教科書、配布資料が多く、良かった



Q12. コーヒーブレイクで出されたコーヒー、紅茶、サンドイッチに関する満足度はどのぐらいですか？

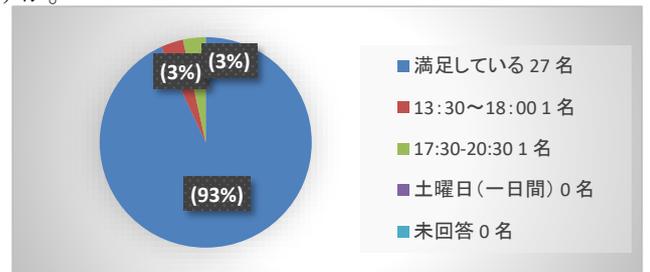
1 とても満足している	7名	(24%)
2 満足している	19名	(66%)
3 普通	2名	(7%)
4 やや不満	1名	(3%)
5 不満	1名	(3%)
6 未回答	1名	(3%)



- 毎日新しいものだった
- 小麦使ったものを入れなくてほしい
- 冷めていても食べれるものがあると嬉しい
- グリーンティーがない、サンドイッチが冷たい

Q13. 授業時刻（09:30～13:00）はどうですか？他の意見がありますか。

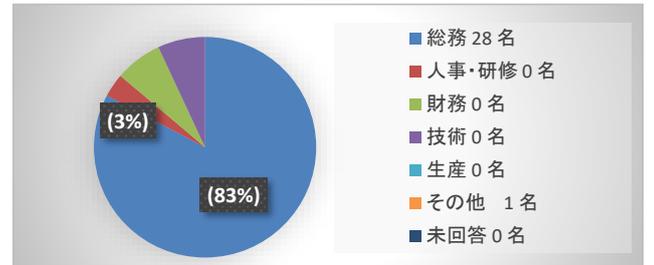
1 満足している	27名	(93%)
2 13:30～18:00	1名	(3%)
3 17:30～20:30	1名	(3%)
4 土曜日（一日間）	0名	(0%)
5 未回答	0名	(0%)



- 土日に行った方が仕事時間を取らない。
- 朝渋滞が多く、交通が不便
- 17:30-20:30の方がいいと思った

Q14. 授業を6日間実施したのはどうですか？他の意見がありますか。

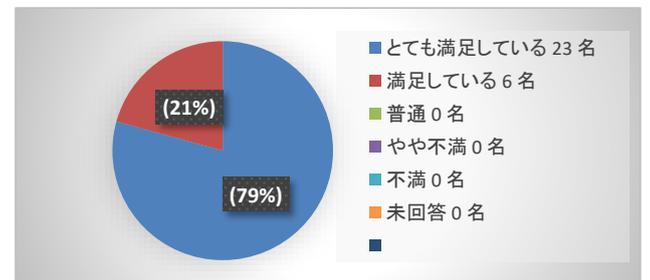
1 満足している	24名	(83%)
2 平日3日間	1名	(3%)
3 金曜日と土曜日（一日間）	2名	(7%)
4 その他	2名	(7%)
5 未回答	0名	(0%)



- 月曜日から金曜日で実施してほしい

Q15. センターのスタッフに関する満足度がどのぐらいですか。

1 とても満足している	23名	(79%)
2 満足している	6名	(21%)
3 普通	0名	(0%)
4 やや不満	0名	(0%)
5 不満	0名	(0%)
6 未回答	0名	(0%)

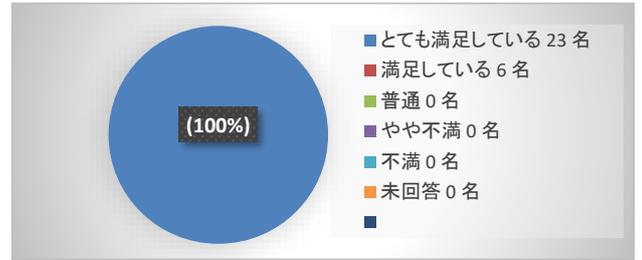


- 経験、知識あるスタッフだった 2名
- 迅速な対応だった

Q16. 今回のコースがご期待に応えることができましたか。

- |       |     |        |
|-------|-----|--------|
| 1 はい  | 29名 | (100%) |
| 2 いいえ | 0名  | (0%)   |
| 3 未回答 | 0名  | (0%)   |

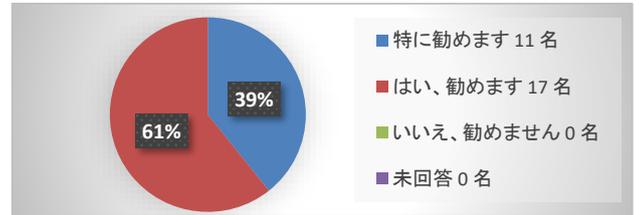
- 若い経営者にとって今後会社の事業予定を立てやすくなった
- 期待に応じた講義だった 2名



Q17. このプログラムを誰かにお勧めしますか。

- |             |     |       |
|-------------|-----|-------|
| 1 特に勧めます    | 11名 | (38%) |
| 2 はい、勧めます   | 17名 | (59%) |
| 3 いいえ、勧めません | 0名  | (0%)  |
| 4 未回答       | 0名  | (0%)  |

- モンゴル企業の問題を解決できる講義と思う
- 短期間で多くの知識を得た



Q18. 今回のコースでモンゴルの現状に適応しないと思ったところがあれば、お書きください。

- たくさんあった
- もっとモンゴルの事例を取り入れたい  
日本の事例

Q19. 今回のコースで一番良かった点と良くなかった点を記入してください。

良かった点：

- グループワーク 7名
- 自社にとってビジョン、ミッションの必要性が分かった
- 内容分かり易く、グループワークでより深く理解度が上がった
- 商品を消費者側から見る
- 講義内容 3名
- 経験豊富な日本人講師
- 講義時間を守ること
- 講義内容、スタッフのコミュニケーションの取り方
- 講師のスキル、通訳者のスキル、スタッフのスキルに満足だった
- 最近のマネジメントについて教わった

- 日本人講師の理論
- プロジェクトXが良かった
- 講義内容
- 講師の教え方

良くなかった点：

- 教科書や配布した資料の字が小さく見にくかった
- 教室環境、講師と通訳者の声のトーンで少し眠くなる時もあった
- 他の受講者
- 資料が時間内で終わってないこと 2名
- コーヒーブレイクのスナック

Q20. 今後モンゴル・日本センターでどのようなコースがあれば参加したいと思いますか。

- 通常コース卒業生向けの専門コース
- 中小企業向けの生産管理
- ビジネス法、規定
- 実務に基づいた授業
- ビジネスコンサルティング、投資
- オンラインマスター
- インターネット販売

Q21. センターでは、ビジネスコース、日本語コース、相互理解促進事業を実施していますが、センターの事業に対して要望があればお書きください。

- 満足
- 管理職に対して必要な講義だった

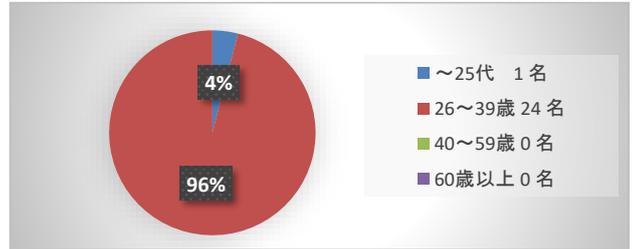
Q22. アンケートに書けなかったことがあればお書きください。

モンゴル・日本センター プログラム別アンケート集計結果

プログラム名 : 経営戦略通常コース「管理職クラス」  
 実施期間 : 2019年12月09日～12月13日  
 受講生 32名  
 アンケート回答者数 25名 回答率 (78%)

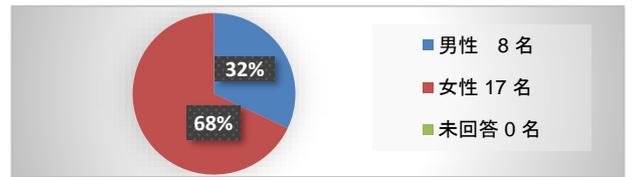
Q 1. 年齢

1 ~25代	1名	(4%)
2 26～39歳	24名	(96%)
3 40～59歳	0名	(0%)
4 60歳以上	0名	(0%)
5 未回答	0名	(0%)



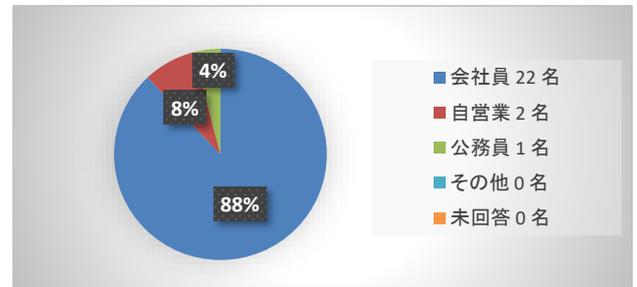
Q 2. 性別

1 男性	8名	(32%)
2 女性	17名	(68%)
3 未回答	0名	(0%)



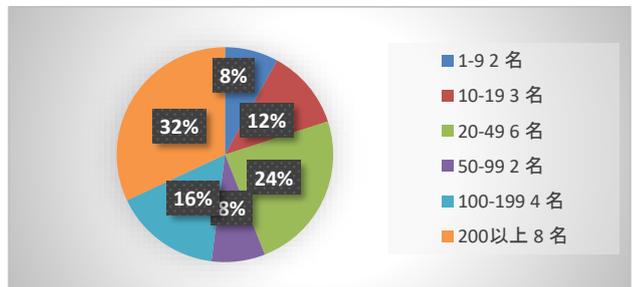
Q 3. 職種

1 会社員	22名	(88%)
2 自営業	2名	(8%)
3 公務員	1名	(4%)
4 無職/学生	0名	(0%)
5 その他	0名	(0%)
6 未回答	0名	(0%)



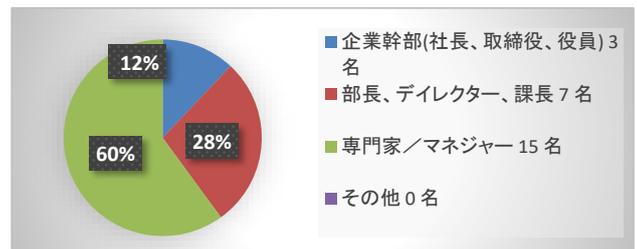
Q 4. 社員数

1 1-9	2名	(8%)
2 10-19	3名	(12%)
3 20-49	6名	(24%)
4 50-99	2名	(8%)
5 100-199	4名	(16%)
6 200以上	8名	(32%)
7 未回答	0名	(0%)



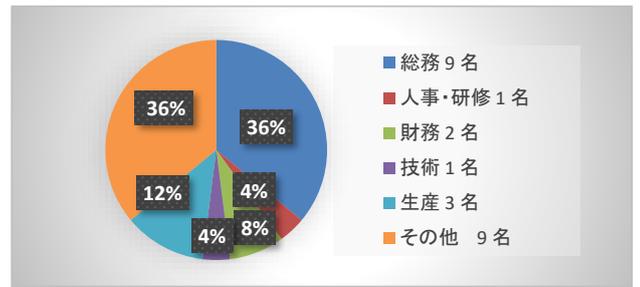
Q 5. 役職

1 企業幹部(社長、取締役、役員)	3名	(12%)
2 部長、ディレクター、課長	7名	(28%)
3 専門家/マネジャー	15名	(60%)
4 その他	0名	(0%)
5 未回答	0名	(0%)



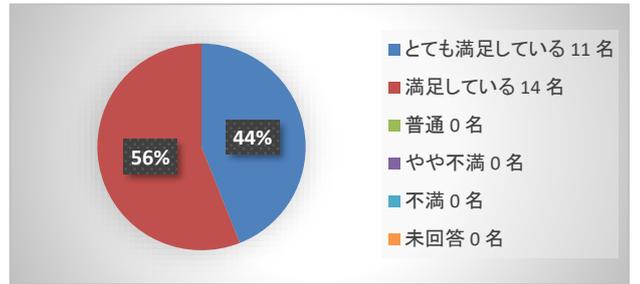
Q 6. 部署

1 総務	9 名	(36%)
2 人事・研修	1 名	(4%)
3 財務	2 名	(8%)
4 技術	1 名	(4%)
5 生産	3 名	(12%)
6 その他	9 名	(36%)
7 未回答	0 名	(0%)



Q7. 講義内容に関する満足度はどのぐらいですか。

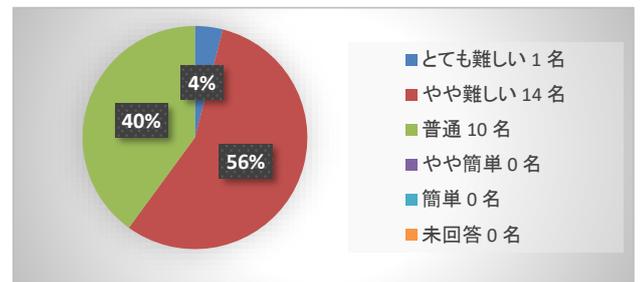
1 とても満足している	11 名	(44%)
2 満足している	14 名	(56%)
3 普通	0 名	(0%)
4 やや不満	0 名	(0%)
5 不満	0 名	(0%)
6 未回答	0 名	(0%)



- 幅広い知識が得られた 2名
- 講師の話すスピードが速い
- 事例に基づいて説明してくれた
- シンプルで分かりやすい、講師は理解しているかどうかは常に確認していたのは非常に良かった
- 会社に帰って直実施できる内容
- 内容は理論と実践が総合的に入っていていい
- 計画を立てるのに非常に役に立つ内容
- 事例を取り上げて、さらに演習をやっているのは効果的だと思う
- 戦略そのものを分かった
- 私にとって全く新しい内容でたくさん勉強になった。また、管理職の心構えが知った

Q8 講義内容の難しさはどのぐらいですか？

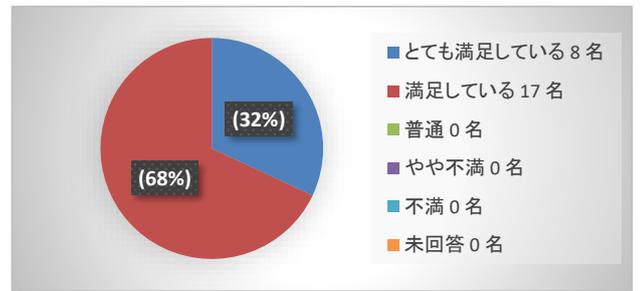
1 とても難しい	1 名	(4%)
2 やや難しい	14 名	(56%)
3 普通	10 名	(40%)
4 やや簡単	0 名	(0%)
5 簡単	0 名	(0%)
6 未回答	0 名	(0%)



- 短期間でたくさんの知識が得られた
- 基礎知識が少なかったので少し難しかった
- 多種類の理論が学べたが交えてしまう恐れがある
- 専門用語が少し難しかった
- 通訳が入っていたので時間の無駄がある
- ビジネスプランを立てる際に分からなかったことが分かった
- 初めて聞く内容なので多少難しかった

Q9.日本人講師の教え方に関する満足度はどのぐらいですか？

1 とても満足している	8名	(32%)
2 満足している	17名	(68%)
3 普通	0名	(0%)
4 やや不満	0名	(0%)
5 不満	0名	(0%)
6 未回答	0名	(0%)

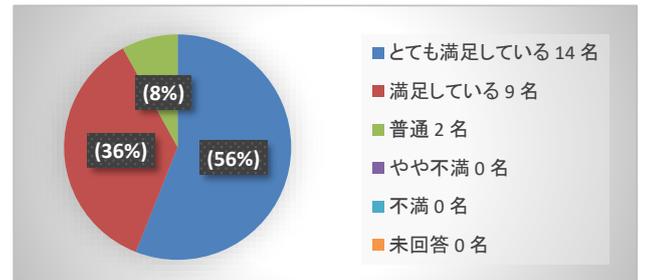


- プロでモンゴルの経済に関する知識が豊富
- 分かりやすくて演習がよかった
- 短時間でたくさんのこと教えようと頑張っていた、又、時間の使い方を学んだ
- グループ演習がいい 2名
- 演習をしてそのフィードバックをしっかりとやるので分かりやすかった
- 教え方がよくて納得するまで説明してくれる

Q10. 通訳に関する満足度はどのぐらいですか？

N.Batdelger

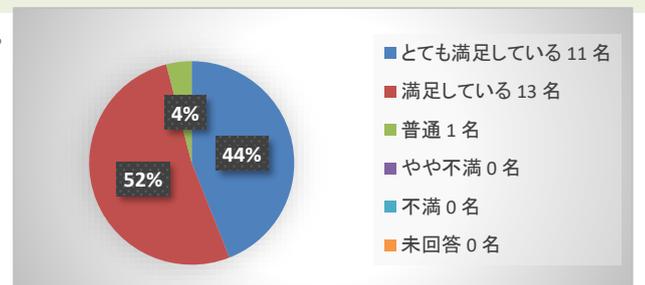
1 とても満足している	14名	(56%)
2 満足している	9名	(36%)
3 普通	2名	(8%)
4 やや不満	0名	(0%)
5 不満	0名	(0%)
6 未回答	0名	(0%)



- 経営の専門家なので分かりやすかった 2名
- スーパー通訳
- 通訳はいい、ただ、聞いている方に教科書を読み上げているように聞こえる
- 通訳しながら演習の手伝えをしてくれた
- 非常にいい 2名
- 通訳は上手だし、プラスで色々教えてくれる

Q11.講座で使われた機材・設備に関する満足度はどのぐらいですか。

1 とても満足している	11名	(44%)
2 満足している	13名	(52%)
3 普通	1名	(4%)
4 やや不満	0名	(0%)
5 不満	0名	(0%)
6 未回答	0名	(0%)

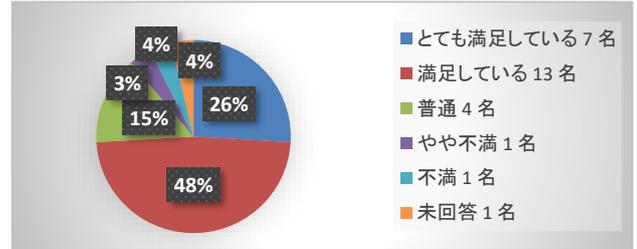


- 教材をもっとシンプルにすること
- 椅子が固い
- グループ演習の結果をスクリーンで映すのが新しかった
- しっかり整えていた

- 満足しているがホワイトボードを真ん中に置いた方がいいと思う

Q12. コーヒーブレイクで出されたコーヒー、紅茶、サンドイッチに関する満足度はどのぐらいですか？

1 とても満足している	7名	(28%)
2 満足している	13名	(52%)
3 普通	4名	(16%)
4 やや不満	1名	(4%)
5 不満	1名	(4%)
6 未回答	1名	(4%)



- 水が欲しい

- インスタントコーヒーをやめた方がいい

- 食べ物がおいしくない

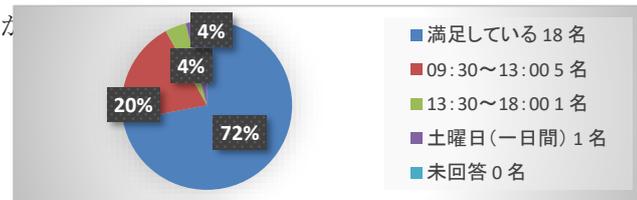
- 講義中のリフレッシュ

2名

- 満足

Q13. 授業時刻（15:00～19:30）はどうですか？他の意見がありますか？

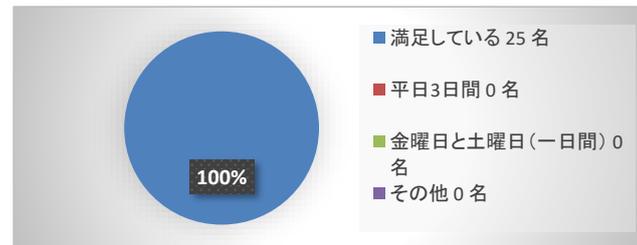
1 満足している	18名	(72%)
2 09:30～13:00	5名	(20%)
3 13:30～18:00	1名	(4%)
4 土曜日（一日間）	1名	(4%)
5 未回答	0名	(0%)



- 午前中だともっと集中できるかもしれない

Q14. 授業を5日間実施したのはどうですか？他の意見がありますか？

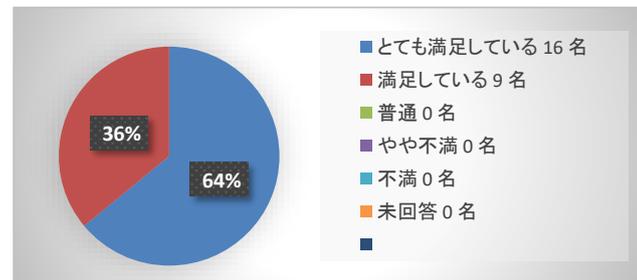
1 満足している	25名	(100%)
2 平日3日間	0名	(0%)
3 金曜日と土曜日（一日間）	0名	(0%)
4 その他	0名	(0%)
5 未回答	0名	(0%)



-

Q15. センターのスタッフに関する満足度がどのぐらいですか？

1 とても満足している	16名	(64%)
2 満足している	9名	(36%)
3 普通	0名	(0%)
4 やや不満	0名	(0%)
5 不満	0名	(0%)
6 未回答	0名	(0%)



- 丁寧に責任感がある。モンゴルでこれほどのサービスができる機関が少ない

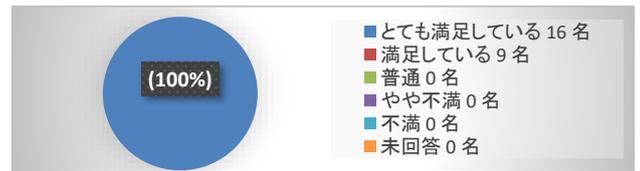
- 優しい

- コミュニケーションが上手で丁寧に優しい

- 配布資料などしっかり準備していた

Q16. 今回のコースがご期待に応えることができましたか。

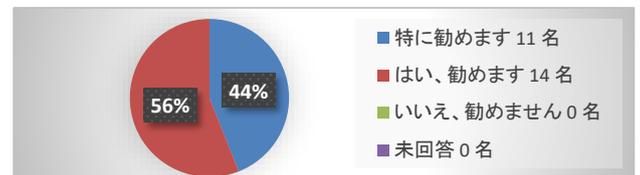
1 はい	25名	(100%)
2 いいえ	0名	(0%)
3 未回答	0名	(0%)



- 事業が拡大しているため非常に役に立った
- 管理職の心構えを知ったから
- 昇進したばかりのため必要だった知識が得られた

Q17. このプログラムを誰かにお勧めしますか。

1 特に勧めます	11名	(44%)
2 はい、勧めます	14名	(56%)
3 いいえ、勧めません	0名	(0%)
4 未回答	0名	(0%)



- ビジネス展開、将来を見据えることができるから勧める 2名
- 非常に勉強になるから

Q18. 今回のコースでモンゴルの現状に適応しないと思ったところがあれば、お書きください。

- 事例 2名
- モンゴル企業の事例を入れてくれればよい 2名

Q19. 今回のコースで一番良かった点と良くなかった点を記入してください。

良かった点：

- グループ演習 6名
- コースのすべて 3名
- 説明
- 講師の教え方
- 教え方、配布資料、事前準備、タイムマネジメント、運営すべてがよくて非常に満足している
- グループワーク、講師の教え方
- 総合的な知識が得たこと
- たくさんの知識が得られたのと人脈が広がった
- SWOT分析
- 河口講師のモンゴル人管理職の成長のために心から教えていた態度と努力

- 戦略の立て方、その他目の役割分担

良くなかった点：

- 受講生のレベルのバラツキ
- 専門用語が多すぎる
- 通訳時間のロス
- コース中に話したことが外に漏れたこと
- スピードが速い

Q20. 今後モンゴル・日本センターでどのようなコースがあれば参加したいと思いますか。

- マーケティング、販売、投資戦略
- 中小企業を支援するコース
- オンラインショッピング・ソーシャルメディア
- 貿易
- このコースのフォローアップ、フィードバック、アドバイス
- ソシアルマーケティング
- コミュニケーションスキル
- 5S活動
- 契約の仕方、又、講義をPodcast型で聴けるようになればいい

2名

Q21. センターでは、ビジネスコース、日本語コース、相互理解促進事業を実施していますが、センターの事業に対して要望があればお書きください。

- 非常に効果的だと思う
- 低価格で経験豊富な先生方の講義を聞いて感謝している
- 適正なコースを実施してくれている優れた機関だと思う

2名

Q22. アンケートに書けなかったことがあればお書きください。

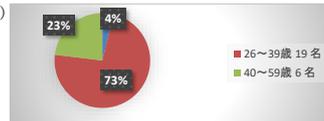
- 1つの企業からたくさんの人を参加させた方が今後の実施につながると思う
- 本邦研修参加者を増やす
- モンゴル日本センターのコースに初めて参加したが非常に満足した。この事業の継続で実施してほしい

モンゴル・日本センター プログラム別アンケート集計結果

プログラム名 : 財務管理 (冬期通常コース経営者クラス)  
 実施期間 : 2020年01月13日～01月18日  
 受講者数 : 29 名  
 アンケート回答者数 : 26 名 回答率 (90%)

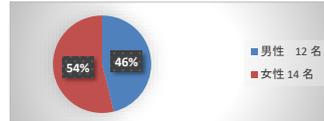
Q1. 年齢

1 ~25代	1 名	(4%)
2 26～39歳	19 名	(73%)
3 40～59歳	6 名	(23%)
4 60歳以上	0 名	(0%)



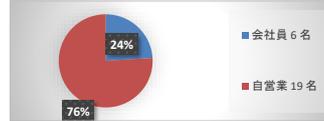
Q2. 性別

1 男性	12 名	(46%)
2 女性	14 名	(54%)
未回答	0 名	(0%)



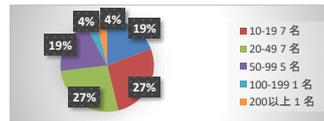
Q3. 職種

1 会社員	6 名	(23%)
2 自営業	19 名	(73%)
3 公務員	0 名	(0%)
4 無職/学生	0 名	(0%)
5 その他	0 名	(0%)
6 未回答	0 名	(0%)



Q4. 社員数

1 1-9	5 名	(19%)
2 10-19	7 名	(27%)
3 20-49	7 名	(27%)
4 50-99	5 名	(19%)
5 100-199	1 名	(4%)
6 200以上	1 名	(4%)
未回答	0 名	(0%)



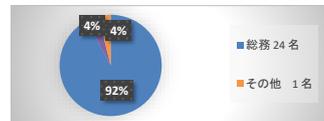
Q5. 職位

1 企業幹部(社長、取締役、役員)	22 名	(85%)
2 部長、ディレクター、課長	3 名	(12%)
3 スペシャリスト	0 名	(0%)
4 その他	0 名	(0%)
未回答	1 名	(4%)



Q6. 部署

1 総務	24 名	(92%)
2 人事・研修	0 名	(0%)
3 財務	0 名	(0%)
4 技術	1 名	(4%)
5 生産	0 名	(0%)
6 その他	1 名	(4%)
未回答	0 名	(0%)



Q7. 講義内容に関する満足度はどのぐらいですか。

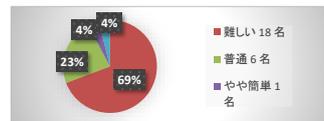
1 とても満足している	12 名	46%
2 満足している	13 名	50%
3 普通	1 名	4%
4 やや不満	0 名	0%
5 不満	0 名	0%
未回答	0 名	0%



- 財務分析を事例で分かり易く説明してくれた 3名

Q8. 講義内容の難しさはどのぐらいですか？

1 とても難しい	0 名	(0%)
2 難しい	18 名	(69%)
3 普通	6 名	(23%)
4 やや簡単	1 名	(4%)
5 簡単	1 名	(4%)
未回答	0 名	(0%)



- 財務管理について知識不足

Q9. 日本人講師の教え方に関する満足度はどのぐらいですか？

1 とても満足している	14 名	54%
2 満足している	11 名	42%
3 普通	1 名	4%
4 やや不満	0 名	0%
5 不満	0 名	0%
未回答	0 名	0%



- 考え方  
 - 専門力  
 - 分かりやすい  
 - ホワイトボードでの書き方がきれい 3名

Q10. 通訳に関する満足度はどのぐらいですか？ (N. Batdelger)

1 とても満足している	19 名	73%
2 満足している	7 名	27%
3 普通	0 名	0%
4 やや不満	0 名	0%
5 不満	0 名	0%
未回答	0 名	0%



財務について知識ある

Q11. 通訳に関する満足度はどのぐらいですか？ (S. Lkhamchimeg)

1 とても満足している	7 名	27%
2 満足している	12 名	46%
3 普通	3 名	12%
4 やや不満	1 名	4%
5 不満	0 名	0%
未回答	3 名	12%



- 専門家だった

Q12. 講座で使われた機材・設備に関する満足度はどのくらいですか。

1 とても満足している	15名	58%
2 満足している	10名	38%
3 普通	0名	0%
4 やや不満	0名	0%
5 不満	0名	0%
未回答	1名	4%



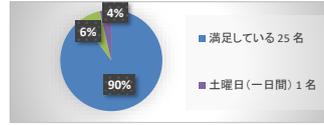
Q13. コーヒーブレイクで出されたコーヒー、紅茶などに関する満足度はどのくらいですか？

1 とても満足している	8名	(31%)
2 満足している	15名	(58%)
3 普通	2名	(8%)
4 やや不満	1名	(4%)
5 不満	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



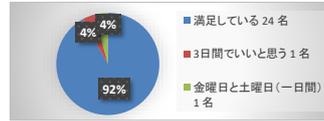
Q14. 授業時刻（9：30～13：00）はどうでしたか？他の意見がありますか。

1 満足している	25名	(96%)
2 13：30～18：00	0名	(0%)
3 17：30～20：30	0名	(7%)
4 土曜日（一日間）	1名	(4%)
5 その他	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



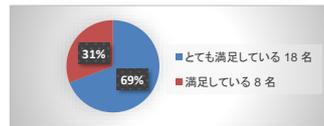
Q15. 授業を6日間実施したのはどうですか？他の意見がありますか？

1 満足している	24名	(88%)
2 3日間がいいと思う	1名	(4%)
3 金曜日と土曜日（一日間）	1名	(4%)
4 その他	0名	(0%)
未回答	0名	(0%)



Q16. センターのスタッフに関する満足度がどのくらいですか。

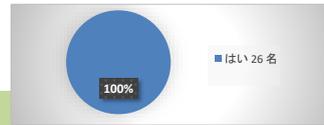
1 とても満足している	18名	(69%)
2 満足している	8名	(31%)
3 普通	0名	(0%)
4 やや不満	0名	(0%)
5 不満	0名	(0%)
6 未回答	0名	0%



- 態度が良い

Q17. 今回のコースが期待に応えることが出来ましたか。

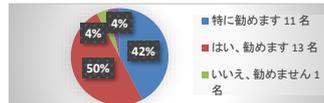
1 はい	26名	(100%)
2 いいえ	0名	(0%)
3	0名	(0%)



- 事業に財務的な評価を与えるようになった  
- 期待を超えた  
- 講義内容をレベルアップし、実例を取り入れたらもっと良くなる

Q18. このプログラムを誰かにお勧めしますか。

1 特に勧めます	11名	(42%)
2 はい、勧めます	13名	(50%)
3 いいえ、勧めません	1名	(4%)
4 未回答	1名	(4%)



Q19. 今回のコースでモンゴルの現状に適応しないと思ったところがあれば、お書きください。

- 特になし

Q20. 今回のコースで一番良かった点と良くなかった点を記入してください。

良かった点：  
- 個人啓発  
- 財務管理の知識を得たこと  
- ドキュメンタリーが凄く気に入った  
- コースの質  
- コースの内容  
- SOLVERを学んだこと  
- 通訳者が優れていた  
2名

良くなかった点：  
- 実例ではなかったため、はっきりと決断しがたい  
- 流れが速い、内容が多い  
- もっと詳しく説明してほしい部分があった  
- 教材もカラーにしてほしい

Q21. センターでは、ビジネスコース、日本語コース、相互理解促進事業を実施していますが、センターの事業に対して要望があ

- 日本市場  
- 資金の集め方  
- EXCEL  
- リーダーシップ  
- PROJECT Xを従業員たちと見たい  
- 株式市場  
- 国際市場  
- IPOのやり方

Q22. センターでは、ビジネスコース、日本語コース、相互理解促進事業を実施していますが、センターの事業に対して要望があ

- 地方にも開催してほしい

Q23. アンケートに書けなかったことがあればお書きください。

- 試験の必要性が分からない